学　　則

同　志　社　大　学

（２０２６年４月１日改正）

目　　次

第１章　総　　則 …… 1
第２章　学　　部 …… 2
　第１節　修業年限，学年，学期及び休業日 …… 2
　第２節　学部学科等の組織 …… 2
　第３節　教育課程及び履修方法 …… 4
　第４節　単位の授与及び成績評価…… 6
　第５節　卒業及び学位の授与 …… 6
　第６節　収容定員及び教育研究実施組織 …… 7
　第７節　入学，転入学，編入学，休学，留学，退学，除籍及び再入学 …… 9
　第８節　科目等履修生，聴講生及び外国人留学生 …… 12
　第９節　学　　費 …… 12
第３章　附 属 施 設 …… 13
附　則 …… 13
別表Ⅰ　学　　費 …… 21
別表Ⅰの2 履修料 …… 23
別表Ⅰの3 聴講料 …… 24
別表Ⅰの4 外国人留学生（特別学生）入学金及び研修料 …… 24
別表Ⅰの5 入学検定料 …… 26
別表Ⅱ　各学部人材養成目的及び教育課程表 …… 27
　全学共通教養教育科目 …… 27
　神学部 …… 33
　文学部 …… 38
　社会学部 …… 58
　法学部 …… 78
　経済学部 …… 90
　商学部 …… 95
　政策学部 ……102
　文化情報学部 ……107
　理工学部 ……109
　生命医科学部 ……138
　スポーツ健康科学部 ……147
　心理学部 ……151
　グローバル・コミュニケーション学部 ……154
　グローバル地域文化学部 ……160
　国際教育インスティテュート ……171
　国際教養教育院科目 ……174
　教育職員免許状を得るための課程 ……182

同志社大学学則

１９４８年４月１日　制定	１９７９年４月１日　改正	２００５年４月１日　改正
１９５０年４月１日　改正	１９８０年４月１日　〃	２００６年４月１日　〃
１９５１年４月１日　〃	１９８１年４月１日　〃	２００７年４月１日　〃
１９５２年４月１日　〃	１９８２年４月１日　〃	２００８年４月１日　〃
１９５４年４月１日　〃	１９８３年４月１日　〃	（規則名変更）
１９５５年４月１日　〃	１９８４年４月１日　〃	２００９年４月１日　〃
１９５９年４月１日　〃	１９８５年４月１日　〃	２０１０年４月１日　〃
１９６０年４月１日　〃	１９８６年４月１日　〃	２０１１年４月１日　〃
１９６１年４月１日　〃	１９８７年４月１日　〃	２０１２年４月１日　〃
１９６２年４月１日　〃	１９８８年４月１日　〃	２０１３年４月１日　〃
１９６３年４月１日　〃	１９８９年４月１日　〃	２０１４年４月１日　〃
１９６４年４月１日　〃	１９９０年４月１日　〃	２０１４年１１月１日　〃
１９６５年４月１日　〃	１９９１年７月１日　〃	２０１５年４月１日　〃
１９６６年４月１日　〃	１９９２年４月１日　〃	２０１６年４月１日　〃
１９６７年４月１日　〃	１９９３年４月１日　〃	２０１６年５月１日　〃
１９６８年４月１日　〃	１９９４年４月１日　〃	２０１７年４月１日　〃
１９６９年４月１日　〃	１９９５年４月１日　〃	２０１７年１０月１日　〃
１９７０年４月１日　〃	１９９６年４月１日　〃	２０１８年４月１日　〃
１９７１年４月１日　〃	１９９７年４月１日　〃	２０１９年４月１日　〃
１９７２年４月１日　〃	１９９８年４月１日　〃	２０２０年４月１日　〃
１９７３年４月１日　〃	１９９９年４月１日　〃	２０２１年４月１日　〃
１９７４年４月１日　〃	２０００年４月１日　〃	２０２２年４月１日　〃
１９７５年４月１日　〃	２００１年４月１日　〃	２０２３年４月１日　〃
１９７６年４月１日　〃	２００２年４月１日　〃	２０２４年４月１日　〃
１９７７年４月１日　〃	２００３年４月１日　〃	２０２５年４月１日　〃
１９７８年４月１日　〃	２００４年４月１日　〃	２０２６年４月１日　〃

第１章　総　　則

第１条　本学は，教育基本法にのっとり，学校教育法の定める大学として，学術を教授研究し，あわせてキリスト教的教育の特色を発揮し，国家社会に有用な人物を養成することを目的とする。

第１条の２　本学は，教育研究水準の向上を図り，本学の目的及び社会的使命を達成するため，文部科学大臣の定めるところにより，教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。

２　点検及び評価に関する規程は，別に定める。

３　本学は，第１項の点検及び評価の結果について，政令で定める期間ごとに，文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。

４　本学は，第１項及び前項に規定する点検及び評価の結果並びに認証評価の結果を公表するとともに，教育研究活動等について不断の見直しを行う。

第１条の３　本学は，教育研究活動等の状況について，適切な体制を整えたうえで，刊行物への掲載，インターネットの利用その他広く周知を図ることができる方法によって，公表するものとする。

第２条　本学に，学部，大学院その他の教育研究組織を置く。

２　大学院に関する学則は，別にこれを定める。

第２条の２　本学は，人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を各学部において学科毎に定め，別表Ⅱに記載する。

第２章　学　　部

第１節　修業年限，学年，学期及び休業日

第３条　学部の修業年限は，4 年とする。

２　在学年限は，8 年を超えることができない。

第４条　削除

第５条　学年は，4 月 1 日に始まり，翌年 3 月 31 日に終る。

２　学年を次の 2 学期に分ける。

春学期　4 月 1 日から 9 月 20 日まで

秋学期　9 月 21 日から翌年 3 月 31 日まで

第６条　休業日は，次のとおりとする。

（１）　日曜日

（２）　「国民の祝日に関する法律」に定める休日

（３）　創立記念日　11 月 29 日

（４）　キリスト降誕日　12 月 25 日

（５）　夏期，冬期及び春期休業に関しては，別に定める。

２　前項に規定する休業日において，必要ある場合は授業を行うことがある。また休業日は，臨時に定めることができる。

第２節　学部学科等の組織

第７条　本学に，次の学部学科を置く。

神　　学　　部

神　　学　　科
文　　学　　部
英　文　学　科
哲　　学　　科
美 学 芸 術 学 科
文 化 史 学 科
国　文　学　科
社　会　学　部
社　会　学　科
社 会 福 祉 学 科
メ デ ィ ア 学 科
産 業 関 係 学 科
教 育 文 化 学 科
法　　学　　部
法　律　学　科
政　治　学　科
経　済　学　部
経　済　学　科
商　　学　　部
商　　学　　科
政　策　学　部
政　策　学　科
文 化 情 報 学 部
文 化 情 報 学 科
理　工　学　部
インテリジェント情報工学科
情報システムデザイン学科
電 気 工 学 科
電 子 工 学 科
機械システム工学科
機 械 理 工 学 科
機能分子・生命化学科
化学システム創成工学科
環境システム学科
数理システム学科
生　命　医　科　学　部

医　工　学　科
医 情 報 学 科
医生命システム学科
スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科
心　理　学　部
心　理　学　科
グローバル・コミュニケーション学部
グローバル・コミュニケーション学科
グローバル地域文化学部
グローバル地域文化学科

第７条の２　削除

第７条の３　本学にキリスト教文化センターを置く。

２　キリスト教文化センターに関する規程は，別に定める。

第７条の４　本学にハリス理化学研究所を置く。

２　ハリス理化学研究所に関する規程は，別に定める。

第７条の５　削除

第７条の６　本学に歴史資料館を置く。

２　歴史資料館に関する規程は，別に定める。

第７条の７　削除

第７条の８　本学に全学共通教養教育センターを置く。

２　全学共通教養教育センターに関する規程は，別に定める。

第７条の９　本学に国際教育インスティテュートを置く。

２　国際教育インスティテュートに関する規程は，別に定める。

第７条の１０　本学に免許資格課程センターを置く。

２　免許資格課程センターに関する規程は，別に定める。

第７条の１１　本学に学習支援・教育開発センターを置く。

２　学習支援・教育開発センターに関する規程は，別に定める。

第７条の１２　削除

第７条の１３　削除

第７条の１４　本学に国際教養教育院を置く。

２　国際教養教育院に関する規程は，別に定める。

第３節　教育課程及び履修方法

第８条　各学部学科の教育課程は，各学部学科が学校教育法施行規則第 165 条の 2 第 1 項第 1 号及

び第 2 号により定める方針に基づき編成し，履修方法とともに別表Ⅱにこれを定める。

第８条の２　授業は，講義，演習，実験，実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

２　本学は，文部科学大臣が別に定めるところにより，前項の授業を，多様なメディアを高度に利用して，当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

３　本学は，第 1 項の授業を，外国において履修させることができる。前項の規定により，多様なメディアを高度に利用して，当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても，同様とする。

第８条の３　本学は，授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

第９条　学生は，所属学部学科の規定に従って，一定単位数の授業科目を履修しなければならない。

２　教育職員免許状を得るための資格及び司書，司書教諭，学芸員の資格を得たい者は，特に指定された授業科目を履修しなければならない。

３　授業科目の単位数は，1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし，授業の方法に応じ，次の基準による。

（１）　講義及び演習については，15 時間から 30 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。

（２）　実験，実習，実技等については，30 時間から 45 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。

（３）　第 1 号に規定する授業の方法と前号に規定する授業の方法を併用する場合の単位数の基準は，前 2 号に規定する基準を考慮して本学が定める。

４　前項の規定にかかわらず，卒業論文等の授業科目については，これらに必要な学修等を考慮して，単位数を定める。

第９条の２　本学は，各学部において教育上有益と認めるときは，学生が学部の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を，60 単位を超えない範囲で認定することができる。

２　第 27 条の 2 により留学した大学において単位を修得した者には，前項により認定した単位と合わせて 60 単位を超えない範囲で認定することができる。

３　外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し修得した単位及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修し修得した単位を，前 2 項により認定した単位と合わせて 60 単位を超えない範囲で認定することができる。

第９条の３　本学は，各学部において教育上有益と認めるときは，学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を，本学における授業科目の履修とみなし，学部の定めるところにより単位を与えることができる。

２　前項の単位数は，前条第 1 項，第 2 項及び第 3 項と合わせて 60 単位を超えないものとする。

第９条の４　本学は，各学部において教育上有益と認めるときは，学生が入学前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を，本学において修得したものとして認定することができる。

２　本学は，各学部において教育上有益と認めるときは，学生が入学前に行った短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を，本学における授業科目の履修とみなし，学部の定めるところにより単位を与えることができる。

３　前 2 項の単位数は，転入学及び編入学の場合を除き，本学において修得した単位以外のものについては，第 9 条の 2 第 1 項，第 2 項及び第 3 項並びに前条第 1 項により修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

第９条の５　第 8 条の 2 第 2 項の授業の方法により修得する単位は，各学部における卒業に必要な単位数から 64 単位を除いた単位数を上限として，卒業に必要な単位とすることができる。

第９条の６　本学は，学生に対して，授業の方法及び内容並びに 1 年間の授業の計画をあらかじめ明示する。

２　本学は，学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては，客観性及び厳格性を確保するため，学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに，当該基準にしたがって適切に行う。

第１０条　削除

第４節　単位の授与及び成績評価

第１１条　一の授業科目を履修した学生に対しては，試験その他の本学が定める適切な方法により学修の成果を評価して単位を与えるものとする。

第１２条　削除

第１３条　学修の成果に係る評価は，Ａ，Ｂ，Ｃ，Ｄ及びＦで評価し，Ｄ以上の成績を合格とする。ただし，学部の定めるところにより，特定の授業科目については学修の成果に係る評価を，合格又は不合格で評価することができる。

第１４条　疾病その他やむを得ない事由により受験できなかった場合は，その授業科目の試験日の翌日から起算して 3 日以内に願い出れば，追試験を行うことがある。

第５節　卒業及び学位の授与

第１５条　学部学科所定の教育課程に従って授業科目を履修し，所定の単位を修得した者に卒業の認定を行い，卒業した学部学科の種類により次の学士の学位を授与する。在学期間に関しては，学部の定めるところにより，所定の単位を優れた成績で修得したと認められる者については，3 年以上在学すれば足りるものとする。

学士（神学，英文学，哲学，美学芸術学，文化史学，国文学，社会学，社会福祉学，メディア学，

産業関係学，教育文化学，法学，政治学，経済学，商学，政策学，文化情報学，工学，理学，スポーツ健康科学，心理学，グローバル・コミュニケーション学，グローバル地域文化学，国際教養）

２　前項に規定する学位には，「学士（神学）（同志社大学）」のように明記することを必要とする。

第６節　収容定員及び教育研究実施組織

第１６条　各学部の入学定員，編入学定員及び収容定員は，次のとおりとする。

学部学科別	入学定員	編入学定員	収容定員
神学部	63 名		252 名
神学科	63 名		252 名
文学部	705 名		2,820 名
英文学科	315 名		1,260 名
哲学科	70 名		280 名
美学芸術学科	70 名		280 名
文化史学科	125 名		500 名
国文学科	125 名		500 名
社会学部	442 名		1,768 名
社会学科	90 名		360 名
社会福祉学科	98 名		392 名
メディア学科	88 名		352 名
産業関係学科	87 名		348 名
教育文化学科	79 名		316 名
法学部	893 名		3,572 名
法律学科	683 名		2,732 名
政治学科	210 名		840 名
経済学部	893 名		3,572 名
経済学科	893 名		3,572 名
商学部	893 名		3,572 名
商学科	893 名		3,572 名
政策学部	420 名		1,680 名
政策学科	420 名		1,680 名
文化情報学部	294 名		1,176 名
文化情報学科	294 名		1,176 名
理工学部	756 名	20 名	3,064 名
インテリジェント情報工学科	83 名	2 名	336 名
情報システムデザイン学科	83 名	2 名	336 名
電気工学科	80 名	2 名	324 名
電子工学科	86 名	2 名	348 名
機械システム工学科	96 名	2 名	388 名
機械理工学科	70 名	2 名	284 名

機能分子・生命化学科	83 名	2 名	336 名
化学システム創成工学科	83 名	2 名	336 名
環境システム学科	51 名	2 名	208 名
数理システム学科	41 名	2 名	168 名
生命医科学部	265 名		1,060 名
医工学科	100 名		400 名
医情報学科	100 名		400 名
医生命システム学科	65 名		260 名
スポーツ健康科学部	221 名		884 名
スポーツ健康科学科	221 名		884 名
心理学部	158 名		632 名
心理学科	158 名		632 名
グローバル・コミュニケーション学部	158 名		632 名
グローバル・コミュニケーション学科	158 名		632 名
（うち英語コース	85 名		340 名）
グローバル地域文化学部	190 名		760 名
グローバル地域文化学科	190 名		760 名
計	6,351 名	20 名	25,444 名

第１７条　本学に，教授，准教授，助教及び助手を置く。

２　本学に，特別任用教授，特別任用助教（有期研究員）及び特別任用助手（有期研究員）を置くことができる。

３　本学に，客員教授，客員准教授及び客員助教を置くことができる。

第１７条の２　削除

第１８条　本学に，学長を置く。

２　学長は，本学を代表するとともに，校務をつかさどり，教職員を統括する。

３　学長は，教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため，教職員に必要な知識及び技能を習得させ，並びにその能力及び資質を向上させるための研修等を実施する。

４　学長に関し必要な事項は，別に定める。

第１８条の２　本学に，副学長を置く。

２　副学長に関し必要な事項は，別に定める。

第１８条の３　本学に，学部長を置く。

２　学部長は，学部に関する校務をつかさどる。

第１８条の４　本学に，機構長，部長，所長，館長，室長等を置く。

第１８条の５　本学に，学長補佐を置くことができる。

２　学長補佐に関し必要な事項は，別に定める。

第１８条の６　本学に，その事務を遂行するため，職員を置く。

２　事務組織に関する規程は，別に定める。

第１９条　本学の各学部に教授会を置く。

２　教授会は，学部に関する次の事項を審議する。

（１）学生の入学，退学，休学，卒業等に関する事項及び学位の授与に関する事項

（２）教育課程に関する事項

（３）教員の人事に関する事項

（４）学則，学部諸規程に関する事項

（５）その他学部長がつかさどる教育研究に関する事項

３　教授会は，学長から諮問された事項について審議する。

４　教授会は，学生の入学，卒業及び学位の授与，その他教育研究に関する重要な事項で教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるものについて，学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

５　教授会の組織及び運営に関する事項は，各学部教授会において定める。

第１９条の２　本学に部長会を置く。

２　大学及び各学部に共通する重要事項は，部長会で審議する。

３　部長会に関する規程は，別に定める。

第１９条の３　本学に大学評議会を置く。

２　大学評議会は，本学の中長期的方針に関わる事項を審議し，その達成状況を検証する。

３　大学評議会に関する規則は，別に定める。

第１９条の４　本学に大学教授会を置く。

２　大学教授会は，大学の重要な事項に関し学長の諮問に応じる。

第７節　入学，転入学，編入学，休学，留学，退学，除籍及び再入学

第２０条　入学の時期は，学年の始めとする。ただし，学部が必要とするときには，入学の時期を学期の始めとすることができる。

第２１条　学部第 1 年次に入学することができる者は，次の各号のいずれかに該当しなければならない。

（１）　高等学校卒業者

（２）　中等教育学校卒業者

（３）　通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により，これに相当する学校教育を修了した者を含む。）

（４）　高等学校に文部科学大臣の定める年数以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって，本学の定める分野において特に優れた資質を有すると認めたもの

（５）　大学への入学に関し，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として，学校教育法施行規則第 150 条に規定された者

第２２条　前条の資格を有する入学志願者について，各学部が学校教育法施行規則第 165 条の 2 第１

項第 3 号により定める方針に基づき，高等学校卒業程度の入学試験を行い，入学を許可する。

第２３条　学部第 2 年次及び第 3 年次では，第 2 項又は第 3 項の各号のいずれかに該当する入学志願者について選考を行い，転入学又は編入学を許可することがある。

２　第 3 年次に転入学又は第 2 年次若しくは第 3 年次に編入学することができる者は，次のとおりとする。

（１）　大学第 2 年次修了者

（２）　短期大学卒業者

（３）　高等専門学校卒業者

（４）　専修学校の専門課程のうち，文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（ただし，学校教育法第 90 条第 1 項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）

（５）　短期大学又は高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として，学校教育法施行規則第 155 条第 2 項又は同第 177 条に規定された者並びに文部省令第 1 号により大学への編入学を認められた者

（６）　高等学校の専攻科の課程のうち，文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（ただし，学校教育法第 90 条第 1 項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）

３　第 2 年次に転入学することができる者は，次のとおりとする。

（１）　大学第 1 年次修了者

（２）　外国の大学において前号に準じる課程を修了した者

４　第 3 年次に転入学又は編入学することを許可された転入学生及び編入学生の修業年限は 2 年とし，在学年限は 6 年を超えることができない。

５　第 2 年次に転入学又は編入学することを許可された転入学生及び編入学生の修業年限は 3 年とし，在学年限は 7 年を超えることができない。

第２４条　入学志願者は，指定期日までに所定の書類を提出し，別表Ⅰの 5 に定める入学検定料を納入しなければならない。

２　災害等の特別な事情により入学検定料の納入が困難であると認められる入学志願者には，申請に基づき，入学検定料を免除することがある。

３　前項の入学検定料の免除の詳細は，別に定める。

第２５条　入学許可を得た者は，指定期日までに所定の書類を提出し，定められた学費を納入しなければならない。

２　本学の複数の学部・学科・コース（以下「学部等」という。）の入学許可を得て，一方の学部等の学費を納入した者が，もう一方の学部等へ入学を希望する場合は，申請に基づき，既に納入した学費を，もう一方の学部等の学費に振替を認めることがある。

３　前項の振替の詳細は，別に定める。

第２６条　連帯保証人は 1 名とし，父又は母（父母のいない者は，これにかわる親戚等）とする。

２　連帯保証人は，その学生の在籍中，本学学費及び本学に損害を与えた場合の損害賠償等の債務につき，極度額の範囲において連帯保証しなければならない。極度額は別表Ⅰに定める学費 1 年分と

する。

３　連帯保証人が転籍，転居等をしたときは，その旨直ちに届け出なければならない。

４　連帯保証人が死亡したとき，又はその資格を失ったときは，あらたに連帯保証人を定めて届け出なければならない。

第２７条　学生が疾病その他やむを得ない事由により，休学しようとするときは，連帯保証人連署のうえ，春学期又は秋学期授業開始日までにその旨願い出て，許可を得なければならない。

２　休学期間は，1 年又は半年とする。

３　休学の期間は，通算して 4 年を超えることができない。ただし，母国における兵役義務による休学は，この期間に算入しない。

４　休学期間は，第 3 条並びに第 23 条第 4 項及び第 5 項に定める修業年限，在学年限には算入しない。

第２７条の２　学生は，在学中当該学部教授会が本人の教育上有益と認め，学長が承認した場合に限り，本学の認定する外国の大学に留学することができる。

２　留学の期間は，第 3 条並びに第 23 条第 4 項及び第 5 項に定める修業年限及び在学年限に算入できる。

３　留学の取扱いについては，別にこれを定める。

第２８条　学生が，疾病その他やむを得ない事由により，退学しようとするときは，連帯保証人連署のうえ，その旨願い出なければならない。

第２９条　学長は，学力劣等にして成業見込みなしと認める者，又は出席常でない者を，当該学部教授会の審議を経て，諭旨退学させることがある。

第３０条　学長は，品行不良の者，学業怠慢の者，学校の秩序を乱した者，その他学生としての本分に反した者で，当該学部教授会において懲戒の対象となりうると認められたときには，けん責，停学又は退学に処すことができる。

２　前項の懲戒に関する規程は，別に定める。

第３０条の２　次の各号のいずれかに該当する者は，除籍する。ただし，第 1 号については，春学期末卒業予定者は春学期末，それ以外の者は該当学年末（秋学期入学者は春学期末），また第 2 号並びに第 3 号については，該当学期末に除籍する。

（1）　学費の納入を怠り，督促を受けても納入しない者

（2）　在学期間が第 3 条第 2 項並びに第 23 条第 4 項及び第 5 項に規定する在学年限を超える者

（3）　学費未納で履修科目の登録をしていない者

第３０条の３　退学者及び前条第 1 項第 1 号又は第 3 号により除籍された者が，連帯保証人連署のうえ，再入学を願い出た場合は，それを許可することがある。

なお，除籍された者が再入学を願い出る場合は，事前に未納学費を完納しなければならない。

第３０条の４　再入学許可を得た者は，指定期日までに所定の書類を提出し，定められた学費を納入しなければならない。

第８節　科目等履修生，聴講生及び外国人留学生

第３１条　各学部等に設置する一又は複数の授業科目を履修し単位を修得しようとする者があるときは，相当の資格があると認めた者につき，科目等履修生とすることができる。

２　科目等履修生のうち，他の大学の学生で，協定に基づき本学の授業科目を履修する者については，交流学生又は単位互換履修生として受け入れることができる。

第３２条　科目等履修生が履修した授業科目について試験その他の本学が定める適切な方法により学修の成果に係る評価を受け合格したときは，所定の単位を与える。

２　前項に定めるもののほか，科目等履修生に関する内規は，別に定める。

第３３条　削除

第３４条　削除

第３５条　各学部に設置する一又は複数の授業科目を聴講しようとする者があるときは，相当の資格があると認めた者につき，聴講生とすることができる。

第３６条　聴講生に関する内規は，別に定める。

第３６条の２　外国人留学生に関する内規は，別に定める。

第９節　学　　費

第３７条　在学生の学費は，春学期及び秋学期の学年暦に定める日までに納入しなければならない。ただし，春学期の学費を納入するときに，当該年度の秋学期の学費も納入することができる。

２　外国人留学生（特別学生）研修料は，春学期及び秋学期の学年暦に定める日までに納入しなければならない。

３　履修料及び聴講料は，所定の期間内に納入しなければならない。

第３８条　学費は，入学金，授業料（履修料，聴講料，研修料を含む。），教育充実費，特別在籍料及び休学在籍料とし，その額は，別表Ⅰから別表Ⅰの４にこれを定める。

２　協定に基づくダブルディグリープログラムにより，本学から 1 学期間以上留学する者は，特別在籍料を納入するものとし，入学金を除く他の学費の納入を要しない。

３　休学を許可された者は，休学在籍料を納入するものとし，入学金を除く他の学費の納入を要しない。

４　第 31 条第 2 項に定める，協定に基づき本学の授業科目を履修するため，他の大学から受け入れた交流学生及び単位互換履修生の学費については，当該大学との協定に基づき設定する。

５　いったん納入した学費は，返還しない。ただし，入学許可を得た者で，入学日の前日までに入学手続の取消しを願い出たものについては，入学金又はこれに相当する金額を除く学費を返還することがある。

６　履修科目の登録に際して実験実習料を要する科目及びその実験実習料については，別に定める。

７　退学者又は除籍された者については，別に定める場合を除き，当該学期の学費を徴収する。

８　第 30 条第 1 項に基づく停学に処せられた者については，その期間中も学費を徴収する。

第３９条　やむを得ない事情があると認められる場合は，申請に基づき，学費（特別在籍料及び休学在籍料を除く。）を延納又は分納することができる。

２　前項の学費の延納又は分納の詳細は，別に定める。

第３９条の２　本学は，大学等における修学の支援に関する法律に基づき，授業料及び入学金の減免を行う。

２　前項の授業料及び入学金の減免の詳細は，別に定める。

第３９条の３　災害等の特別な事情により学費の納入が困難であると認められる者には，申請に基づき，学費の一部を免除することがある。

２　前項の学費の一部免除の詳細は，別に定める。

第３章　附属施設

第４０条　図書館を設け，図書，学術雑誌，電磁的方法により提供される学術情報等を系統的に整備し，教育研究を促進する。

２　大学には学部研究室，実験室，研究所等を設ける。

第４１条　寄宿舎を設け，一部学生を入舎させる。

第４２条　学生支援機構保健センターを設け，教職員及び学生の保健医療に当る。

附　　則

１　この学則は，2005 年 4 月 1 日から施行する。

２　第 27 条第 3 項の規定は，1989 年度入学生から適用する。

３　第 9 条に規定する教育職員免許状を得るための資格（高等学校地理歴史・公民科）については，1990 年度入学生から適用する。

４　第 7 条，第 16 条は，知識工学科設置，機械工学科，機械工学第二学科の機械システム工学科，エネルギー機械工学科への名称変更及び工業化学科，化学工学科の機能分子工学科，物質化学工学科への改組転換により 1994 年 4 月 1 日から改正施行する。

５　第 7 条は，学部第 2 部を 1997 年度入学生から学生募集停止及び文学部第 1 部，法学部第 1 部，経済学部第 1 部，商学部第 1 部の文学部，法学部，経済学部，商学部への名称変更により 1997 年 4 月 1 日から改正施行する。

第 16 条は，文学部英文学科，文化学科国文学専攻，法学部法律学科，政治学科，経済学部，商学部に昼間主コース，夜間主コースを設置。これにともなう学部，学科の収容定員増加変更により 1997 年 4 月 1 日から改正施行する。

なお，各学部の第 2 部は，当該学部の第 2 部に在学する者がいなくなるまでの間存続するものと

し，教育課程に関する規程は，従前によるものとする。（1997 年 4 月 1 日改正）

6　第 7 条，第 16 条は，神学部に神学科，経済学部に経済学科，商学部に商学科の学科名明示により，1999 年 4 月 1 日から改正施行する。（1999 年 4 月 1 日改正）

7　第 7 条，第 16 条は，文学部社会学科新聞学専攻のメディア学専攻への名称変更，政策学部政策学科，工学部情報システムデザイン学科及び環境システム学科の設置により 2004 年 4 月 1 日から改正施行する。（2004 年 4 月 1 日改正）

8　第 7 条は，文学部の改組・再編による文化学科，社会学科及び各学科内の専攻の廃止，それに伴う文学部哲学科，心理学科，美学芸術学科，文化史学科，国文学科及び社会学部社会学科，社会福祉学科，メディア学科，産業関係学科，教育文化学科の設置並びに文化情報学部文化情報学科の設置により 2005 年 4 月 1 日から改正施行する。

第 16 条は，文学部の改組・再編に伴う学部・学科の設置及び文化情報学部の設置並びに法学部及び経済学部の昼間主コース，夜間主コースの廃止により 2005 年 4 月 1 日から改正施行する。

なお，廃止する文化学科及び社会学科の各専攻並びに法学部及び経済学部の昼間主コース及び夜間主コースは，2005 年度より学生募集を停止する。ただし，各学科・専攻及びコースは，当該学科・専攻及びコースに在学する者がいなくなるまでの間存続するものとし，教育課程に関する規程は，従前によるものとする。(2005 年 4 月 1 日改正)

9　第 13 条に規定する試験の成績評価は，2004 年度第 1 年次入学生から適用し，2003 年度以前の入学生については，従前の規程による。

10　第 15 条に規定する学位は，2005 年度第 1 年次入学生から適用し，2004 年度以前の入学生については，従前の規程による。

11　第 30 条の 3 に規定する再入学は，2004 年度第 1 年次入学生から適用する。

12　第 8 条の別表Ⅱの各学部教育課程表は，2005 年度第 1 年次入学生から適用し，2004 年度以前の入学生については，別に定めるもののほか，従前の教育課程表による。

13　第 38 条第 1 項の別表Ⅰに定める学費のうち，入学金，授業料，教育充実費及び実験実習料については，2005 年度入学生に適用する。2004 年度以前の入学生については，従前の学費による。

14　第 38 条第 1 項の別表Ⅰに定める学費のうち，休学在籍料については，2003 年度以降在学の学生に適用する。ただし，2002 年度以前の入学生のうち，従前の学費による休学中の学費が休学在籍料を下回る場合は，その額とする。

附　　則

1　この学則は，2006 年 4 月 1 日から施行する。

2　第 7 条及び第 16 条は，工学部知識工学科の名称変更により，改正・施行する。なお，知識工学科は，2006 年度より学生募集を停止する。ただし，当該学科は，当該学科に在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし，教育課程に関する規程は，従前によるものとする。

3　第 8 条の別表Ⅱの各学部教育課程表は，2006 年度第 1 年次入学生から適用し，2005 年度以前の入学生については，別に定めるもののほか，従前の教育課程表による。

4　第 38 条第 1 項の別表Ⅰに定める学費のうち，入学金，授業料，教育充実費及び実験実習料については，2006 年度入学生に適用する。2005 年度以前の入学生については，従前の学費による。

附　　則

1　この学則は，2007 年 4 月 1 日から施行する。

2　第 16 条は，文学部英文学科及び国文学科の昼間主コース，夜間主コースの廃止により，改正・施行する。なお，文学部英文学科及び国文学科の昼間主コース及び夜間主コースは，2007 年度より学生募集を停止する。ただし，当該コースは，当該コースに在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし，教育課程に関する規程は，従前によるものとする。

3　第 8 条の別表Ⅱの各学部教育課程表は，2007 年度第 1 年次入学生から適用し，2006 年度以前の入学生については，別に定めるもののほか，従前の教育課程表による。

4　第 38 条第 1 項の別表Ⅰに定める学費のうち，入学金，授業料，教育充実費及び実験実習料については，2007 年度入学生に適用する。2006 年度以前の入学生については，従前の学費による。

附　　則

1　この学則は，2008 年 4 月 1 日から施行する。

2　第 7 条は，理工学部数理システム学科，生命医科学部医工学科，医情報学科，医生命システム学科及びスポーツ健康科学部スポーツ健康科学科の設置並びに工学部，機能分子工学科及び物質化学工学科の理工学部，機能分子・生命化学科及び化学システム創成工学科への名称変更により，改正・施行する。

第 16 条は，政策学部政策学科の昼間主コース及び夜間主コースの廃止，理工学部数理システム学科，生命医科学部及びスポーツ健康科学部の設置並びにこれにともなう学部・学科の収容定員変更及び工学部，機能分子工学科及び物質化学工学科の理工学部，機能分子・生命化学科及び化学システム創成工学科への名称変更により改正・施行する。

なお，政策学部政策学科の昼間主コース及び夜間主コース並びに工学部は，2008 年度より学生募集を停止する。ただし，各学部・学科及びコースは，当該学部・学科及びコースに在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし，教育課程に関する規程は，従前によるものとする。

3　第 8 条の別表Ⅱの各学部教育課程表は，2008 年度第 1 年次入学生から適用し，2007 年度以前の入学生については，別に定めるもののほか，従前の教育課程表による。

4　第 38 条第 1 項の別表Ⅰに定める学費のうち，入学金，授業料，教育充実費及び実験実習料については，2008 年度入学生に適用する。2007 年度以前の入学生については，従前の学費による。

附　　則

1　この学則は，2009 年 4 月 1 日から施行する。

2　第 7 条は，心理学部心理学科の設置及びこれに伴う文学部心理学科の廃止により，改正・施行する。

第 16 条は，心理学部心理学科の設置及びこれに伴う文学部心理学科の廃止並びに学部・学科の収容定員変更により改正・施行する。

なお，文学部心理学科は，2009 年度より学生募集を停止する。ただし，文学部心理学科は，当該学科に在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし，教育課程に関する規程は，従前によるものとする。

3　第 8 条の別表Ⅱの各学部教育課程表は，2009 年度第 1 年次入学生から適用し，2008 年度以前の入学生については，別に定めるもののほか，従前の教育課程表による。

4　第 38 条第 1 項の別表Ⅰに定める学費のうち，入学金，授業料，教育充実費及び実験実習料については，2009 年度入学生に適用する。2008 年度以前の入学生については，従前の学費による。

附　　則

1　この学則は，2010 年 4 月 1 日から施行する。

2　第 8 条の別表Ⅱの各学部教育課程表は，2010 年度第 1 年次入学生から適用し，2009 年度以前の入学生については，別に定めるもののほか，従前の教育課程表による。

3　第 38 条第 1 項の別表Ⅰに定める学費のうち，入学金，授業料，教育充実費及び実験実習料については，2010 年度入学生に適用する。2009 年度以前の入学生については，従前の学費による。

附　　則

1　この学則は，2011 年 4 月 1 日から施行する。

2　第 7 条及び第 16 条は，グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科の設置により，改正・施行する。

3　第 8 条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は，2011 年度第 1 年次入学生から適用し，2010 年度以前の入学生については，別に定めるもののほか，従前の人材養成目的及び教育課程表による。

附　　則

1　この学則は，2012 年 4 月 1 日から施行する。

2　第 8 条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は，2012 年度第 1 年次入学生から適用し，2011 年度以前の入学生については，別に定めるもののほか，従前の人材養成目的及び教育課程表による。

附　　則

1　この学則は，2013 年 4 月 1 日から施行する。

2　第 7 条は，グローバル地域文化学部グローバル地域文化学科の設置により，改正・施行する。

第 16 条は，学部・学科の収容定員変更，商学部商学科の昼間主コース及び夜間主コースの廃止並びにグローバル地域文化学部グローバル地域文化学科の設置により，改正・施行する。

なお，商学部商学科の昼間主コース及び夜間主コースは，2013 年度より学生募集を停止する。ただし，当該コースは，当該コースに在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし，教育課程に関する規程は，従前によるものとする。

3　第 8 条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は，2013 年度第 1 年次入学生から適用し，2012 年度以前の入学生については，別に定めるもののほか，従前の人材養成目的及び教育課程表による。

附　　則

1　この学則は，2014 年 4 月 1 日から施行する。

2　第 8 条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は，2014 年度第 1 年次入学生から適用し，2013 年度以前の入学生については，別に定めるもののほか，従前の人材養成目的及び教育課程表による。

附　　則

この学則は，2014 年 11 月 1 日から施行する。

附　　則

1　この学則は，2015 年 4 月 1 日から施行する。

2　第 8 条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は，2015 年度第 1 年次入学生から適用し，2014 年度以前の入学生については，別に定めるもののほか，従前の人材養成目的及び教育課程表による。

3　第 38 条第 1 項の別表Ⅰに定める学費のうち，入学金，授業料，教育充実費及び実験実習料については，2015 年度入学生に適用する。2014 年度以前の入学生については，従前の学費による。

附　　則

1　この学則は，2016 年 4 月 1 日から施行する。

2　留学生別科は，2016 年度より学生募集を停止する。ただし，当該組織に在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし，教育課程に関する規程は，従前によるものとする。

3　第 8 条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は，2016 年度第 1 年次入学生から適用し，2015 年度以前の入学生については，別に定めるもののほか，従前の人材養成目的及び教育課程表による。

4　第 38 条第 1 項の別表Ⅰに定める学費のうち，入学金，授業料，教育充実費及び実験実習料については，2016 年度入学生に適用する。2015 年度以前の入学生については，従前の学費による。

附　　則

この学則は，2016 年 5 月 1 日から施行する。

附　　則

1　この学則は，2017 年 4 月 1 日から施行する。

2　第 8 条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は，2017 年度第 1 年次入学生から適用し，2016 年度以前の入学生については，別に定めるもののほか，従前の人材養成目的及び教育課程表による。

3　第 38 条第 1 項の別表Ⅰに定める学費のうち，入学金，授業料，教育充実費及び実験実習料については，2017 年度入学生に適用する。2016 年度以前の入学生については，従前の学費による。

附　　則

この学則は，2017 年 10 月 1 日から施行する。

附　　則

1　この学則は，2018 年 4 月 1 日から施行する。

2　第 8 条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は，2018 年度第 1 年次入学生から適用し，2017 年度以前の入学生については，別に定めるもののほか，従前の人材養成目的及び教育課程表による。

3　第 38 条第 1 項の別表Ⅰに定める学費のうち，入学金，授業料，教育充実費及び実験実習料については，2018 年度入学生に適用する。2017 年度以前の入学生については，従前の学費による。

附　　則

1　この学則は，2019 年 4 月 1 日から施行する。

2　第 8 条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は，2019 年度第 1 年次入学生から適用し，2018 年度以前の入学生については，別に定めるもののほか，従前の人材養成目的及び教育課程表による。

3　第 38 条第 1 項の別表Ⅰに定める学費のうち，入学金，授業料，教育充実費及び実験実習料については，2019 年度入学生に適用する。2018 年度以前の入学生については，従前の学費による。

なお，再入学生の入学金に関する規定のただし書きについては，2020 年 4 月 1 日以降に再入学する学生に適用する。

4　第 38 条第 1 項の別表Ⅰに定める学費のうち，特別在籍料については，2019 年 4 月 1 日以降に派遣を決定する学生に適用する。

附　　則

1　この学則は，2020 年 4 月 1 日から施行する。

2　第 7 条及び第 16 条は，理工学部エネルギー機械工学科の名称変更により改正・施行する。

なお，理工学部エネルギー機械工学科は，2020 年度より学生募集を停止する。ただし，当該学科

は，当該学科に在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし，教育課程に関する規程は，従前によるものとする。

3　第 8 条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は，2020 年度第 1 年次入学生から適用し，2019 年度以前の入学生については，別に定めるもののほか，従前の人材養成目的及び教育課程表による。

4　第 38 条第 1 項の別表Ⅰに定める学費のうち，入学金，授業料，教育充実費及び実験実習料については，2020 年度入学生に適用する。2019 年度以前の入学生については，従前の学費による。

附　　則

1　この学則は，2021 年 4 月 1 日から施行する。

2　第 8 条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は，2021 年度第 1 年次入学生から適用し，2020 年度以前の入学生については，別に定めるもののほか，従前の人材養成目的及び教育課程表による。

附　　則

1　この学則は，2022 年 4 月 1 日から施行する。

2　第 8 条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は，2022 年度第 1 年次入学生から適用し，2021 年度以前の入学生については，別に定めるもののほか，従前の人材養成目的及び教育課程表による。

3　第 26 条に規定する連帯保証人は，2022 年度第 1 年次入学生から適用し，2021 年度以前の入学生については，従前の規程による。

附　　則

1　この学則は，2023 年 4 月 1 日から施行する。

2　第 8 条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は，2023 年度第 1 年次入学生から適用し，2022 年度以前の入学生については，別に定めるもののほか，従前の人材養成目的及び教育課程表による。

3　第 26 条第 2 項に規定する極度額は，2023 年度第 1 年次入学生から適用する。2022 年度の入学生については，従前の規定による。

4　第 38 条第 1 項の別表Ⅰに定める学費のうち，入学金，授業料及び教育充実費については，2023 年度入学生に適用する。2022 年度以前の入学生については，従前の学費による。

附　　則

1　この学則は，2024 年 4 月 1 日から施行する。

2　第 7 条の 14 は，国際教養教育院の設置並びにこれに伴う第 7 条の 7 に定める日本語・日本文化教育センター及び第 7 条の 12 に定めるグローバル教育センターの廃止により，改正・施行する。なお，

日本語・日本文化教育センター及びグローバル教育センターは，2024 年度より学生の新規受入れを停止する。ただし，日本語・日本文化教育センター及びグローバル教育センターは，当該センターに在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし，教育課程に関する規程は，従前によるものとする。

3　第 8 条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は，2024 年度第 1 年次入学生から適用し，2023 年度以前の入学生については，別に定めるもののほか，従前の人材養成目的及び教育課程表による。

4　第 38 条第 1 項の別表Ⅰに定める学費のうち，入学金，授業料及び教育充実費については，2024 年度入学生に適用する。2023 年度以前の入学生については，従前の学費による。

附　　則

1　この学則は，2025 年 4 月 1 日から施行する。

2　第 8 条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は，2025 年度第 1 年次入学生から適用し，2024 年度以前の入学生については，別に定めるもののほか，従前の人材養成目的及び教育課程表による。

3　第 38 条第 1 項の別表Ⅰに定める学費のうち，入学金，授業料及び教育充実費については，2025 年度入学生に適用する。2024 年度以前の入学生については，従前の学費による。

附　　則

1　この学則は，2026 年 4 月 1 日から施行する。

2　第 8 条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は，2026 年度第 1 年次入学生から適用し，2025 年度以前の入学生については，別に定めるもののほか，従前の人材養成目的及び教育課程表による。

3　第 38 条第 1 項の別表Ⅰに定める学費のうち，入学金，授業料及び教育充実費については，2026 年度入学生に適用する。2025 年度以前の入学生については，従前の学費による。

別表Ⅰ　学　　費

入学金，授業料及び教育充実費

（年額）

		入学金	授業料	教育充実費
神学部 文学部 社会学部 法学部 経済学部 商学部 政策学部 グローバル地域文化学部	第1年次	200,000円	803,000円	167,000円
	第2年次		1,003,000円	167,000円
	第3年次		1,003,000円	167,000円
	第4年次		1,003,000円	167,000円
文化情報学部	第1年次	200,000円	916,000円	180,000円
	第2年次		1,116,000円	180,000円
	第3年次		1,116,000円	180,000円
	第4年次		1,116,000円	180,000円
理工学部 （数理システム学科を除く） 生命医科学部	第1年次	200,000円	1,320,000円	252,000円
	第2年次		1,520,000円	252,000円
	第3年次		1,520,000円	252,000円
	第4年次		1,520,000円	252,000円
理工学部 （数理システム学科）	第1年次	200,000円	1,243,000円	252,000円
	第2年次		1,443,000円	252,000円
	第3年次		1,443,000円	252,000円
	第4年次		1,443,000円	252,000円

スポーツ健康科学部	第1年次	200,000円	949,000円	180,000円
	第2年次		1,149,000円	180,000円
	第3年次		1,149,000円	180,000円
	第4年次		1,149,000円	180,000円
心理学部	第1年次	200,000円	968,000円	188,000円
	第2年次		1,168,000円	188,000円
	第3年次		1,168,000円	188,000円
	第4年次		1,168,000円	188,000円
グローバル・コミュニケーション学部	第1年次	200,000円	918,000円	188,000円
	第2年次		1,118,000円	188,000円
	第3年次		1,118,000円	188,000円
	第4年次		1,118,000円	188,000円

（1）授業料及び教育充実費については，各々2分の1を春学期学費及び秋学期学費とする。

（2）4年を超えて在籍した場合(再修生)の学費は，第4年次の学費を適用する。

（3）転入学生及び編入学生の入学金は，200,000円とし，授業料及び教育充実費は，転入学又は編入学を許可された年次に在籍する学生と同額とする。ただし，本学卒業生に限り，入学金は2分の1とする。

（4）再入学生の入学金は，100,000円とし，授業料及び教育充実費は，再入学を許可された年次に在籍する学生と同額とする。ただし，学費未納により学年末をもって除籍された者が翌年度4月30日までに再入学手続をする場合及び春学期末をもって除籍された者が次の秋学期10月31日までに再入学手続をする場合の入学金は，50,000円とする。

特別在籍料

ダブルディグリープログラムによる留学期間	特別在籍料
1　年	300,000 円
1 学期	150,000 円

休学在籍料

休　学　期　間	休学在籍料
1　年	120,000 円
半　年	60,000 円

・ 母国における兵役義務による休学が認められた者は，休学在籍料の納入を要しない。

別表Ⅰの2　履　修　料

履 修 登 録 料	全　　学　　部	25,000 円
履　　修　　料 （1 単位につき）	神，文，社会，法，経済，商，政策，グローバル地域文化学部	22,000 円
	文化情報，スポーツ健康科学部	24,000 円
	理工，生命医科学部	32,000 円
	心理，グローバル・コミュニケーション学部	25,000 円

（1）履修料の総額が当該年度の第 1 年次の「授業料及び教育充実費の合計額」を超える場合は，その額にとどめる。

（2）本学出身者及び前年度から継続の履修生の履修登録料は，2 分の 1 とする。

（3）学期をまたがって履修する場合，履修登録料は，重複して徴収しない。

（4）複数の学部に併願する場合，履修登録料は，重複して徴収しない。

別表Ｉの３　聴　講　料

聴 講 登 録 料	全　　学　　部	25,000 円
聴　　講　　料 （1 単位につき）	神，文，社会，法，経済， 商，政策， グローバル地域文化学部	15,000 円
	文化情報， スポーツ健康科学部	16,000 円
	理工，生命医科学部	21,000 円
	心理，グローバル・ コミュニケーション学部	17,000 円

（１）聴講料の総額が当該年度の第１年次の「授業料及び教育充実費の合計額」を超える場合は，その額にとどめる。

（２）本学出身者及び前年度から継続の聴講生の聴講登録料は，２分の１とする。

（３）学期をまたがって聴講する場合，聴講登録料は，重複して徴収しない。

（４）複数の学部に併願する場合，聴講登録料は，重複して徴収しない。

別表Ｉの４　外国人留学生（特別学生）　入学金及び研修料

	入　学　金	研　修　料 （年額）	研　修　料 （年度内の在学期間が７月以内の場合）
神学部 文学部 社会学部 法学部 経済学部 商学部 政策学部 グローバル地域文化学部	25,000 円	440,000 円	220,000 円
文化情報学部 スポーツ健康科学部	25,000 円	480,000 円	240,000 円
理工学部 生命医科学部	25,000 円	640,000 円	320,000 円
心理学部 グローバル・コミュニケーション学部	25,000 円	500,000 円	250,000 円
国際教養教育院	25,000 円	666,000 円	333,500 円

（１）研修料については，2 分の 1 を春学期学費及び秋学期学費とする。
（２）特別学生が正規課程に進学した場合，正規課程の入学金は特別学生時の入学金相当額を差し引いた額とする。
（３）期間延長者（同志社大学外国人留学生内規第 4 条第 2 項該当者）については，重複して入学金を徴収しない。また，研修料は入学年度の額を適用する。
（４）秋学期入学者の学費については，入学年度の春学期入学者の学費を適用する。
（５）特別学生が，年度内に 20 単位（国際教養教育院は，30 単位）（年度内の在学期間が 7 月以内の場合は 10 単位（国際教養教育院は 15 単位））を超えて学科目登録をする場合は，超過する分 1 単位につき上記入学金及び研修料のほかに，学部授業科目を登録するときは学則別表Ⅰの 2 に定める履修料相当額を，ビジネス研究科ビジネス専攻を除く大学院授業科目を登録するときは大学院学則別表Ⅰの 2 に定める履修料相当額を，ビジネス研究科ビジネス専攻授業科目を登録するときは専門職大学院学則別表Ⅰの 2 に定める履修料相当額を，国際教養教育院科目を登録するときは学則別表Ⅰの 2 に定める神，文，社会，法，経済，商，政策，グローバル地域文化学部の履修料相当額を研修料として納入すること。
（６）研修料の総額が当該年度の第 1 年次の授業料を超える場合は，その額にとどめる。
（７）外国の大学の教育計画で在学する特別学生又は本学と特定の外国の大学との協定により在学する特別学生その他特別の事情のある場合は，部長会の審議を経てこの学費を適用しないときがある。

別表Ｉの５　入学検定料

区　　分			金　　額
一般選抜入学試験 推薦入学試験 転入学試験 編入学試験			35,000 円
大学入学共通テストを利用する入学試験	個別学力検査を課す場合		25,000 円
	個別学力検査を課さない場合		15,000 円
アドミッションズオフィス方式による入学者選抜		第１次審査	25,000 円
		第２次審査	10,000 円
推薦選抜入学試験 自己推薦入学試験 その他特別入学試験			35,000 円
推薦選抜入学試験における二段階選考 自己推薦入学試験における二段階選考 その他特別入学試験における二段階選考		第１次選考	10,000 円
		第２次選考	25,000 円
外国人留学生入学試験 その他外国人留学生特別入学試験 外国人留学生転入学試験 外国人留学生編入学試験	書類選考及び学部独自試験を課す場合		15,000 円
	書類選考のみの場合		10,000 円
グローバル・コミュニケーション学部 （日本語コース）入学試験	書類選考及び学部独自試験を課す場合		15,000 円
	書類選考のみの場合		10,000 円
国際教育インスティテュート（国際教養コース）入学試験			15,000 円

別表Ⅱ　各学部人材養成目的及び教育課程表

全学共通教養教育科目

科　　目	履修単位
○同志社科目	
建学の精神とキリスト教	2
旧約聖書とキリスト教	2
新約聖書とキリスト教	2
キリスト教の歴史 1	2
キリスト教の歴史 2	2
同志社の歴史	2
同志社の良心とダイバーシティ	2
同志社科目特論	2
○人文科学系科目	
宗教学(1)	2
宗教学(2)	2
哲学(1)	2
哲学(2)	2
倫理学(1)	2
倫理学(2)	2
論理学(1)	2
論理学(2)	2
論理的思考の基礎(1)	2
論理的思考の基礎(2)	2
論理的思考の応用(1)	2
論理的思考の応用(2)	2
芸術学(1)	2
芸術学(2)	2
日本史(1)	2
日本史(2)	2
東洋史(1)	2
東洋史(2)	2
西洋史(1)	2
西洋史(2)	2
考古学(1)	2
考古学(2)	2
日本語(1)	2
日本語(2)	2
日本文学(1)	2
日本文学(2)	2
ドイツ文学	2
フランス文学	2
中国文学	2
スペイン文学	2
ラテンアメリカ文学	2
ロシア文学	2
コリア文学	2
○社会科学系科目	
法学	2
政治学	2
経済学 1	2
経済学 2	2
商学	2
○自然科学系科目	
データサイエンス概論	2
データサイエンス基礎	2
データエンジニアリング基礎	2
ＡＩ基礎	2
データサイエンス 1	2
データサイエンス 2	2
データサイエンス・ＡＩ演習	2
サイバーセキュリティ入門	2
数学	2
物理学	2

化学	2
地球と宇宙の科学	2
生命の科学	2
科学史・科学論	2
環境の科学	2
自然科学特論	2
○人間科学系科目	
心理学 1	2
心理学 2	2
保健体育科目	
スポーツ・健康の科学 A	2
スポーツ・健康の科学 B	2
スポーツ・健康の科学 C	2
スポーツ・パフォーマンス 1	1
○国際教養科目	
国際関係学概論	2
国際文化学概論	2
ジョイント・セミナー比較文化論	4
日本とアジア 1	2
日本とアジア 2	2
スタンフォード大学科目	2
ＡＫＰ科目	2
ＫＣＪＳ科目	2
テュービンゲン大学科目	2
日本近現代史	2
世界近現代史	2
世界の宗教	2
Intercultural Studies	2
ＥＵキャンパス特別講義	2
Freshman “Go Global” Program	2
Mid-college “Be Strong” Program	4
Introduction to Japanese Culture in the Global Context	2
Introduction to Japanese Society in the Global Context	2
Introduction to the Nature of Japan and Asia in Global Context	2
Humanities and Global Issues	2
Social Sciences and Global Issues	2
Natural Sciences and Global Issues	2
Japan in Modern World History	2
International Relations in the Postwar Era	2
Issues in Japanese Culture	2
Democracy and Politics : A Comparative Perspective	2
Education in the Age of Globalization	2
Issues in Intercultural Communication	2
Economy and Business in the Global Context 1	2
Economy and Business in the Global Context 2	2
Principles of Economics	2
Environmental Economics and Sustainability	2
Critical Social Issues in Contemporary Japan 1	2
Critical Social Issues in Contemporary Japan 2	2
The Divisions of Identity in Society	2
Statistics for the Social Sciences and Humanities	2
Introduction to Computer Science and Information Technology	2
Human Science in the Global Age	2

Introduction to Quantitative Data Analysis	2
Conservation of Japanese Nature and Environment	2
Mathematics and its History	2
Science of Natural Disasters	2
Advanced Seminar 1	2
Advanced Seminar 2	2
Advanced Seminar 3	2

○外国語教育科目

英語

Intensive Advanced English 1	3
Intensive Advanced English 2	3
Core English (LS) - Intermediate 1	2
Core English (LS) - Intermediate 2	2
Core English (RW) - Intermediate 1	1
Core English (RW) - Intermediate 2	1
Core English (LS) - Pre-Intermediate 1	2
Core English (LS) - Pre-Intermediate 2	2
Core English (RW) - Pre-Intermediate 1	1
Core English (RW) - Pre-Intermediate 2	1
Basic English (LS) 1	2
Basic English (LS) 2	2
Basic English (RW) 1	1
Basic English (RW) 2	1
General Academic English (LS) - Intermediate	1
General Academic English (RW) - Intermediate	1
General Academic English (LS) - Pre-Intermediate	1
General Academic English (RW) - Pre-Intermediate	1
English for Professional Purposes 1	1
English for Professional Purposes 2	1
English for Academic Purposes 1	2
English for Academic Purposes 2	2
English for Academic Purposes 3	2
Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	2
Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	2
Study Abroad Preparation (IELTS) 1	2
Study Abroad Preparation (IELTS) 2	2
サマープログラム・英語 A	4
サマープログラム・英語 B	3
サマープログラム・英語 C	2
スプリングプログラム・英語 A	4
スプリングプログラム・英語 B	3
スプリングプログラム・英語 C	2
スプリングプログラム・英語 D	1
セメスタープログラム・英語 Ⅰ	4
セメスタープログラム・英語 Ⅱ	4

〈英語以外の外国語〉

ドイツ語

ドイツ語入門 Ⅰ	2
ドイツ語入門 Ⅱ	2
ドイツ語応用 1	1
ドイツ語応用 2	1
ドイツ語応用 3	1
ドイツ語応用 4	1
ドイツ語インテンシヴ Ⅰ	3
ドイツ語インテンシヴ Ⅱ	3
ドイツ語インテンシヴ Ⅲ	3
ドイツ語インテンシヴ Ⅳ	3
ドイツ語インテンシヴ Ⅴ	2
ドイツ語インテンシヴ Ⅵ	2

ドイツ語文化事情 1	2
ドイツ語文化事情 2	2
ドイツ語表現法 1	2
ドイツ語表現法 2	2
言語文化原典演習(ドイツ語) 1	2
言語文化原典演習(ドイツ語) 2	2
現代地域事情・上級講読(ドイツ語圏) 1	2
現代地域事情・上級講読(ドイツ語圏) 2	2
サマープログラム・ドイツ語 A	4
サマープログラム・ドイツ語 B	3
スプリングプログラム・ドイツ語	3
セメスタープログラム・ドイツ語 Ⅰ	4
セメスタープログラム・ドイツ語 Ⅱ	4
ドイツ語会話初級 1	1
ドイツ語会話初級 2	1
ドイツ語会話中級 1	1
ドイツ語会話中級 2	1
ドイツ語会話上級 1	1
ドイツ語会話上級 2	1
フランス語	
フランス語入門 Ⅰ	2
フランス語入門 Ⅱ	2
フランス語応用 1	1
フランス語応用 2	1
フランス語応用 3	1
フランス語応用 4	1
フランス語インテンシヴ Ⅰ	3
フランス語インテンシヴ Ⅱ	3
フランス語インテンシヴ Ⅲ	3
フランス語インテンシヴ Ⅳ	3
フランス語インテンシヴ Ⅴ	2
フランス語インテンシヴ Ⅵ	2
フランス語インテンシヴ Ⅶ	2
フランス語インテンシヴ Ⅷ	2
フランス語文化事情 1	2
フランス語文化事情 2	2
フランス語表現法 1	2
フランス語表現法 2	2
言語文化原典演習(フランス語) 1	2
言語文化原典演習(フランス語) 2	2
現代地域事情・上級講読(フランス語圏) 1	2
現代地域事情・上級講読(フランス語圏) 2	2
サマープログラム・フランス語	4
スプリングプログラム・フランス語	3
フランス語会話初級 1	1
フランス語会話初級 2	1
フランス語会話中級 1	1
フランス語会話中級 2	1
フランス語会話上級 1	1
フランス語会話上級 2	1
中国語	
中国語入門 Ⅰ	2
中国語入門 Ⅱ	2
中国語応用 1	1
中国語応用 2	1
中国語応用 3	1
中国語応用 4	1
中国語インテンシヴ Ⅰ	3
中国語インテンシヴ Ⅱ	3
中国語インテンシヴ Ⅲ	3
中国語インテンシヴ Ⅳ	3
中国語インテンシヴ Ⅴ	2
中国語インテンシヴ Ⅵ	2
中国語インテンシヴ Ⅶ	2

中国語インテンシヴ Ⅷ	2
中国語文化事情 1	2
中国語文化事情 2	2
中国語表現法 1	2
中国語表現法 2	2
言語文化原典演習(中国語) 1	2
言語文化原典演習(中国語) 2	2
現代地域事情・上級講読(中国語圏) 1	2
現代地域事情・上級講読(中国語圏) 2	2
サマープログラム・中国語 B	3
スプリングプログラム・中国語	1
中国語会話初級 1	1
中国語会話初級 2	1
中国語会話中級 1	1
中国語会話中級 2	1
中国語会話上級 1	1
中国語会話上級 2	1
スペイン語	
スペイン語入門 Ⅰ	2
スペイン語入門 Ⅱ	2
スペイン語応用 1	1
スペイン語応用 2	1
スペイン語応用 3	1
スペイン語応用 4	1
スペイン語インテンシヴ Ⅰ	3
スペイン語インテンシヴ Ⅱ	3
スペイン語インテンシヴ Ⅲ	3
スペイン語インテンシヴ Ⅳ	3
スペイン語インテンシヴ Ⅴ	2
スペイン語インテンシヴ Ⅵ	2
スペイン語文化事情 1	2
スペイン語文化事情 2	2
スペイン語表現法 1	2
スペイン語表現法 2	2
言語文化原典演習(スペイン語) 1	2
言語文化原典演習(スペイン語) 2	2
現代地域事情・上級講読(スペイン語圏) 1	2
現代地域事情・上級講読(スペイン語圏) 2	2
サマープログラム・スペイン語	4
スプリングプログラム・スペイン語 B	3
スペイン語会話初級 1	1
スペイン語会話初級 2	1
スペイン語会話中級 1	1
スペイン語会話中級 2	1
スペイン語会話上級 1	1
スペイン語会話上級 2	1
ロシア語	
ロシア語入門 Ⅰ	2
ロシア語入門 Ⅱ	2
ロシア語応用 1	1
ロシア語応用 2	1
ロシア語応用 3	1
ロシア語応用 4	1
ロシア語インテンシヴ Ⅰ	3
ロシア語インテンシヴ Ⅱ	3
ロシア語インテンシヴ Ⅲ	3
ロシア語インテンシヴ Ⅳ	3
ロシア語文化事情 1	2
ロシア語文化事情 2	2
ロシア語表現法 1	2
ロシア語表現法 2	2
言語文化原典演習(ロシア語) 1	2
言語文化原典演習(ロシア語) 2	2
現代地域事情・上級講読(ロシア語圏) 1	2

現代地域事情・上級講読(ロシア語圏) 2	2
サマープログラム・ロシア語	4
ロシア語会話初級 1	1
ロシア語会話初級 2	1
ロシア語会話中級 1	1
ロシア語会話中級 2	1
ロシア語会話上級 1	1
ロシア語会話上級 2	1
コリア語	
コリア語入門 Ⅰ	2
コリア語入門 Ⅱ	2
コリア語応用 1	1
コリア語応用 2	1
コリア語応用 3	1
コリア語応用 4	1
コリア語インテンシヴ Ⅰ	3
コリア語インテンシヴ Ⅱ	3
コリア語インテンシヴ Ⅲ	3
コリア語インテンシヴ Ⅳ	3
コリア語インテンシヴ Ⅴ	2
コリア語インテンシヴ Ⅵ	2
コリア語文化事情 1	2
コリア語文化事情 2	2
コリア語表現法 1	2
コリア語表現法 2	2
言語文化原典演習(コリア語) 1	2
言語文化原典演習(コリア語) 2	2
現代地域事情・上級講読(コリア語圏) 1	2
現代地域事情・上級講読(コリア語圏) 2	2
サマープログラム・コリア語	3
スプリングプログラム・コリア語	3
コリア語会話初級 1	1
コリア語会話初級 2	1
コリア語会話中級 1	1
コリア語会話中級 2	1
コリア語会話上級 1	1
コリア語会話上級 2	1
イタリア語	
基礎イタリア語 Ⅰ	1
基礎イタリア語 Ⅱ	1
基礎イタリア語 Ⅲ	1
基礎イタリア語 Ⅳ	1
○ライフデザイン科目	
キャリア開発と学生生活	2
キャリア開発の課題と方法	2
労働市場の動向とキャリア形成	2
インターンシップ入門	2
メガトレンドを読む	2
ＳＤＧｓで考える社会課題とキャリア形成	2
働くということ	2
キャリア形成とインターンシップ	2
ライフスキル・ベーシック	2
キャリアリテラシーとジョブトライアル	2
アントレプレナーシップ論	2
イノベーション基礎	2
○クリエイティブ・ジャパン科目	
京都科目	2
日本の伝統と美	2
日本の伝統と文化	2
日本の伝統と芸能	2
日本の伝統と能楽	2
日本の伝統と芸術	2
Japanese Thought and Religion 1	2
Japanese Thought and Religion 2	2

Tradition and Art in Japan 1	2
Tradition and Art in Japan 2	2
クールジャパン科目	2
Japan Today 1	2
Japan Today 2	2
クリエイティブ・ジャパン科目	2

○トピック科目

トピック科目	2

神　学　部

神　学　科

人材養成目的

神学部神学科は，キリスト教をはじめ，ユダヤ教，イスラーム教という３つの一神教を中心に，宗教を包括的・多角的・学際的に学修することをとおして，人間・言語・歴史・文化・社会に対する広く深い理解と知的洞察力を養うことにより，多様な文明の共存に貢献することを目指して，キリスト教の専門職に関わる人材や，３つの一神教を中心とする宗教についての専門的知見を備えた人材を育成することを目的とする。

科　　目	履修単位

○必修科目

神学入門	2

○選択科目

【１　類】

基礎科目

キリスト教

旧約聖書学入門 1	2
旧約聖書学入門 2	2
新約聖書学入門 1	2
新約聖書学入門 2	2
キリスト教史入門 1	2
キリスト教史入門 2	2
歴史神学概論 1	2
歴史神学概論 2	2
組織神学入門	2
キリスト教倫理	2
実践神学入門 1	2
実践神学入門 2	2
牧会カウンセリング入門	2
教会教育学	2

ユダヤ教

ユダヤ学入門 1	2
ユダヤ学入門 2	2
ユダヤ史概説 1	2
ユダヤ史概説 2	2

イスラーム教

イスラーム学入門 1	2
イスラーム学入門 2	2
イスラーム聖典概説	2
イスラーム史概説	2

宗教学

宗教研究入門	2
仏教概論 1	2
仏教概論 2	2

展開科目

旧約聖書解釈学 1	2
旧約聖書解釈学 2	2
旧約聖書解釈学 3	2
旧約聖書解釈学 4	2
新約聖書解釈学 1	2
新約聖書解釈学 2	2
聖書とその周辺 1	2

聖書とその周辺 2	2
中世キリスト教史 1	2
中世キリスト教史 2	2
近世・宗教改革史 1	2
近世・宗教改革史 2	2
近代キリスト教史 1	2
近代キリスト教史 2	2
日本キリスト教史 1	2
日本キリスト教史 2	2
アメリカ史における宗教	2
ヨーロッパの宗教	2
教義学 1	2
教義学 2	2
現代神学 1	2
現代神学 2	2
宗教とジェンダー 1	2
宗教とジェンダー 2	2
アジアの神学	2
終末論	2
エキュメニカル神学	2
礼拝学入門	2
牧会学入門	2
宣教学	2
牧会カウンセリング応用	2
臨床牧会学 1	2
臨床牧会学 2	2
アメリカ映画とキリスト教	2
賛美歌の研究	2
中世ユダヤ世界 1	2
中世ユダヤ世界 2	2
近現代ユダヤ世界 1	2
近現代ユダヤ世界 2	2
ユダヤ文化論	2
古代近東学	2
イスラーム思想 1	2
イスラーム思想 2	2
イスラーム教の諸宗派	2
初期・古典期のイスラーム教	2
中世・近世のイスラーム教	2
近現代のイスラーム教	2
イスラーム原典文献講読 1	2
イスラーム原典文献講読 2	2
イスラーム原典文献講読 3	2
イスラーム原典文献講読 4	2
諸宗教とキリスト教	2
キリスト教的世界観	2
宗教社会学 1	2
宗教社会学 2	2
宗教人類学 1	2
宗教人類学 2	2
古代イスラエル宗教史 1	2
古代イスラエル宗教史 2	2
日本宗教	2
Study of Monotheistic and Japanese Religions 1	2
Study of Monotheistic and Japanese Religions 2	2
演習関連科目	
演習 1	2
演習 2	2
演習 3	2
演習 4	2
卒業論文	4
トピック科目	

キリスト教史トピック科目	2
組織神学トピック科目	2
実践神学トピック科目	2
キリスト教文化学トピック科目	2
キリスト教文化学トピック科目 A	2
ユダヤ学トピック科目	2
古代近東学トピック科目	2
イスラーム学トピック科目	2
宗教学トピック科目	2
領域横断科目	
神学・一神教研究の技術と方法	2
一神教世界	2
宗教と社会福祉	2
宗教と社会活動	2
宗教と国際社会	2
英書講読 1	2
英書講読 2	2
英書講読 3	2
英書講読 4	2
独書講読 1	2
独書講読 2	2
独書講読 3	2
独書講読 4	2
免許関係科目	
宗教科教育法 A1	2
宗教科教育法 A2	2
宗教科教育法 B	2
宗教科教育法 C	2
教職実践演習(中・高)	2
教育実習指導	1
教育実習 A	2
教育実習 B	2
教育実習 C	4

【２類Ａ群】

選択科目２類Ａ群は，全学共通教養教育科目の外国語教育科目の英語から履修すること。

実用英語技能検定試験等，学部の指定する英語能力に関する判定試験で一定水準以上の成果を修めた者は，4 単位を限度として，選択科目２類Ａ群の単位に認定する。

【２類Ｂ群】

聖書ヘブライ語初級 1	2
聖書ヘブライ語初級 2	2
聖書ヘブライ語中級 1	2
聖書ヘブライ語中級 2	2
聖書ヘブライ語中級 3	2
聖書ヘブライ語中級 4	2
新約ギリシア語初級 1	2
新約ギリシア語初級 2	2
新約ギリシア語中級 1	2
新約ギリシア語中級 2	2
現代ヘブライ語初級 1	2
現代ヘブライ語初級 2	2
現代ヘブライ語中級 1	2
現代ヘブライ語中級 2	2
現代ヘブライ語上級 1	2
現代ヘブライ語上級 2	2
アラム語初級 1	2
アラム語初級 2	2
アラビア語初級 1	2
アラビア語初級 2	2
アラビア語文法	2
アラビア語中級 1	2
アラビア語中級 2	2

アラビア語上級	2
ペルシア語初級 1	2
ペルシア語初級 2	2
ペルシア語中級	2
ペルシア語上級	2
トルコ語初級 1	2
トルコ語初級 2	2
トルコ語中級 1	2
トルコ語中級 2	2
トルコ語上級	2

選択科目２類Ｂ群は，上記の科目のほか，全学共通教養教育科目の外国語教育科目の英語以外の外国語(ドイツ語，フランス語，中国語，スペイン語，ロシア語，コリア語，イタリア語)から履修すること。

なお，外国人留学生が２類Ａ群・Ｂ群か母語を履修しても卒業必要単位に算入しない。

外国人留学生が，日本語・日本文化教育科目のうち，日本語１(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語１(文法Ⅸ)，日本語２(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語２(文法Ⅸ)，ビジネス日本語Ｃ，ビジネス日本語Ｄを修得した場合，母語が英語の者は２類Ａ群の単位に，それ以外の者は２類Ｂ群の単位に代えることができる。

【３　類】

キャリア・ガイダンス・セミナー 1	2
キャリア・ガイダンス・セミナー 2	2
日本の憲法	2
博物館概論	2
博物館経営論	2
博物館資料論	2
博物館情報メディア論	2
博物館教育論	2
博物館資料保存論	2
博物館展示論	2
博物館実習　Ⅰ	2
博物館実習　Ⅱ	1
西洋美術史概説(1)	2
西洋美術史概説(2)	2
日本美術史概説(1)	2
日本美術史概説(2)	2
東洋美術史(1)	2
東洋美術史(2)	2
日本美術史(1)	2
日本美術史(2)	2
考古学概論(1)	2
考古学概論(2)	2
民俗学(1)	2
民俗学(2)	2
西洋文化史概説(1)	2
西洋文化史概説(2)	2
東洋文化史概説(1)	2
東洋文化史概説(2)	2
日本文化史概説(1)	2
日本文化史概説(2)	2
美術史学	2
図像学	2
生涯学習概論	2
図書館情報学概論	2
図書館制度・経営論	2
図書館情報技術論	2
図書館情報サービス論　Ⅰ	2
図書館情報サービス論　Ⅱ	2
児童サービス論	2
情報サービス演習　Ⅰ	2

情報サービス演習 Ⅱ	2
図書館情報資源概論	2
情報資源組織論 Ⅰ	2
情報資源組織論 Ⅱ	2
情報資源組織演習 Ⅰ	2
情報資源組織演習 Ⅱ	2
図書館情報学特論	2
学術情報利用教育論	2
図書館情報資源特論	2
図書・図書館史	2
図書館演習	4
学校図書館サービス論	2
学校教育図書館論	2
学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2
読書と豊かな人間性	2
情報メディアの活用	2

選択科目3類は，上記科目のほか，全学共通教養教育科目(同志社科目，人文科学系科目，社会科学系科目，自然科学系科目，人間科学系科目，国際教養科目，ライフデザイン科目，クリエイティブ・ジャパン科目，トピック科目)，日本語・日本文化教育科目(ただし，履修は外国人留学生に限る)，他学部設置科目，同志社女子大学単位互換科目，早稲田大学交流協定科目，テュービンゲン大学ＩＥＳ科目及び大学コンソーシアム京都単位互換科目から履修すること。

本学部が副専攻科目と認めるものにより，副専攻パッケージを構成する。副専攻科目を履修した場合，当該科目の単位のうち，神学部神学科設置科目は設置されている類の単位とし，その他の科目は3類の単位に算入する。

履修方法

必修科目2単位及び選択科目の1類から70単位以上，2類Ａ群から8単位以上，2類Ｂ群から8単位以上，3類から36単位以上を履修し，合計124単位以上を履修すること。ただし，1類は，基礎科目のうちキリスト教の科目4単位，ユダヤ教の科目2単位，イスラーム教の科目2単位を含むこと。また，2類Ｂ群は，同一の外国語科目4単位を含むこと。

なお，1類で70単位を超えて履修した単位は，8単位を上限として3類の履修単位に算入する。2類Ａ群で8単位，2類Ｂ群で8単位を超えて履修した単位は，3類の履修単位に算入する。また，キリスト教文化学トピック科目Ａは，4単位を上限に卒業必要単位に算入する。

○自由科目

教職概論	2
教育原理	2
発達と学習の心理学	2
教育制度と学校経営	2
学校教育社会学	2
人権教育論	2
教育課程論	2
道徳教育の理論と実践	2
特別活動と総合的な学習の時間の指導法	2
教育方法とＩＣＴ活用の理論と実践	2
生徒・進路指導の理論と方法	2
教育相談の理論と方法	2
特別ニーズ教育論	2
スクールインターンシップ	2
教職コンピュータ基礎	2

自由科目は卒業必要単位に算入しない。

文　学　部

人材養成目的

文学部は，キリスト教主義・自由主義・国際主義に基づく人間形成を根本的な教育理念として，人文学の専門諸領域における教育・研究をとおして，現代のグローバル社会の諸課題に自立的かつ実践的に対応する力を備えた人物を養成することを目的とする。そのために，演習・ゼミなどを中心にした少人数教育をとおして，各専門分野における基礎的な知識を修得したうえで，さらに，副専攻制度等を活用して，より幅広い有機的な教養の涵養を目指す。

英　文　学　科

人材養成目的

英文学科は，主として英米文学・英米文化，英語学・英語教育，およびこれらの関連分野における広範な基礎知識，多彩な学際的思考力・表現力，高度な領域的専門性を備えたグローバル人材の養成を目的としている。その学究過程で，グローバル社会に通用する実践的英語運用能力，複雑化・多様化する状況を正確に判断し，適切に対応しうる分析能力，問題解決能力，精緻な言語表現能力，さらに異文化理解に対する鋭敏な感性と柔軟な汎用的思考力を身につけ，広範な視野と責任ある信条に裏打ちされた主体的かつ協調的行動によって，国内外において広く社会貢献できる人物を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○必修科目	
Academic Skills	2
イギリス文学史 Ⅰ	2
イギリス文学史 Ⅱ	2
英語学 Ⅰ	2
英語学 Ⅱ	2
基礎演習 Ⅰ	2
基礎演習 Ⅱ	2
Junior Seminar Ⅰ	2
Junior Seminar Ⅱ	2
Senior Seminar Ⅰ	2
Senior Seminar Ⅱ	2
卒業論文	8
Listening ＡⅠ	2
Listening ＡⅡ	2
Speaking ＡⅠ	2
Speaking ＡⅡ	2
Reading ＡⅠ	2
Reading ＡⅡ	2
Writing ＡⅠ	2
Writing ＡⅡ	2
Oral Communication Ⅰ	2
Oral Communication Ⅱ	2
Reading ＢⅠ	2
Reading ＢⅡ	2
Writing ＢⅠ	2
Writing ＢⅡ	2
○選択科目Ⅰ	
Ａ　群	
Media in English Ａ(1)	2
Media in English Ａ(2)	2
Media in English Ａ(3)	2
Media in English Ａ(4)	2
Media in English Ａ(5)	2
Media in English Ａ(6)	2
Media in English Ａ(7)	2
Media in English Ａ(8)	2

Media in English A(9)	2
Media in English A(10)	2
Sociocultural Topics in English A(1)	2
Sociocultural Topics in English A(2)	2
Sociocultural Topics in English A(3)	2
Sociocultural Topics in English A(4)	2
Sociocultural Topics in English A(5)	2
Sociocultural Topics in English A(6)	2
Sociocultural Topics in English A(7)	2
Sociocultural Topics in English A(8)	2
Sociocultural Topics in English A(9)	2
Sociocultural Topics in English A(10)	2
Sociocultural Topics in English A(11)	2
Sociocultural Topics in English A(12)	2
Sociocultural Topics in English A(13)	2
Sociocultural Topics in English A(14)	2
Sociocultural Topics in English A(15)	2
通訳入門 Ⅰ	2
通訳入門 Ⅱ	2
翻訳入門	2
翻訳ワークショップ	2
ビジネス英語	2
留学ワークショップ(1)	2
留学ワークショップ(2)	2
English Skills A(1)	2
English Skills A(2)	2
English Skills A(3)	2
English Skills A(4)	2
English Skills A(5)	2
English Skills A(6)	2
English Skills A(7)	2
English Skills A(8)	2
English Skills A(9)	2
English Skills A(10)	2
English Skills A(11)	2
English Skills A(12)	2
English Skills A(13)	2
English Skills A(14)	2
English Skills A(15)	2
English Skills B(1)	2
English Skills B(2)	2
English Skills B(3)	2
English Skills B(4)	2
English Skills B(5)	2

B 群

Media in English B(1)	2
Media in English B(2)	2
Media in English B(3)	2
Media in English B(4)	2
Media in English B(5)	2
Media in English B(6)	2
Media in English B(7)	2
Media in English B(8)	2
Media in English B(9)	2
Media in English B(10)	2
Media in English B(11)	2
Media in English B(12)	2
Media in English B(13)	2
Media in English B(14)	2
Media in English B(15)	2
Media in English B(16)	2
Media in English B(17)	2
Media in English B(18)	2
Media in English B(19)	2

Media in English B(20)	2
Sociocultural Topics in English B(1)	2
Sociocultural Topics in English B(2)	2
Sociocultural Topics in English B(3)	2
Sociocultural Topics in English B(4)	2
Sociocultural Topics in English B(5)	2
Sociocultural Topics in English B(6)	2
Sociocultural Topics in English B(7)	2
Sociocultural Topics in English B(8)	2
Sociocultural Topics in English B(9)	2
Sociocultural Topics in English B(10)	2
Sociocultural Topics in English B(11)	2
Sociocultural Topics in English B(12)	2
Sociocultural Topics in English B(13)	2
Sociocultural Topics in English B(14)	2
Sociocultural Topics in English B(15)	2
Sociocultural Topics in English B(16)	2
Sociocultural Topics in English B(17)	2
Sociocultural Topics in English B(18)	2
Sociocultural Topics in English B(19)	2
Sociocultural Topics in English B(20)	2

C　群

日英文化比較(1)	2
日英文化比較(2)	2
アメリカ文学特論 A(1)	2
アメリカ文学特論 A(2)	2
アメリカ文学特論 A(3)	2
アメリカ文学特論 A(4)	2
アメリカ文学特論 A(5)	2
イギリス文学特論 A(1)	2
イギリス文学特論 A(2)	2
イギリス文学特論 A(3)	2
イギリス文学特論 A(4)	2
イギリス文学特論 A(5)	2
イギリス文学特論 A(6)	2
イギリス文学特論 A(7)	2
イギリス文学特論 A(8)	2
イギリス文学特論 A(9)	2
イギリス文学特論 A(10)	2
英語文化特論 A(1)	2
英語文化特論 A(2)	2
英語文化特論 A(3)	2
英語文化特論 A(4)	2
英語文化特論 A(5)	2
英語文化特論 A(6)	2
英語文化特論 A(7)	2
英語文化特論 A(8)	2
英語文化特論 A(9)	2
英語文化特論 A(10)	2
英語圏文学 A(1)	2
英語圏文学 A(2)	2
英語圏文学 A(3)	2
英語圏文学 A(4)	2
英語圏文学 A(5)	2
キリスト教文学(1)	2
キリスト教文学(2)	2
英語史	2
教職コンピュータ基礎(英語科)	2
イギリス文学 Ⅰ	2
イギリス文学 Ⅱ	2
アメリカ文学 Ⅰ	2
アメリカ文学 Ⅱ	2
英語学特論(1)	2
英語学特論(2)	2

英語学特論(3)	2	イギリス文学特論 B(5)	2
英語学特論(4)	2	イギリス文学特論 B(6)	2
英語学特論(5)	2	イギリス文学特論 B(7)	2
英語学特論(6)	2	イギリス文学特論 B(8)	2
日英語対照研究(1)	2	イギリス文学特論 B(9)	2
日英語対照研究(2)	2	イギリス文学特論 B(10)	2
英語教育基礎論(1)	2	アメリカ文学特論 B(1)	2
英語教育基礎論(2)	2	アメリカ文学特論 B(2)	2
英語教育基礎論(3)	2	アメリカ文学特論 B(3)	2
英語教育基礎論(4)	2	アメリカ文学特論 B(4)	2
英語教育基礎論(5)	2	アメリカ文学特論 B(5)	2
英語科教育法 Ⅰ	2	英語文化特論 B(1)	2
英語科教育法 Ⅱ	2	英語文化特論 B(2)	2
英語科教育法 Ⅲ	2	英語文化特論 B(3)	2
英語科教育法 Ⅳ	2	英語文化特論 B(4)	2
教育実習指導	1	英語文化特論 B(5)	2
教育実習 A	2	英語文化特論 B(6)	2
教育実習 B	2	英語文化特論 B(7)	2
教育実習 C	4	英語文化特論 B(8)	2
教職実践演習(中・高)	2	英語文化特論 B(9)	2
D 群		英語文化特論 B(10)	2
アメリカ文学史 Ⅰ	2	英語圏文学 B(1)	2
アメリカ文学史 Ⅱ	2	英語圏文学 B(2)	2
言語学 Ⅰ	2	英語圏文学 B(3)	2
言語学 Ⅱ	2	英語圏文学 B(4)	2
英語教育学 Ⅰ	2	英語圏文学 B(5)	2
英語教育学 Ⅱ	2	英語統語論 Ⅰ	2
E 群		英語統語論 Ⅱ	2
イギリス文学特論 B(1)	2	英語意味論 Ⅰ	2
イギリス文学特論 B(2)	2	英語意味論 Ⅱ	2
イギリス文学特論 B(3)	2	英語音声学・音韻論 Ⅰ	2
イギリス文学特論 B(4)	2	英語音声学・音韻論 Ⅱ	2

英語教育特論(1)	2
英語教育特論(2)	2
英語教育特論(3)	2
英語教育特論(4)	2
英語教育特論(5)	2

Ｆ　群

ギリシャ語入門　Ⅰ	2
ギリシャ語入門　Ⅱ	2
ギリシャ語講読　Ⅰ	2
ギリシャ語講読　Ⅱ	2
ラテン語入門　Ⅰ	2
ラテン語入門　Ⅱ	2
ラテン語講読　Ⅰ	2
ラテン語講読　Ⅱ	2
卒業論文特殊研究	4

上記科目中から，Ｂ群 2 単位を含み，Ａ・Ｂ群 6 単位以上，Ｄ群 4 単位とＥ群 4 単位を含み，Ｃ・Ｄ・Ｅ群 18 単位以上，合わせて 24 単位以上を履修すること。ただし，Ｂ群は 4 単位を上限とする。

○選択科目Ⅱ

教職概論	2
教育原理	2
発達と学習の心理学	2
教育制度と学校経営	2
学校教育社会学	2
人権教育論	2
教育課程論	2
道徳教育の理論と実践	2
特別活動と総合的な学習の時間の指導法	2
教育方法とＩＣＴ活用の理論と実践	2
生徒・進路指導の理論と方法	2
教育相談の理論と方法	2
スクールインターンシップ	2
学校教育文化論(1)	2
学校教育文化論(2)	2
生涯教育計画論	2
多文化共生社会と生涯学習	2
学校教育図書館論	2
読書と豊かな人間性	2
生涯学習概論	2
図書館情報学概論	2
図書館情報技術論	2
情報資源組織論　Ⅰ	2
情報資源組織論　Ⅱ	2
学術情報利用教育論	2
図書・図書館史	2
学校図書館サービス論	2

選択科目Ⅱは，上記の科目のほか，全学共通教養教育科目のうち，学科が定める科目から履修する。

外国語科目は，全学共通教養教育科目(外国語教育科目)のドイツ語，フランス語，スペイン語，ロシア語，中国語及びコリア語から 1 外国語を選択し 8 単位を履修すること。なお，各外国語の会話科目は，外国語科目の必要要件には算入しない。

他学科，他学部設置科目，同志社女子大学単位互換科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目及びテュービンゲン大学ＩＥＳ科目から履修した単位は，選択科目Ⅱの単位として卒業単位に算入する。

スポーツ・パフォーマンス 1 は，4 単位を上限として卒業単位に算入する。

以上，必修科目 58 単位，選択科目Ⅰ及び選択科目Ⅱ(外国語科目 8 単位を含む)から 66 単位以上，合計 124 単位以上を履修すること。なお，国際専修コースについては，別途定めた国際教育インスティテュート科目から

20 単位以上(上限 30 単位)を履修すること。履修した単位は，選択科目Ⅱの単位として算入する。

上記にかかわらず，国際教養コースについては，国際教育インスティテュートに示された履修方法に従って履修すること。

○外国人留学生科目

外国人留学生科目の履修は，外国人留学生のうち，外国人留学生入学試験により入学した者に限る。

外国人留学生科目は，日本語・日本文化教育科目のうち，日本語 1(アカデミック・ライティングⅢ～Ⅴ)，日本語 1(オーラル・コミュニケーションＡⅠ・Ⅱ)，日本語 1(オーラル・コミュニケーションＢⅠ～Ⅴ)，日本語 1(文法Ⅰ～Ⅴ)，日本語 2(アカデミック・ライティングⅢ～Ⅴ)，日本語 2(オーラル・コミュニケーションＡⅠ・Ⅱ)，日本語 2(オーラル・コミュニケーションＢⅠ～Ⅴ)，日本語 2(文法Ⅰ～Ⅴ)，ビジネス日本語Ａ，ビジネス日本語Ｂを除く科目から選択履修すること。

履修した単位は選択科目Ⅱの単位に算入する。なお，日本語 1，日本語 2，ビジネス日本語Ｃ，ビジネス日本語Ｄの単位は選択科目Ⅱの外国語教育科目の単位に代えることができる。

○自由科目

特別ニーズ教育論	2
学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2
情報メディアの活用	2
図書館制度・経営論	2
図書館情報サービス論 Ⅰ	2
図書館情報サービス論 Ⅱ	2
児童サービス論	2
情報サービス演習 Ⅰ	2
情報サービス演習 Ⅱ	2
図書館情報資源概論	2
情報資源組織演習 Ⅰ	2
情報資源組織演習 Ⅱ	2
図書館情報学特論	2
図書館情報資源特論	2
図書館演習	4

自由科目は卒業単位に算入しない。

哲　学　科

人材養成目的

哲学科は，西洋の哲学，倫理学，宗教などの歴史，思想，意義について，古典の講読，精神史の研究及び現代の諸問題の批判的検討・討論をとおして，基礎的な教養を土台にして，世界と人間の意味を根本的原則的に考えぬく力や正しく行動する力，さらに社会の問題を的確に把握分析する力を身につけて，教育，文化，メディアをはじめ，公共機関や国際機関など，さらに広く産業界全体において活躍する人物を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位

○必修科目

人文演習(1)	2
人文演習(2)	2
哲学基礎演習(1)	2
哲学基礎演習(2)	2
演習 Ⅰ(1)	2
演習 Ⅰ(2)	2
哲学概論(1)	2
哲学概論(2)	2
倫理学概論(1)	2
倫理学概論(2)	2
演習 Ⅱ(1)	2
演習 Ⅱ(2)	2

卒業論文	12

○選択科目Ⅰ

A　群(講読系科目)

英書講読入門　Ⅰ	1
英書講読入門　Ⅱ	1
英書講読　Ⅰ	2
英書講読　Ⅱ	2
英書講読　Ⅲ	2
英書講読　Ⅳ	2
独書講読入門　Ⅰ	1
独書講読入門　Ⅱ	1
独書講読　Ⅰ	2
独書講読　Ⅱ	2
独書講読　Ⅲ	2
独書講読　Ⅳ	2
仏書講読入門　Ⅰ	1
仏書講読入門　Ⅱ	1
仏書講読　Ⅰ	2
仏書講読　Ⅱ	2
仏書講読　Ⅲ	2
仏書講読　Ⅳ	2
ラテン語講読　Ⅰ	2
ラテン語講読　Ⅱ	2

A群から2言語を選択し，ひとつの言語につき2単位以上履修したうえで，8単位以上履修すること。

B　群(思想史系科目)

西洋古代中世哲学史(1)	2
西洋古代中世哲学史(2)	2
西洋近世哲学史(1)	2
西洋近世哲学史(2)	2
西洋倫理学史(1)	2
西洋倫理学史(2)	2
キリスト教精神史(1)	2
キリスト教精神史(2)	2

B群から8単位以上履修すること。

C　群(領域系科目)

近代哲学(1)	2
近代哲学(2)	2
現代哲学(1)	2
現代哲学(2)	2
科学哲学(1)	2
科学哲学(2)	2
歴史哲学(1)	2
歴史哲学(2)	2
社会哲学(1)	2
社会哲学(2)	2
宗教哲学(1)	2
宗教哲学(2)	2
社会倫理学(1)	2
社会倫理学(2)	2
教育哲学(1)	2
教育哲学(2)	2
哲学特論(1)	2
哲学特論(2)	2
倫理学特論(1)	2
倫理学特論(2)	2
宗教学特論(1)	2
宗教学特論(2)	2

C群から16単位以上履修すること。

D　群(複合領域系科目)

宗教学(1)	2
宗教学(2)	2
仏教学(1)	2
仏教学(2)	2

東洋哲学思想史(1)	2
東洋哲学思想史(2)	2
東洋倫理思想史(1)	2
東洋倫理思想史(2)	2
ラテン語入門 Ⅰ	2
ラテン語入門 Ⅱ	2
ギリシャ語入門 Ⅰ	2
ギリシャ語入門 Ⅱ	2
ギリシャ語講読 Ⅰ	2
ギリシャ語講読 Ⅱ	2

D群から4単位以上履修すること。

○選択科目Ⅱ

教職概論	2
教育原理	2
発達と学習の心理学	2
教育制度と学校経営	2
学校教育社会学	2
人権教育論	2
教育課程論	2
社会科・地理歴史科教育法	2
社会科・公民科教育法	2
社会科教育法 1	2
社会科教育法 2	2
地理歴史科教育法	2
公民科教育法	2
道徳教育の理論と実践	2
特別活動と総合的な学習の時間の指導法	2
教育方法とＩＣＴ活用の理論と実践	2
生徒・進路指導の理論と方法	2
教育相談の理論と方法	2
教育実習指導	1
教育実習 A	2
教育実習 B	2
教育実習 C	4
教職実践演習(中・高)	2
スクールインターンシップ	2
学校教育文化論(1)	2
学校教育文化論(2)	2
生涯教育計画論	2
多文化共生社会と生涯学習	2
学校教育図書館論	2
読書と豊かな人間性	2
生涯学習概論	2
図書館情報学概論	2
図書館情報技術論	2
情報資源組織論 Ⅰ	2
情報資源組織論 Ⅱ	2
学術情報利用教育論	2
図書・図書館史	2
学校図書館サービス論	2
日本文化史概説(1)	2
日本文化史概説(2)	2
日本史学史(1)	2
日本史学史(2)	2
日本美術史(1)	2
日本美術史(2)	2
日本社会史(1)	2
日本社会史(2)	2
考古学概論(1)	2
考古学概論(2)	2
西洋文化史概説(1)	2
西洋文化史概説(2)	2
東洋文化史概説(1)	2
東洋文化史概説(2)	2

西洋社会史(1)	2
西洋社会史(2)	2
西洋古代史(1)	2
西洋古代史(2)	2
西洋中世史(1)	2
西洋中世史(2)	2
西洋近代史(1)	2
西洋近代史(2)	2
アメリカ史(1)	2
アメリカ史(2)	2
東洋美術史(1)	2
東洋美術史(2)	2
人文地理学(1)	2
人文地理学(2)	2
地理学総論(1)	2
地理学総論(2)	2
地誌学	2
日本の憲法	2
社会学概論	4
経済原論	4
心理学概論(1)	2
心理学概論(2)	2

選択科目Ⅱは，上記の科目のほか，全学共通教養教育科目(「宗教学(1)，(2)」を除く)，他学部・他学科科目，同志社女子大学単位互換科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目及びテュービンゲン大学ＩＥＳ科目から履修する。

○選択科目Ⅲ

選択科目Ⅱのうち，全学共通教養教育科目(外国語教育科目)の英語，ドイツ語，フランス語から 2 外国語を選択し，各 8 単位，合計 16 単位以上を履修すること。

以上，必修科目 36 単位(卒業論文 12 単位を含む)，選択科目Ⅰ36 単位以上，選択科目Ⅲ16 単位以上，合計 124 単位以上を履修すること。なお，国際専修コースについては，別途定めた国際教育インスティテュート科目から 20 単位以上(上限 30 単位)を履修すること。履修した単位は，選択科目Ⅱの単位として算入する。

上記にかかわらず，国際教養コースについては，国際教育インスティテュートに示された履修方法に従って履修すること。

○外国人留学生科目

外国人留学生科目の履修は，外国人留学生のうち，外国人留学生入学試験により入学した者に限る。

外国人留学生科目は，日本語・日本文化教育科目のうち，日本語 1(アカデミック・ライティングⅢ～Ⅴ)，日本語 1(オーラル・コミュニケーションＡⅠ・Ⅱ)，日本語 1(オーラル・コミュニケーションＢⅠ～Ⅴ)，日本語 1(文法Ⅰ～Ⅴ)，日本語 2(アカデミック・ライティングⅢ～Ⅴ)，日本語 2(オーラル・コミュニケーションＡⅠ・Ⅱ)，日本語 2(オーラル・コミュニケーションＢⅠ～Ⅴ)，日本語 2(文法Ⅰ～Ⅴ)，ビジネス日本語Ａ，ビジネス日本語Ｂを除く科目から選択履修すること。

履修した単位のうち，日本語 1，日本語 2，ビジネス日本語Ｃ，ビジネス日本語Ｄを除く科目の単位は選択科目Ⅱの単位に算入する。日本語 1，日本語 2，ビジネス日本語Ｃ，ビジネス日本語Ｄの単位は，8 単位を上限として選択科目Ⅲの外国語教育科目の単位として算入する。

○自由科目

特別ニーズ教育論	2
学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2
情報メディアの活用	2
図書館制度・経営論	2

図書館情報サービス論 Ⅰ	2
図書館情報サービス論 Ⅱ	2
児童サービス論	2
情報サービス演習 Ⅰ	2
情報サービス演習 Ⅱ	2
図書館情報資源概論	2
情報資源組織演習 Ⅰ	2
情報資源組織演習 Ⅱ	2
図書館情報学特論	2
図書館情報資源特論	2
図書館演習	4
教職コンピュータ基礎	2

自由科目は卒業単位に算入しない。

美 学 芸 術 学 科

人材養成目的

美学芸術学科は，美学・芸術学・芸術史（美術史）の三領域について，美や芸術の本質や多様性，様々な芸術ジャンルの原理，及び作品の歴史を総合的に学ぶことをとおして，今日的な問題にも対処しうる，柔軟な思考力と磨き抜かれた感性と豊かな表現力を身につけることによって，マスコミ，出版，広告，画廊，官公庁等において，さらには大学院を経て美術館や博物館，大学等において活躍しうる人物を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○必修科目	
美学芸術学基礎演習 Ⅰ	2
美学芸術学基礎演習 Ⅱ	2
美学概論(1)	2
美学概論(2)	2
芸術学概論(1)	2
芸術学概論(2)	2
芸術史概論(1)	2
芸術史概論(2)	2
英書講読(1)	2
英書講読(2)	2
演習 Ⅰ(1)	2
演習 Ⅰ(2)	2
演習 Ⅱ(1)	2
演習 Ⅱ(2)	2
卒業論文	12
○選択科目Ⅰ	
A　群	
独書講読(1)	2
独書講読(2)	2
仏書講読(1)	2
仏書講読(2)	2
漢文講読(1)	2
漢文講読(2)	2

A群から独書，仏書，漢文のうちいずれかを選択し，4単位以上履修すること。

B　群	
西洋美術史概説(1)	2
西洋美術史概説(2)	2
日本美術史概説(1)	2
日本美術史概説(2)	2
美学特論(1)	2
美学特論(2)	2
美学特論(3)	2
美学特論(4)	2
美学特論(5)	2
美学特論(6)	2
芸術学特論(1)	2
芸術学特論(2)	2

芸術学特論(3)	2
芸術学特論(4)	2
芸術学特論(5)	2
芸術学特論(6)	2
芸術学特論(7)	2
芸術学特論(8)	2
芸術学特論(9)	2
芸術学特論(10)	2
東洋美術史(1)	2
東洋美術史(2)	2
美術史特論(1)	2
美術史特論(2)	2
美術史特論(3)	2
美術史特論(4)	2
美術史特論(5)	2
美術史特論(6)	2
文献講読(1)(英)	2
文献講読(2)(英)	2
文献講読(3)(独)	2
文献講読(4)(独)	2
文献講読(5)(仏)	2
文献講読(6)(仏)	2
文献講読(7)(漢)	2
文献講読(8)(漢)	2
文献講読(9)(古)	2
文献講読(10)(伊)	2
文献講読(11)(古)	2
文献講読(12)(伊)	2
音楽学概論 Ⅰ	2
音楽学概論 Ⅱ	2
文芸学概論 Ⅰ	2
文芸学概論 Ⅱ	2

B群から 30 単位以上履修すること。

C 群

芸術学(1)	2
芸術学(2)	2
演劇学概論 Ⅰ	2
演劇学概論 Ⅱ	2
映画学概論 Ⅰ	2
映画学概論 Ⅱ	2
デザイン理論 Ⅰ	2
デザイン理論 Ⅱ	2
芸術批評論 Ⅰ	2
芸術批評論 Ⅱ	2
現代芸術論 Ⅰ	2
現代芸術論 Ⅱ	2
芸術情報論 Ⅰ	2
芸術情報論 Ⅱ	2
美学芸術学実地演習 Ⅰ	2
美学芸術学実地演習 Ⅱ	2

C群から 12 単位以上履修すること。

○選択科目Ⅱ

教職概論	2
教育原理	2
発達と学習の心理学	2
教育制度と学校経営	2
学校教育社会学	2
人権教育論	2
教育課程論	2
社会科・地理歴史科教育法	2
社会科・公民科教育法	2
社会科教育法 1	2
社会科教育法 2	2
地理歴史科教育法	2

公民科教育法	2	日本社会史(2)	2
道徳教育の理論と実践	2	考古学概論(1)	2
特別活動と総合的な学習の時間の指導法	2	考古学概論(2)	2
教育方法とＩＣＴ活用の理論と実践	2	西洋文化史概説(1)	2
生徒・進路指導の理論と方法	2	西洋文化史概説(2)	2
教育相談の理論と方法	2	東洋文化史概説(1)	2
教育実習指導	1	東洋文化史概説(2)	2
教育実習 Ａ	2	西洋社会史(1)	2
教育実習 Ｂ	2	西洋社会史(2)	2
教育実習 Ｃ	4	西洋古代史(1)	2
教職実践演習(中・高)	2	西洋古代史(2)	2
学校教育文化論(1)	2	西洋中世史(1)	2
学校教育文化論(2)	2	西洋中世史(2)	2
生涯教育計画論	2	西洋近代史(1)	2
多文化共生社会と生涯学習	2	西洋近代史(2)	2
学校教育図書館論	2	アメリカ史(1)	2
読書と豊かな人間性	2	アメリカ史(2)	2
生涯学習概論	2	人文地理学(1)	2
図書館情報学概論	2	人文地理学(2)	2
図書館情報技術論	2	地理学総論(1)	2
情報資源組織論 Ⅰ	2	地理学総論(2)	2
情報資源組織論 Ⅱ	2	地誌学	2
学術情報利用教育論	2	日本の憲法	2
図書・図書館史	2	社会学概論	4
学校図書館サービス論	2	経済原論	4
日本文化史概説(1)	2	哲学概論(1)	2
日本文化史概説(2)	2	哲学概論(2)	2
日本史学史(1)	2	倫理学概論(1)	2
日本史学史(2)	2	倫理学概論(2)	2
日本美術史(1)	2	心理学概論(1)	2
日本美術史(2)	2	心理学概論(2)	2
日本社会史(1)	2	東洋哲学思想史(1)	2

東洋哲学思想史(2)	2
東洋倫理思想史(1)	2
東洋倫理思想史(2)	2

選択科目Ⅱは，上記の科目のほか，全学共通教養教育科目(ただし，「芸術学(1)，(2)」を除く)，他学部・他学科科目，同志社女子大学単位互換科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目及びテュービンゲン大学ＩＥＳ科目のうち，学科が定める科目から履修する。

○選択科目Ⅲ

選択科目Ⅲは，全学共通教養教育科目(外国語教育科目)のうち，学科が定める科目から履修する。

英語科目から 8 単位履修すること。更に選択科目Ⅱよりドイツ語，フランス語，中国語，コリア語から 1 外国語を選択し 8 単位を履修すること。なお，各外国語の会話科目は選択科目Ⅲには算入しない。

以上，必修科目 40 単位(卒業論文 12 単位を含む)，選択科目Ⅰ，Ⅱから 68 単位以上，選択科目Ⅲから 16 単位以上，合計 124 単位を履修すること。なお，国際専修コースについては，別途定めた国際教育インスティテュート科目から 20 単位以上(上限 30 単位)を履修すること。履修した単位は，選択科目Ⅱの単位として算入する。

上記にかかわらず，国際教養コースについては，国際教育インスティテュートに示された履修方法に従って履修すること。

○外国人留学生科目

外国人留学生科目の履修は，外国人留学生のうち，外国人留学生入学試験により入学した者に限る。

外国人留学生科目は，日本語・日本文化教育科目のうち，日本語 1(アカデミック・ライティングⅢ～Ⅴ)，日本語 1(オーラル・コミュニケーションＡⅠ・Ⅱ)，日本語 1(オーラル・コミュニケーションＢⅠ～Ⅴ)，日本語 1(文法Ⅰ～Ⅴ)，日本語 2(アカデミック・ライティングⅢ～Ⅴ)，日本語 2(オーラル・コミュニケーションＡⅠ・Ⅱ)，日本語 2(オーラル・コミュニケーションＢⅠ～Ⅴ)，日本語 2(文法Ⅰ～Ⅴ)，ビジネス日本語Ａ，ビジネス日本語Ｂを除く科目から選択履修すること。

履修した単位は選択科目Ⅱの単位に算入する。なお，日本語 1，日本語 2，ビジネス日本語Ｃ，ビジネス日本語Ｄの単位は選択科目Ⅲの外国語教育科目の単位に代えることができる。

○自由科目

特別ニーズ教育論	2
スクールインターンシップ	2
学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2
情報メディアの活用	2
図書館制度・経営論	2
図書館情報サービス論 Ⅰ	2
図書館情報サービス論 Ⅱ	2
児童サービス論	2
情報サービス演習 Ⅰ	2
情報サービス演習 Ⅱ	2
図書館情報資源概論	2
情報資源組織演習 Ⅰ	2
情報資源組織演習 Ⅱ	2
図書館情報学特論	2
図書館情報資源特論	2
図書館演習	4
教職コンピュータ基礎	2

自由科目は卒業単位に算入しない。

文　化　史　学　科

人材養成目的

文化史学科は，日本や世界の歴史について，政治・経済・社会・宗教・芸術・日常生活・心性など人間活動の総体を有機的に把握する文化史的研究をとおして，幅広い歴史的知識や思考能力を身につけて，社会の諸分野において活躍する人物を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○必修科目	
文化史基礎演習(1)	2
文化史基礎演習(2)	2
文化史学概論(1)	2
文化史学概論(2)	2
日本文化史演習　Ⅰ(1)	2
日本文化史演習　Ⅰ(2)	2
日本文化史演習　Ⅱ(1)	2
日本文化史演習　Ⅱ(2)	2
演習　ＡⅠ(1)	2
演習　ＡⅠ(2)	2
演習　ＡⅡ(1)	2
演習　ＡⅡ(2)	2
西洋・東洋文化史演習　Ⅰ(1)	2
西洋・東洋文化史演習　Ⅰ(2)	2
西洋・東洋文化史演習　Ⅱ(1)	2
西洋・東洋文化史演習　Ⅱ(2)	2
演習　ＢⅠ(1)	2
演習　ＢⅠ(2)	2
演習　ＢⅡ(1)	2
演習　ＢⅡ(2)	2
卒業論文	12

日本文化史演習Ⅰ(1)・(2)，日本文化史演習Ⅱ(1)・(2)，演習ＡⅠ(1)・(2)，演習ＡⅡ(1)・(2)は日本文化史コースのみ，西洋・東洋文化史演習Ⅰ(1)・(2)，西洋・東洋文化史演習Ⅱ(1)・(2)，演習ＢⅠ(1)・(2)，演習ＢⅡ(1)・(2)は西洋・東洋文化史コースのみ履修できる。

○選択科目Ⅰ	
Ａ　群(日本文化史科目)	
日本文化史概説(1)	2
日本文化史概説(2)	2
日本史学史(1)	2
日本史学史(2)	2
日本美術史(1)	2
日本美術史(2)	2
日本思想史(1)	2
日本思想史(2)	2
日本社会史(1)	2
日本社会史(2)	2
考古学概論(1)	2
考古学概論(2)	2
民俗学(1)	2
民俗学(2)	2
古文書学(1)	2
古文書学(2)	2
日本地域史研究(1)	2
日本地域史研究(2)	2
Ｂ　群(西洋・東洋文化史科目)	
西洋文化史概説(1)	2
西洋文化史概説(2)	2
東洋文化史概説(1)	2
東洋文化史概説(2)	2
中東イスラーム史概説(1)	2
中東イスラーム史概説(2)	2
西洋思想史(1)	2
西洋思想史(2)	2
西洋社会史(1)	2

西洋社会史(2) 2
西洋古代史(1) 2
西洋古代史(2) 2
西洋中世史(1) 2
西洋中世史(2) 2
西洋近代史(1) 2
西洋近代史(2) 2
アメリカ史(1) 2
アメリカ史(2) 2
中東イスラーム史特論(1) 2
中東イスラーム史特論(2) 2
中東イスラーム史特論(3) 2
中東イスラーム史特論(4) 2
東アジア史特論(1) 2
東アジア史特論(2) 2
東アジア史特論(3) 2
東アジア史特論(4) 2
東南・南アジア史特論(1) 2
東南・南アジア史特論(2) 2
東洋文化史演習(1) 2
東洋文化史演習(2) 2
西洋・東洋文化史実地演習 2

C　群(関連・展開科目)

キリスト教精神史(1) 2
キリスト教精神史(2) 2
東洋美術史(1) 2
東洋美術史(2) 2
文化史特論(1) 2
文化史特論(2) 2
文化史特論(3) 2
文化史特論(4) 2
文化史特論(5) 2
文化史特論(6) 2
文化史特論(7) 2
文化史特論(8) 2
文化史演習 C(1) 2
文化史演習 C(2) 2
演習 C(1) 2
演習 C(2) 2
考古学実習(1) 2
考古学実習(2) 2
博物館概論 2
博物館経営論 2
博物館資料論 2
博物館情報メディア論 2
博物館教育論 2
博物館資料保存論 2
博物館展示論 2
人文地理学(1) 2
人文地理学(2) 2
地理学総論(1) 2
地理学総論(2) 2
地誌学 2
英書講読 A(1) 2
英書講読 A(2) 2

英書講読A(1)・(2)は日本文化史コースのみ履修できる。

D　群(西洋・東洋文化史外国書講読)

外国書講読 〔英〕(1) 2
外国書講読 〔英〕(2) 2
外国書講読 〔英〕(3) 2
外国書講読 〔英〕(4) 2
外国書講読 〔独〕(1) 2
外国書講読 〔独〕(2) 2

外国書講読 〔独〕(3)	2
外国書講読 〔独〕(4)	2
外国書講読 〔仏〕(1)	2
外国書講読 〔仏〕(2)	2
外国書講読 〔仏〕(3)	2
外国書講読 〔仏〕(4)	2
外国書講読 〔漢〕(1)	2
外国書講読 〔漢〕(2)	2
外国書講読 〔漢〕(3)	2
外国書講読 〔漢〕(4)	2

D群の外国書講読は西洋・東洋文化史コースのみ履修できる。

日本文化史コースは，A群 16 単位を含みA・B群から 28 単位以上，更にA・B・C群及び他学部，他学科の歴史関係科目より 12 単位以上，選択科目Ⅰ合計 40 単位以上を履修すること。

西洋・東洋文化史コースは，B群から 16 単位以上，D群から 8 単位以上，更にA・B・C群及び他学部，他学科の歴史関係科目より 16 単位以上，選択科目Ⅰ合計 40 単位以上を履修すること。

○選択科目Ⅱ

教職概論	2
教育原理	2
発達と学習の心理学	2
教育制度と学校経営	2
学校教育社会学	2
人権教育論	2
教育課程論	2
社会科・地理歴史科教育法	2
社会科・公民科教育法	2
社会科教育法 1	2
社会科教育法 2	2
地理歴史科教育法	2
公民科教育法	2
道徳教育の理論と実践	2
特別活動と総合的な学習の時間の指導法	2
教育方法とＩＣＴ活用の理論と実践	2
生徒・進路指導の理論と方法	2
教育相談の理論と方法	2
教育実習指導	1
教育実習 A	2
教育実習 B	2
教育実習 C	4
教職実践演習(中・高)	2
スクールインターンシップ	2
学校教育文化論(1)	2
学校教育文化論(2)	2
生涯教育計画論	2
多文化共生社会と生涯学習	2
学校教育図書館論	2
読書と豊かな人間性	2
生涯学習概論	2
図書館情報学概論	2
図書館情報技術論	2
情報資源組織論 Ⅰ	2
情報資源組織論 Ⅱ	2
学術情報利用教育論	2
図書・図書館史	2
学校図書館サービス論	2
日本の憲法	2
社会学概論	4
経済原論	4
哲学概論(1)	2
哲学概論(2)	2

倫理学概論(1)	2
倫理学概論(2)	2
心理学概論(1)	2
心理学概論(2)	2
東洋哲学思想史(1)	2
東洋哲学思想史(2)	2
東洋倫理思想史(1)	2
東洋倫理思想史(2)	2
パーソナリティ心理学(感情・人格心理学Ⅱ)	2

〈外国語教育科目〉

イタリア語(文化史)

イタリア語入門Ⅰ(文化史)	2
イタリア語入門Ⅱ(文化史)	2
イタリア語応用１(文化史)	1
イタリア語応用２(文化史)	1
イタリア語応用３(文化史)	1
イタリア語応用４(文化史)	1

選択科目Ⅱは，上記の科目のほか，全学共通教養教育科目，他学部・他学科科目，同志社女子大学単位互換科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目及びテュービンゲン大学ＩＥＳ科目のうち，学科が定める科目から履修する。

外国語教育科目は，英語から 8 単位履修すること。更に日本文化史コースはドイツ語，フランス語，中国語，スペイン語，ロシア語，コリア語から 1 外国語を選択し 8 単位以上を履修すること。西洋・東洋文化史コースはドイツ語，フランス語，中国語，スペイン語，ロシア語，コリア語，および上記のイタリア語(文化史)から 1 外国語を選択し 8 単位以上を履修すること。

以上，必修科目 36 単位(卒業論文 12 単位を含む)，選択科目Ⅰ40 単位以上，選択科目Ⅱ(外国語科目)16 単位以上，合計 124 単位以上を履修すること。なお，国際専修コースについては，別途定めた国際教育インスティテュート科目から 20 単位以上(上限 30 単位)を履修すること。履修した単位は，選択科目Ⅱの単位として算入する。

上記にかかわらず，国際教養コースについては，国際教育インスティテュートに示された履修方法に従って履修すること。

○外国人留学生科目

外国人留学生科目の履修は，外国人留学生のうち，外国人留学生入学試験により入学した者に限る。

外国人留学生科目は，日本語・日本文化教育科目のうち，日本語 1(アカデミック・ライティングⅢ～Ⅴ)，日本語 1(オーラル・コミュニケーションＡⅠ・Ⅱ)，日本語 1(オーラル・コミュニケーションＢⅠ～Ⅴ)，日本語 1(文法Ⅰ～Ⅴ)，日本語 2(アカデミック・ライティングⅢ～Ⅴ)，日本語 2(オーラル・コミュニケーションＡⅠ・Ⅱ)，日本語 2(オーラル・コミュニケーションＢⅠ～Ⅴ)，日本語 2(文法Ⅰ～Ⅴ)，ビジネス日本語Ａ，ビジネス日本語Ｂを除く科目から選択履修すること。

履修した単位は選択科目Ⅱの単位に算入する。なお，日本語 1，日本語 2，ビジネス日本語Ｃ，ビジネス日本語Ｄの単位は選択科目Ⅱの外国語教育科目の単位に代えることができる。

○自由科目

特別ニーズ教育論	2
学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2
情報メディアの活用	2
図書館制度・経営論	2
図書館情報サービス論 Ⅰ	2
図書館情報サービス論 Ⅱ	2
児童サービス論	2

情報サービス演習 Ⅰ	2
情報サービス演習 Ⅱ	2
図書館情報資源概論	2
情報資源組織演習 Ⅰ	2
情報資源組織演習 Ⅱ	2
図書館情報学特論	2
図書館情報資源特論	2
図書館演習	4
教職コンピュータ基礎	2
博物館実習 Ⅰ	2
博物館実習 Ⅱ	1

自由科目は卒業単位に算入しない。

国 文 学 科

人材養成目的

国文学科は，古代から現代に至る幅広い時代の知の結晶である日本文学と日本語について，実証的かつ理論的に探求し，日本文化についての理解を深めることをとおして，精緻な読解力，卓越した自己表現力，知識や情報の創造的な運用能力を備えた，世界と真に対話できる総合的な人間力を身につけて，教育界，マスコミ・出版界をはじめとする，広範な分野で社会に貢献し，国際化にも対応できる人物を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○必修科目	
日本文学基礎演習(1)	2
日本文学基礎演習(2)	2
日本文学研究演習(1)	2
日本文学研究演習(2)	2
演習 Ⅰ(1)	2
演習 Ⅰ(2)	2
演習 Ⅱ(1)	2
演習 Ⅱ(2)	2
卒業論文	12
○選択科目Ⅰ	
A　群(講読科目)	
日本文学講読(上代A)	2
日本文学講読(上代B)	2
日本文学講読(上代C)	2
日本文学講読(上代D)	2
日本文学講読(中古A)	2
日本文学講読(中古B)	2
日本文学講読(中古C)	2
日本文学講読(中古D)	2
日本文学講読(中世A)	2
日本文学講読(中世B)	2
日本文学講読(中世C)	2
日本文学講読(中世D)	2
日本文学講読(近世A)	2
日本文学講読(近世B)	2
日本文学講読(近世C)	2
日本文学講読(近世D)	2
日本文学講読(近現代A)	2
日本文学講読(近現代B)	2
日本文学講読(近現代C)	2
日本文学講読(近現代D)	2
日本文学講読(広域A)	2
日本文学講読(広域B)	2
日本文学講読(広域C)	2
日本文学講読(広域D)	2
日本語学講読(A)	2
日本語学講読(B)	2
日本語学講読(C)	2
日本語学講読(D)	2

A群から 14 単位以上履修すること。

B　群(特殊講義科目)

日本文学特殊講義(上代A)	2
日本文学特殊講義(上代B)	2
日本文学特殊講義(上代C)	2
日本文学特殊講義(上代D)	2
日本文学特殊講義(中古A)	2
日本文学特殊講義(中古B)	2
日本文学特殊講義(中古C)	2
日本文学特殊講義(中古D)	2
日本文学特殊講義(中世A)	2
日本文学特殊講義(中世B)	2
日本文学特殊講義(中世C)	2
日本文学特殊講義(中世D)	2
日本文学特殊講義(近世A)	2
日本文学特殊講義(近世B)	2
日本文学特殊講義(近世C)	2
日本文学特殊講義(近世D)	2
日本文学特殊講義(近現代A)	2
日本文学特殊講義(近現代B)	2
日本文学特殊講義(近現代C)	2
日本文学特殊講義(近現代D)	2
日本文学特殊講義(総合A)	2
日本文学特殊講義(総合B)	2
日本文学特殊講義(総合C)	2
日本文学特殊講義(総合D)	2
日本語学特殊講義(A)	2
日本語学特殊講義(B)	2
日本語学特殊講義(C)	2
日本語学特殊講義(D)	2

B群から 10 単位以上履修すること。

C　群(基礎・教職系科目)

日本文学概論(1)	2
日本文学概論(2)	2
日本文学史(1)	2
日本文学史(2)	2
日本語学概論(1)	2
日本語学概論(2)	2
日本語史(1)	2
日本語史(2)	2
日本語文法(1)	2
日本語文法(2)	2
漢文(1)	2
漢文(2)	2
言語学概論(1)	2
言語学概論(2)	2
書道(1)	2
書道(2)	2
漢文学概論(1)	2
漢文学概論(2)	2
国語科教育法 A1	2
国語科教育法 A2	2
国語科教育法 B	2
国語科教育法 C	2
教育実習指導	1
教育実習 A	2
教育実習 B	2
教育実習 C	4
教職実践演習(中・高)	2
スクールインターンシップ	2

C群から 12 単位以上履修すること。

○選択科目Ⅱ

教職概論	2
教育原理	2

発達と学習の心理学	2
教育制度と学校経営	2
学校教育社会学	2
人権教育論	2
教育課程論	2
道徳教育の理論と実践	2
特別活動と総合的な学習の時間の指導法	2
教育方法とＩＣＴ活用の理論と実践	2
生徒・進路指導の理論と方法	2
教育相談の理論と方法	2
学校教育文化論(1)	2
学校教育文化論(2)	2
生涯教育計画論	2
多文化共生社会と生涯学習	2
学校教育図書館論	2
読書と豊かな人間性	2
生涯学習概論	2
図書館情報学概論	2
図書館情報技術論	2
情報資源組織論　Ⅰ	2
情報資源組織論　Ⅱ	2
学術情報利用教育論	2
図書・図書館史	2
学校図書館サービス論	2

選択科目Ⅱは，上記の科目のほか，全学共通教養教育科目，他学部・他学科科目，同志社女子大学単位互換科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目及びテュービンゲン大学ＩＥＳ科目のうち，学科が定める科目から履修する。

全学共通教養教育科目(保健体育科目)4 単位以上履修すること。

全学共通教養教育科目のドイツ文学，フランス文学，中国文学，スペイン文学，ラテンアメリカ文学，ロシア文学は 4 単位を上限として卒業単位に算入する。

○選択科目Ⅲ

選択科目Ⅲは，全学共通教養教育科目(外国語教育科目)のうち，学科が定める科目から履修する。

選択科目Ⅲから 8 単位以上履修すること。ただし，英語科目から 4 単位を履修すること。

各外国語の会話科目は 2 単位を上限に卒業単位に算入する。

以上，必修科目 28 単位(卒業論文 12 単位を含む)，選択科目Ⅰ36 単位以上，保健体育科目 4 単位以上，選択科目Ⅲ8 単位以上(英語 4 単位以上を含む)，さらに選択科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲから 48 単位以上，合計 124 単位以上を履修すること。なお，国際専修コースについては，別途定めた国際教育インスティテュート科目から 20 単位以上(上限 30 単位)を履修すること。履修した単位は，選択科目Ⅱの単位として算入する。

上記にかかわらず，国際教養コースについては，国際教育インスティテュートに示された履修方法に従って履修すること。

○外国人留学生科目

外国人留学生科目の履修は，外国人留学生のうち，外国人留学生入学試験により入学した者に限る。

外国人留学生科目は，日本語・日本文化教育科目のうち，日本語 1(アカデミック・ライティングⅢ～Ⅴ)，日本語 1(オーラル・コミュニケーションＡⅠ・Ⅱ)，日本語 1(オーラル・コミュニケーションＢⅠ～Ⅴ)，日本語 1(文法Ⅰ～Ⅴ)，日本語 2(アカデミック・ライティングⅢ～Ⅴ)，日本語 2(オーラル・コミュニケーションＡⅠ・Ⅱ)，日本語 2(オーラル・コミュニケーションＢⅠ～Ⅴ)，日本語 2(文法Ⅰ～Ⅴ)，ビジネス日本語Ａ，ビジネス日本語Ｂを除く科目から選択履修すること。

履修した単位は選択科目Ⅱの単位に算入する。なお，日本語1，日本語2，ビジネス日本語C，ビジネス日本語Dの単位は選択科目Ⅲの外国語教育科目の単位に代えることができる。

○自由科目

特別ニーズ教育論	2
学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2
情報メディアの活用	2
図書館制度・経営論	2
図書館情報サービス論 Ⅰ	2
図書館情報サービス論 Ⅱ	2
児童サービス論	2
情報サービス演習 Ⅰ	2
情報サービス演習 Ⅱ	2
図書館情報資源概論	2
情報資源組織演習 Ⅰ	2
情報資源組織演習 Ⅱ	2
図書館情報学特論	2
図書館情報資源特論	2
図書館演習	4
教職コンピュータ基礎	2

自由科目は卒業単位に算入しない。

○副専攻履修者用科目（国文学科生は履修不可）

演習 Ⅰ(1)	2
演習 Ⅰ(2)	2

社　会　学　部

人材養成目的

社会学部は家族，職場，地域，国際社会に生起する生活，労働，コミュニケーション，人間形成の諸課題について，少人数教育を核とした議論と発表，文献研究，フィールドワーク，計量調査の学習をとおして，客観的で良識に基づく判断力，他者に共感し協力できる感受性，日々の努力を怠らない自制心，難題に向かう気概を身に付けて，企業，行政，マスコミ，福祉等の分野でなくてはならない人材を養成することを目的とする。

社　会　学　科

人材養成目的

社会学科は，家族・地域・組織・階層・移動・社会意識・異文化・国際社会・ネットワークについて，社会学や人類学の理論に広く深く学びつつ，計量調査やフィールドワークといった社会調査の方法論と実習を核とするカリキュラムをとおして，さまざまな社会的現実に関する情報の収集と分析の能力を身に付けて，行政や民間の各機関における立案・調査・研究といった部門等において活躍する人材を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○必修科目	
ファーストイヤーセミナー	2
社会学概論	4
社会調査入門	2
社会学理論	4
社会学演習 Ⅰ	2
社会学演習 Ⅱ(1)	2
社会学演習 Ⅱ(2)	2
社会学演習 Ⅲ(1)	2
社会学演習 Ⅲ(2)	2
卒業論文	8
○選択科目Ⅰ	
専門科目群	
エリアスタディ概論	2

社会学研究法 A	2
社会学研究法 B	2
家族社会学	4
地域社会学	4
国際社会学	4
社会心理学	4
社会人類学	4
教育社会学	2
情報社会学	2
仕事の社会学	2
災害社会学	2
比較社会学	4
社会調査実習 Ⅰ	2
社会調査実習 Ⅱ	2
社会統計学 Ⅰ	2
社会統計学 Ⅱ	2
社会学説史	2
社会問題	2
文化社会学	4
ジェンダーの社会学	4
現代社会論	2
社会学特講 Ⅰ	4
社会学特講 Ⅱ	4
現代社会学特論 Ⅰ	2
現代社会学特論 Ⅱ	2
現代社会学特論 Ⅲ	2
情報行動論	2
産業社会学(1)	2
産業社会学(2)	2
外国書講読(ドイツ語) Ⅰ	2
外国書講読(ドイツ語) Ⅱ	2
外国書講読(フランス語) Ⅰ	2
外国書講読(フランス語) Ⅱ	2
外国書講読(中国語) Ⅰ	2
外国書講読(中国語) Ⅱ	2
外国書講読(コリア語) Ⅰ	2
外国書講読(コリア語) Ⅱ	2
社会学専攻特別講義 Ⅰ	2
社会学専攻特別講義 Ⅱ	4

学部共通科目群

社会問題論	2
マス・コミュニケーション論	2
現代社会と労働	2
多文化共生社会と教育文化	2

選択科目Ⅰは，専門科目群から 40 単位以上，学部共通科目群から 4 単位以上を履修すること。なお，専門科目群からは社会学研究法Ａまたは社会学研究法Ｂのいずれか 2 単位を履修すること。

○選択科目Ⅱ

教職概論	2
教育原理	2
教育課程論	2
発達と学習の心理学	2
教育制度と学校経営	2
学校教育社会学	2
社会科・地理歴史科教育法	2
社会科・公民科教育法	2
社会科教育法 1	2
社会科教育法 2	2
公民科教育法	2
道徳教育の理論と実践	2
特別活動と総合的な学習の時間の指導法	2
教育方法とＩＣＴ活用の理論と実践	2
生徒・進路指導の理論と方法	2

教育相談の理論と方法	2
教職実践演習(中・高)	2
教育実習指導	1
教育実習 A	2
教育実習 B	2
教育実習 C	4
人権教育論	2
学校教育文化論(1)	2
学校教育文化論(2)	2
生涯教育計画論	2
多文化共生社会と生涯学習	2
学校教育図書館論	2
読書と豊かな人間性	2
生涯学習概論	2
図書館情報学概論	2
図書館情報技術論	2
情報資源組織論 Ⅰ	2
情報資源組織論 Ⅱ	2
学術情報利用教育論	2
図書・図書館史	2
哲学概論(1)	2
哲学概論(2)	2
倫理学概論(1)	2
倫理学概論(2)	2
人文地理学(1)	2
人文地理学(2)	2
地理学総論(1)	2
地理学総論(2)	2
地誌学	2
日本文化史概説(1)	2
日本文化史概説(2)	2
東洋文化史概説(1)	2
東洋文化史概説(2)	2
西洋文化史概説(1)	2
西洋文化史概説(2)	2
日本社会史(1)	2
日本社会史(2)	2
考古学概論(1)	2
考古学概論(2)	2
西洋社会史(1)	2
西洋社会史(2)	2
アメリカ史(1)	2
アメリカ史(2)	2
近代ヨーロッパ政治史	2
現代ヨーロッパ政治史	2
経済原論	4
日本経済史 1	2
日本経済史 2	2
世界経済史 1	2
世界経済史 2	2
日本の憲法	2
心理学概論(1)	2
心理学概論(2)	2

選択科目Ⅱは上記科目，全学共通教養教育科目，日本語・日本文化教育科目，他学部・他学科科目，テュービンゲン大学ＩＥＳ科目，同志社女子大学単位互換科目及び大学コンソーシアム京都単位互換科目から履修することができる。

○選択科目Ⅲ

Contemporary Japanese Culture and Society	4
Principles of Sociology	4

選択科目Ⅲは上記科目及び全学共通教養教育科目の外国語教育科目から，英語 12 単位，英語以外の外国語 4 単

位，計 16 単位以上を履修すること。ただし，イタリア語は選択科目Ⅱの履修単位に算入する。各外国語の会話科目は，2 単位を上限として卒業必要単位に算入する。

○日本語・日本文化教育科目

日本語・日本文化教育科目の履修は，外国人留学生に限る。履修した単位は選択科目Ⅱの単位として算入する。なお，日本語・日本文化教育科目のうち，日本語 1(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語 1(文法Ⅸ)，日本語 2(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語 2(文法Ⅸ)，ビジネス日本語Ｃ及びビジネス日本語Ｄの単位を履修した場合は，選択科目Ⅲの英語以外の外国語の単位に算入する。

以上，必修科目 30 単位，選択科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲから 94 単位以上(選択科目Ⅰ44 単位以上，選択科目Ⅲ16 単位以上を含む)，合計 124 単位以上を履修すること。

なお，国際専修コースについては，国際教育インスティテュート科目から 20 単位以上を履修すること。履修した単位は，選択科目Ⅲの英語の単位として算入する。ただし，専門領域科目の Japanese Society and Global Culture Concentration から履修した単位は，8 単位を上限として選択科目ⅠＢ群の単位に算入することができる。

上記にかかわらず，国際教養コースについては，国際教育インスティテュートに示された履修方法に従って履修すること。

○自由科目

教職コンピュータ基礎	2
図書館情報サービス論 Ⅰ	2
図書館情報サービス論 Ⅱ	2
図書館情報資源概論	2
図書館情報資源特論	2
図書館制度・経営論	2
児童サービス論	2
図書館情報学特論	2
情報サービス演習 Ⅰ	2
情報サービス演習 Ⅱ	2
情報資源組織演習 Ⅰ	2
情報資源組織演習 Ⅱ	2
図書館演習	4
学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2
情報メディアの活用	2
学校図書館サービス論	2
特別ニーズ教育論	2
スクールインターンシップ	2
科学技術概論 Ⅰ	2
科学技術概論 Ⅱ	2
アウトリーチ実習	2
サイエンスライティング	2
サイエンス・ナウ 1	2
サイエンス・ナウ 2	2
サイエンス・ナウ 3	2
サイエンス・ナウ 4	2
サイエンス・ナウ 5	2
サイエンス・ナウ 6	2
サイエンス・ナウ 7	2
サイエンス・ナウ 8	2
サイエンスとインテリジェンス	2
ビジネスワークショップ	2
メディカルワークショップ	2
取材・インタビュー実践講座	2
未知型探索ビジネスワークショップ	2

自由科目は卒業必要単位に算入しない。ただし，科学技術概論Ⅰ，科学技術概論Ⅱ，アウトリーチ実習，サイ

エンスライティング，サイエンス・ナウ 1，サイエンス・ナウ 2，サイエンス・ナウ 3，サイエンス・ナウ 4，サイエンス・ナウ 5，サイエンス・ナウ 6，サイエンス・ナウ 7，サイエンス・ナウ 8，サイエンスとインテリジェンス，ビジネスワークショップ，メディカルワークショップ，取材・インタビュー実践講座，未知型探索ビジネスワークショップの中から 12 単位以上を履修した場合は，選択科目Ⅱの単位に算入する。

社 会 福 祉 学 科

人材養成目的

社会福祉学科は，現代社会における様々な生活問題に焦点をあてて，個人や家族への援助活動を中心とするミクロレベルから，地域を対象とするメゾレベル，制度や政策を考察するマクロレベルに至る多様なレベルからの思想的・理論的かつ実践的な探求を行い，社会福祉専門職（ソーシャルワーカー）に必要な価値・知識・技術を身に付け，様々な社会福祉の分野で活躍し，21 世紀福祉社会に貢献する人材を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○必修科目	
ファーストイヤーセミナー	2
社会問題論	2
福祉と人権	2
社会福祉入門	2
社会福祉学基礎演習 Ⅰ	2
社会福祉学基礎演習 Ⅱ	2
社会福祉学基礎演習 Ⅲ	2
社会福祉学専門演習 Ⅰ	2
社会福祉学専門演習 Ⅱ	2
社会福祉学専門演習 Ⅲ	2
社会福祉学専門演習 Ⅳ	2
ソーシャルワーク基礎実習 Ⅰ	2
ソーシャルワーク基礎実習 Ⅱ	2
卒業論文	8
○選択科目Ⅰ	
A　群	
社会福祉の歴史と思想	2
国際社会福祉	4
社会保障論	4
社会福祉政策	2
社会福祉施設経営論	2
権利擁護と成年後見	2
B　群	
ソーシャルワーク論 Ⅰ	4
ソーシャルワーク論 Ⅱ	4
ソーシャルワーク論 Ⅲ	4
ソーシャルワーク演習 Ⅰ	4
ソーシャルワーク演習 Ⅱ	4
ソーシャルワーク基礎実習 Ⅲ	2
ソーシャルワーク専門実習 Ⅰ	3
ソーシャルワーク専門実習 Ⅱ	3
ソーシャルワーク専門実習 Ⅲ	2
ソーシャルワーク専門実習 Ⅳ	2
精神保健福祉の原理	4
精神保健福祉ソーシャルワーク論 Ⅰ	2
精神保健福祉ソーシャルワーク論 Ⅱ	2
精神保健福祉ソーシャルワーク演習 Ⅰ	2
精神保健福祉ソーシャルワーク演習 Ⅱ	2
精神保健福祉ソーシャルワーク演習 Ⅲ	2
精神保健福祉ソーシャルワーク実習 Ⅰ	2
精神保健福祉ソーシャルワーク実習 Ⅱ	2
精神保健福祉ソーシャルワーク実習 Ⅲ	2
社会問題実習	4

国際社会福祉実習	4

C　群

ＮＰＯ・ボランティア活動論	2
児童・家庭福祉論	2
障害者福祉論	2
高齢者福祉論	2
地域福祉論	4
家族福祉論	2
公的扶助	2
医療福祉論	2
司法福祉論	2

D　群

心理学と心理的支援	2
社会学と社会システム	2
ジェンダーと社会福祉	2
高齢者の健康と生活	2
医学概論	2
介護概論	2
精神医学と精神医療	4
精神障害リハビリテーション論	2
精神保健福祉制度論	2
現代の精神保健の課題と支援	4
社会統計学 Ⅰ	2
社会統計学 Ⅱ	2
社会福祉調査	2
社会福祉特講 Ⅰ	2
社会福祉特講 Ⅱ	2
社会福祉特講 Ⅲ	2
外国書講読(英語) Ⅰ	2
外国書講読(英語) Ⅱ	2
外国書講読(ドイツ語) Ⅰ	2
外国書講読(ドイツ語) Ⅱ	2
外国書講読(フランス語) Ⅰ	2
外国書講読(フランス語) Ⅱ	2
外国書講読(中国語) Ⅰ	2
外国書講読(中国語) Ⅱ	2
外国書講読(コリア語) Ⅰ	2
外国書講読(コリア語) Ⅱ	2
社会福祉学専攻特別講義 Ⅰ	2
社会福祉学専攻特別講義 Ⅱ	4

学部共通科目群

現代社会論	2
マス・コミュニケーション論	2
現代社会と労働	2
多文化共生社会と教育文化	2

選択科目Ⅰは，A～D群から各4単位以上を含めて24単位以上，学部共通科目群から4単位以上を履修すること。

○選択科目Ⅱ

社会学概論	4
学校教育社会学	2
福祉科教育法 A	2
福祉科教育法 B	2
教職概論	2
教育原理	2
教育課程論	2
発達と学習の心理学	2
教育制度と学校経営	2
社会科・地理歴史科教育法	2
社会科・公民科教育法	2
社会科教育法 1	2
社会科教育法 2	2
公民科教育法	2
道徳教育の理論と実践	2

特別活動と総合的な学習の時間の指導法	2
教育方法とＩＣＴ活用の理論と実践	2
生徒・進路指導の理論と方法	2
教育相談の理論と方法	2
教職実践演習(中・高)	2
教育実習指導	1
教育実習 A	2
教育実習 B	2
教育実習 C	4
人権教育論	2
学校教育文化論(1)	2
学校教育文化論(2)	2
生涯教育計画論	2
多文化共生社会と生涯学習	2
学校教育図書館論	2
読書と豊かな人間性	2
生涯学習概論	2
図書館情報学概論	2
図書館情報技術論	2
情報資源組織論 Ⅰ	2
情報資源組織論 Ⅱ	2
学術情報利用教育論	2
図書・図書館史	2
哲学概論(1)	2
哲学概論(2)	2
倫理学概論(1)	2
倫理学概論(2)	2
人文地理学(1)	2
人文地理学(2)	2
地理学総論(1)	2
地理学総論(2)	2
地誌学	2
日本文化史概説(1)	2
日本文化史概説(2)	2
東洋文化史概説(1)	2
東洋文化史概説(2)	2
西洋文化史概説(1)	2
西洋文化史概説(2)	2
日本社会史(1)	2
日本社会史(2)	2
考古学概論(1)	2
考古学概論(2)	2
西洋社会史(1)	2
西洋社会史(2)	2
アメリカ史(1)	2
アメリカ史(2)	2
近代ヨーロッパ政治史	2
現代ヨーロッパ政治史	2
経済原論	4
日本経済史 1	2
日本経済史 2	2
世界経済史 1	2
世界経済史 2	2
日本の憲法	2
心理学概論(1)	2
心理学概論(2)	2

選択科目Ⅱから 12 単位以上履修すること。

なお，選択科目Ⅱは全学共通教養教育科目，日本語・日本文化教育科目，他学部・他学科科目，テュービンゲン大学ＩＥＳ科目，同志社女子大学単位互換科目及び大学コンソーシアム京都単位互換科目からも履修することができる。

○選択科目Ⅲ

選択科目Ⅲは全学共通教養教育科目の外国語教育科目

から，英語 8 単位，英語以外の外国語 4 単位，計 12 単位以上を履修すること。ただし，イタリア語は選択科目Ⅱの履修単位に算入する。各外国語の会話科目は，2 単位を上限として卒業必要単位に算入する。

○日本語・日本文化教育科目

日本語・日本文化教育科目の履修は，外国人留学生に限る。履修した単位は選択科目Ⅱの単位として算入する。なお，日本語・日本文化教育科目のうち，日本語 1(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語 1(文法Ⅸ)，日本語 2(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語 2(文法Ⅸ)，ビジネス日本語Ｃ及びビジネス日本語Ｄの単位を履修した場合は，選択科目Ⅲの英語以外の外国語の単位に算入する。

以上，必修科目 34 単位，選択科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲから 90 単位以上(選択科目Ⅰ28 単位以上，選択科目Ⅱ12 単位以上，選択科目Ⅲ12 単位以上を含む)，合計 124 単位以上を履修すること。

なお，国際専修コースについては，国際教育インスティテュート科目から 20 単位以上を履修すること。履修した単位は，選択科目Ⅱ又は選択科目Ⅲの英語の単位として算入する。ただし，専門領域科目の Japanese Society and Global Culture Concentration から履修した単位は，8 単位を上限として選択科目ＩＤ群の単位に算入することができる。

上記にかかわらず，国際教養コースについては，国際教育インスティテュートに示された履修方法に従って履修すること。

○自由科目

教職コンピュータ基礎	2
図書館情報サービス論 Ⅰ	2
図書館情報サービス論 Ⅱ	2
図書館情報資源概論	2
図書館情報資源特論	2
図書館制度・経営論	2
児童サービス論	2
図書館情報学特論	2
情報サービス演習 Ⅰ	2
情報サービス演習 Ⅱ	2
情報資源組織演習 Ⅰ	2
情報資源組織演習 Ⅱ	2
図書館演習	4
学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2
情報メディアの活用	2
学校図書館サービス論	2
特別ニーズ教育論	2
スクールインターンシップ	2
科学技術概論 Ⅰ	2
科学技術概論 Ⅱ	2
アウトリーチ実習	2
サイエンスライティング	2
サイエンス・ナウ 1	2
サイエンス・ナウ 2	2
サイエンス・ナウ 3	2
サイエンス・ナウ 4	2
サイエンス・ナウ 5	2
サイエンス・ナウ 6	2
サイエンス・ナウ 7	2
サイエンス・ナウ 8	2
サイエンスとインテリジェンス	2
ビジネスワークショップ	2
メディカルワークショップ	2
取材・インタビュー実践講座	2
未知型探索ビジネスワークショップ	2

自由科目は卒業必要単位に算入しない。ただし，科学技術概論Ⅰ，科学技術概論Ⅱ，アウトリーチ実習，サイエンスライティング，サイエンス・ナウ 1，サイエンス・ナウ 2，サイエンス・ナウ 3，サイエンス・ナウ 4，サイエンス・ナウ 5，サイエンス・ナウ 6，サイエンス・ナウ 7，サイエンス・ナウ 8，サイエンスとインテリジェンス，ビジネスワークショップ，メディカルワークショップ，取材・インタビュー実践講座，未知型探索ビジネスワークショップの中から 12 単位以上を履修した場合は，選択科目Ⅱの単位に算入する。

メ デ ィ ア 学 科

人材養成目的

メディア学科は，「メディアとジャーナリズム」「情報と社会」「コミュニケーションと文化」について，1 年次からの少人数ゼミと多様な講義などをとおして，メディアの社会的機能を知り，報道機関・ネットなどからの情報を的確に読み解く能力や，一市民として自ら情報をどう発信するかなどの知識を身に付けて，マスコミ業界，専門研究職，情報広告関連会社を含む一般企業などにおいて活躍する人材を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○必修科目	
ファーストイヤーセミナー Ⅰ	2
ファーストイヤーセミナー Ⅱ	2
メディア学概論	2
メディア学基礎実習 Ⅰ	2
メディア学基礎実習 Ⅱ	2
メディア学演習 Ⅰ	2
メディア学演習 Ⅱ	2
メディア学演習 Ⅲ	2
メディア学演習 Ⅳ	2
卒業論文	8
○選択科目Ⅰ	
A　群	
ジャーナリズム史	2
メディア史	2
メディア・リテラシー概論	2
比較メディア論	2
ジャーナリズム論 Ⅰ	2
ジャーナリズム論 Ⅱ	2
メディア法制倫理	2
放送論	2
B　群	
情報行動論	2
環境情報学	2
映像情報学	2
メディア社会論	2
広報情報論	2
世論と社会	2
メディア産業論	2
メディア心理学 Ⅰ	2
メディア心理学 Ⅱ	2
デジタルメディア論	2
メディア学社会調査法 Ⅰ	2
メディア学社会調査法 Ⅱ	2
C　群	
コミュニケーション論	2
メディア文化史	2
現代文化論	2
広告論	2
国際コミュニケーション論	2
ジェンダーとメディア	2
メディア人類学 Ⅰ	2

メディア人類学 Ⅱ　2
メディア・コミュニケーション論　2

D　群

社会統計学 Ⅰ　2
社会統計学 Ⅱ　2
社会学概論　4
社会思想史　2
外国書講読(英語) Ⅰ　2
外国書講読(英語) Ⅱ　2
外国書講読(ドイツ語) Ⅰ　2
外国書講読(ドイツ語) Ⅱ　2
外国書講読(フランス語) Ⅰ　2
外国書講読(フランス語) Ⅱ　2
外国書講読(中国語) Ⅰ　2
外国書講読(中国語) Ⅱ　2
外国書講読(コリア語) Ⅰ　2
外国書講読(コリア語) Ⅱ　2
メディア学専攻特別講義 Ⅰ　2
メディア学専攻特別講義 Ⅲ　1

学部共通科目群

現代社会論　2
社会問題論　2
マス・コミュニケーション論　2
現代社会と労働　2
多文化共生社会と教育文化　2

選択科目Ⅰは，A～D群から 36 単位以上，学部共通科目群から 4 単位以上を履修すること。

○選択科目Ⅱ

学校教育社会学　2
教職概論　2
教育原理　2
教育課程論　2
発達と学習の心理学　2
教育制度と学校経営　2
社会科・地理歴史科教育法　2
社会科・公民科教育法　2
社会科教育法 1　2
社会科教育法 2　2
公民科教育法　2
道徳教育の理論と実践　2
特別活動と総合的な学習の時間の指導法　2
教育方法とＩＣＴ活用の理論と実践　2
生徒・進路指導の理論と方法　2
教育相談の理論と方法　2
教職実践演習(中・高)　2
教育実習指導　1
教育実習 A　2
教育実習 B　2
教育実習 C　4
人権教育論　2
学校教育文化論(1)　2
学校教育文化論(2)　2
生涯教育計画論　2
多文化共生社会と生涯学習　2
学校教育図書館論　2
読書と豊かな人間性　2
生涯学習概論　2
図書館情報学概論　2
図書館情報技術論　2
情報資源組織論 Ⅰ　2
情報資源組織論 Ⅱ　2
学術情報利用教育論　2
図書・図書館史　2
哲学概論(1)　2

哲学概論(2)	2
倫理学概論(1)	2
倫理学概論(2)	2
人文地理学(1)	2
人文地理学(2)	2
地理学総論(1)	2
地理学総論(2)	2
地誌学	2
エリアスタディ概論	2
日本文化史概説(1)	2
日本文化史概説(2)	2
東洋文化史概説(1)	2
東洋文化史概説(2)	2
西洋文化史概説(1)	2
西洋文化史概説(2)	2
日本社会史(1)	2
日本社会史(2)	2
考古学概論(1)	2
考古学概論(2)	2
西洋社会史(1)	2
西洋社会史(2)	2
アメリカ史(1)	2
アメリカ史(2)	2
近代ヨーロッパ政治史	2
現代ヨーロッパ政治史	2
経済原論	4
日本経済史 1	2
日本経済史 2	2
世界経済史 1	2
世界経済史 2	2
日本の憲法	2
心理学概論(1)	2
心理学概論(2)	2

選択科目Ⅱから 24 単位以上履修すること。

なお，選択科目Ⅱは全学共通教養教育科目，日本語・日本文化教育科目，他学部・他学科科目，テュービンゲン大学ＩＥＳ科目，同志社女子大学単位互換科目及び大学コンソーシアム京都単位互換科目からも履修することができる。

○選択科目Ⅲ

選択科目Ⅲは全学共通教養教育科目の外国語教育科目から，英語 8 単位，英語以外の外国語 8 単位，計 16 単位以上を履修すること。ただし，イタリア語は選択科目Ⅱの履修単位に算入する。各外国語の会話科目は，2 単位を上限として卒業必要単位に算入する。

○日本語・日本文化教育科目

日本語・日本文化教育科目の履修は，外国人留学生に限る。履修した単位は選択科目Ⅱの単位として算入する。なお，日本語・日本文化教育科目のうち，日本語 1(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語 1(文法Ⅸ)，日本語 2(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語 2(文法Ⅸ)，ビジネス日本語Ｃ及びビジネス日本語Ｄの単位を履修した場合は，選択科目Ⅲの英語以外の外国語の単位に算入する。

以上，必修科目 24 単位，選択科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲから 100 単位以上(選択科目Ⅰ40 単位以上，選択科目Ⅱ24 単位以上，選択科目Ⅲ16 単位以上を含む)，合計 124 単位以上を履修すること。

なお，国際専修コースについては，国際教育インスティテュート科目から 20 単位以上を履修すること。履修した単位は，選択科目Ⅱ又は選択科目Ⅲの英語の単位として算入する。ただし，専門領域科目の Japanese Society and Global Culture Concentration から履修した単位は，8 単位を上限として選択科目ＩＤ群の単位

に算入することができる。

上記にかかわらず，国際教養コースについては，国際教育インスティテュートに示された履修方法に従って履修すること。

○自由科目

教職コンピュータ基礎	2
図書館情報サービス論 Ⅰ	2
図書館情報サービス論 Ⅱ	2
図書館情報資源概論	2
図書館情報資源特論	2
図書館制度・経営論	2
児童サービス論	2
図書館情報学特論	2
情報サービス演習 Ⅰ	2
情報サービス演習 Ⅱ	2
情報資源組織演習 Ⅰ	2
情報資源組織演習 Ⅱ	2
図書館演習	4
学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2
情報メディアの活用	2
学校図書館サービス論	2
特別ニーズ教育論	2
スクールインターンシップ	2
科学技術概論 Ⅰ	2
科学技術概論 Ⅱ	2
アウトリーチ実習	2
サイエンスライティング	2
サイエンス・ナウ 1	2
サイエンス・ナウ 2	2
サイエンス・ナウ 3	2
サイエンス・ナウ 4	2
サイエンス・ナウ 5	2
サイエンス・ナウ 6	2
サイエンス・ナウ 7	2
サイエンス・ナウ 8	2
サイエンスとインテリジェンス	2
ビジネスワークショップ	2
メディカルワークショップ	2
取材・インタビュー実践講座	2
未知型探索ビジネスワークショップ	2

自由科目は卒業必要単位に算入しない。ただし，科学技術概論Ⅰ，科学技術概論Ⅱ，アウトリーチ実習，サイエンスライティング，サイエンス・ナウ 1，サイエンス・ナウ 2，サイエンス・ナウ 3，サイエンス・ナウ 4，サイエンス・ナウ 5，サイエンス・ナウ 6，サイエンス・ナウ 7，サイエンス・ナウ 8，サイエンスとインテリジェンス，ビジネスワークショップ，メディカルワークショップ，取材・インタビュー実践講座，未知型探索ビジネスワークショップの中から 12 単位以上を履修した場合は，選択科目Ⅱの単位に算入する。

産 業 関 係 学 科

人材養成目的

産業関係学科は，雇用と労働に関する実際的問題の分析とその解決方法の探求について，学際的な専任教員体制に基づく，現場に根ざした実証的・実践的な教育・研究を遂行することをとおして，「答えがまだ見つかっていない問題」に対処するために課題発見力，読解力，思考力，文書作成力，ヒアリング力，プレゼンテーション力を身に付けて，企業，政府・自治体，学校，労働組合等において活躍する人材を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位

○必修科目

ファーストイヤーセミナー	2
現代社会と労働	2
産業関係基礎論	2
産業関係文献演習 Ⅰ	2
産業関係文献演習 Ⅱ	2
産業関係学基礎論文	2
産業関係論(1)	2
産業関係論(2)	2
基礎経済学(1)	2
基礎経済学(2)	2
産業関係学演習 Ⅰ	2
産業関係学演習 Ⅱ	2
産業関係学演習 Ⅲ	2
産業関係学演習 Ⅳ	2
卒業論文	4

○選択科目Ⅰ

学科専門科目群

労働問題(1)	2
労働問題(2)	2
産業社会学(1)	2
産業社会学(2)	2
社会政策(1)	2
社会政策(2)	2
産業関係論特講 A	2
産業関係論特講 B	2
産業関係論特講 C	2
産業調査統計論(1)	2
産業調査統計論(2)	2
社会保障法	2
産業技術論(1)	2
産業技術論(2)	2
労働科学論(1)	2
労働科学論(2)	2
労務管理論(1)	2
労務管理論(2)	2
労働市場論(1)	2
労働市場論(2)	2
比較産業関係論(1)	2
比較産業関係論(2)	2
産業関係実習 Ⅰ	2
産業関係実習 Ⅱ	2
産業調査実習 Ⅰ	2
産業調査実習 Ⅱ	2
外国書基礎講読(英語) Ⅰ	2
外国書基礎講読(英語) Ⅱ	2
外国書講読(英語) Ⅰ	2
外国書講読(英語) Ⅱ	2
外国書講読(ドイツ語) Ⅰ	2
外国書講読(ドイツ語) Ⅱ	2
外国書講読(フランス語) Ⅰ	2
外国書講読(フランス語) Ⅱ	2
外国書講読(中国語) Ⅰ	2
外国書講読(中国語) Ⅱ	2
外国書講読(コリア語) Ⅰ	2
外国書講読(コリア語) Ⅱ	2
組織行動学(1)	2
組織行動学(2)	2
労働法(1)	2
労働法(2)	2
グローバル人的資源管理論(1)	2
グローバル人的資源管理論(2)	2
実践キャリア演習	2

学部共通科目群

現代社会論	2

社会問題論	2
マス・コミュニケーション論	2
多文化共生社会と教育文化	2

選択科目Ⅰは，学科専門科目群及び全学共通教養教育科目の「働くということ」から34単位以上，学部共通科目群から4単位以上を履修すること。

○選択科目Ⅱ

産業関係学専攻特別講義 Ⅰ	2
社会学概論	4
学校教育社会学	2
教職概論	2
教育原理	2
教育課程論	2
発達と学習の心理学	2
教育制度と学校経営	2
社会科・地理歴史科教育法	2
社会科・公民科教育法	2
社会科教育法 1	2
社会科教育法 2	2
公民科教育法	2
道徳教育の理論と実践	2
特別活動と総合的な学習の時間の指導法	2
教育方法とＩＣＴ活用の理論と実践	2
生徒・進路指導の理論と方法	2
教育相談の理論と方法	2
教職実践演習(中・高)	2
教育実習指導	1
教育実習 A	2
教育実習 B	2
教育実習 C	4
人権教育論	2
学校教育文化論(1)	2
学校教育文化論(2)	2
生涯教育計画論	2
多文化共生社会と生涯学習	2
学校教育図書館論	2
読書と豊かな人間性	2
生涯学習概論	2
図書館情報学概論	2
図書館情報技術論	2
情報資源組織論 Ⅰ	2
情報資源組織論 Ⅱ	2
学術情報利用教育論	2
図書・図書館史	2
哲学概論(1)	2
哲学概論(2)	2
倫理学概論(1)	2
倫理学概論(2)	2
人文地理学(1)	2
人文地理学(2)	2
地理学総論(1)	2
地理学総論(2)	2
地誌学	2
日本文化史概説(1)	2
日本文化史概説(2)	2
東洋文化史概説(1)	2
東洋文化史概説(2)	2
西洋文化史概説(1)	2
西洋文化史概説(2)	2
日本社会史(1)	2
日本社会史(2)	2
考古学概論(1)	2
考古学概論(2)	2
西洋社会史(1)	2

西洋社会史(2)	2
アメリカ史(1)	2
アメリカ史(2)	2
近代ヨーロッパ政治史	2
現代ヨーロッパ政治史	2
経済原論	4
日本経済史 1	2
日本経済史 2	2
世界経済史 1	2
世界経済史 2	2
日本の憲法	2
心理学概論(1)	2
心理学概論(2)	2

選択科目Ⅱから 20 単位以上履修すること。

なお，選択科目Ⅱは全学共通教養教育科目(「働くということ」を除く)，日本語・日本文化教育科目，他学部・他学科科目，テュービンゲン大学ＩＥＳ科目，同志社女子大学単位互換科目及び大学コンソーシアム京都単位互換科目からも履修することができる。

○選択科目Ⅲ

Industrial Relations in English Ⅰ	2
Industrial Relations in English Ⅱ	2

選択科目Ⅲは上記科目及び全学共通教養教育科目の外国語教育科目から，英語 12 単位，英語以外の外国語 8 単位，計 20 単位以上を履修すること。ただし，イタリア語は選択科目Ⅱの履修単位に算入する。各外国語の会話科目は，2 単位を上限として卒業必要単位に算入する。

○日本語・日本文化教育科目

日本語・日本文化教育科目の履修は，外国人留学生に限る。履修した単位は選択科目Ⅱの単位として算入する。なお，日本語・日本文化教育科目のうち，日本語 1(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語 1(文法Ⅸ)，日本語 2(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語 2(文法Ⅸ)，ビジネス日本語Ｃ及びビジネス日本語Ｄの単位を履修した場合は，選択科目Ⅲの英語以外の外国語の単位に算入する。

以上，必修科目 32 単位，選択科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲから 92 単位以上(選択科目Ⅰ38 単位以上，選択科目Ⅱ20 単位以上，選択科目Ⅲ20 単位以上を含む)，合計 124 単位以上を履修すること。

なお，国際専修コースについては，国際教育インスティテュート科目から 20 単位以上を履修すること。履修した単位は，選択科目Ⅱ又は選択科目Ⅲの英語の単位として算入する。ただし，専門領域科目の Japanese Society and Global Culture Concentration から履修した単位は，8 単位を上限として選択科目Ⅰ学科専門科目群の単位に算入することができる。

上記にかかわらず，国際教養コースについては，国際教育インスティテュートに示された履修方法に従って履修すること。

○自由科目

教職コンピュータ基礎	2
図書館情報サービス論 Ⅰ	2
図書館情報サービス論 Ⅱ	2
図書館情報資源概論	2
図書館情報資源特論	2
図書館制度・経営論	2
児童サービス論	2
図書館情報学特論	2
情報サービス演習 Ⅰ	2
情報サービス演習 Ⅱ	2
情報資源組織演習 Ⅰ	2
情報資源組織演習 Ⅱ	2
図書館演習	4

学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2
情報メディアの活用	2
学校図書館サービス論	2
特別ニーズ教育論	2
スクールインターンシップ	2
科学技術概論 Ⅰ	2
科学技術概論 Ⅱ	2
アウトリーチ実習	2
サイエンスライティング	2
サイエンス・ナウ 1	2
サイエンス・ナウ 2	2
サイエンス・ナウ 3	2
サイエンス・ナウ 4	2
サイエンス・ナウ 5	2
サイエンス・ナウ 6	2
サイエンス・ナウ 7	2
サイエンス・ナウ 8	2
サイエンスとインテリジェンス	2
ビジネスワークショップ	2
メディカルワークショップ	2
取材・インタビュー実践講座	2
未知型探索ビジネスワークショップ	2

自由科目は卒業必要単位に算入しない。ただし，科学技術概論Ⅰ，科学技術概論Ⅱ，アウトリーチ実習，サイエンスライティング，サイエンス・ナウ 1，サイエンス・ナウ 2，サイエンス・ナウ 3，サイエンス・ナウ 4，サイエンス・ナウ 5，サイエンス・ナウ 6，サイエンス・ナウ 7，サイエンス・ナウ 8，サイエンスとインテリジェンス，ビジネスワークショップ，メディカルワークショップ，取材・インタビュー実践講座，未知型探索ビジネスワークショップの中から 12 単位以上を履修した場合は，選択科目Ⅱの単位に算入する。

教 育 文 化 学 科

人材養成目的

教育文化学科は，多文化共生社会における教育文化による人間形成に着目し，異なる文化背景を持つ人間が交わる際に生じる諸問題を学際的な方法を用いて究明し，問題解決へ至る道筋を追求する活動をつうじて，学生が異文化間の相互理解を促進する能力を養い，多様な文化の中で生活し，学び，働く人々に的確な援助と指導ができる人材の養成を目的とする。

科　　目	履修単位
○コア科目	
X　群	
ファーストイヤーセミナー Ⅰ	2
ファーストイヤーセミナー Ⅱ	2
多文化共生社会と人間形成	2
基礎演習 Ⅰ	2
基礎演習 ⅡA	2
基礎演習 ⅡB	2
基礎演習 ⅡC	2
基礎演習 ⅡD	2
基礎演習 ⅡE	2
基礎演習 ⅡF	2
基礎演習 ⅡG	2
基礎演習 ⅡH	2
教育文化学演習 Ⅰ	2
教育文化学演習 Ⅱ	2

コア科目X群から 14 単位を履修すること。ただし，基礎演習ⅡA～ⅡHから 2 単位を超えて履修した単位は，メジャー科目の単位に算入する。

Y　群

教育文化学演習 Ⅲ	2
教育文化学演習 Ⅳ	2
卒業論文	8
卒業研究	4

卒業論文または卒業研究のいずれかを履修しなければならない。なお，卒業論文を履修する場合は教育文化学演習Ⅲ及びⅣを履修すること。

○メジャー科目

A　群

キリスト教教育文化論(1)	2
キリスト教教育文化論(2)	2
日本教育文化論(1)	2
日本教育文化論(2)	2
西洋教育文化論(1)	2
西洋教育文化論(2)	2
アジア教育文化論(1)	2
アジア教育文化論(2)	2
比較教育文化論(1)	2
比較教育文化論(2)	2
Education and World Culture(1)	2
Education and World Culture(2)	2
言語教育文化論(1)	2
言語教育文化論(2)	2
市民教育文化論(1)	2
市民教育文化論(2)	2
教育文化学専攻特別講義 Ⅰ	2

B　群

キリスト教と人間形成	2
ジェンダーと人間形成	2
家族と人間形成	2
Topics in Character Formation and Education	2
Topics in Multiculturalism and Education	2
Topics in Education and Development	2
多文化共生社会と海外教育事情	2
多文化共生社会と教育思想	2
多文化共生社会と教育史	2
多文化共生社会と生涯学習	2
多文化共生社会と人間形成特論(1)	2
多文化共生社会と人間形成特論(2)	2
多文化共生社会と移民教育文化(1)	2
多文化共生社会と移民教育文化(2)	2
学校教育文化論(1)	2
学校教育文化論(2)	2
学校教育制度論	2
生涯教育計画論	2
教育哲学	2
教育心理学	2
教育行政学	2
教育人間学	2
教育社会学	2

C　群

体験教育実習	2
異文化体験実習	2
サービスラーニング実習	2
ＩＣＴ教育実習	2
ホリスティック教育実習	2
冒険教育実習	2
Field Research Practicum Kyoto	2
Field Research Practicum Shanghai	2

D　群

英書講読 ＩＡ(1)	2
英書講読 ＩＡ(2)	2

英書講読 ＩＢ(1) 2
英書講読 ＩＢ(2) 2
英書講読 ＩＣ(1) 2
英書講読 ＩＣ(2) 2
英書講読 ⅡＡ(1) 2
英書講読 ⅡＡ(2) 2
英書講読 ⅡＢ(1) 2
英書講読 ⅡＢ(2) 2
英書講読 ⅡＣ(1) 2
英書講読 ⅡＣ(2) 2
英書講読 ⅢＡ(1) 2
英書講読 ⅢＡ(2) 2
英書講読 ⅢＢ(1) 2
英書講読 ⅢＢ(2) 2
独書講読 Ⅰ 2
独書講読 Ⅱ(1) 2
独書講読 Ⅱ(2) 2
仏書講読 Ⅰ 2
仏書講読 Ⅱ(1) 2
仏書講読 Ⅱ(2) 2
漢文古文講読 Ⅰ 2
漢文古文講読 Ⅱ(1) 2
漢文古文講読 Ⅱ(2) 2

メジャー科目は，Ａ群 20 単位，Ｂ群 20 単位，Ｃ群 2 単位，Ｄ群 4 単位を含めてＡ～Ｄ群から 46 単位以上(卒業研究を履修する場合は 54 単位以上)を履修すること。

外国人留学生が，日本語・日本文化教育科目のうち，日本の教育の単位を履修した場合は，メジャー科目Ｂ群の履修単位に算入する。

○選択科目Ⅰ

現代社会論 2
社会問題論 2
マス・コミュニケーション論 2
現代社会と労働 2
多文化共生社会と教育文化 2

選択科目Ⅰから 4 単位以上を履修すること。

○選択科目Ⅱ

社会学概論 4
エリアスタディ概論 2
社会人類学 4
学校教育社会学 2
教職概論 2
教育原理 2
教育課程論 2
発達と学習の心理学 2
教育制度と学校経営 2
社会科・地理歴史科教育法 2
社会科・公民科教育法 2
社会科教育法 1 2
社会科教育法 2 2
地理歴史科教育法 2
公民科教育法 2
道徳教育の理論と実践 2
特別活動と総合的な学習の時間の指導法 2
教育方法とＩＣＴ活用の理論と実践 2
生徒・進路指導の理論と方法 2
教育相談の理論と方法 2
教職実践演習(中・高) 2
教育実習指導 1
教育実習 Ａ 2
教育実習 Ｂ 2
教育実習 Ｃ 4
人権教育論 2
読書と豊かな人間性 2

生涯学習概論	2
図書・図書館史	2
情報資源組織論 Ⅰ	2
情報資源組織論 Ⅱ	2
図書館情報技術論	2
哲学概論(1)	2
哲学概論(2)	2
倫理学概論(1)	2
倫理学概論(2)	2
人文地理学(1)	2
人文地理学(2)	2
地理学総論(1)	2
地理学総論(2)	2
地誌学	2
日本文化史概説(1)	2
日本文化史概説(2)	2
東洋文化史概説(1)	2
東洋文化史概説(2)	2
西洋文化史概説(1)	2
西洋文化史概説(2)	2
日本社会史(1)	2
日本社会史(2)	2
考古学概論(1)	2
考古学概論(2)	2
西洋社会史(1)	2
西洋社会史(2)	2
アメリカ史(1)	2
アメリカ史(2)	2
ジャーナリズム史	2
メディア史	2
近代ヨーロッパ政治史	2
現代ヨーロッパ政治史	2
経済原論	4
日本経済史 1	2
日本経済史 2	2
世界経済史 1	2
世界経済史 2	2
日本の憲法	2
心理学概論(1)	2
心理学概論(2)	2

選択科目Ⅱから 20 単位以上履修すること。

なお，選択科目Ⅱは全学共通教養教育科目，日本語・日本文化教育科目，他学部・他学科科目，テュービンゲン大学ＩＥＳ科目，同志社女子大学単位互換科目及び大学コンソーシアム京都単位互換科目からも履修することができる。

○選択科目Ⅲ

全学共通教養教育科目の外国語教育科目から 8 単位以上履修すること。ただし，イタリア語は選択科目Ⅱの履修単位に算入する。各外国語の会話科目は，2 単位を上限として卒業必要単位に算入する。

○日本語・日本文化教育科目

日本語・日本文化教育科目の履修は，外国人留学生に限る。履修した単位は選択科目Ⅱの単位として算入する。なお，日本語・日本文化教育科目のうち，日本語 1(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語 1(文法Ⅸ)，日本語 2(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語 2(文法Ⅸ)，ビジネス日本語Ｃ及びビジネス日本語Ｄの単位を履修した場合は，選択科目Ⅲの単位に算入する。

以上，コア科目 26 単位(卒業研究を履修する場合は 18 単位)に加えて，メジャー科目 46 単位以上(卒業研究を履修する場合は 54 単位以上)，選択科目Ⅰ4 単位以上，選択科目Ⅱ20 単位以上，選択科目Ⅲ8 単位以上を含めてメジャー科目及び選択科目Ⅰ～Ⅲから合計 98 単位以上(卒

業研究を履修する場合は 106 単位以上)，合計 124 単位以上を履修すること。

なお，国際専修コースについては，国際教育インスティテュート科目から 20 単位以上を履修すること。履修した単位は，選択科目Ⅲの卒業に必要な単位数を満たしていない場合は選択科目Ⅲの単位として，選択科目Ⅲの卒業に必要な単位数を満たしている場合はメジャー科目Ｄ群の単位として算入され，メジャー科目Ｄ群の卒業に必要な単位数を満たしている場合は選択科目Ⅱの単位として算入する。ただし，専門領域科目の Japanese Society and Global Culture Concentration から履修した単位は，メジャー科目Ｂ群の卒業に必要な単位数を満たしていない場合は，8 単位を上限としてメジャー科目Ｂ群の単位に算入する。

上記にかかわらず，国際教養コースについては，国際教育インスティテュートに示された履修方法に従って履修すること。

○自由科目

教職コンピュータ基礎	2
図書館情報サービス論 Ⅰ	2
図書館情報サービス論 Ⅱ	2
図書館情報資源概論	2
図書館情報資源特論	2
図書館制度・経営論	2
児童サービス論	2
図書館情報学特論	2
情報サービス演習 Ⅰ	2
情報サービス演習 Ⅱ	2
情報資源組織演習 Ⅰ	2
情報資源組織演習 Ⅱ	2
図書館演習	4
学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2
情報メディアの活用	2
学術情報利用教育論	2
学校教育図書館論	2
図書館情報学概論	2
学校図書館サービス論	2
特別ニーズ教育論	2
スクールインターンシップ	2
科学技術概論 Ⅰ	2
科学技術概論 Ⅱ	2
アウトリーチ実習	2
サイエンスライティング	2
サイエンス・ナウ 1	2
サイエンス・ナウ 2	2
サイエンス・ナウ 3	2
サイエンス・ナウ 4	2
サイエンス・ナウ 5	2
サイエンス・ナウ 6	2
サイエンス・ナウ 7	2
サイエンス・ナウ 8	2
サイエンスとインテリジェンス	2
ビジネスワークショップ	2
メディカルワークショップ	2
取材・インタビュー実践講座	2
未知型探索ビジネスワークショップ	2

自由科目は卒業必要単位に算入しない。ただし，科学技術概論Ⅰ，科学技術概論Ⅱ，アウトリーチ実習，サイエンスライティング，サイエンス・ナウ 1，サイエンス・ナウ 2，サイエンス・ナウ 3，サイエンス・ナウ 4，サイエンス・ナウ 5，サイエンス・ナウ 6，サイエンス・ナウ 7，サイエンス・ナウ 8，サイエンスとインテリジェンス，ビジネスワークショップ，メディカルワーク

ショップ，取材・インタビュー実践講座，未知型探索ビジネスワークショップの中から 12 単位以上を履修した場合は，選択科目Ⅱの単位に算入する。

法　学　部

人材養成目的

法学部は，法学及び政治学について，体系的・専門的な知識の伝達と実践的・双方向的な教育をとおして，法学・政治学に関する幅広く深い専門知識を身に付けて，法曹三者，法律専門職，企業の法務部門・企画・総務部門，ジャーナリスト，公務員，大学・シンクタンクなどの研究職などにおいて活躍する人材を育成することを目的とする。

法　律　学　科

人材養成目的

法律学科は，法学について，体系的・専門的な知識の伝達と，実践的・双方向的な教育をとおして，法学の専門的知識と，それを活用して法的問題の妥当な解決を図る能力（いわゆるリーガルマインド）を身に付けて，法曹三者，企業の法務・知的財産・人事・総務部門，公務員，法律専門職，研究職などにおいて活躍する人材を育成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○1　類	
リーガル・リサーチ	2
○2　類	
民法概論	2
国際社会と民事法	2
民事手続法概論	2
商法概論	2
知的財産法概論	2
雇用と法	2
基本的人権概論	2
行政法概論	2
刑法概論	2
刑事手続法概論	2
国際社会と法	2
法と社会	2

上記 2 類科目中から，18 単位以上を選択履修すること。

○3　類	
A　群	
民法　Ⅰa（総則①）	2
民法　Ⅰb（総則②）	2
民法　Ⅱ（物権）	2
民法　Ⅲa（債権総論①）	2
民法　Ⅲb（契約）	2
民法　Ⅳa（担保物権）	2
民法　Ⅳb（債権総論②）	2
民法　Ⅴ（不法行為）	2
民法　Ⅵa（親族）	2
民法　Ⅵb（相続）	2
国際財産法	2
国際家族法	2
国際民事手続法	2
国際取引法	2
民事訴訟法	4
ＡＤＲ・仲裁法	2
民事執行・保全法	2
倒産処理法　Ⅰ（破産法）	2
倒産処理法　Ⅱ（民事再生法・会社更生法）	2
会社法　Ⅰ	2
会社法　Ⅱ	2

会社法 Ⅲ	2
商法総則・商行為法 Ⅰ	2
商法総則・商行為法 Ⅱ	2
経済法 Ⅰ	2
経済法 Ⅱ	2
金融商品取引法	2
保険法	2
知的財産法 A	2
知的財産法 B	2
知的財産法 C	2
雇用関係法 Ⅰ	2
雇用関係法 Ⅱ	2
労使関係法	2
社会保障法 Ⅰ	2
社会保障法 Ⅱ	2
雇用政策法	2
統治の原理 Ⅰ	2
統治の原理 Ⅱ	2
人権保障の原理 Ⅰ	2
人権保障の原理 Ⅱ	2
比較憲法	2
憲法訴訟	2
行政法総論 Ⅰ	2
行政法総論 Ⅱ	2
行政救済法 Ⅰ	2
行政救済法 Ⅱ	2
環境法	2
地方自治法	2
税法 Ⅰ	2
税法 Ⅱ	2
刑法総論 Ⅰ	2
刑法総論 Ⅱ	2
刑法各論 Ⅰ	2
刑法各論 Ⅱ	2
刑事訴訟法 Ⅰ	2
刑事訴訟法 Ⅱ	2
犯罪学	2
刑事政策	2
犯罪対策各論	2
国際法総論 Ⅰ	2
国際法総論 Ⅱ	2
領域の国際法	2
国際紛争と法	2
国際組織法	2
国際人権法	2
国際経済・環境法	2
西洋法史 Ⅰ	2
西洋法史 Ⅱ	2
日本法史 Ⅰ	2
日本法史 Ⅱ	2
西洋法思想史	2
近代法思想の展開	2
東洋法史 Ⅰ	2
東洋法史 Ⅱ	2
法社会学	2
現代法社会学の展開	2
法哲学	2
現代法哲学の展開	2
英米法総論	2
アメリカ法	2
イギリス法	2
ドイツ法	2
フランス法	2

B　群

法学文献研究	2
政治学文献研究	2

C　群

２年次演習	2
３年次演習 1	2
３年次演習 2	2
３・４年次合同演習 1	2
３・４年次合同演習 2	2
３・４年次合同演習 3	2
３・４年次合同演習 4	2
４年次演習 1	2
４年次演習 2	1
４年次演習 3	2

D　群

アリゾナ大学科目 1	1
アリゾナ大学科目 2	2
アリゾナ大学科目 3	3
アリゾナ大学科目 4	4

E　群

会社法特講 Ⅰ	2
会社法特講 Ⅱ	2
憲法特講 Ⅰ	2
憲法特講 Ⅱ	2
行政法特講	2

上記 3 類科目中から，52 単位以上を選択履修すること。ただし，2 類で最低必要単位数以上を履修した場合は，3 類の履修単位に算入する。

法学文献研究，政治学文献研究は 8 単位まで 3 類の必要単位に算入し，8 単位を超えて履修した科目の単位は，7 類の履修単位に算入する。

C群の演習科目は合計 10 単位まで卒業必要単位に算入する。

アリゾナ大学における履修科目はアリゾナ大学科目１～４として，他の大学における履修科目の単位認定と合わせて 60 単位まで卒業必要単位に算入する。

○４　類

国際関係入門	2
日本外交論	2
国際関係史	2
国際関係理論	2
国際政治経済論	2
国際安全保障論	2
東アジア国際関係論	2
日本アジア関係論	2
アメリカ政治外交論	2
ＥＵ政治論	2
中国政治論	2
国際開発協力論	2
国際統合論	2
グローバルガバナンス論	2
東南アジア地域研究	2
南アジア地域研究	2
中東地域研究	2
ロシア・東欧地域研究	2
アフリカ地域研究	2
中南米地域研究	2
日本政治入門	2
歴史・思想入門	2
政治参加と選挙	2
現代民主主義論	2
政党政治論	2
近代日本政治史	2
近代ヨーロッパ政治史	2
近代の政治思想	2

政治思想の源流	2
比較政治	2
官僚制と政治	2
議会政治論	2
地方政府論	2
福祉国家と政治	2
利益集団論	2
政治経済学	2
政治行動論	2
現代日本政治史	2
現代ヨーロッパ政治史	2
アメリカ政治史	2
中国政治史	2
政治指導論	2
現代の政治思想	2
近代日本政治思想史	2
現代日本政治思想史	2
公共経済 1	2
公共経済 2	2
地域経済	2
都市経済	2
経営学	2

本学部が副専攻科目と認めるものにより，副専攻パッケージを構成する。副専攻科目を履修した場合，当該科目の単位のうち，法律学科設置科目は設置されている類の単位とし，その他の科目は4類の単位に算入する。

○5　類

A　群

社会調査概論	2
政治データ分析	2
国際関係特殊講義	2
行政学	2
地方自治論	2
政策過程論	2
現代政治特殊講義	2
政治史特殊講義	2
政治思想特殊講義	2
経済原論	4

B　群

特殊講義 A	2
特殊講義 B	2
特殊演習	2

C　群

司法特講 Ⅰ	2
司法特講 Ⅱ	2
司法特講 Ⅲ	2
司法特講 Ⅳ	2

D　群

大学院共通科目 Ⅰ	2
大学院共通科目 Ⅱ	4

上記5類科目中から選択履修すること。ただし，5類B群は8単位まで卒業必要単位に算入する。

○6　類

A　群

原典講読 A	1

上記科目及び全学共通教養教育科目(外国語教育科目)の英語のうち，卒業必要単位と認められるものから8単位以上を選択履修すること。

ただし，TOEIC，TOEFL，実用英語技能検定試験，国際連合公用語英語検定試験，IELTS で一定水準以上の成果を修めた者は，4単位を限度として，6類A群の単位に認定する。

B　群

原典講読 B	1

上記科目及び全学共通教養教育科目(外国語教育科目)の英語及びイタリア語以外の外国語のうち，卒業必要単位と認められるものから８単位以上を選択履修すること。

全学共通教養教育科目(外国語教育科目)のドイツ語，フランス語，中国語，ロシア語，スペイン語及びコリア語の各外国語入門Ⅰは，２単位のみ６類Ｂ群の履修単位に算入し，各外国語入門Ⅱは，履修した外国語入門Ⅰと同一の外国語の科目２単位のみ６類Ｂ群の履修単位に算入する。

外国人留学生のうち，外国人留学生入学試験により入学した者が，日本語・日本文化教育科目のうち，日本語1(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語1(文法Ⅸ)，日本語2(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語２(文法Ⅸ)，ビジネス日本語Ｃ，ビジネス日本語Ｄの単位を履修した場合は，６類Ｂ群の履修単位に算入する。

○７　類

社会保障論	4
労働問題(1)	2
労働問題(2)	2
社会思想史	2
古代イスラエル宗教史 1	2
古代イスラエル宗教史 2	2
ＮＰＯ・ボランティア活動論	2
日本文化史概説(1)	2
日本文化史概説(2)	2
東洋文化史概説(1)	2
東洋文化史概説(2)	2
西洋文化史概説(1)	2
西洋文化史概説(2)	2
人文地理学(1)	2
人文地理学(2)	2
地誌学	2
地理学総論(1)	2
地理学総論(2)	2
哲学概論(1)	2
哲学概論(2)	2
倫理学概論(1)	2
倫理学概論(2)	2
心理学概論(1)	2
心理学概論(2)	2
社会学概論	4

上記７類科目のほか，全学共通教養教育科目(同志社科目，人文科学系科目，社会科学系科目，自然科学系科目，人間科学系科目，国際教養科目，外国語教育科目，ライフデザイン科目，クリエイティブ・ジャパン科目，トピック科目)及び日本語・日本文化教育科目のうち，卒業必要単位と認められる科目，同志社女子大学単位互換科目並びに大学コンソーシアム京都単位互換科目から，42単位以上を選択履修すること。ただし，同志社女子大学単位互換科目及び大学コンソーシアム京都単位互換科目は，合計12単位まで，７類の履修単位に算入する。

なお，日本語・日本文化教育科目は，外国人留学生のうち，外国人留学生入学試験により入学した者が履修することができる。

また，学則第27条の２に定める留学及び早稲田大学への学生交流による履修科目を留学等単位認定科目として７類の単位に認定することがある。

１類科目，４類科目及び５類科目の履修単位，並びに３類で最低必要単位数を超えて履修した科目の単位(２類科目で最低必要単位数以上を履修し，３類の履修単位に算入したものを含む)，及び６類で最低必要単位数を超えて履修した科目の単位(全学共通教養教育科目[外国語教育科目]のドイツ語，フランス語，中国語，ロシア語，

スペイン語及びコリア語の各外国語入門Ⅰ・Ⅱで，6 類の履修単位に算入されないものを含む)は，7 類の履修単位に算入する。

以上 1 類～7 類のそれぞれの最低必要単位数以上を履修し，合計 128 単位以上を履修すること。

法曹養成プログラムを置く。法曹養成プログラムの修了に必要な要件は，別に定める。

○自由科目

教職コンピュータ基礎	2
教職概論	2
教育原理	2
発達と学習の心理学	2
教育制度と学校経営	2
学校教育社会学	2
教育課程論	2
教育方法とＩＣＴ活用の理論と実践	2
社会科・地理歴史科教育法	2
社会科・公民科教育法	2
社会科教育法 1	2
社会科教育法 2	2
地理歴史科教育法	2
公民科教育法	2
道徳教育の理論と実践	2
特別活動と総合的な学習の時間の指導法	2
生徒・進路指導の理論と方法	2
教育相談の理論と方法	2
教職実践演習(中・高)	2
教育実習指導	1
教育実習 A	2
教育実習 B	2
教育実習 C	4
人権教育論	2
特別ニーズ教育論	2
スクールインターンシップ	2
学校教育文化論(1)	2
学校教育文化論(2)	2
生涯教育計画論	2
多文化共生社会と生涯学習	2
学校教育図書館論	2
学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2
読書と豊かな人間性	2
情報メディアの活用	2
学校図書館サービス論	2

自由科目は，卒業必要単位に算入しない。

希望者は，他学部の科目であっても，当該学部が認めた科目は，これを履修することができる。履修した他学部の科目(本学部が副専攻科目と認めるものは除く)は，卒業に必要な単位数に算入しない。

上記にかかわらず，国際教養コースについては，国際教育インスティテュートに示された履修方法に従って履修すること。

政　治　学　科

人材養成目的

政治学科は，政治学について，体系的・専門的な知識の伝達と，実践的・双方向的な教育をとおして，政治学の専門的知識と，問題発見・解決能力を身に付けて，公務員，国際公務員，企業の企画・総務部門，ジャーナリスト，研究職などにおいて活躍する人材を育成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○1　類	
政治学入門	2

国際関係入門	2
日本政治入門	2
歴史・思想入門	2

○2　類

政治学基礎 A	2
政治学基礎 B	2
日本外交論	2
国際関係史	2
国際関係理論	2
国際政治経済論	2
国際安全保障論	2
政治参加と選挙	2
現代民主主義論	2
政党政治論	2
近代日本政治史	2
近代ヨーロッパ政治史	2
近代の政治思想	2
政治思想の源流	2
政治学への誘い	2
社会調査概論	2
政治データ分析	2
基本的人権概論	2

上記 1 類及び 2 類から合計 20 単位以上を選択履修すること。

○3　類

A　群

東アジア国際関係論	2
日本アジア関係論	2
アメリカ政治外交論	2
ＥＵ政治論	2
中国政治論	2
国際開発協力論	2
国際統合論	2
グローバルガバナンス論	2
東南アジア地域研究	2
南アジア地域研究	2
中東地域研究	2
ロシア・東欧地域研究	2
アフリカ地域研究	2
中南米地域研究	2
国際関係特殊講義	2

B　群

比較政治	2
官僚制と政治	2
議会政治論	2
地方政府論	2
福祉国家と政治	2
利益集団論	2
政治経済学	2
政治行動論	2
行政学	2
地方自治論	2
政策過程論	2
現代政治特殊講義	2

C　群

現代日本政治史	2
現代ヨーロッパ政治史	2
アメリカ政治史	2
中国政治史	2
政治指導論	2
現代の政治思想	2
近代日本政治思想史	2
現代日本政治思想史	2
西洋法思想史	2

近代法思想の展開	2
法哲学	2
現代法哲学の展開	2
政治史特殊講義	2
政治思想特殊講義	2

国際関係特殊講義，現代政治特殊講義，政治史特殊講義及び政治思想特殊講義は，各 6 単位まで 3 類の必要単位に算入し，6 単位を超えて履修した単位は，7 類の単位に算入する。

上記 3 類の各群から，それぞれ 4 単位以上を選択履修し，かつＡ群，Ｂ群又はＣ群のいずれか 1 つの群から，さらに 10 単位以上を選択履修すること。

○４　類

統治の原理 Ⅰ	2
統治の原理 Ⅱ	2
人権保障の原理 Ⅰ	2
人権保障の原理 Ⅱ	2
比較憲法	2
憲法訴訟	2
行政法概論	2
行政法総論 Ⅰ	2
行政法総論 Ⅱ	2
行政救済法 Ⅰ	2
行政救済法 Ⅱ	2
環境法	2
地方自治法	2
税法 Ⅰ	2
税法 Ⅱ	2
国際法総論 Ⅰ	2
国際法総論 Ⅱ	2
領域の国際法	2
国際紛争と法	2
国際組織法	2
国際人権法	2
国際経済・環境法	2
経済原論	4
経済数学 Ⅰ	2
経済数学 Ⅱ	2
公共経済 1	2
公共経済 2	2
統計 Ⅰ	2
統計 Ⅱ	2

○５　類

Ａ　群

２年次演習	2
３年次演習 1	2
３年次演習 2	2
３・４年次合同演習 1	2
３・４年次合同演習 2	2
３・４年次合同演習 3	2
３・４年次合同演習 4	2
４年次演習 1	2
４年次演習 2	1
４年次演習 3	2

Ｂ　群

法学文献研究	2
政治学文献研究	2

上記 1 類～5 類から合計 70 単位以上を選択履修すること。ただし，Ａ群の演習科目は合計 10 単位まで卒業必要単位に算入する。

法学文献研究，政治学文献研究は 8 単位まで 5 類の必要単位に算入し，8 単位を超えて履修した科目の単位は，7 類の履修単位に算入する。

○６　類

Ａ　群

原典講読 Ａ　1

上記科目及び全学共通教養教育科目(外国語教育科目)の英語のうち，卒業必要単位と認められるものから８単位以上を選択履修すること。

ただし，TOEIC，TOEFL，実用英語技能検定試験，国際連合公用語英語検定試験，IELTS で一定水準以上の成果を修めた者は，4 単位を限度として，6 類Ａ群の単位に認定する。

Ｂ　群

原典講読 Ｂ　1

上記科目及び全学共通教養教育科目(外国語教育科目)の英語及びイタリア語以外の外国語のうち，卒業必要単位と認められるものから８単位以上を選択履修すること。

全学共通教養教育科目(外国語教育科目)のドイツ語，フランス語，中国語，ロシア語，スペイン語及びコリア語の各外国語入門Ⅰは，2 単位のみ 6 類Ｂ群の履修単位に算入し，各外国語入門Ⅱは，履修した外国語入門Ⅰと同一の外国語の科目 2 単位のみ 6 類Ｂ群の履修単位に算入する。

外国人留学生のうち，外国人留学生入学試験により入学した者が，日本語・日本文化教育科目のうち，日本語1(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語1(文法Ⅸ)，日本語2(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語2(文法Ⅸ)，ビジネス日本語Ｃ，ビジネス日本語Ｄの単位を履修した場合は，6 類Ｂ群の履修単位に算入する。

○7　類

Ａ　群

民法概論	2
国際社会と民事法	2
民事手続法概論	2
商法概論	2
知的財産法概論	2
雇用と法	2
刑法概論	2
刑事手続法概論	2
国際社会と法	2
法と社会	2
民法 Ⅰa(総則①)	2
民法 Ⅰb(総則②)	2
民法 Ⅱ(物権)	2
民法 Ⅲa(債権総論①)	2
民法 Ⅲb(契約)	2
民法 Ⅳa(担保物権)	2
民法 Ⅳb(債権総論②)	2
民法 Ⅴ(不法行為)	2
民法 Ⅵa(親族)	2
民法 Ⅵb(相続)	2
国際財産法	2
国際家族法	2
国際民事手続法	2
国際取引法	2
民事訴訟法	4
ＡＤＲ・仲裁法	2
民事執行・保全法	2
倒産処理法 Ⅰ(破産法)	2
倒産処理法 Ⅱ(民事再生法・会社更生法)	2
会社法 Ⅰ	2
会社法 Ⅱ	2
会社法 Ⅲ	2
商法総則・商行為法 Ⅰ	2
商法総則・商行為法 Ⅱ	2
経済法 Ⅰ	2

経済法 Ⅱ	2
金融商品取引法	2
保険法	2
知的財産法 A	2
知的財産法 B	2
知的財産法 C	2
雇用関係法 Ⅰ	2
雇用関係法 Ⅱ	2
労使関係法	2
社会保障法 Ⅰ	2
社会保障法 Ⅱ	2
雇用政策法	2
刑法総論 Ⅰ	2
刑法総論 Ⅱ	2
刑法各論 Ⅰ	2
刑法各論 Ⅱ	2
刑事訴訟法 Ⅰ	2
刑事訴訟法 Ⅱ	2
犯罪学	2
刑事政策	2
犯罪対策各論	2
西洋法史 Ⅰ	2
西洋法史 Ⅱ	2
日本法史 Ⅰ	2
日本法史 Ⅱ	2
東洋法史 Ⅰ	2
東洋法史 Ⅱ	2
法社会学	2
現代法社会学の展開	2
英米法総論	2
アメリカ法	2
イギリス法	2
ドイツ法	2
フランス法	2
B 群	
特殊講義 A	2
特殊講義 B	2
特殊演習	2
7類B群は，8単位まで卒業必要単位に算入する。	
C 群	
大学院共通科目 Ⅰ	2
大学院共通科目 Ⅱ	4
D 群	
中級ミクロ経済学 1	2
中級ミクロ経済学 2	2
中級マクロ経済学 1	2
中級マクロ経済学 2	2
計量経済学 1	2
計量経済学 2	2
経済予測 1	2
経済予測 2	2
金融 1	2
金融 2	2
労働経済 1	2
労働経済 2	2
福祉経済 1	2
福祉経済 2	2
地域経済	2
都市経済	2
経済政策 1	2
経済政策 2	2
開発経済 1	2
開発経済 2	2
企業経済 1	2

企業経済 2	2	国際マクロ経済学	2
産業組織 1	2	政治経済学 1	2
産業組織 2	2	政治経済学 2	2
日本経済史 1	2	環境政策 1	2
日本経済史 2	2	環境政策 2	2
京都経済史 1	2	ＮＰＯ・ボランティア活動論	2
京都経済史 2	2	社会保障論	4
世界経済史 1	2	労働問題(1)	2
世界経済史 2	2	労働問題(2)	2
比較社会経済	2	地域社会学	4
比較社会経済史	2	産業社会学(1)	2
経済思想史 1	2	産業社会学(2)	2
経済思想史 2	2	社会心理学	4
現代経済思想史	2	コミュニケーション論	2
日本経済思想史	2	情報行動論	2
アジア経済	2	現代哲学(1)	2
アジア経済史	2	現代哲学(2)	2
中国経済	2	社会思想史	2
中国経済史	2	日英文化比較(1)	2
アメリカ経済	2	日英文化比較(2)	2
アメリカ経済史	2	西洋社会史(1)	2
社会政策 1	2	西洋社会史(2)	2
社会政策 2	2	商業史	2
現代資本主義 1	2	経済学	2
現代資本主義 2	2	メディア文化史	2
宗教経済 1	2	古代イスラエル宗教史 1	2
宗教経済 2	2	古代イスラエル宗教史 2	2
文化経済 1	2	日本文化史概説(1)	2
文科経済 2	2	日本文化史概説(2)	2
エネルギー経済 1	2	東洋文化史概説(1)	2
エネルギー経済 2	2	東洋文化史概説(2)	2
国際経済	2	西洋文化史概説(1)	2

西洋文化史概説(2)	2
人文地理学(1)	2
人文地理学(2)	2
地誌学	2
地理学総論(1)	2
地理学総論(2)	2
社会人類学	4
哲学概論(1)	2
哲学概論(2)	2
倫理学概論(1)	2
倫理学概論(2)	2
心理学概論(1)	2
心理学概論(2)	2
社会学概論	4

上記 7 類科目のほか，全学共通教養教育科目(同志社科目，人文科学系科目，社会科学系科目，自然科学系科目，人間科学系科目，国際教養科目，外国語教育科目，ライフデザイン科目，クリエイティブ・ジャパン科目，トピック科目）及び日本語・日本文化教育科目のうち，卒業必要単位と認められる科目，同志社女子大学単位互換科目並びに大学コンソーシアム京都単位互換科目から，42 単位以上を選択履修すること。ただし，同志社女子大学単位互換科目及び大学コンソーシアム京都単位互換科目は，合計 12 単位まで，7 類の履修単位に算入する。

なお，日本語・日本文化教育科目は外国人留学生のうち，外国人留学生入学試験により入学した者が履修することができる。

また，学則第 27 条の 2 に定める留学及び早稲田大学への学生交流による履修科目を留学等単位認定科目として 7 類の単位に認定することがある。

1 類～3 類，4 類並びに 5 類で最低必要単位数を超えて履修した科目の単位，及び 6 類で最低必要単位数を超えて履修した科目の単位(全学共通教養教育科目[外国語教育科目]のドイツ語，フランス語，中国語，ロシア語，スペイン語及びコリア語の各外国語入門Ⅰ・Ⅱで，6 類の履修単位に算入されないものを含む)は，7 類の履修単位に算入する。

上記科目，並びに，本学部が副専攻科目と認めるものにより，副専攻パッケージを構成する。副専攻科目を履修した場合，当該科目の単位のうち，政治学科設置科目は設置されている類の単位とし，その他の科目は 7 類の単位に算入する。

以上 1 類～7 類のそれぞれの最低必要単位数以上を履修し，合計 128 単位以上を履修すること。

○自由科目

教職コンピュータ基礎	2
教職概論	2
教育原理	2
発達と学習の心理学	2
教育制度と学校経営	2
学校教育社会学	2
教育課程論	2
教育方法とＩＣＴ活用の理論と実践	2
社会科・地理歴史科教育法	2
社会科・公民科教育法	2
社会科教育法 1	2
社会科教育法 2	2
地理歴史科教育法	2
公民科教育法	2
道徳教育の理論と実践	2
特別活動と総合的な学習の時間の指導法	2
生徒・進路指導の理論と方法	2
教育相談の理論と方法	2
教職実践演習(中・高)	2

教育実習指導	1
教育実習 A	2
教育実習 B	2
教育実習 C	4
人権教育論	2
特別ニーズ教育論	2
スクールインターンシップ	2
学校教育文化論(1)	2
学校教育文化論(2)	2
生涯教育計画論	2
多文化共生社会と生涯学習	2
学校教育図書館論	2
学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2
読書と豊かな人間性	2
情報メディアの活用	2
学校図書館サービス論	2

自由科目は，卒業必要単位に算入しない。

希望者は，他学部の科目であっても，当該学部が認めた科目は，これを履修することができる。履修した他学部の科目(本学部が副専攻科目と認めるものは除く)は，卒業に必要な単位数に算入しない。

上記にかかわらず，国際教養コースについては，国際教育インスティテュートに示された履修方法に従って履修すること。

経　済　学　部

経　済　学　科

人材養成目的

経済学部経済学科は，長い歴史に培われてきた教育研究環境の下で，幅広い教養を身に付けるための科目，経済学の系統的・段階的理解をはかる科目，及び問題発見と問題解決能力の強化をはかる科目を提供し，主体的な学修を促すことにより，国際化する経済・社会の状況に対応し，広く社会のために行動しうる，自治自立の人物を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○1　類	
導入科目	
経済理論入門	2
日本経済入門	2
経済学の歴史	2
ＩＴ基礎論 1	2
基礎演習	2
基礎科目	
初級ミクロ経済学 Ⅰ	2
初級ミクロ経済学 Ⅱ	2
初級マクロ経済学 Ⅰ	2
初級マクロ経済学 Ⅱ	2
経済数学 Ⅰ	2
経済数学 Ⅱ	2
統計 Ⅰ	2
統計 Ⅱ	2
経済史	2
環境と資源の基礎	2
ＩＴ基礎論 2	2
データ処理基礎論	2
基幹科目	
中級ミクロ経済学 1	2
中級ミクロ経済学 2	2
ゲーム理論	2
中級マクロ経済学 1	2
中級マクロ経済学 2	2

応用マクロ経済学	2	環境政策 1	2
数理経済 1	2	環境政策 2	2
数理経済 2	2	エネルギー経済 1	2
国際経済	2	エネルギー経済 2	2
国際マクロ経済学	2	エコロジー経済 1	2
中級経済数学 1	2	エコロジー経済 2	2
中級経済数学 2	2	計量経済学 1	2
行動経済学	2	計量経済学 2	2
地域経済	2	計量分析実習 1	2
都市経済	2	計量分析実習 2	2
企業経済 1	2	経済予測 1	2
企業経済 2	2	経済予測 2	2
産業組織 1	2	統計実習	2
産業組織 2	2	経済思想史 1	2
宗教経済 1	2	経済思想史 2	2
宗教経済 2	2	現代経済思想史	2
文化経済 1	2	日本経済思想史	2
文化経済 2	2	国際政治経済 1	2
公共経済 1	2	国際政治経済 2	2
公共経済 2	2	現代資本主義 1	2
金融 1	2	現代資本主義 2	2
金融 2	2	政治経済学 1	2
財政 1	2	政治経済学 2	2
財政 2	2	日本経済史 1	2
労働経済 1	2	日本経済史 2	2
労働経済 2	2	京都経済史 1	2
福祉経済 1	2	京都経済史 2	2
福祉経済 2	2	アジア経済	2
社会政策 1	2	アジア経済史	2
社会政策 2	2	中国経済	2
経済政策 1	2	中国経済史	2
経済政策 2	2	世界経済史 1	2

世界経済史 2	2
比較社会経済	2
比較社会経済史	2
アメリカ経済	2
アメリカ経済史	2
ヨーロッパ経済	2
ヨーロッパ経済史	2
開発経済 1	2
開発経済 2	2
ネットワークシステム論	2
データベースシステム論	2
システムモデリング論	2
プログラミング 1	2
プログラミング 2	2
プログラミング 3	2
スクリプティング	2
情報システム論	2
ビジネスシステム論	2
演習	
２年次演習	2
３年次演習 1	2
３年次演習 2	2
卒業研究	6
演習関連科目	
２年次演習関連科目	2
３年次演習関連科目 1	2
３年次演習関連科目 2	2
エコノミクス・ワークショップ	
エコノミクス･ワークショップ･プライマリ 1	2
エコノミクス･ワークショップ･プライマリ 2	2
エコノミクス･ワークショップ･アドバンスト	2

基礎科目から 18 単位以上，このうちグレードⅡ（初級ミクロ経済学Ⅱ，初級マクロ経済学Ⅱ，経済数学Ⅱ，統計Ⅱ）から 4 単位以上，基幹科目から 24 単位以上を選択履修し，かつ 1 類から 66 単位以上を選択履修すること。

○2　類

オフィスＩＣＴスキルズ Ⅰ	2
オフィスＩＣＴスキルズ Ⅱ	2
ビジネスＩＣＴスキルズ Ⅰ	2
ビジネスＩＣＴスキルズ Ⅱ	2

上記科目のほか，全学共通教養教育科目の外国語教育科目および日本語・日本文化教育科目のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。ただし，イタリア語は 3 類科目の履修単位に算入する。

英語 8 単位または日本語 8 単位を履修し，英語 8 単位を履修した場合は，これに加えて，英語以外の一種類の外国語を選択し 8 単位以上またはオフィスＩＣＴスキルズⅠ・Ⅱ，ビジネスＩＣＴスキルズⅠ・Ⅱ（以下，コンピュータ言語）の 8 単位を選択履修すること。また，日本語 8 単位を履修した場合は，これに加えて，一種類の外国語を選択し 8 単位以上またはコンピュータ言語の 8 単位を選択履修すること。もしくは，英語 12 単位または日本語 12 単位を履修し，英語 12 単位を履修した場合は，これに加えて，英語以外の一種類の外国語を選択し 4 単位以上またはコンピュータ言語の 4 単位以上を選択履修すること。また，日本語 12 単位を履修した場合は，これに加えて，一種類の外国語を選択し 4 単位以上またはコンピュータ言語の 4 単位以上を選択履修すること。

なお，英語を履修する場合は，8 単位履修，12 単位履修のいずれの場合においても経済学部が定めた科目から 8 単位を履修すること。

ただし，日本語・日本文化教育科目の履修は外国人留学生のうち，外国人留学生入学試験により入学した者に限る。

以上のとおり履修し，2類から合計16単位以上を選択履修すること。

なお，TOEIC，TOEFL，IELTS，実用英語技能検定試験，国際連合公用語英語検定試験で一定水準以上の成果を修めた者は，4単位を限度として2類の単位に認定する。

○３　類

文化と社会	2
科学と技術	2
企業分析	2
日本の憲法	2
民法 1	2
民法 2	2
商法 1	2
商法 2	2
労働法 1	2
労働法 2	2
労働法 3	2
労働法 4	2
経済法 1	2
経済法 2	2
簿記学 Ⅰ	2
簿記学 Ⅱ	2
会計学	2
経営学	2
原価計算論	2
テュービンゲン大学ＩＥＳ科目	2

上記科目のほか，全学共通教養教育科目(同志社科目，人文科学系科目，社会科学系科目，自然科学系科目，人間科学系科目，国際教養科目，ライフデザイン科目，クリエイティブ・ジャパン科目，トピック科目，外国語教育科目のイタリア語)のうち卒業必要単位と認められる科目から16単位以上を選択履修すること。

外国人留学生が，日本語・日本文化教育科目のうち，日本語1，日本語2，ビジネス日本語Ｃ，ビジネス日本語Ｄを除く科目から単位を履修した場合は，3類の履修単位に算入する。

○４　類

教職概論	2
人権教育論	2
教育原理	2
心理学概論(1)	2
心理学概論(2)	2
発達と学習の心理学	2
学校教育社会学	2
教育制度と学校経営	2
道徳教育の理論と実践	2
特別活動と総合的な学習の時間の指導法	2
生徒・進路指導の理論と方法	2
教育相談の理論と方法	2
教育方法とＩＣＴ活用の理論と実践	2
教育課程論	2
学校教育文化論(1)	2
学校教育文化論(2)	2
生涯教育計画論	2
多文化共生社会と生涯学習	2
学校教育図書館論	2
学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2
読書と豊かな人間性	2
情報メディアの活用	2
社会科教育法 1	2
社会科教育法 2	2
地理歴史科教育法	2
公民科教育法	2

社会科・地理歴史科教育法	2	日本美術史概説(2)	2
社会科・公民科教育法	2	西洋美術史概説(1)	2
日本文化史概説(1)	2	西洋美術史概説(2)	2
日本文化史概説(2)	2	日本美術史(1)	2
東洋文化史概説(1)	2	日本美術史(2)	2
東洋文化史概説(2)	2	東洋美術史(1)	2
西洋文化史概説(1)	2	東洋美術史(2)	2
西洋文化史概説(2)	2	西洋近代史(1)	2
人文地理学(1)	2	西洋近代史(2)	2
人文地理学(2)	2	考古学概論(1)	2
地理学総論(1)	2	考古学概論(2)	2
地理学総論(2)	2	民俗学(1)	2
地誌学	2	民俗学(2)	2
哲学概論(1)	2	図書館情報学概論	2
哲学概論(2)	2	図書館制度・経営論	2
倫理学概論(1)	2	図書館情報サービス論 Ⅰ	2
倫理学概論(2)	2	図書館情報サービス論 Ⅱ	2
社会学概論	4	情報資源組織論 Ⅰ	2
近代日本政治史	2	情報資源組織論 Ⅱ	2
現代日本政治史	2	児童サービス論	2
近代ヨーロッパ政治史	2	図書・図書館史	2
現代ヨーロッパ政治史	2	図書館情報資源概論	2
日本社会史(1)	2	図書館情報資源特論	2
日本社会史(2)	2	図書館情報技術論	2
日本地域史研究(1)	2	図書館情報学特論	2
日本地域史研究(2)	2	情報サービス演習 Ⅰ	2
西洋社会史(1)	2	情報サービス演習 Ⅱ	2
西洋社会史(2)	2	情報資源組織演習 Ⅰ	2
商業史	2	情報資源組織演習 Ⅱ	2
日本商業史	2	図書館演習	4
生涯学習概論	2	学術情報利用教育論	2
日本美術史概説(1)	2	学校図書館サービス論	2

博物館概論	2
博物館経営論	2
博物館資料論	2
博物館情報メディア論	2
博物館教育論	2
博物館資料保存論	2
博物館展示論	2

上記 4 類科目は，卒業に必要な単位とは別に独自に履修することができる。

○5　類

1 類科目，3 類科目，4 類科目，法学部設置科目，サイエンスコミュニケーター養成に関わる科目及び国際教育インスティテュートに示された科目のうち，本学部が副専攻科目と認めるものにより，副専攻パッケージを構成する。

選択した副専攻パッケージの科目は，それぞれ 20 単位を限度として卒業必要単位に算入する。20 単位を超えて修得した単位は 6 類の履修単位に算入する。ただし，1 類の科目は 1 類の，3 類の科目は 3 類の，4 類の科目は 4 類の卒業必要単位に算入する。

○6　類

他学部設置科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目，同志社女子大学単位互換科目は 6 類の履修単位に算入する。6 類科目は 12 単位を限度として卒業必要単位に算入する。

以上卒業に必要な単位として 1 類～6 類から合計 124 単位以上を履修すること。

○自由科目

教職実践演習(中・高)	2
教育実習指導	1
教育実習 A	2
教育実習 B	2
教育実習 C	4
特別ニーズ教育論	2
スクールインターンシップ	2

上記科目のほか，全学共通教養教育科目(社会科学系科目)の経済学 1，経済学 2 を履修することができる。

自由科目は，卒業必要単位に算入しない。

上記にかかわらず，国際教養コースについては，国際教育インスティテュートに示された履修方法に従って履修すること。

商　学　部

商　学　科

人材養成目的

商学部商学科は，現代産業社会の経済活動について，基礎的な知識の修得をはかるとともに豊かな教養を培い，専門領域の体系的かつ系統的な教育方針に基づく学習と実践的能力の育成をとおして，企業や産業に関わる諸問題を的確に分析し，その解決のための判断能力を身に付け，国内外の各分野において「良心を手腕に運用する」有為の人材を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位
1　類　　導入科目	
アカデミック・リテラシー Ⅰ	2
アカデミック・リテラシー Ⅱ	2
ビジネス・トピックス	2
2　類　　入門科目	
基本統計学	2
現代ビジネス	2
簿記学 Ⅰ	2
簿記学 Ⅱ	2

上記 2 類入門科目から 6 単位以上を履修すること。

３　類　　学系基礎科目

学系基礎科目　Ⅰ

経済・歴史学系

経済学	2

商業・金融学系

商業学	2

貿易・国際学系

国際経済学	2

企業・経営学系

経営学	2

簿記・会計学系

会計学	2

上記学系基礎科目Ⅰから8単位以上を履修すること。

学系基礎科目　Ⅱ

経済・歴史学系

ミクロ経済学	2
マクロ経済学	2
計量経済学	2
商業史	2

商業・金融学系

流通論	2
マーケティング論	2
金融論	2
証券論	2

貿易・国際学系

貿易論	2
貿易業務論	2
国際金融論	2
国際商取引論	2

企業・経営学系

経営管理論	2
経営組織論	2
経営戦略論	2
経営史	2

簿記・会計学系

簿記学　Ⅲ	2
工業簿記　Ⅰ	2
財務会計論	2
監査論	2

上記学系基礎科目Ⅱから各学系2単位以上，計10単位以上を履修すること。

４　類　　学系展開科目

経済・歴史学系

経済変動論	2
市場と人間	2
経済統計分析	2
戦略の経済学	2
日本商業史	2
現代商業史	2
オペレーションズ・リサーチ	2
多変量解析	2
数量分析の基礎	2
ポリティカル・エコノミー	2
産業組織論	2
西洋商業史	2
企業者史	2

商業・金融学系

商品学	2
観光論	2
物流システム論	2
消費者行動論	2
マーケティング・リサーチ	2
サービス・マーケティング論	2
貨幣論	2

銀行論	2
金融政策論	2
ファイナンス論	2
企業金融論	2
保険論	2
リスクマネジメント	2
金融システム論	2
旅行産業論	2
交通論	2
海運論	2
ロジスティクス	2
商業地理	2
商店立地論	2
広告論	2
損害保険論	2
年金論	2
海上保険論	2
貿易・国際学系	
世界経済論	2
現代国際金融	2
経済統合論	2
欧米経済論	2
発展途上国経済論	2
アジア経済論	2
国際ビジネス・コミュニケーション論	2
国際電子商取引論	2
貿易契約論	2
貿易外国語(英語)	2
貿易外国語(中国語)	2
貿易政策論	2
国際開発論	2
ＡＳＥＡＮ経済論	2
韓国経済論	2
中国経済論	2
国際商務ルール論	2
貿易代金決済論	2
国際ビジネス規制論	2
中国ビジネス投資論	2
国際環境経済論	2
国際環境政策	2
企業・経営学系	
労務管理論	2
生産管理論	2
現代企業論	2
ソーシャル・マネジメント論	2
中小企業論	2
経営分析論	2
経営統計論	2
ビジネス・リサーチ	2
国際経営論	2
技術経営論	2
事業システム論	2
コーポレート・ガバナンス論	2
人的資源管理論	2
賃金論	2
ダイバーシティ・マネジメント論	2
財務管理論	2
ビッグビジネス論	2
産業分析論	2
商業経営論	2
多国籍企業論	2
工業経営論	2
簿記・会計学系	
簿記学 Ⅳ	2

工業簿記 Ⅱ	2
財務諸表論	2
制度会計論	2
情報会計論	2
管理会計論	2
原価計算論	2
税務会計論	2
国際会計論	2
財務諸表監査	2
財務諸表分析	2
現代会計論	2
連結会計	2
行動会計学	2
国際管理会計	2
戦略管理会計	2
コストマネジメント	2
分析会計論	2
非財務情報開示	2
非財務情報監査	2
会計基準論	2

5　類　　実践科目

商業簿記「日商１級」	2
工業簿記「日商１級」	2
会計学「日商１級」	2
原価計算「日商１級」	2
中小企業診断 Ⅰ	2
中小企業診断 Ⅱ	2
ファイナンシャル・プランナー基礎	2
ファイナンシャル・プランナー応用 1	2
ファイナンシャル・プランナー応用 2	2
ファイナンシャル・プランナー実践	2
インターンシップ・プログラム	2
海外ビジネス Ⅱ	4
Business Presentations in English	2
ワークショップ	2
証券ビジネス	2
メディア環境変化と広告	2
消費者問題	2
新時代のリスクと保険事業	2
証券アナリスト入門	2
国際ビジネス	2
現代の企業経営と労務監査	2
営業学入門	2
メディア・スタートアップ	2
アントレプレナーシップ実践	2
現代における会計の役割	2
国際会計の実務	2

6　類　　専門外国語科目

外国書講読(英語)	2
外国書講読(ドイツ語)	2
外国書講読(フランス語)	2
外国書講読(中国語)	2
外国書講読(スペイン語)	2
外国書講読(ロシア語)	2
外国書講読(コリア語)	2
Business English	2
専門外国語特講	2

上記６類専門外国語科目から２単位以上を履修すること。

7　類　　演習科目

演習 Ⅰ	2
演習 Ⅱ	2
演習 Ⅲ	2
卒業研究演習 Ⅰ	2

卒業研究演習 Ⅱ	2
卒業研究演習 Ⅲ	2

８　類　　隣接科目

社会学概論	4
統計 Ⅰ	2
統計 Ⅱ	2
経済政策 1	2
経済政策 2	2
財政学 1	2
財政学 2	2
民法 Ⅱ(物権)	2
民法 Ⅲa(債権総論①)	2
民法 Ⅳa(担保物権)	2
民法 Ⅳb(債権総論②)	2
会社法 Ⅰ	2
会社法 Ⅱ	2
会社法 Ⅲ	2
比較憲法	2
国際法総論 Ⅰ	2
領域の国際法	2
国際関係理論	2
国際政治経済論	2

商学総合コースでは主学系，副学系の二つの学系を選択し，4 類学系展開科目のうち選択した学系からそれぞれ最低 4 単位以上，合計 20 単位以上を履修すること。

フレックス複合コースでは主学系を選択し，4 類学系展開科目のうち選択した学系から 10 単位以上を履修すること。フレックス複合コースのうち専門特化型を選択した場合は，さらに 4 類学系展開科目のうち主学系の科目及び 5 類実践科目と 6 類専門外国語科目の関連する科目から 10 単位以上を履修すること。

上記を含め，1～8 類から，商学総合コースでは 80 単位以上，フレックス複合コースでは 70 単位以上を履修すること。

９　類　　教養科目

全学共通教養教育科目（同志社科目，人文科学系科目，社会科学系科目，自然科学系科目，人間科学系科目，国際教養科目，ライフデザイン科目，クリエイティブ・ジャパン科目，トピック科目）から 12 単位以上を履修すること。

ただし，商学は履修できない。

なお，外国人留学生が，クリエイティブ・ジャパン科目のうち，日本の伝統と美，日本の伝統と文化，日本の伝統と芸能，日本の伝統と能楽，日本の伝統と芸術を履修する場合は，12 類外国人留学生科目を履修すること。

１０　類　　外国語科目

実践英語 A	2
実践英語 B	2
実践英語 C	2

商学総合コースでは，全学共通教養教育科目の外国語教育科目（英語，ドイツ語，フランス語，中国語，スペイン語，ロシア語，コリア語）から二つの外国語を選択し，卒業に必要と認められる科目各 8 単位，計 16 単位以上を履修すること。

フレックス複合コースでは，同外国語教育科目（英語，ドイツ語，フランス語，中国語，スペイン語，ロシア語，コリア語）から一つの外国語を選択し，卒業に必要と認められる科目 8 単位以上を履修すること。

TOEIC，TOEFL，IELTS，実用英語技能検定試験及び国際連合公用語英語検定試験で一定水準以上の成果を修めた者は，6 単位を限度として，10 類外国語科目の英語の単位として認定する。

１１　類　　自主選択科目

哲学概論(1)	2

哲学概論(2)	2
倫理学概論(1)	2
倫理学概論(2)	2
心理学概論(1)	2
心理学概論(2)	2
日本思想史(1)	2
日本思想史(2)	2
人文地理学(1)	2
人文地理学(2)	2
地理学総論(1)	2
地理学総論(2)	2
地誌学	2
日本文化史概説(1)	2
日本文化史概説(2)	2
東洋文化史概説(1)	2
東洋文化史概説(2)	2
西洋文化史概説(1)	2
西洋文化史概説(2)	2
日本社会史(1)	2
日本社会史(2)	2
日本地域史研究(1)	2
日本地域史研究(2)	2
西洋思想史(1)	2
西洋思想史(2)	2
西洋社会史(1)	2
西洋社会史(2)	2
近代ヨーロッパ政治史	2
現代ヨーロッパ政治史	2
近代日本政治史	2
現代日本政治史	2
アメリカ政治外交論	2
日本外交論	2

商業科教育法 A	2
商業科教育法 B	2
教職実践演習(中・高)	2
教育実習指導	1
教育実習 A	2
教育実習 B	2
教育実習 C	4
職業指導 Ⅰ	2
職業指導 Ⅱ	2
教職情報処理実習	2
博物館概論	2
博物館経営論	2
博物館資料論	2
博物館情報メディア論	2
博物館資料保存論	2
博物館展示論	2
博物館教育論	2
博物館実習 Ⅰ	2
博物館実習 Ⅱ	1
教職概論	2
教育原理	2
発達と学習の心理学	2
教育制度と学校経営	2
学校教育社会学	2
教育課程論	2
教育方法とＩＣＴ活用の理論と実践	2
社会科・地理歴史科教育法	2
社会科・公民科教育法	2
社会科教育法 1	2
社会科教育法 2	2
地理歴史科教育法	2
公民科教育法	2

道徳教育の理論と実践	2
生徒・進路指導の理論と方法	2
教育相談の理論と方法	2
人権教育論	2
スクールインターンシップ	2
特別ニーズ教育論	2
特別活動と総合的な学習の時間の指導法	2
学校教育図書館論	2
学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2
読書と豊かな人間性	2
情報メディアの活用	2
生涯学習概論	2
図書館情報学概論	2
図書館制度・経営論	2
図書館情報技術論	2
図書館情報サービス論 Ⅰ	2
図書館情報サービス論 Ⅱ	2
児童サービス論	2
情報サービス演習 Ⅰ	2
情報サービス演習 Ⅱ	2
図書館情報資源概論	2
情報資源組織論 Ⅰ	2
情報資源組織論 Ⅱ	2
情報資源組織演習 Ⅰ	2
情報資源組織演習 Ⅱ	2
図書館情報学特論	2
学術情報利用教育論	2
図書館情報資源特論	2
図書・図書館史	2
図書館演習	4
学校図書館サービス論	2

外国留学科目（1科目各 1～8 単位）

全学共通教養教育科目の外国語教育科目，他学部設置科目及び国際教育インスティテュート科目（副専攻パッケージ科目を含む），同志社女子大学単位互換科目及び大学コンソーシアム京都単位互換科目は，11 類科目の単位として卒業必要単位に算入できる。

以上卒業に必要な単位として 1～11 類から合計 126 単位以上を修得すること。

ただし，フレックス複合コースで副専攻型を選択した場合は，選択した副専攻パッケージ科目から 10 単位以上を履修すること。

１２　類　　外国人留学生科目

外国人留学生科目の履修は，外国人留学生に限る。

日本語・日本文化教育科目の，日本語 1，日本語 2，ビジネス日本語Ｃ，ビジネス日本語Ｄから 8 単位を修得した場合は，10 類外国語科目の一つの外国語 8 単位に代えることができる。

日本語・日本文化教育科目のうち，日本語 1，日本語 2，ビジネス日本語Ｃ，ビジネス日本語Ｄを除く科目から単位を修得した場合は，9 類教養科目の単位に代えることができる。

なお，外国人留学生が 10 類外国語科目から母語を履修しても卒業必要単位に算入しない。

上記にかかわらず，国際教養コースについては，国際教育インスティテュートに示された履修方法に従って履修すること。

自由科目

大学院科目　　2

大学院科目の履修は，5 年一貫教育プログラムにおける履修資格者に限る。

自由科目は卒業必要単位に算入しない。

政　策　学　部

政　策　学　科

人材養成目的

政策学部政策学科は，現代社会が求める高度な問題発見・解決能力について，問題発見の基礎となる，個別の学問分野にとどまらない社会諸科学相互の連携による学際的な知識や方法を学び，公共政策，企業政策，国際政策に関わる問題発見・解決の実践をとおして，時・場所を問わず，問題解決の中心で活躍できる基礎力を身に付けて，公的機関や民間企業などの政策や戦略の立案等において活躍する人材を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○選択科目Ⅰ	
選択科目Ⅰ－１	
オリエンテーション科目	
First Year Experience	2
政策学入門	2
基礎能力養成科目	
アカデミック・スキル 1	2
アカデミック・スキル 2	2
基礎科目	
行政学入門	2
政治学入門	2
公法入門	2
現代経済入門	2
経済学入門	2
組織論入門	2
統計学入門	2
国際教育インスティテュートA群－Ⅰ	
Introduction to the Japanese Economy	2
Macroeconomics	2
Microeconomics	2
Introduction to Business Administration	2
Introduction to Japanese Law	2
Power and Politics in Japan	2
導入科目	
Ａ　群	
政策過程論	2
憲法 1	2
私法入門	2
ミクロ経済学と人間行動	2
マクロ経済指標	2
政策思想	2
社会政策	2
人と組織	2
企業組織論	2
社会調査入門	2
国際教育インスティテュートA群－Ⅱ	
Winners and Losers: Introduction to Political Theory	2
Introduction to Comparative Policymaking	2
Political Behavior,Campaigns and Elections	2
Introduction to Globalization	2
選択科目Ⅰ－２	
導入科目	
Ｂ　群	
キャリアデザイン 1	2
キャリアデザイン 2	2
政策トピックス	2
○選択科目Ⅱ	
選択科目Ⅱ－１	

卒業研究プロジェクト	
Ａ　群	
演習 Ⅰ	2
演習 Ⅱ	2
演習 Ⅲ	2
卒業研究演習 Ⅰ	2
卒業研究演習 Ⅱ	2
卒業論文	2
アカデミック・ライティング	2
Ｂ　群	
フィールド・リサーチ	2
リサーチ・ペーパー	2
プロジェクト演習	2
展開科目	
Ａ　群	
公共性論	2
政策形成論	2
政策分析	2
政治行動学	4
地方自治論	2
政府体系論	2
国際政治学	2
国際法	2
地域政策	2
行政法 1(総論)	2
行政法 2(救済)	2
憲法 2	2
立法過程論	2
国際貿易	2
国際金融入門	2
公共経済学	2
開発政策	2
社会保障政策	2
現代社会と組織	2
経営組織論	2
意思決定論	2
人的資源管理	2
ミクロ経済学と政策	2
マクロ経済政策	2
現代国際政治	2
Ｂ　群	
政策実施論	2
政策評価論	2
応用政策分析	2
行政管理論	2
国際政治史	2
グローバル経済論	2
国際金融市場政策	2
国際協力政策	2
国際機構	2
行政組織論	2
ＮＧＯ・ＮＰＯ論	2
現代組織論	2
政策法務	2
環境法	2
環境政策	2
文化政策	2
観光政策	2
京都観光論	2
環境マネジメント	2
ジェンダーと社会構造	2
ジェンダー政策	2
スポーツ法政策	2
国際平和政策論	2

比較政治学	2
Ｃ　群	
コミュニティ創造政策	2
行政責任論	2
比較政策論	2
公共経営論	2
雇用関係法	2
資本市場政策	2
金融政策	2
金融制度	2
ベンチャー政策	2
外書講読(英)	2
Ｅ　群	
国際教育インスティテュートＢ群	
Social Inequalities in Japan	2
Ecology and Economy in Japan	2
The Financial System in Japan	2
Economic Growth	2
Citizen Politics in Japan and Beyond	2
International Relations in East Asia	2
Postwar Japan - U.S. Relations	2
The Politics of Growth in Developing Countries	2
Peace and Conflict	2
International Human Rights Law	2
Topics in Public Policy	2
Mass Media in the Policymaking Process	2
International Law and Organizations	2
International Political Economy	2
What Makes Countries Poor?	2
Development and Law	2
Topics in Japan’s Contemporary International Relations	2
World Civilizations	2
Asian Civilizations	2
Migration and Transnationalism	2
Civic Engagement	2
Public Opinion and Political Psychology	2
Politics through Film	2
選択科目Ⅱ－２	
展開科目	
Ｄ　群	
政策特殊講義　Ⅰ	2
政策特殊講義　Ⅱ	4
○選択科目Ⅲ	
日本文化史概説(1)	2
日本文化史概説(2)	2
東洋文化史概説(1)	2
東洋文化史概説(2)	2
西洋文化史概説(1)	2
西洋文化史概説(2)	2
人文地理学(1)	2
人文地理学(2)	2
地理学総論(1)	2
地理学総論(2)	2
地誌学	2
哲学概論(1)	2
哲学概論(2)	2
倫理学概論(1)	2
倫理学概論(2)	2
心理学概論(1)	2
心理学概論(2)	2

社会学概論	4
近代日本政治史	2
現代日本政治史	2
近代ヨーロッパ政治史	2
現代ヨーロッパ政治史	2
日本社会史(1)	2
日本社会史(2)	2
日本地域史研究(1)	2
日本地域史研究(2)	2
西洋社会史(1)	2
西洋社会史(2)	2
日本商業史	2
生涯学習概論	2
図書館情報学概論	2
図書館制度・経営論	2
図書館情報技術論	2
図書館情報サービス論 Ⅰ	2
図書館情報サービス論 Ⅱ	2
児童サービス論	2
情報サービス演習 Ⅰ	2
情報サービス演習 Ⅱ	2
図書館情報資源概論	2
情報資源組織論 Ⅰ	2
情報資源組織論 Ⅱ	2
情報資源組織演習 Ⅰ	2
情報資源組織演習 Ⅱ	2
図書館情報学特論	2
学術情報利用教育論	2
図書館情報資源特論	2
図書・図書館史	2
図書館演習	4
学校図書館サービス論	2

上記の他，他学部設置科目，テュービンゲン大学ＩＥＳ科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目，同志社女子大学単位互換科目及び日本語・日本文化教育科目のうち，卒業必要単位と認められる科目から，選択履修すること。

国際専修コースは，上記に加えて国際教育インスティテュートＡ群－Ⅰ，Ａ群－Ⅱ，Ｂ群を除く国際教育インスティテュート設置科目のうち，卒業必要単位と認められる科目から，選択履修すること。

ただし，日本語・日本文化教育科目は，外国人留学生のみ履修することができる。

また，外国人留学生が日本語・日本文化教育科目のうち，日本語 1(アカデミック・リーディングⅥ)～日本語 1(文法Ⅸ)，日本語 2(アカデミック・リーディングⅥ)～日本語 2(文法Ⅸ)，ビジネス日本語Ｃ，ビジネス日本語Ｄの単位を履修した場合は，全学共通教養教育科目の外国語教育科目のうち，学部が定める科目の単位に代えることができる。

なお，外国人留学生が全学共通教養教育科目の外国語教育科目から母国語を履修しても卒業単位に算入しない。

○全学共通教養教育科目

卒業必要単位と認められる科目から，選択履修すること。なお，TOEIC 等外国語能力に関する判定試験で一定水準以上の成果を修めた者は，8 単位を限度として，全学共通教養教育科目の外国語教育科目(英語)のうち，学部が定める科目の単位に認定する。また，スポーツ・パフォーマンス 1 は 2 単位まで卒業必要単位に算入する。

○自由科目

免許・資格関係科目

教育原理	2
教職概論	2

教育制度と学校経営	2
学校教育社会学	2
人権教育論	2
発達と学習の心理学	2
特別ニーズ教育論	2
教育課程論	2
道徳教育の理論と実践	2
社会科・地理歴史科教育法	2
社会科・公民科教育法	2
社会科教育法 1	2
社会科教育法 2	2
公民科教育法	2
特別活動と総合的な学習の時間の指導法	2
教育方法とＩＣＴ活用の理論と実践	2
スクールインターンシップ	2
生徒・進路指導の理論と方法	2
教育相談の理論と方法	2
教職実践演習(中・高)	2
教育実習指導	1
教育実習 A	2
教育実習 B	2
教育実習 C	4
学校教育文化論(1)	2
学校教育文化論(2)	2
生涯教育計画論	2
多文化共生社会と生涯学習	2
学校教育図書館論	2
学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2
読書と豊かな人間性	2
情報メディアの活用	2
日本の憲法	2
教職コンピュータ実習	2

自由科目は卒業必要単位に算入しない。

履修方法

１．選択科目Ⅰから 32 単位以上，選択科目Ⅱから 60 単位以上，全学共通教養教育科目から 14 単位以上，合計 124 単位以上を履修すること。ただし，選択科目Ⅰについては，オリエンテーション科目のうち「政策学入門」及び基礎能力養成科目のうち「アカデミック・スキル 1」を履修し，基礎科目 10 単位以上を含めて同Ⅰ－１から 20 単位以上，選択科目Ⅱについては，同Ⅱ－１から 60 単位以上，全学共通教養教育科目については，外国語教育科目のうち，学部が定める科目から英語 8 単位以上，英語以外の外国語 4 単位以上，同志社科目のうち「建学の精神とキリスト教」を履修すること。

国際専修コースは，選択科目Ⅰから 32 単位以上，選択科目Ⅱから 60 単位以上，全学共通教養教育科目から 14 単位以上，合計 124 単位以上を履修すること。ただし，選択科目Ⅰについては，オリエンテーション科目のうち「政策学入門」及び基礎能力養成科目のうち「アカデミック・スキル 1」を履修し，基礎科目 10 単位以上（国際教育インスティテュートＡ群－Ⅰから 4 単位以上を含む）を含めて同Ⅰ―１から 20 単位以上，選択科目Ⅱについては，国際教育インスティテュートＢ群から 16 単位以上を含めて同Ⅱ―１から 60 単位以上，全学共通教養教育科目については，外国語科教育目のうち，学部が定める科目から英語 8 単位以上，英語以外の外国語 4 単位以上，同志社科目のうち「建学の精神とキリスト教」を履修すること。

２．国際教養コースは，上記にかかわらず，国際教育インスティテュートに示された履修方法に従って履修すること。

文　化　情　報　学　部

文 化 情 報 学 科

人材養成目的

文化情報学部文化情報学科は，文化に関する確かな情報が社会問題の解決において枢要であることを理解し，課題の解決のために実践的にデータを利活用する学問としての「データサイエンス」の方法論に基づいて，新たな価値を析出・創造できる人物を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○必修科目	
文化情報学 1	2
文化情報学 2	2
文化情報学 3	2
文化情報学 4	2
ジョイント・リサーチ	2
リサーチ・セミナー	2
リサーチ・プロジェクト Ⅰ	4
リサーチ・プロジェクト Ⅱ	4
○選択科目Ⅰ（文化情報学専門科目）	
A　群（文化科学系科目群）	
現代文化概論	2
美術史学	2
ことばと文化	2
世界の諸言語	2
文化論入門	2
文献講読	2
文化・社会人類学	2
ことばの科学	2
認知科学入門	2
社会調査入門	2
コーパス言語学	2
言語研究の方法 1	2
言語類型論	2
計量社会学	2
図像学	2
統辞論	2
比較文化論	2
身体メディア論	2
環境社会学	2
A群は，12 単位以上を選択履修すること。	
B　群（データ科学系科目群）	
統計学入門	2
離散数学入門	2
数理モデル入門	2
プログラミング入門	2
統計学	2
統計学演習	2
線形代数	2
コンピュータ概論	2
プログラミング基礎	2
多変量解析	2
多変量解析演習	2
微分積分	2
プログラミング応用	2
機械学習基礎	2
離散数学	2
確率解析	2
最適化法	2
情報セキュリティ	2
アルゴリズムとデータ構造	2
機械学習応用	2
数理統計	2
数理モデル	2

情報理論	2
情報アクセス技術	2
ベイズ統計	2
因果推論	2
時系列解析	2
数値シミュレーション	2
データベースシステム	2
インターネット技術	2

B群は，12 単位以上を選択履修すること。

C　群(先端・融合系科目群)

文化の計量分析入門	2
身体論 5.0	2
社会システム論	2
ＡＩ・情報倫理	2
デジタル・ヒストリー入門	2
文献解析	2
デジタル・ヒストリー概説	2
時空間情報科学	2
社会調査法	2
認知情報学	2
計量文化解析	2
映像情報解析論	2
言語研究の方法 2	2
会話情報学	2
情報グラフィックス論	2
社会調査演習	4
言語と脳科学	2
行動データ科学実習	2
ヒューマンコンピュータインタラクション	2
先端文化情報学 1	2
先端文化情報学 2	2
デジタルアーカイブ演習	2

C群は，12 単位以上を選択履修すること。

○選択科目Ⅱ(文化情報学教養科目)

D　群

文化情報学トピックス	2

D群は，文化情報学トピックス，全学共通教養教育科目(クリエイティブ・ジャパン科目)のうち，学部が卒業必要単位と認める科目から，6 単位以上選択履修すること。

E　群

E群は，全学共通教養教育科目のうち同志社データサイエンス・ＡＩ教育プログラム(リテラシーレベル)を構成する科目から,「データサイエンス概論」を含む計 6 単位以上を選択履修すること。

F　群

F群は，全学共通教養教育科目(クリエイティブ・ジャパン科目，同志社データサイエンス・ＡＩ教育プログラム(リテラシーレベル)を構成する科目，外国語教育科目を除く）のうち，学部が卒業必要単位と認める科目から，14 単位以上選択履修すること。

○選択科目Ⅲ(外国語教育科目)

G　群

G群は，全学共通教養教育科目(外国語教育科目)の英語のうち，学部が卒業必要単位と認める科目から，8 単位以上選択履修すること。

TOEIC® LISTENING AND READING TEST，TOEFL iBT テスト，実用英語技能検定，国際連合公用語英語検定において，一定水準以上の成果を修めた者は，8 単位を限度としてG群の単位として認定する。

H　群

H群は，全学共通教養教育科目　外国語教育科目　英語以外の外国語および日本語・日本文化教育科目「日本語 1(アカデミック・リーディングＡⅥ)」～「日本語 2

(文法Ⅸ)」,「ビジネス日本語Ｃ」,「ビジネス日本語Ｄ」のうち，学部が卒業必要単位と認める科目から，4 単位以上選択履修すること。

日本語・日本文化教育科目「日本語 1(アカデミック・リーディングＡⅥ)」～「日本語 2(文法Ⅸ)」,「ビジネス日本語Ｃ」,「ビジネス日本語Ｄ」は，外国人留学生のみ履修することができる。

○Ｉ　群

情報処理演習	1
教科教育法 Ａ(情報)	2
教科教育法 Ｂ(情報)	2
教職実践演習(中・高)	2
教育実習指導	1
教育実習 Ｂ	2
教育実習 Ｃ	4
教職概論	2
教育原理	2
発達と学習の心理学	2
教育制度と学校経営	2
学校教育社会学	2
教育課程論	2
道徳教育の理論と実践	2
特別活動と総合的な学習の時間の指導法	2
教育方法とＩＣＴ活用の理論と実践	2
生徒・進路指導の理論と方法	2
教育相談の理論と方法	2
スクールインターンシップ	2
人権教育論	2
日本文化史概説(1)	2
日本文化史概説(2)	2
西洋文化史概説(1)	2
西洋文化史概説(2)	2
東洋文化史概説(1)	2
東洋文化史概説(2)	2
生涯学習概論	2
日本の憲法	2

Ｉ群は，上記科目並びに他学部設置科目，同志社女子大学単位互換科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目，早稲田大学交流協定科目，外国協定大学における履修科目及びテュービンゲン大学ＩＥＳ科目のうち，学部が卒業必要単位と認める科目から履修すること。

○自由科目

情報メディア	2
コンピュータと数学	2
コンピュータグラフィックス	2
情報メディア実習	1
情報と社会	2
特別ニーズ教育論	2
学校図書館サービス論	2

自由科目は，卒業必要単位に算入しない。

履修方法

必修科目 20 単位，選択科目Ⅰは 50 単位以上，選択科目Ⅱは 32 単位以上，選択科目Ⅲは 12 単位以上，合計 124 単位以上を履修すること。

理　工　学　部

人材養成目的

理工学部は，同志社建学の精神を尊重しつつ各学科独自に実践される固有の教育内容について，それぞれの学問領域の真髄の修得を目指して設置された学科目とそれらを体系的に編成した履修課程をとおして，本学部学生が科学と工学の基礎及び応用理論を広く身に付けて，一国の良心として各界において活躍する人材を養成することを

目的とする。

インテリジェント情報工学科

人材養成目的

インテリジェント情報工学科は，情報処理について，その「インテリジェント化」，「ネットサーク化」，「ユビキタス化」，「サービス化」を指向した教育カリキュラムをとおして，情報システム開発の各領域・分野における専門性の高い技術的課題の解決を担い得る能力，ならびに企画・立案を他者と交わりながら実施できる技能を身に付けて，情報技術分野等において活躍できる人材を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○必修科目	
情報工学概論 Ⅰ	1
情報工学概論 Ⅱ	1
情報工学実験 Ⅰ	2
情報工学実験 Ⅱ	2
情報工学応用論	1
卒業論文 Ⅰ	2
卒業論文 Ⅱ	2
○選択科目	
Ａ群Ｉ類	
ＡＩ－１ａ	
情報工学実験 Ⅲ	2
特別演習実習	2
ＡＩ－１ｂ	
解析学 Ⅰ	2
線形代数学 Ⅰ	2
情報数学 Ⅰ	2
数理統計学	2
ＡＩ－１ｃ	
Ｃプログラミング Ⅰ	2
Ｃプログラミング Ⅱ	2
Ｊａｖａプログラミング Ⅰ	2
Ｊａｖａプログラミング Ⅱ	2
ＡＩ－１ｄ	
コンピュータネットワーク	2
コンピュータグラフィックス	2
オペレーティングシステム	2
言語理論	2
通信ネットワーク	2
計算機ハードウェア	2
データベースシステム	2
コンピュータ基礎実習	1
ＡＩ－２	
運動学の基礎	2
知的財産権	2
Ｃプログラミング Ⅲ	1
技術英語 Ⅰ	1
技術英語 Ⅱ	1
解析学 Ⅱ	2
微分方程式 Ⅰ	2
線形代数学 Ⅱ	2
電気の基礎	2
微分方程式 Ⅱ	2
画像処理	2
フーリエ解析	2
応用数理解析	2
情報数学 Ⅱ	2
複素解析	2
情報理論	2
情報メディア実習	1
アルゴリズムとデータ構造	2

計算機アーキテクチャ	2
数値計算法	2
特別講義 A	2
特別講義 B	2
学外実習 1	2
学外実習 2	2
知識情報処理	2
パターン認識	2
自然言語処理	2
情報システム工学	2
符号理論	2
情報セキュリティ	2
ディジタル信号処理	2
不規則信号論	2
ワイヤレス通信	2
情報メディア	2
応用数理統計学	2
メカトロニクス基礎	2
センシング制御工学	2
ロボティクス	2
ソフトウェア工学	2
Ｊａｖａプログラミング Ⅲ	1
機械学習	2
音声処理	2

Ａ群Ⅱ類

ネットワーク応用	2
ヒューマンインタフェース	2
コラボレーション工学	2
数値解析	2
ネットワークシステム構成論	2

上記の科目に加え，協定校単位互換科目のうち卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，協定校単位互換科目は，8 単位を限度として卒業必要単位に算入される。

Ｂ群Ⅰ類

第一外国語科目

Academic English for Science 1	1
Academic English for Science 2	1
Academic English for Science 3	1
Academic English for Science 4	1

選択科目Ｂ群Ⅰ類(第一外国語科目)は，上記科目及び全学共通教養教育科目の外国語教育科目の英語のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。なお，TOEIC 等外国語能力に関する判定試験で一定の水準以上の成果を修めた者は，4 単位を限度として，Ｂ群Ⅰ類の単位に認定する。

Ｂ群Ⅱ類

第二外国語科目

選択科目Ｂ群Ⅱ類(第二外国語科目)は，全学共通教養教育科目の外国語教育科目の英語以外の外国語(イタリア語を除く)のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，英語以外の各外国語の会話科目は，2 単位を上限として卒業必要単位に算入する。

Ｂ群Ⅲ類

選択科目Ｂ群Ⅲ類は，全学共通教養教育科目(同志社科目，人文科学系科目，社会科学系科目，自然科学系科目，人間科学系科目，国際教養科目，ライフデザイン科目，クリエイティブ・ジャパン科目，トピック科目)，他学部設置科目，同志社女子大学単位互換科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目及びテュービンゲン大学ＩＥＳ科目のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，人間科学系科目のうち，保健体育科目は，ス

ポーツ・パフォーマンス 1 から 4 単位，その他の保健体育科目から 4 単位，計 8 単位を限度として卒業必要単位に算入される。

C群

情報と社会	2
情報システム実習	1
情報通信ネットワーク実習	1

○外国人留学生科目

外国人留学生科目の履修は，外国人留学生に限る。外国人留学生科目は，日本語・日本文化教育科目から選択履修し，日本語 1(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語 1(文法Ⅸ)，日本語 2(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語 2(文法Ⅸ)，ビジネス日本語Ｃ，Ｄのうち 4 単位を，選択科目Ｂ群Ⅱ類のうち一種類の外国語の単位に代えることができる。その他の科目は，選択科目Ｂ群Ⅲ類の単位として，卒業必要単位に算入される。

履修方法

必修科目 11 単位，選択科目 117 単位以上，合計 128 単位以上を履修しなければならない。

ただし，選択科目については，Ａ群はＩ類から 77 単位以上(うちＡＩ－１ａから 2 単位，ＡＩ－１ｂから 4 単位以上，ＡＩ－１ｃから 4 単位以上，ＡＩ－１ｄから 10 単位以上）を含めて 86 単位以上，Ｂ群はＩ類から 8 単位以上，Ⅱ類から 4 単位以上，Ⅲ類から 10 単位以上（うち全学共通教養教育科目の同志社科目及びその関連科目 2 単位以上）を含めて 22 単位以上履修しなければならない。

○自由科目

数学基礎 1	1
数学基礎 2	1
電気設備・法規	2
代数学	2
幾何学 Ⅰ	2
幾何学 Ⅱ	2
物理学の基礎	1
生物学概論 Ⅰ	2
生物学概論 Ⅱ	2
地学概論 Ⅰ	2
地学概論 Ⅱ	2
人権教育論	2
教育課程論	2
教科教育法 Ａ(情報)	2
教科教育法 Ｂ(情報)	2
教科教育法 Ａ1(数学)	2
教科教育法 Ａ2(数学)	2
教科教育法 Ｂ(数学)	2
教科教育法 Ｃ(数学)	2
教育実習指導	1
教育実習 Ａ	2
教育実習 Ｂ	2
教育実習 Ｃ	4
教職実践演習(中・高)	2
特別ニーズ教育論	2

情報システムデザイン学科

人材養成目的

情報システムデザイン学科は，情報システム設計について，情報科学・情報工学を基礎から発展へと体系的に学ぶことができる教育カリキュラムをとおして，社会や生活に役立つ新しい情報システムを設計・開発するために必要な知識・技術を身に付けて，企画・設計・開発ができる技能を有し，幅広い分野で活躍する人材を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位

○必修科目

計算機構成論	2
論理回路	2
プログラミングＪａｖａ Ⅰ	2
プログラミングＪａｖａ Ⅱ	2
人間と情報システム Ⅰ	1
人間と情報システム Ⅱ	1
情報ネットワーク	2
プログラミングＣ言語 Ⅰ	2
アルゴリズムとデータ構造入門	2
情報システム演習実験 Ⅰ	2
情報システム演習実験 Ⅱ	2
データ工学	2
情報システム応用	2
情報システム演習実験 Ⅲ	2
ソフトウェア工学	2
画像工学	2
オペレーティングシステム	2
社会情報システム	2
技術英語	2
マルチメディア信号処理	2
機械学習	2
卒業論文 Ⅰ	2
卒業論文 Ⅱ	2

○選択科目

Ａ群Ｉ類

ＡＩ－１ａ

数理統計学	2
線形代数学 Ⅰ	2
解析学 Ⅰ	2
情報数学の基礎	2

ＡＩ－１ｂ

システムと制御の数理	2
応用数理解析	2
数値解析	2
多変量解析	2

ＡＩ－２

物理学の基礎	2
数学の基礎 Ⅰ	2
数学の基礎 Ⅱ	2
線形代数学 Ⅱ	2
解析学 Ⅱ	2
論理表現	2
シミュレーション基礎演習	2
情報科学基礎	2
情報システム概論	2
情報表現	2
システム情報学基礎	2
ソフトウェア設計技法	2
連続表現	2
電気の基礎	2
プログラミングＪａｖａ Ⅲ	2
マルチエージェント工学	2
ヒューマンインタフェース	2
コラボレーション工学	2
情報システムと文化	2
システム情報学 Ⅰ	2
情報システム実習	1
特別演習実習	2
プログラミングＣ言語 Ⅱ	2
プログラミングＣ言語 Ⅲ	2
ネットワーク応用	2
ネットワークシステム構成論	2
インテリジェントアルゴリズム	2

人工知能	2
自然言語処理	2
画像処理	2
システムプログラミング	2
特別講義	2
ｅ－ラーニング	2
システム情報学 Ⅱ	2
知的財産権	2
学外実習 1	2
学外実習 2	2

Ａ群Ⅱ類

メカトロニクス基礎	2
センシング制御工学	2
フーリエ解析	2
情報理論	2
ロボティクス	2
不規則信号論	2
情報セキュリティ	2
ワイヤレス通信	2
符号理論	2
データベースシステム	2
知識情報処理	2

上記の科目に加え，協定校単位互換科目のうち卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，協定校単位互換科目は，8 単位を限度として卒業必要単位に算入される。

Ｂ群Ⅰ類

第一外国語科目

Academic English for Science 1	1
Academic English for Science 2	1
Academic English for Science 3	1
Academic English for Science 4	1

選択科目Ｂ群Ⅰ類(第一外国語科目)は，上記科目及び全学共通教養教育科目の外国語教育科目の英語のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。なお，TOEIC 等外国語能力に関する判定試験で一定の水準以上の成果を修めた者は，4 単位を限度として，Ｂ群Ⅰ類の単位に認定する。

Ｂ群Ⅱ類

第二外国語科目

選択科目Ｂ群Ⅱ類(第二外国語科目)は，全学共通教養教育科目の外国語教育科目の英語以外の外国語(イタリア語を除く)のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，英語以外の各外国語の会話科目は，2 単位を上限として卒業必要単位に算入する。

Ｂ群Ⅲ類

選択科目Ｂ群Ⅲ類は，全学共通教養教育科目(同志社科目，人文科学系科目，社会科学系科目，自然科学系科目，人間科学系科目，国際教養科目，ライフデザイン科目，クリエイティブ・ジャパン科目，トピック科目)，他学部設置科目，同志社女子大学単位互換科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目及びテュービンゲン大学ＩＥＳ科目のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，人間科学系科目のうち，保健体育科目は，スポーツ・パフォーマンス 1 から 4 単位，その他の保健体育科目から 4 単位，計 8 単位を限度として卒業必要単位に算入される。

Ｃ群

情報と社会	2
情報メディア実習	1
情報通信ネットワーク実習	1

○外国人留学生科目

外国人留学生科目の履修は，外国人留学生に限る。外国人留学生科目は，日本語・日本文化教育科目から選択履修し，日本語 1(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語 1(文法Ⅸ)，日本語 2(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語 2(文法Ⅸ)，ビジネス日本語Ｃ，Ｄのうち 4 単位を，選択科目Ｂ群Ⅱ類のうち一種類の外国語の単位に代えることができる。その他の科目は，選択科目Ｂ群Ⅲ類の単位として，卒業必要単位に算入される。

履修方法

必修科目 44 単位，選択科目 84 単位以上，合計 128 単位以上を履修しなければならない。

ただし，選択科目については，Ａ群はⅠ類から 44 単位以上（うちＡⅠ－1ａから 2 単位以上，ＡⅠ－１ｂから 2 単位以上，ＡⅠ－２から 40 単位以上）を含めて 54 単位以上履修しなければならない。Ｂ群はⅠ類から 8 単位以上，Ⅱ類から 4 単位以上，Ⅲ類から 10 単位以上（うち全学共通教養教育科目の同志社科目及びその関連科目 2 単位以上）を含めて 22 単位以上履修しなければならない。

○自由科目

人権教育論	2
教育課程論	2
通信ネットワーク	2
情報メディア	2
代数学	2
幾何学 Ⅰ	2
幾何学 Ⅱ	2
教科教育法 A1(数学)	2
教科教育法 A2(数学)	2
教科教育法 B(数学)	2
教科教育法 C(数学)	2
教科教育法 A(情報)	2
教科教育法 B(情報)	2
教育実習指導	1
教育実習 A	2
教育実習 B	2
教育実習 C	4
教職実践演習(中・高)	2
特別ニーズ教育論	2

電 気 工 学 科

人材養成目的

電気工学科は，電気工学に関連する基礎知識及び最先端技術について，実験を重視した体験的な学修をとおして，電気工学の基本的知識とそれを応用・展開する能力を身に付けて，民間企業や官民の研究機関，教育機関等において独創的で高度な課題解決能力を有するエンジニアとして活躍する人材を養成することを目的とする。

科 目	履修単位
○必修科目	
電気磁気学 Ⅰ	3
電気磁気学 Ⅱ	3
電気回路学 Ⅰ	3
電気回路学 Ⅱ	3
コンピュータプログラミング Ⅰ	1
基礎演習実験	2
電気基礎実験 Ⅰ	2
電気基礎実験 Ⅱ	2
電気基礎実験 Ⅲ	2
電気工学実験 Ⅰ	2
電気工学実験 Ⅱ	2
ゼミ演習	1
卒業論文 Ⅰ	2
卒業論文 Ⅱ	2
○選択科目	

A群Ⅰ類

ＡⅠ－１ａ

解析学 Ⅰ	2
解析学 Ⅱ	2
線形代数学	2
ベクトル幾何	2
微分方程式	2
複素解析	2
フーリエ解析	2
数値解析	2
数理統計学	2
基礎物理学 Ⅰ	2
基礎物理学 Ⅱ	2
基礎物理学 Ⅱ演習	1
振動と波動	2

ＡⅠ－１ｂ

電子回路	2
電気・電子計測 Ⅰ	2
電気エネルギー工学 Ⅰ	2
パワーエレクトロニクス	2
過渡現象論	2
分布定数回路論	2
制御工学	2

ＡⅠ－２

高電圧工学	2
電気機器学 Ⅰ	2
電気機器学 Ⅱ	2
電気エネルギー工学 Ⅱ	2
アナログ電子回路	2
ディジタル電子回路	2
コンピュータプログラミング Ⅱ	1
電気・電子計測 Ⅱ	2
コンピュータ応用解析	2
コンピュータシステム入門	2
応用力学	2
熱統計力学	2
量子力学	2
ディジタル制御	2
プラズマ工学	2
電気設備・法規	2
電気機器設計法	2
電気電子材料	2
環境電磁工学	2
メカトロニクス	2
インフラストラクチャ概論	2
電気電子工学入門	2
特別講義 Ａ	2
特別講義 Ｂ	2
学外実習 1	2
学外実習 2	2

A群Ⅱ類

電磁波論	2
超音波エレクトロニクス Ⅰ	2
超音波エレクトロニクス Ⅱ	2
アンテナ工学	2
情報理論	2
通信方式	2
機械学習	2
マイクロ波工学	2
光通信工学	2
光エレクトロニクス	2
シグナルプロセシング	2
伝送線路論	2
電子デバイス Ⅰ	2

電子デバイス Ⅱ	2
固体物性論	2
電子工学実験 Ⅰ	2
電子工学実験 Ⅱ	2
放射線科学	2
知的財産権	2

上記の科目に加え，協定校単位互換科目のうち卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，協定校単位互換科目は，10 単位を限度として卒業必要単位に算入される。

Ｂ群Ⅰ類

第一外国語科目

Academic English for Science 1	1
Academic English for Science 2	1
Academic English for Science 3	1
Academic English for Science 4	1

選択科目Ｂ群Ⅰ類(第一外国語科目)は，上記科目及び全学共通教養教育科目の外国語教育科目の英語のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。なお，TOEIC 等外国語能力に関する判定試験で一定の水準以上の成果を修めた者は，4 単位を限度として，Ｂ群Ⅰ類の単位に認定する。

Ｂ群Ⅱ類

第二外国語科目

選択科目Ｂ群Ⅱ類(第二外国語科目)は，全学共通教養教育科目の外国語教育科目の英語以外の外国語(イタリア語を除く)のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，英語以外の各外国語の会話科目は，2 単位を上限として卒業必要単位に算入する。

Ｂ群Ⅲ類

選択科目Ｂ群Ⅲ類は，全学共通教養教育科目(同志社科目，人文科学系科目，社会科学系科目，自然科学系科目，人間科学系科目，国際教養科目，ライフデザイン科目，クリエイティブ・ジャパン科目，トピック科目)，他学部設置科目，同志社女子大学単位互換科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目及びテュービンゲン大学ＩＥＳ科目のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，人間科学系科目のうち，保健体育科目は，スポーツ・パフォーマンス 1 から 4 単位，その他の保健体育科目から 4 単位，計 8 単位を限度として卒業必要単位に算入される。

○外国人留学生科目

外国人留学生科目の履修は，外国人留学生に限る。外国人留学生科目は，日本語・日本文化教育科目から選択履修し，日本語 1(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語 1(文法Ⅸ)，日本語 2(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語 2(文法Ⅸ)，ビジネス日本語Ｃ，Ｄのうち 4 単位を，選択科目Ｂ群Ⅱ類のうち一種類の外国語の単位に代えることができる。その他の科目は，選択科目Ｂ群Ⅲ類の単位として，卒業必要単位に算入される。

履修方法

必修科目 30 単位，選択科目 98 単位以上，合計 128 単位以上を履修しなければならない。

ただし，選択科目については，Ａ群はⅠ類から 60 単位以上(うちＡⅠ－１ａから 20 単位以上，ＡⅠ－１ｂから 10 単位以上)，Ｂ群はⅠ類から 8 単位以上，Ⅱ類から 4 単位以上，Ⅲ類のうち全学共通教養教育科目の同志社科目及びその関連科目 2 単位以上を含めて 22 単位以上履修しなければならない。

○自由科目

数学基礎 1	1
数学基礎 2	1

環境経済学	2
代数学	2
幾何学 Ⅰ	2
幾何学 Ⅱ	2
人権教育論	2
教育課程論	2
教科教育法 A1(数学)	2
教科教育法 A2(数学)	2
教科教育法 B(数学)	2
教科教育法 C(数学)	2
教育実習指導	1
教育実習 A	2
教育実習 B	2
教育実習 C	4
教職実践演習(中・高)	2
特別ニーズ教育論	2

電 子 工 学 科

人材養成目的

電子工学科は，電子工学に関連する基礎知識及び最先端技術について，実験を重視した体験的な学修をとおして，電子工学の基本的知識とそれを応用・展開する能力を身に付けて，民間企業や官民の研究機関，教育機関等においてダイナミックな技術革新に柔軟に対応できるエンジニアとして活躍する人材を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○必修科目	
電気磁気学 Ⅰ	3
電気磁気学 Ⅱ	3
電気回路学 Ⅰ	3
電気回路学 Ⅱ	3
コンピュータプログラミング Ⅰ	1
基礎演習実験	2
電気基礎実験 Ⅰ	2
電気基礎実験 Ⅱ	2
電気基礎実験 Ⅲ	2
電子工学実験 Ⅰ	2
電子工学実験 Ⅱ	2
ゼミ演習	1
卒業論文 Ⅰ	2
卒業論文 Ⅱ	2
○選択科目	
A群Ⅰ類	
ＡⅠ－１ａ	
解析学 Ⅰ	2
解析学 Ⅱ	2
線形代数学	2
ベクトル幾何	2
微分方程式	2
複素解析	2
フーリエ解析	2
数値解析	2
数理統計学	2
基礎物理学 Ⅰ	2
基礎物理学 Ⅱ	2
基礎物理学 Ⅱ演習	1
振動と波動	2
ＡⅠ－１ｂ	
電子回路	2
電気・電子計測 Ⅰ	2
伝送線路論	2
電磁波論	2
電子デバイス Ⅰ	2
シグナルプロセシング	2

電気電子材料	2
ＡＩ－２	
アンテナ工学	2
超音波エレクトロニクス Ⅰ	2
超音波エレクトロニクス Ⅱ	2
マイクロ波工学	2
量子力学	2
コンピュータ応用解析	2
コンピュータプログラミング Ⅱ	1
電気・電子計測 Ⅱ	2
アナログ電子回路	2
ディジタル電子回路	2
光エレクトロニクス	2
コンピュータシステム入門	2
応用力学	2
熱統計力学	2
光通信工学	2
通信方式	2
情報理論	2
過渡現象論	2
固体物性論	2
電子デバイス Ⅱ	2
インフラストラクチャ概論	2
電気電子工学入門	2
特別講義 Ａ	2
特別講義 Ｂ	2
学外実習 1	2
学外実習 2	2
Ａ群Ⅱ類	
電気機器学 Ⅰ	2
電気機器学 Ⅱ	2
電気エネルギー工学 Ⅰ	2
電気エネルギー工学 Ⅱ	2
制御工学	2
ディジタル制御	2
パワーエレクトロニクス	2
高電圧工学	2
プラズマ工学	2
メカトロニクス	2
環境電磁工学	2
分布定数回路論	2
機械学習	2
電気工学実験 Ⅰ	2
電気工学実験 Ⅱ	2
電気設備・法規	2
電気機器設計法	2
放射線科学	2
知的財産権	2

上記の科目に加え，協定校単位互換科目のうち卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，協定校単位互換科目は，10 単位を限度として卒業必要単位に算入される。

Ｂ群Ⅰ類

第一外国語科目

Academic English for Science 1	1
Academic English for Science 2	1
Academic English for Science 3	1
Academic English for Science 4	1

選択科目Ｂ群Ⅰ類(第一外国語科目)は，上記科目及び全学共通教養教育科目の外国語教育科目の英語のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。なお，TOEIC 等外国語能力に関する判定試験で一定の水準以上の成果を修めた者は，4 単位を限度として，Ｂ群Ⅰ類の単位に認定する。

Ｂ群Ⅱ類

第二外国語科目

選択科目Ｂ群Ⅱ類(第二外国語科目)は，全学共通教養教育科目の外国語教育科目の英語以外の外国語(イタリア語を除く)のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，英語以外の各外国語の会話科目は，2 単位を上限として卒業必要単位に算入する。

Ｂ群Ⅲ類

選択科目Ｂ群Ⅲ類は，全学共通教養教育科目(同志社科目，人文科学系科目，社会科学系科目，自然科学系科目，人間科学系科目，国際教養科目，ライフデザイン科目，クリエイティブ・ジャパン科目，トピック科目)，他学部設置科目，同志社女子大学単位互換科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目及びテュービンゲン大学ＩＥＳ科目のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，人間科学系科目のうち，保健体育科目は，スポーツ・パフォーマンス 1 から 4 単位，その他の保健体育科目から 4 単位，計 8 単位を限度として卒業必要単位に算入される。

○外国人留学生科目

外国人留学生科目の履修は，外国人留学生に限る。外国人留学生科目は，日本語・日本文化教育科目から選択履修し，日本語 1(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語 1(文法Ⅸ)，日本語 2(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語 2(文法Ⅸ)，ビジネス日本語Ｃ，Ｄのうち 4 単位を，選択科目Ｂ群Ⅱ類のうち一種類の外国語の単位に代えることができる。その他の科目は，選択科目Ｂ群Ⅲ類の単位として，卒業必要単位に算入される。

履修方法

必修科目 30 単位，選択科目 98 単位以上，合計 128 単位以上を履修しなければならない。

ただし，選択科目については，Ａ群はⅠ類から 60 単位以上(うちＡⅠ－１ａから 20 単位以上，ＡⅠ－１ｂから 10 単位以上)，Ｂ群はⅠ類から 8 単位以上，Ⅱ類から 4 単位以上，Ⅲ類のうち全学共通教養教育科目の同志社科目及びその関連科目 2 単位以上を含めて 22 単位以上履修しなければならない。

○自由科目

数学基礎 1	1
数学基礎 2	1
環境経済学	2
幾何学 Ⅰ	2
幾何学 Ⅱ	2
人権教育論	2
教育課程論	2
代数学	2
教科教育法 A1(数学)	2
教科教育法 A2(数学)	2
教科教育法 B(数学)	2
教科教育法 C(数学)	2
教育実習指導	1
教育実習 A	2
教育実習 B	2
教育実習 C	4
教職実践演習(中・高)	2
特別ニーズ教育論	2

機械システム工学科

人材養成目的

機械システム工学科は，ものづくりを原点とする最先端技術に必要な機械システムの構築と創成に関わる技術分野について，講義と実習をとおして，それらの基礎を

十分に学習し，次世代の機械とシステムの技術開発や問題解決を行う技術者としての能力と，それらを自らの良心に基づき運用できる技術者としての倫理観を身に付けて，安全・安心な社会の発展に貢献する人材を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○必修科目	
機械工学概論	2
線形代数学 Ⅰ	2
線形代数学 Ⅱ	2
解析学 Ⅰ	2
解析学 Ⅱ	2
確率・統計 Ⅰ	2
物理学 Ⅰ	2
工業材料 Ⅰ	2
力学 Ⅰ	2
材料力学 Ⅰ	2
材料加工 Ⅰ	2
熱力学 Ⅰ・同演習	2
流れ学 Ⅰ・同演習	2
機械力学 Ⅰ・同演習	2
制御工学 Ⅰ・同演習	2
機械物理実験	2
機械工学実験	2
製図学	2
機械製作法	2
機械製図学	2
機械設計製作	2
機械設計製図	2
機械設計法 Ⅰ	2
英書講読	1
卒業論文 Ⅰ	2
卒業論文 Ⅱ	2
○選択科目	
Ａ群Ⅰ類	
必修選択科目	
応用数学 Ⅰ	2
コンピュータプログラミング	2
力学 Ⅱ	2
材料力学 Ⅱ	2
熱力学 Ⅱ・同演習	2
流れ学 Ⅱ・同演習	2
機械力学 Ⅱ・同演習	2
制御工学 Ⅱ・同演習	2
機械設計法 Ⅱ	2

選択科目Ａ群Ⅰ類については，上記に掲げるすべての科目を登録し，授業を受けなければならない。

Ａ群Ⅱ類	
専門系共通選択科目	
ＡⅡ－１	
工学共通科目	
数学基礎 1	1
数学基礎 2	1
物理基礎 1	1
物理基礎 2	1
管理工学	2
電気回路基礎	2
電子回路基礎	2
機械工学基礎科目	
数値計算・同演習	2
数値シミュレーション	2
コンピュータ支援設計	2
計測工学	2
機械設計法演習	2

学外実習 1　2
学外実習 2　2
特別機械工学実験　2

ＡⅡ－２

機械工学専門科目

応用数学 Ⅱ　2
フーリエ・ラプラス解析　2
物理学 Ⅱ　2
複素解析　2
解析力学　2
確率・統計 Ⅱ　2
統計力学　2
工業材料 Ⅱ　2
材料加工 Ⅱ　2
材料力学 Ⅰ演習　2
材料力学 Ⅱ演習　2
材料力学 Ⅲ　2
連続体力学　2
流体工学　2
伝熱工学　2
流れ学 Ⅲ　2
熱力学 Ⅲ　2
ディジタル制御・同演習　2
機械力学 Ⅲ　2
制御工学 Ⅲ　2
弾性力学　2
塑性力学　2
エネルギー変換工学　2
移動現象論　2
知的財産権　2

上記の科目に加え，協定校単位互換科目のうち卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，協定校単位互換科目は，8 単位を限度として卒業必要単位に算入される。

Ｂ群Ⅰ類

第一外国語科目

Academic English for Science 1　1
Academic English for Science 2　1
Academic English for Science 3　1
Academic English for Science 4　1

選択科目Ｂ群Ⅰ類(第一外国語科目)は，上記科目及び全学共通教養教育科目の外国語教育科目の英語のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。なお，TOEIC 等外国語能力に関する判定試験で一定の水準以上の成果を修めた者は，4 単位を限度として，Ｂ群Ⅰ類の単位に認定する。

Ｂ群Ⅱ類

第二外国語科目

選択科目Ｂ群Ⅱ類(第二外国語科目)は，全学共通教養教育科目の外国語教育科目の英語以外の外国語(イタリア語を除く)のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，英語以外の各外国語の会話科目は，2 単位を上限として卒業必要単位に算入する。

Ｂ群Ⅲ類

選択科目Ｂ群Ⅲ類は，全学共通教養教育科目(同志社科目，人文科学系科目，社会科学系科目，自然科学系科目，人間科学系科目，国際教養科目，ライフデザイン科目，クリエイティブ・ジャパン科目，トピック科目)，他学部設置科目，同志社女子大学単位互換科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目及びテュービンゲン大学ＩＥＳ科目のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，人間科学系科目のうち，保健体育科目は，ス

ポーツ・パフォーマンス 1 から 4 単位，その他の保健体育科目から 4 単位，計 8 単位を限度として卒業必要単位に算入される。

C　群

教職選択科目

数理統計学	2
生物学概論 Ⅰ	2
地学概論 Ⅰ	2
地学概論 Ⅱ	2
代数学	2
幾何学 Ⅰ	2
幾何学 Ⅱ	2
コンピュータと数学	2
地学実験	1
物理実験	2
生物学実験	1
化学実験	2

○外国人留学生科目

外国人留学生科目の履修は，外国人留学生に限る。外国人留学生科目は，日本語・日本文化教育科目から選択履修し，日本語 1(アカデミック・リーディングⅥ)～日本語 1(文法Ⅸ)，日本語 2(アカデミック・リーディングⅥ)～日本語 2(文法Ⅸ)，ビジネス日本語C，Dのうち 4 単位を，選択科目Ｂ群Ⅱ類のうち一種類の外国語の単位に代えることができる。その他の科目は，選択科目Ｂ群Ⅲ類の単位として，卒業必要単位に算入される。

履修方法

必修科目 51 単位，選択科目 77 単位以上，合計 128 単位以上を履修しなければならない。

ただし，選択科目については，Ａ群Ⅰ類から 10 単位以上，Ａ群Ⅱ類から 36 単位以上(うちＡⅡ－１から 8 単位以上)，Ｂ群(うちⅠ類から 8 単位以上，Ⅱ類から 4 単位以上，Ⅲ類のうち全学共通教養教育科目の同志社科目及びその関連科目 2 単位以上)及びＣ群から 18 単位以上履修しなければならない。

○自由科目

環境経済学	2
有機化学 Ⅰ	2
有機化学 Ⅱ	2
有機化学 Ⅲ	2
有機化学 Ⅳ	2
生物学概論 Ⅱ	2
教科教育法 A1(数学)	2
教科教育法 A2(数学)	2
教科教育法 B(数学)	2
教科教育法 C(数学)	2
代数学 Ⅲ	2
応用幾何学	2
人権教育論	2
教育課程論	2
教科教育法 A1(理科)	2
教科教育法 A2(理科)	2
教科教育法 B(理科)	2
教科教育法 C(理科)	2
教育実習指導	1
教育実習 A	2
教育実習 B	2
教育実習 C	4
教職実践演習(中・高)	2
特別ニーズ教育論	2

機 械 理 工 学 科

人材養成目的

機械理工学科は，自然科学の原理を理解しその応用

を可能とする技術分野について，講義と実習をとおして，それらの基礎を十分に学習し，地球資源の有効利用や環境に優しい機械に関する技術を開発する技術者としての能力と，それらを自らの良心に基づき運用できる技術者としての倫理観を身に付けて，理工学の視点を有し，持続可能な社会の構築に貢献する人材を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○必修科目	
機械工学概論	2
線形代数学 Ⅰ	2
線形代数学 Ⅱ	2
解析学 Ⅰ	2
解析学 Ⅱ	2
確率・統計 Ⅰ	2
物理学 Ⅰ	2
工業材料 Ⅰ	2
力学 Ⅰ	2
材料力学 Ⅰ	2
材料加工 Ⅰ	2
熱力学 Ⅰ・同演習	2
流れ学 Ⅰ・同演習	2
機械力学 Ⅰ・同演習	2
制御工学 Ⅰ・同演習	2
機械物理実験	2
機械工学実験	2
製図学	2
機械製作法	2
機械製図学	2
機械設計製作	2
機械設計製図	2
機械設計法 Ⅰ	2
英書講読	1
卒業論文 Ⅰ	2
卒業論文 Ⅱ	2
○選択科目	
Ａ群Ⅰ類	
必修選択科目	
応用数学 Ⅰ	2
コンピュータプログラミング	2
力学 Ⅱ	2
材料力学 Ⅱ	2
熱力学 Ⅱ・同演習	2
流れ学 Ⅱ・同演習	2
機械力学 Ⅱ・同演習	2
制御工学 Ⅱ・同演習	2
機械設計法 Ⅱ	2

選択科目Ａ群Ⅰ類については，上記に掲げるすべての科目を登録し，授業を受けなければならない。

Ａ群Ⅱ類	
専門系共通選択科目	
ＡⅡ－１	
工学共通科目	
数学基礎 1	1
数学基礎 2	1
物理基礎 1	1
物理基礎 2	1
管理工学	2
電気回路基礎	2
電子回路基礎	2
機械工学基礎科目	
数値計算・同演習	2
数値シミュレーション	2
コンピュータ支援設計	2

計測工学	2
機械設計法演習	2
学外実習 1	2
学外実習 2	2
特別機械工学実験	2

ＡⅡ－２

機械工学専門科目	
応用数学 Ⅱ	2
フーリエ・ラプラス解析	2
物理学 Ⅱ	2
複素解析	2
解析力学	2
確率・統計 Ⅱ	2
統計力学	2
工業材料 Ⅱ	2
材料加工 Ⅱ	2
材料力学 Ⅰ演習	2
材料力学 Ⅱ演習	2
材料力学 Ⅲ	2
連続体力学	2
流体工学	2
伝熱工学	2
流れ学 Ⅲ	2
熱力学 Ⅲ	2
ディジタル制御・同演習	2
機械力学 Ⅲ	2
制御工学 Ⅲ	2
弾性力学	2
塑性力学	2
エネルギー変換工学	2
移動現象論	2
知的財産権	2

上記の科目に加え，協定校単位互換科目のうち卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，協定校単位互換科目は，8 単位を限度として卒業必要単位に算入される。

Ｂ群Ⅰ類

第一外国語科目

Academic English for Science 1	1
Academic English for Science 2	1
Academic English for Science 3	1
Academic English for Science 4	1

選択科目Ｂ群Ⅰ類(第一外国語科目)は，上記科目及び全学共通教養教育科目の外国語教育科目の英語のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。なお，TOEIC 等外国語能力に関する判定試験で一定の水準以上の成果を修めた者は，4 単位を限度として，Ｂ群Ⅰ類の単位に認定する。

Ｂ群Ⅱ類

第二外国語科目

選択科目Ｂ群Ⅱ類(第二外国語科目)は，全学共通教養教育科目の外国語教育科目の英語以外の外国語(イタリア語を除く)のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，英語以外の各外国語の会話科目は，2 単位を上限として卒業必要単位に算入する。

Ｂ群Ⅲ類

選択科目Ｂ群Ⅲ類は，全学共通教養教育科目(同志社科目，人文科学系科目，社会科学系科目，自然科学系科目，人間科学系科目，国際教養科目，ライフデザイン科目，クリエイティブ・ジャパン科目，トピック科目)，他学部設置科目，同志社女子大学単位互換科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目及びテュービンゲン大学ＩＥＳ科目のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履

修すること。

ただし，人間科学系科目のうち，保健体育科目は，スポーツ・パフォーマンス 1 から 4 単位，その他の保健体育科目から 4 単位，計 8 単位を限度として卒業必要単位に算入される。

C　群

教職選択科目

数理統計学	2
生物学概論 Ⅰ	2
地学概論 Ⅰ	2
地学概論 Ⅱ	2
代数学	2
幾何学 Ⅰ	2
幾何学 Ⅱ	2
コンピュータと数学	2
地学実験	1
物理実験	2
生物学実験	1
化学実験	2

○外国人留学生科目

外国人留学生科目の履修は，外国人留学生に限る。外国人留学生科目は，日本語・日本文化教育科目から選択履修し，日本語 1(アカデミック・リーディングⅥ)～日本語 1(文法Ⅸ)，日本語 2(アカデミック・リーディングⅥ)～日本語 2(文法Ⅸ)，ビジネス日本語C，Dのうち 4 単位を，選択科目Ｂ群Ⅱ類のうち一種類の外国語の単位に代えることができる。その他の科目は，選択科目Ｂ群Ⅲ類の単位として，卒業必要単位に算入される。

履修方法

必修科目 51 単位，選択科目 77 単位以上，合計 128 単位以上を履修しなければならない。

ただし，選択科目については，Ａ群Ⅰ類から 10 単位以上，Ａ群Ⅱ類から 36 単位以上(うちＡⅡ－1 から 8 単位以上)，Ｂ群(うちⅠ類から 8 単位以上，Ⅱ類から 4 単位以上，Ⅲ類のうち全学共通教養教育科目の同志社科目及びその関連科目 2 単位以上)及びＣ群から 18 単位以上履修しなければならない。

○自由科目

環境経済学	2
生物学概論 Ⅱ	2
教科教育法 A1(数学)	2
教科教育法 A2(数学)	2
教科教育法 B(数学)	2
教科教育法 C(数学)	2
人権教育論	2
教育課程論	2
教科教育法 A1(理科)	2
教科教育法 A2(理科)	2
教科教育法 B(理科)	2
教科教育法 C(理科)	2
教育実習指導	1
教育実習 A	2
教育実習 B	2
教育実習 C	4
教職実践演習(中・高)	2
代数学 Ⅲ	2
応用幾何学	2
有機化学 Ⅰ	2
有機化学 Ⅱ	2
有機化学 Ⅲ	2
有機化学 Ⅳ	2
特別ニーズ教育論	2

機 能 分 子 ・ 生 命 化 学 科

人材養成目的

機能分子・生命化学科は，化学と化学技術について，教育と先端的な研究をとおして，また，本学の教育理念（自由主義・キリスト教主義・国際主義）に基づき，環境や生命を意識したナノ・バイオを含む化学の基礎と応用に関する幅広い学術的な知識・技術を身に付けて，「機能分子創成及び生命現象解明の化学」に関連する工学・理学・薬学・医学に貢献できる独創性にあふれ，問題解決能力を備えた人材を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○必修科目	
工学倫理	2
解析学 Ⅰ	2
解析学 Ⅱ	2
線形代数学 Ⅰ	2
線形代数学 Ⅱ	2
物理学 Ⅰ	2
物理学 Ⅱ	2
物理化学 Ⅰ	2
物理化学 Ⅱ	2
物理化学 Ⅲ	2
物理化学 Ⅳ	2
物理化学 Ⅴ	2
分析化学 Ⅰ	2
分析化学 Ⅱ	2
無機化学 Ⅰ	2
無機化学 Ⅱ	2
有機化学 Ⅰ	2
有機化学 Ⅱ	2
有機化学 Ⅲ	2
有機化学 Ⅳ	2
物理実験	2
基礎化学実験 Ⅰ	3
基礎化学実験 Ⅱ	3
化学実験 Ⅰ	3
化学実験 Ⅱ	3
高分子化学 Ⅰ	2
生命化学 Ⅰ	2
生命化学 Ⅱ	2
卒業論文 Ⅰ	2
卒業論文 Ⅱ	2
○選択科目	
A群Ⅰ類	
ＡⅠ－1	
無機構造論	2
高分子化学 Ⅱ	2
分子分光学 Ⅰ	2
分子分光学 Ⅱ	2
機能分子計測学	2
有機反応論 Ⅰ	2
有機反応論 Ⅱ	2
タンパク質化学	2
遺伝子工学	2
高分子化学 Ⅲ	2
錯体化学	2
ＡⅠ－2	
化学工学 Ⅰ	2
化学工学 Ⅱ	2
ＡⅠ－3	
物理学演習	2
物理化学演習 Ⅰ	2
物理化学演習 Ⅱ	2
有機化学演習 Ⅰ	2

有機化学演習 Ⅱ	2

Ａ群Ⅱ類

プログラミング演習	2
外国書講読(英)	2
無機反応論	2
無機応用化学 Ⅰ	2
無機応用化学 Ⅱ	2
無機機能物質化学	2
統計力学	2
高分子化学 Ⅳ	2
有機機能物質化学	2
ＳＤＧｓと化学	2
生物無機化学	2
環境科学	2
特別講義 Ⅰ	2
特別講義 Ⅱ	2
特別講義 Ⅲ	2
特別講義 Ⅳ	2
応用数学 Ⅰ	2
応用数学 Ⅱ	2
学外実習 1	2
学外実習 2	2
界面・コロイド工学	2
拡散分離工学 Ⅰ	2
電気電子材料	2
プロセス設計	2
プロセス制御	2
知的財産権	2
生物学概論 Ⅰ	2
生物学概論 Ⅱ	2

上記の科目に加え，協定校単位互換科目のうち卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，協定校単位互換科目は，12 単位を限度として卒業必要単位に算入される。

Ｂ群Ⅰ類

第一外国語科目

Academic English for Science 1	1
Academic English for Science 2	1
Academic English for Science 3	1
Academic English for Science 4	1

選択科目Ｂ群Ⅰ類(第一外国語科目)は，上記科目及び全学共通教養教育科目の外国語教育科目の英語のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。なお，TOEIC 等外国語能力に関する判定試験で一定の水準以上の成果を修めた者は，4 単位を限度として，Ｂ群Ⅰ類の単位に認定する。

Ｂ群Ⅱ類

第二外国語科目

選択科目Ｂ群Ⅱ類(第二外国語科目)は，全学共通教養教育科目の外国語教育科目の英語以外の外国語(イタリア語を除く)のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，英語以外の各外国語の会話科目は，2 単位を上限として卒業必要単位に算入する。

Ｂ群Ⅲ類

選択科目Ｂ群Ⅲ類は，全学共通教養教育科目(同志社科目，人文科学系科目，社会科学系科目，自然科学系科目，人間科学系科目，国際教養科目，ライフデザイン科目，クリエイティブ・ジャパン科目，トピック科目)，他学部設置科目，同志社女子大学単位互換科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目及びテュービンゲン大学ＩＥＳ科目のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，人間科学系科目のうち，保健体育科目は，ス

ポーツ・パフォーマンス 1 から 4 単位，その他の保健体育科目から 4 単位，計 8 単位を限度として卒業必要単位算に入される。

○外国人留学生科目

外国人留学生科目の履修は，外国人留学生に限る。外国人留学生科目は，日本語・日本文化教育科目から選択履修し，日本語 1(アカデミック・リーディングⅥ)～日本語 1(文法Ⅸ)，日本語 2(アカデミック・リーディングⅥ)～日本語 2(文法Ⅸ)，ビジネス日本語Ｃ，Ｄのうち 4 単位を，選択科目Ｂ群Ⅱ類のうち一種類の外国語の単位に代えることができる。その他の科目は，選択科目Ｂ群Ⅲ類の単位として，卒業必要単位に算入される。

履修方法

必修科目 64 単位，選択科目 64 単位以上(ただし，Ａ群はＡⅠ－1 から 16 単位以上，ＡⅠ－2 から 2 単位以上，ＡⅠ－3 から 6 単位以上を含めて 42 単位以上，Ｂ群はⅠ類から 8 単位以上，Ⅱ類から 4 単位以上，Ⅲ類から 4 単位以上（うち全学共通教養教育科目の同志社科目及びその関連科目 2 単位以上）を含めて 22 単位以上)，合計 128 単位以上を履修しなければならない。

○自由科目

基礎物理	2
数学基礎 1	1
数学基礎 2	1
環境経済学	2
数理統計学	2
製図学	2
生物学実験	1
教育実習 Ａ	2
教育実習 Ｂ	2
教育実習 Ｃ	4
幾何学 Ⅰ	2
幾何学 Ⅱ	2
確率・統計 Ⅰ	2
確率・統計 Ⅱ	2
コンピュータと数学	2
教育実習指導	1
教職実践演習(中・高)	2
教科教育法 Ａ1(理科)	2
教科教育法 Ａ2(理科)	2
教科教育法 Ｂ(理科)	2
教科教育法 Ｃ(理科)	2
人権教育論	2
教育課程論	2
工業数学演習 Ⅱ	2
地学概論 Ⅰ	2
地学概論 Ⅱ	2
地学実験	1
特別ニーズ教育論	2

化学システム創成工学科

人材養成目的

化学システム創成工学科は，持続可能な社会・環境づくりに貢献していく化学技術について，本学の教育理念であるキリスト教主義・自由主義・国際主義をとおして，化学及び化学工学を基盤とする工学全般にわたる幅広い学術的な知識・技術を身に付けて，地球環境，資源・エネルギー，バイオテクノロジーなどが関わる諸問題を解決することができる「新しい化学システムの創成」に貢献する人材を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○必修科目	
線形代数学 Ⅰ	2
線形代数学 Ⅱ	2

解析学 Ⅰ	2
解析学 Ⅱ	2
物理学 Ⅰ	2
物理学 Ⅱ	2
プログラミング法Ⅰおよび演習	2
無機化学 Ⅰ	2
無機化学 Ⅱ	2
物理化学 Ⅰ	2
物理化学 Ⅱ	2
物理化学 Ⅲ	2
分析化学 Ⅰ	2
分析化学 Ⅱ	2
有機化学 Ⅰ	2
有機化学 Ⅱ	2
反応工学 Ⅰ	2
移動現象論 Ⅰ	2
拡散分離工学 Ⅰ	2
機械的分離工学	2
化学システム創成工学概論	2
物理実験	2
化学工学量論 Ⅰ	2
化学工学量論 Ⅱ	2
基礎化学実験 Ⅰ	3
基礎化学実験 Ⅱ	3
化学システム工学実験 Ⅰ	3
化学システム工学実験 Ⅱ	3
卒業論文 Ⅰ	2
卒業論文 Ⅱ	2

○選択科目

A群Ⅰ類

工学倫理	2
プログラミング法 Ⅱ	2
拡散分離工学 Ⅱ	2
工業数学演習 Ⅰ	2
工業数学演習 Ⅱ	2
工業数学演習 Ⅲ	2
物理化学 Ⅳ	2
物理化学 Ⅴ	2
生物化学	2
機器分析 Ⅰ	2
機器分析 Ⅱ	2
化学工学演習	2
科学英語	2
特別講義 Ⅰ	2
特別講義 Ⅱ	2
高分子化学	2
移動現象論 Ⅱ	2
材料力学	2
反応工学 Ⅱ	2
粉体工学	2
生物化学工学	2
プロセス制御	2
界面・コロイド工学	2
プロセス設計	2
材料プロセス工学	2
物理化学演習	2

A群Ⅱ類

電子工学概論	2
数理統計学	2
製図学	2
学外実習 1	2
学外実習 2	2
電子デバイス Ⅰ	2
高分子化学 Ⅲ	2

無機反応論　2

上記の科目に加え，協定校単位互換科目のうち卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，協定校単位互換科目は，6単位を限度として卒業必要単位に算入される。

Ｂ群Ⅰ類

第一外国語科目

Academic English for Science 1	1
Academic English for Science 2	1
Academic English for Science 3	1
Academic English for Science 4	1

選択科目Ｂ群Ⅰ類(第一外国語科目)は，上記科目及び全学共通教養教育科目の外国語教育科目の英語のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。なお，TOEIC等外国語能力に関する判定試験で一定の水準以上の成果を修めた者は，4単位を限度として，Ｂ群Ⅰ類の単位に認定する。

Ｂ群Ⅱ類

第二外国語科目

選択科目Ｂ群Ⅱ類(第二外国語科目)は，全学共通教養教育科目の外国語教育科目の英語以外の外国語(イタリア語を除く)のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，英語以外の各外国語の会話科目は，2単位を上限として卒業必要単位に算入する。

Ｂ群Ⅲ類

選択科目Ｂ群Ⅲ類は，全学共通教養教育科目(同志社科目，人文科学系科目，社会科学系科目，自然科学系科目，人間科学系科目，国際教養科目，ライフデザイン科目，クリエイティブ・ジャパン科目，トピック科目)，他学部設置科目，同志社女子大学単位互換科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目及びテュービンゲン大学ＩＥＳ科目のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，人間科学系科目のうち，保健体育科目は，スポーツ・パフォーマンス1から4単位，その他の保健体育科目から4単位，計8単位を限度として卒業必要単位に算入される。

Ｃ群

生物学概論 Ⅰ	2
生物学概論 Ⅱ	2
確率・統計 Ⅰ	2
確率・統計 Ⅱ	2
コンピュータと数学	2

○外国人留学生科目

外国人留学生科目の履修は，外国人留学生に限る。外国人留学生科目は，日本語・日本文化教育科目から選択履修し，日本語1(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語1(文法Ⅸ)，日本語2(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語2(文法Ⅸ)，ビジネス日本語Ｃ，Ｄのうち4単位を，選択科目Ｂ群Ⅱ類のうち一種類の外国語の単位に代えることができる。その他の科目は，選択科目Ｂ群Ⅲ類の単位として，卒業必要単位に算入される。

履修方法

必修科目64単位，選択科目64単位以上(ただし，Ａ群はⅠ類から34単位以上を含めて42単位以上，Ｂ群はⅠ類から8単位以上，Ⅱ類から4単位以上，Ⅲ類から4単位以上（うち全学共通教養教育科目の同志社科目及びその関連科目2単位以上)，Ｃ群を含めて22単位以上)，合計128単位以上を履修しなければならない。

○自由科目

基礎物理	2
数学基礎 1	1
数学基礎 2	1

環境経済学	2
地学概論 Ⅰ	2
地学概論 Ⅱ	2
地学実験	1
幾何学 Ⅰ	2
幾何学 Ⅱ	2
人権教育論	2
教育課程論	2
代数学 Ⅲ	2
応用幾何学	2
教科教育法 A1(数学)	2
教科教育法 A2(数学)	2
教科教育法 B(数学)	2
教科教育法 C(数学)	2
教科教育法 A1(理科)	2
教科教育法 A2(理科)	2
教科教育法 B(理科)	2
教科教育法 C(理科)	2
教育実習指導	1
教育実習 A	2
教育実習 B	2
教育実習 C	4
教職実践演習(中・高)	2
代数学	2
生物学実験	1
特別ニーズ教育論	2

環 境 シ ス テ ム 学 科

人材養成目的

環境システム学科は，環境科学について，自然科学分野の横断的な知識をもとにシステムとしての環境の特質を理解することをとおして，問題を発見し，論理的な思考と豊かな発想を持って科学的に分析する能力，そして学際的な素養をもとに問題を解決する能力を身に付けて，各種産業界や研究・教育機関等において貢献する人材を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○必修科目	
線形代数学 Ⅰ	2
線形代数学 Ⅱ	2
解析学 Ⅰ	2
解析学 Ⅱ	2
物理学 Ⅰ	2
物理学 Ⅱ	2
無機化学	2
有機化学 Ⅰ	2
生物学 Ⅰ	2
生物学 Ⅱ	2
地球科学 Ⅰ	2
地球科学 Ⅱ	2
環境システム学概論	2
環境システム基礎実験 A	1
環境システム基礎実験 B	2
環境システム基礎実験 C	1
科学技術論	2
環境システム応用実験 A	2
環境システム応用実験 B	2
卒業論文 Ⅰ	2
卒業論文 Ⅱ	2
○選択科目	
A群Ⅰ類	
必修選択科目	
環境物質科学 Ⅰ	2
環境物質科学 Ⅱ	2

地球環境科学 Ⅰ	2
地球環境科学 Ⅱ	2
環境地球化学	2
資源・エネルギー学 Ⅰ	2
資源・エネルギー学 Ⅱ	2
生命環境科学	2
地球物質科学	2
生態学	2

Ａ群Ⅱ類

ＡⅡ－１

環境系選択科目

物理学基礎	2
生物学基礎	2
有機化学 Ⅱ	2
応用数学 Ⅰ	2
応用数学 Ⅱ	2
プログラミング Ⅰ	2
プログラミング Ⅱ	2
地圏環境科学	2
動物行動学	2
人間環境科学	2
地域環境学	2
都市環境学	2
数理統計学 Ⅰ	2
数理統計学 Ⅱ	2
数値計算	2
環境シミュレーション	2
化学熱力学	2
電気化学	2
環境経済学	2
地球システム科学	2
地球環境変動論	2
地球ダイナミクス	2
地球観測技術	2
環境影響評価	2
自然災害論	2
防災科学	2
エネルギー環境学	2
エネルギー反応論	2
保全生態学	2
生物資源学	2

ＡⅡ－２

工学系選択科目

移動現象論 Ⅰ	2
アナログ電子回路	2
分析化学 Ⅰ	2
分析化学 Ⅱ	2
熱統計力学	2
応用力学	2
電気電子材料	2
ディジタル電子回路	2
超音波エレクトロニクス Ⅱ	2
移動現象論 Ⅱ	2
生物化学工学	2
知的財産権	2
学外実習 1	2
学外実習 2	2

上記の科目に加え，協定校単位互換科目のうち卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，協定校単位互換科目は，８単位を限度として卒業必要単位に算入される。

Ｂ群Ⅰ類

第一外国語科目

Academic English for Science 1	1

Academic English for Science 2	1
Academic English for Science 3	1
Academic English for Science 4	1

選択科目Ｂ群Ⅰ類(第一外国語科目)は，上記科目及び全学共通教養教育科目の外国語教育科目の英語のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。なお，TOEIC 等外国語能力に関する判定試験で一定の水準以上の成果を修めた者は，4 単位を限度として，Ｂ群Ⅰ類の単位に認定する。

Ｂ群Ⅱ類

第二外国語科目

選択科目Ｂ群Ⅱ類(第二外国語科目)は，全学共通教養教育科目の外国語教育科目の英語以外の外国語(イタリア語を除く)のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，英語以外の各外国語の会話科目は，2 単位を上限として卒業必要単位に算入する。

Ｂ群Ⅲ類

選択科目Ｂ群Ⅲ類は，全学共通教養教育科目(同志社科目，人文科学系科目，社会科学系科目，自然科学系科目，人間科学系科目，国際教養科目，ライフデザイン科目，クリエイティブ・ジャパン科目，トピック科目)，他学部設置科目，同志社女子大学単位互換科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目及びテュービンゲン大学ＩＥＳ科目のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，人間科学系科目のうち，保健体育科目は，スポーツ・パフォーマンス 1 から 4 単位，その他の保健体育科目から 4 単位，計 8 単位を限度として卒業必要単位に算入される。

○外国人留学生科目

外国人留学生科目の履修は，外国人留学生に限る。外国人留学生科目は，日本語・日本文化教育科目から選択履修し，日本語 1(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語 1(文法Ⅸ)，日本語 2(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語 2(文法Ⅸ)，ビジネス日本語Ｃ，Ｄのうち 4 単位を，選択科目Ｂ群Ⅱ類のうち一種類の外国語の単位に代えることができる。その他の科目は，選択科目Ｂ群Ⅲ類の単位として，卒業必要単位に算入される。

履修方法

必修科目 40 単位，選択科目 88 単位以上，合計 128 単位以上を履修すること。

ただし，選択科目については，Ａ群はⅠ類から 16 単位以上，ＡⅡ－1 から 36 単位以上を含めて 56 単位以上，Ｂ群はⅠ類から 8 単位以上，Ⅱ類から 4 単位以上，Ⅲ類から 10 単位以上（うち全学共通教養教育科目の同志社科目及びその関連科目 2 単位以上）を含めて 22 単位以上履修しなければならない。

○自由科目

数学基礎 1	1
数学基礎 2	1
人権教育論	2
教育課程論	2
物理実験	2
教科教育法 A1(理科)	2
教科教育法 A2(理科)	2
教科教育法 B(理科)	2
教科教育法 C(理科)	2
教育実習指導	1
教育実習 A	2
教育実習 B	2
教育実習 C	4
教職実践演習(中・高)	2
特別ニーズ教育論	2

数 理 シ ス テ ム 学 科

人材養成目的

数理システム学科は，数理科学について，講義，問題演習及び，コンピュータ実習をとおして，数学を中心とする理学的素養及びコンピュータを用いて様々な問題を具体的に解く能力と統計処理能力を身に付けて，情報・金融関連産業など高度な数学的能力を必要とする企業や，次世代の高度な理数能力の養成を担う教育機関，または数理科学の研究機関等において活躍する人材を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○必修科目	
解析学 Ⅰ	4
解析学 Ⅱ	4
線形代数学 Ⅰ	2
線形代数学 Ⅱ	2
数学演習 Ⅰ	1
数学演習 Ⅱ	1
確率・統計基礎	2
数理システム演習 Ⅰ	2
数理システム演習 Ⅱ	2
数理システム演習 Ⅲ	2
数理システム演習 Ⅳ	2
コンピュータ入門	2
情報処理入門	2
コンピュータプログラミング Ⅰ	2
コンピュータプログラミング Ⅱ	2
数理ゼミナール Ⅰ	2
数理ゼミナール Ⅱ	2
卒業論文 Ⅰ	2
卒業論文 Ⅱ	2
○選択科目	
A群Ⅰ類	
物理学 Ⅰ	2
物理学 Ⅱ	2
複素解析	2
フーリエ・ラプラス解析	2
集合と位相	2
微分方程式	2
ベクトル解析	2
代数学 Ⅰ	2
代数学 Ⅱ	2
代数学 Ⅲ	2
幾何学 Ⅰ	2
幾何学 Ⅱ	2
数学演習 Ⅲ	1
数学演習 Ⅳ	1
数理モデル	2
離散数理	2
確率・統計	2
数理統計	2
応用微分方程式	2
積分論	2
応用解析学	2
応用代数学	2
応用幾何学	2
数学史	2
数値解析 Ⅰ	2
数値解析 Ⅱ	2
データサイエンス Ⅰ	2
データサイエンス Ⅱ	2
金融・投資の統計科学	2
数理計画法	2

計算代数 Ⅰ	2
計算代数 Ⅱ	2
応用数学 Ⅰ	2
応用数学 Ⅱ	2
数理システム特別講義	2
学外実習 1	2
学外実習 2	2

A群Ⅱ類

コンピュータグラフィックス	2
工業材料 Ⅰ	2
有機化学 Ⅰ	2
有機化学 Ⅱ	2
無機化学 Ⅰ	2
無機化学 Ⅱ	2
基礎物理	2
電気回路基礎	2
電子回路基礎	2
代数構造	2
言語理論	2
情報理論	2
電気磁気学 Ⅰ	3
電気磁気学 Ⅱ	3
応用力学	2
化学工学 Ⅰ	2
環境物質科学 Ⅰ	2
生命環境科学	2
地球環境科学 Ⅱ	2
ディジタル信号処理	2
不規則信号論	2
符号理論	2
画像処理	2
統計力学	2
工業材料 Ⅱ	2
管理工学	2
量子力学	2
化学工学 Ⅱ	2

上記の科目に加え，協定校単位互換科目のうち卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，協定校単位互換科目は，10 単位を限度として卒業必要単位に算入される。

Ｂ群Ⅰ類

第一外国語科目

Academic English for Science 1	1
Academic English for Science 2	1
Academic English for Science 3	1
Academic English for Science 4	1

選択科目Ｂ群Ⅰ類(第一外国語科目)は，上記科目及び全学共通教養教育科目の外国語教育科目の英語のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。なお，TOEIC 等外国語能力に関する判定試験で一定の水準以上の成果を修めた者は，4 単位を限度として，Ｂ群Ⅰ類の単位に認定する。

Ｂ群Ⅱ類

第二外国語科目

選択科目Ｂ群Ⅱ類(第二外国語科目)は，全学共通教養教育科目の外国語教育科目の英語以外の外国語(イタリア語を除く)のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，英語以外の各外国語の会話科目は，2 単位を上限として卒業必要単位に算入する。

Ｂ群Ⅲ類

選択科目Ｂ群Ⅲ類は，全学共通教養教育科目(同志社科目，人文科学系科目，社会科学系科目，自然科学系科目，人間科学系科目，国際教養科目，ライフデザイン科目，

クリエイティブ・ジャパン科目，トピック科目），他学部設置科目，同志社女子大学単位互換科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目及びテュービンゲン大学ＩＥＳ科目のうち，卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

ただし，人間科学系科目のうち，保健体育科目は，スポーツ・パフォーマンス 1 から 4 単位，その他の保健体育科目から 4 単位，計 8 単位を限度として卒業必要単位に算入される。

Ｃ群

情報と社会	2
コンピュータネットワーク	2
情報セキュリティ	2
情報通信ネットワーク実習	1
ネットワーク応用	2
ワイヤレス通信	2

○外国人留学生科目

外国人留学生科目の履修は，外国人留学生に限る。外国人留学生科目は，日本語・日本文化教育科目から選択履修し，日本語 1(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語 1(文法Ⅸ)，日本語 2(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語 2(文法Ⅸ)，ビジネス日本語Ｃ，Ｄのうち 4 単位を，選択科目Ｂ群Ⅱ類のうち一種類の外国語の単位に代えることができる。その他の科目は，選択科目Ｂ群Ⅲ類の単位として，卒業必要単位に算入される。

履修方法

必修科目 40 単位，選択科目 88 単位以上，合計 128 単位以上を履修しなければならない。

ただし，選択科目については，Ａ群はⅠ類から 40 単位以上を含めて 52 単位以上，Ｂ群はⅠ類から 8 単位以上，Ⅱ類から 4 単位以上，Ⅲ類から 10 単位以上（うち全学共通教養教育科目の同志社科目及びその関連科目 2 単位以上）を含めて 22 単位以上履修しなければならない。

○自由科目

情報メディア	2
情報メディア実習	1
人権教育論	2
ディジタル制御・同演習	2
計算機ハードウェア	2
計算機アーキテクチャ	2
通信ネットワーク	2
Ｃプログラミング Ⅲ	1
情報システム実習	1
教育課程論	2
コンピュータと数学	2
情報システム工学	2
ネットワークシステム構成論	2
環境経済学	2
教科教育法 Ａ1(数学)	2
教科教育法 Ａ2(数学)	2
教科教育法 Ｂ(数学)	2
教科教育法 Ｃ(数学)	2
教科教育法 Ａ(情報)	2
教科教育法 Ｂ(情報)	2
教育実習指導	1
教育実習 Ａ	2
教育実習 Ｂ	2
教育実習 Ｃ	4
教職実践演習(中・高)	2
特別ニーズ教育論	2
知識情報処理	2
データベースシステム	2

生　命　医　科　学　部

人材養成目的

生命医科学部は，生命現象の本質を科学的に理解すると同時に，その制御機能を多角的な視点から明らかにする教育研究活動をとおして，生命医科学に関連するさまざまな課題に対して，工学ならびに理学を基盤とする総合的な知識と関連する技術を身に付けて，健康・医療に関する様々な社会的要請に対応できる人材を養成することを目的とする。

医　工　学　科

人材養成目的

医工学科は，ヒトを生体システムとして捉え，機械工学と医学の融合領域において，再生医療，バイオメカニクス，バイオマテリアル，及びバイオロボティクスの分野について，講義と実験実習をとおして，問題設定能力と問題解決能力を身に付けて，民間企業や官民の研究機関，教育機関等において活躍する人材を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○必修科目	
微分積分学 Ⅰ	2
微分積分学 Ⅱ	2
代数学 Ⅰ	2
代数学 Ⅱ	2
化学	2
生物学	2
物理学基礎	2
力学	2
生命医科学概論	2
製図学基礎	2
コンピュータプログラミング	2
医工・医情報学概論	2
材料力学 Ⅰ	2
物理学 Ⅰ	2
人体の構造と機能 Ⅰ	2
材料力学 Ⅱ	2
応用数理 Ⅰ	2
医工学基礎実験	2
医用設計工学実習 Ⅰ	2
材料工学 Ⅰ	2
生化学	2
制御工学 Ⅰ	2
制御工学 Ⅱ	2
医工学応用実験	2
医用設計工学実習 Ⅱ	2
卒業論文 Ⅰ	2
卒業論文 Ⅱ	2
○選択科目	
A群Ⅰ類	
A群Ⅰ類－1	
数学基礎	2
応用数理 Ⅱ	2
物理学 Ⅱ	2
コンピュータ演習	2
電気回路・電子回路	2
電磁気学	2
計測工学	2
医用機械設計法	2
基礎数理統計学	2
応用数理統計学	2
材料工学 Ⅱ	2
熱力学	2
A群Ⅰ類－2	

材料力学演習 Ⅰ	2
材料力学演習 Ⅱ	2
流体力学	2
バイオマテリアル	2
バイオメカニクス	2
医用ロボット	2
メカトロニクス	2
BioMEMS	2
再生医科学	2
臨床医学概論 3	2
臨床解剖学概論	2

Ａ群Ⅱ類

Ａ群Ⅱ類－１

スポーツ運動学	2
公衆衛生学	2
ケア倫理学	2
スポーツ・バイオメカニクス	2
リハビリテーション医学	2
人体の構造と機能 Ⅱ	2
臨床医学概論 1	2
臨床医学概論 2	2
特別講義	2

Ａ群Ⅱ類－２

放射線科学	2
超音波エレクトロニクス	2
医用情報処理	2
医用画像工学	2
生物情報	2
バイオインフォマティックス	2
アンチエイジング	2
分子生物学 Ⅰ	2
神経科学	2
脳神経機構学	2
ストレス適応科学	2
バイオマーカー解析学	2
解析力学	2
統計力学	2
複素解析	2

Ｂ群Ｉ類

選択科目Ｂ群Ｉ類は，全学共通教養教育科目の外国語教育科目の英語から選択履修すること。

なお，TOEIC，TOEFL，実用英語技能検定試験及び国際連合公用語英語検定試験で一定水準以上の成果を修めた者は，4単位を限度として，選択科目Ｂ群Ｉ類の単位に認定する。

Ｂ群Ⅱ類

選択科目Ｂ群Ⅱ類は，全学共通教養教育科目の外国語教育科目のドイツ語又はフランス語から選択履修すること。

Ｂ群Ⅲ類

日本の憲法	2
教職概論	2
教育原理	2
発達と学習の心理学	2
教育制度と学校経営	2
学校教育社会学	2
人権教育論	2
教育課程論	2
道徳教育の理論と実践	2
特別活動と総合的な学習の時間の指導法	2
教育方法とＩＣＴ活用の理論と実践	2
生徒・進路指導の理論と方法	2
教育相談の理論と方法	2

選択科目Ｂ群Ⅲ類は，上記の科目に加え，全学共通教

養教育科目(同志社科目，人文科学系科目，社会科学系科目，自然科学系科目，人間科学系科目，国際教養科目，外国語教育科目，ライフデザイン科目，クリエイティブ・ジャパン科目，トピック科目)，他学部設置科目，同志社女子大学単位互換科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目及びテュービンゲン大学ＩＥＳ科目のうち卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

C　群

計算機代数	2
幾何学 Ⅰ	2
幾何学 Ⅱ	2
応用微分方程式	2
代数学 Ⅲ	2
ベクトル解析	2
集合と位相	2
代数構造	2

○日本語・日本文化教育科目

日本語・日本文化教育科目の履修は，外国人留学生に限る。日本語 1(アカデミック・リーディングAⅥ)～日本語 1(文法Ⅸ)，日本語 2(アカデミック・リーディングAⅥ)～日本語 2(文法Ⅸ)，ビジネス日本語C，ビジネス日本語Dのうち 4 単位を，選択科目Ｂ群Ⅱ類のうち一種類の外国語の単位に代えることができる。その他の科目は，選択科目Ｂ群Ⅲ類の単位として，卒業必要単位に算入される。

○自由科目

教科教育法 A1(数学)	2
教科教育法 A2(数学)	2
教科教育法 B(数学)	2
教科教育法 C(数学)	2
教科教育法 A1(理科)	2
教科教育法 A2(理科)	2
教科教育法 B(理科)	2
教科教育法 C(理科)	2
教職実践演習(中・高)	2
教育実習指導	1
教育実習 A	2
教育実習 B	2
教育実習 C	4
地学概論 Ⅰ	2
地学概論 Ⅱ	2
地学実験	1
化学実験	3
特別ニーズ教育論	2
スクールインターンシップ	2
学校図書館サービス論	2
特別講義アドバンス	2
医生命基礎実験	2
ニューロサイエンス入門 1	2
ニューロサイエンス入門 2	2
科学技術概論 Ⅰ	2
科学技術概論 Ⅱ	2
アウトリーチ実習	2
サイエンスライティング	2
サイエンスとインテリジェンス	2
サイエンス・ナウ 1	2
サイエンス・ナウ 2	2
サイエンス・ナウ 3	2
サイエンス・ナウ 4	2
サイエンス・ナウ 5	2
サイエンス・ナウ 6	2
サイエンス・ナウ 7	2
サイエンス・ナウ 8	2
ビジネスワークショップ	2

メディカルワークショップ	2
取材・インタビュー実践講座	2
未知型探索ビジネスワークショップ	2

履修方法

必修科目 54 単位，選択科目 74 単位以上，合計 128 単位以上を履修しなければならない。

ただし，選択科目については，Ａ群Ｉ類－１から 12 単位，Ｉ類－２から 14 単位を含めＡ群Ｉ類から 26 単位以上，Ａ群Ⅱ類－１から 8 単位以上を含めＡ群Ⅱ類から 16 単位以上，Ａ群全体から 42 単位以上，Ｂ群Ｉ類から 8 単位以上，Ｂ群Ⅱ類から 4 単位以上，Ｂ群Ⅲ類から 8 単位以上を含めＢ群及びＣ群から 20 単位以上を履修しなければならない。

医　情　報　学　科

人材養成目的

医情報学科は，生体情報の取得・制御に関する知識や技能と，生体情報処理機構を次世代高度情報システムの構築へと展開できる応用力について，幅広いリベラルアーツと自然科学基礎，電子・情報工学，生体情報，脳科学に関する講義や演習，実験，卒業研究をとおして，自発的に問題発見・解決を行い，それを伝えることのできる創造力を身に付けて，企業や研究所等において活躍する人材を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○必修科目	
微分積分学　Ⅰ	2
微分積分学　Ⅱ	2
線形代数学　Ⅰ	2
生物学	2
物理科学実験　Ⅰ	2
物理学基礎	2
生命医科学概論	2
医工・医情報学概論	2
化学	2
知覚情報システム論	2
エレクトロニクス　Ⅰ	4
物理科学実験　Ⅱ	2
エレクトロニクス　Ⅱ	4
情報処理工学	2
物理学　Ⅰ	2
医情報応用実験　Ⅰ	2
医情報応用実験　Ⅱ	2
生化学	2
フーリエ・ラプラス解析	2
プログラミング　Ⅰ	4
人体の構造と機能　Ⅰ	2
医情報応用実験　Ⅲ	2
卒業論文　Ⅰ	2
卒業論文　Ⅱ	2
○選択科目	
Ａ群Ｉ類	
Ａ群Ｉ類－１ａ	
医用機器概論	2
生物情報概論	2
複素解析	2
ディジタル信号処理	2
知覚認知	2
計測システム	2
プログラミング　Ⅱ	2
基礎数理統計学	2
システム思考	2
構造有機化学	2
Ａ群Ｉ類－１ｂ	

医情報応用実験 Ⅳ	2
特別演習実習 A	2
特別演習実習 B	2
A群Ⅰ類－２	
線形代数学 Ⅱ	2
電磁気学	2
電子回路	2
物理学 Ⅱ	2
応用微分方程式	2
放射線科学	2
医用情報処理	2
特別講義 A	2
特別講義 B	2
生物情報	2
バイオインフォマティックス	2
応用数理統計学	2
超音波エレクトロニクス	2
プロジェクト実習	2
医用画像工学	2
量子力学	2
分析化学	2
A群Ⅱ類	
A群Ⅱ類－１	
公衆衛生学	2
スポーツ運動学	2
ケア倫理学	2
スポーツ・バイオメカニクス	2
人体の構造と機能 Ⅱ	2
システム生物科学	2
臨床医学概論 1	2
臨床医学概論 2	2
臨床医学概論 3	2
再生医科学	2
アンチエイジング	2
薬理学	2
神経科学	2
リハビリテーション医学	2
臨床解剖学概論	2
神経情報伝達制御学	2
ライフサイクルと精神医学	2
脳神経機構学	2
特別講義	2
ニューロサイエンス入門 1	2
ニューロサイエンス入門 2	2
A群Ⅱ類－２	
アナログ電子回路	2
画像処理	2
バイオメカニクス	2
メカトロニクス	2
パターン認識	2
バイオマテリアル	2
BioMEMS	2
医用ロボット	2
コンピュータグラフィックス	2
科学技術概論 Ⅰ	2
科学技術概論 Ⅱ	2
アウトリーチ実習	2
サイエンスライティング	2
サイエンスとインテリジェンス	2
サイエンス・ナウ 1	2
サイエンス・ナウ 2	2
サイエンス・ナウ 3	2
サイエンス・ナウ 4	2
サイエンス・ナウ 5	2

サイエンス・ナウ 6	2
サイエンス・ナウ 7	2
サイエンス・ナウ 8	2
ビジネスワークショップ	2
メディカルワークショップ	2
取材・インタビュー実践講座	2
未知型探索ビジネスワークショップ	2

Ｂ群Ⅰ類

選択科目Ｂ群Ⅰ類は，全学共通教養教育科目の外国語教育科目の英語から選択履修すること。

なお，TOEIC，TOEFL，実用英語技能検定試験及び国際連合公用語英語検定試験で一定水準以上の成果を修めた者は，4 単位を限度として，選択科目Ｂ群Ⅰ類の単位に認定する。

Ｂ群Ⅱ類

選択科目Ｂ群Ⅱ類は，全学共通教養教育科目の外国語教育科目のドイツ語又はフランス語から選択履修すること。

Ｂ群Ⅲ類

日本の憲法	2
教職概論	2
教育原理	2
発達と学習の心理学	2
教育制度と学校経営	2
学校教育社会学	2
人権教育論	2
教育課程論	2
道徳教育の理論と実践	2
特別活動と総合的な学習の時間の指導法	2
教育方法とＩＣＴ活用の理論と実践	2
生徒・進路指導の理論と方法	2
教育相談の理論と方法	2

選択科目Ｂ群Ⅲ類は，上記の科目に加え，全学共通教養教育科目(同志社科目，人文科学系科目，社会科学系科目，自然科学系科目，人間科学系科目，国際教養科目，外国語教育科目，ライフデザイン科目，クリエイティブ・ジャパン科目，トピック科目)，他学部設置科目，同志社女子大学単位互換科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目及びテュービンゲン大学ＩＥＳ科目のうち卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

Ｃ　群

計算機代数	2
幾何学 Ⅰ	2
幾何学 Ⅱ	2
代数学 Ⅲ	2
ベクトル解析	2
集合と位相	2
代数構造	2

○日本語・日本文化教育科目

日本語・日本文化教育科目の履修は，外国人留学生に限る。日本語 1(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語 1(文法Ⅸ)，日本語 2(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語 2(文法Ⅸ)，ビジネス日本語Ｃ，ビジネス日本語Ｄのうち 4 単位を，選択科目Ｂ群Ⅱ類のうち一種類の外国語の単位に代えることができる。その他の科目は，選択科目Ｂ群Ⅲ類の単位として，卒業必要単位に算入される。

○自由科目

教科教育法 A1(数学)	2
教科教育法 A2(数学)	2
教科教育法 B(数学)	2
教科教育法 C(数学)	2
教科教育法 A1(理科)	2
教科教育法 A2(理科)	2

教科教育法 B(理科)	2
教科教育法 C(理科)	2
教職実践演習(中・高)	2
教育実習指導	1
教育実習 A	2
教育実習 B	2
教育実習 C	4
地学概論 Ⅰ	2
地学概論 Ⅱ	2
地学実験	1
化学実験	3
特別ニーズ教育論	2
スクールインターンシップ	2
学校図書館サービス論	2
製図学基礎	2
特別講義アドバンス	2
医療情報学	2
生物センシング工学	2
生物物理学	2
自己組織化の科学	2
医用画像システム	2
有機合成	2
有機反応 1	2
有機反応 2	2
臨床医学開発	2
神経行動科学	2
応用化学	2
超音波医科学	2
生体情報アルゴリズム	2
バイオメディカルコンピューティング	2
生物音響工学	2
超音波計測	2
データサイエンス	2
運動器の健康とリハビリテーション	2

履修方法

必修科目 54 単位，選択科目 74 単位以上，合計 128 単位以上を履修しなければならない。

ただし，選択科目については，A群Ⅰ類－１ａから 12 単位以上，１ｂから 2 単位以上を含めA群Ⅰ類から 26 単位以上，A群Ⅱ類－１から 8 単位以上，これらを含めA群全体から 42 単位以上，B群Ⅰ類から 8 単位以上，B群Ⅱ類から 4 単位以上，B群Ⅲ類から 8 単位以上を含めB群及びC群から 20 単位以上を履修しなければならない。

医 生 命 シ ス テ ム 学 科

人材養成目的

医生命システム学科は，ヒトをひとつの生命システムと捉え，それを維持する生理機構やその破綻による各種疾病の発症機構，さらにはその治療・予防について，生命科学，薬学，基礎医学，臨床医学に関する講義，ならびにこれらと密接に関連した実験実習をとおして，体系的な理解能力と実践的な問題解決能力を身に付けて，生命科学，基礎医学，健康科学の関連分野において活躍する人材を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○必修科目	
生命医科学概論	2
生物学	2
化学	2
微生物学	2
細胞生物学 Ⅰ	2
公衆衛生学	2
医生命基礎実験	2

医工・医情報学概論	2
臨床医学概論 1	2
人体の構造と機能 Ⅰ	2
ケミカルバイオロジー	2
分子生物学 Ⅰ	2
生体物質分析化学	2
システム生物科学	2
ケア倫理学	2
ヒトの病理と防御システム Ⅰ	2
ヒトの病理と防御システム Ⅱ	2
生化学	2
物理学基礎	2
コンピュータプログラミング	2
分子生物学実験	2
人体の構造と機能 Ⅱ	2
人体の構造と機能 Ⅲ	2
人体の構造と機能実験	2
薬理学	2
基礎数理統計学	2
卒業論文 Ⅰ	2
卒業論文 Ⅱ	2

○選択科目

A群Ⅰ類

細胞生物学 Ⅱ	2
分子生物学 Ⅱ	2
臨床医学概論 2	2
特別講義 A	2
特別講義 B	2
分子創薬科学	2
バイオマーカー解析学	2
アンチエイジング	2
神経科学	2
神経情報伝達制御学	2
脳神経機構学	2
ストレス適応科学	2
ライフサイクルと精神医学	2
臨床医学概論 3	2
再生医科学	2
創薬化学	2
ニューロサイエンス入門 1	2
ニューロサイエンス入門 2	2
運動器の健康とリハビリテーション	2
発生遺伝学概論	2
神経機能学	2
生体データ解析	2

A群Ⅱ類

線形代数学 Ⅰ	2
線形代数学 Ⅱ	2
知覚情報システム論	2
数学基礎	2
微分積分学 Ⅰ	2
微分積分学 Ⅱ	2
スポーツ運動学	2
生物情報概論	2
電気回路・電子回路	2
医用機器概論	2
計測工学	2
スポーツ・バイオメカニクス	2
リハビリテーション医学	2
医用情報処理	2
制御工学 Ⅰ	2
バイオマテリアル	2
バイオメカニクス	2
BioMEMS	2

放射線科学	2
生物情報	2
バイオインフォマティックス	2
応用数理統計学	2
電磁気学	2
画像処理	2
医用画像工学	2
医用機械設計法	2
流体力学	2
医用ロボット	2
メカトロニクス	2
ディジタル信号処理	2
知覚認知	2
計測システム	2
超音波エレクトロニクス	2
臨床解剖学概論	2
電磁気と生命体	2
特別講義	2
科学技術概論 Ⅰ	2
科学技術概論 Ⅱ	2
アウトリーチ実習	2
サイエンスライティング	2
サイエンスとインテリジェンス	2
サイエンス・ナウ 1	2
サイエンス・ナウ 2	2
サイエンス・ナウ 3	2
サイエンス・ナウ 4	2
サイエンス・ナウ 5	2
サイエンス・ナウ 6	2
サイエンス・ナウ 7	2
サイエンス・ナウ 8	2
ビジネスワークショップ	2
メディカルワークショップ	2
取材・インタビュー実践講座	2
未知型探索ビジネスワークショップ	2
海外キャリアリサーチ	2

Ｂ群Ⅰ類

選択科目Ｂ群Ⅰ類は，全学共通教養教育科目の外国語教育科目の英語から選択履修すること。

なお，TOEIC，TOEFL，実用英語技能検定試験及び国際連合公用語英語検定試験で一定水準以上の成果を修めた者は，4単位を限度として，選択科目Ｂ群Ⅰ類の単位に認定する。

Ｂ群Ⅱ類

選択科目Ｂ群Ⅱ類は，全学共通教養教育科目の外国語教育科目のドイツ語又はフランス語から選択履修すること。

Ｂ群Ⅲ類

日本の憲法	2
教職概論	2
教育原理	2
発達と学習の心理学	2
教育制度と学校経営	2
学校教育社会学	2
人権教育論	2
教育課程論	2
道徳教育の理論と実践	2
特別活動と総合的な学習の時間の指導法	2
教育方法とＩＣＴ活用の理論と実践	2
生徒・進路指導の理論と方法	2
教育相談の理論と方法	2

選択科目Ｂ群Ⅲ類は，上記の科目に加え，全学共通教養教育科目（同志社科目，人文科学系科目，社会科学系科目，自然科学系科目，人間科学系科目，国際教養科目，外

国語教育科目，ライフデザイン科目，クリエイティブ・ジャパン科目，トピック科目），他学部設置科目，同志社女子大学単位互換科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目及びテュービンゲン大学ＩＥＳ科目のうち卒業必要単位と認められる科目から選択履修すること。

○日本語・日本文化教育科目

日本語・日本文化教育科目の履修は，外国人留学生に限る。日本語 1(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語 1(文法Ⅸ)，日本語 2(アカデミック・リーディングＡⅥ)～日本語 2(文法Ⅸ)，ビジネス日本語Ｃ，ビジネス日本語Ｄのうち 4 単位を，選択科目Ｂ群Ⅱ類のうち一種類の外国語の単位に代えることができる。その他の科目は，選択科目Ｂ群Ⅲ類の単位として，卒業必要単位に算入される。

○自由科目

教科教育法 A1(理科)	2
教科教育法 A2(理科)	2
教科教育法 B(理科)	2
教科教育法 C(理科)	2
教職実践演習(中・高)	2
教育実習指導	1
教育実習 A	2
教育実習 B	2
教育実習 C	4
地学概論 Ⅰ	2
地学概論 Ⅱ	2
地学実験	1
物理実験	2
化学実験	3
特別ニーズ教育論	2
スクールインターンシップ	2
学校図書館サービス論	2
特別講義アドバンス	2

履修方法

必修科目 56 単位，選択科目 72 単位以上，合計 128 単位以上を履修しなければならない。ただし，選択科目については，Ａ群からⅠ類 20 単位以上を含め 40 単位以上，Ｂ群Ⅰ類から 8 単位以上，Ｂ群Ⅱ類から 4 単位以上，Ｂ群Ⅲ類から 8 単位以上を含めＢ群から 20 単位以上を履修しなければならない。

スポーツ健康科学部

スポーツ健康科学科

人材養成目的

スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科は，健康とスポーツ活動及び，それらを取り巻く社会環境に関する知見と諸理論を包括したスポーツ健康科学の知識と理論を総合的・体系的に修得し，地域・社会，学校教育，スポーツ関連産業及びヘルスケア産業等の現場で，専門的な立場から，健康の維持・増進とスポーツの社会的発展に寄与・貢献できる多様な人材を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○必修科目	
基礎科目	
ファースト・イヤー・セミナー	2
スポーツ健康科学論入門	2
生理学	2
スポーツ生理学	2
スポーツ社会学	2
基礎実習	2
演習科目	
演習 Ⅰ	2

演習 Ⅱ	2
演習 Ⅲ	2
演習 Ⅳ	2
卒業研究 A	3
卒業研究 B	3

○選択科目

A 群(基幹科目)

健康運動論	2
スポーツ政策論	2
公衆衛生学	2
スポーツ運動学	2
トレーニング論	2
スポーツ教育学	2

A群より6単位以上履修すること。

B 群(展開科目)

スポーツ機能解剖学	2
生命医科学概論	2
人体の構造と機能 Ⅰ	2
スポーツ医学 A(内科系)	2
スポーツ医学 B(外科系)	2
生活習慣病概論	2
発育発達と老化	2
栄養学	2
学校保健	2
スポーツ栄養学	2
スポーツ・バイオメカニクス	2
コンディショニング論	2
スポーツ心理学	2
スポーツの原理	2
スポーツ測定評価論	2
メンタル・トレーニング論	2
コーチング論	2
スポーツ・マーケティング論	2
障がい者スポーツ論	2
障がい者スポーツ論(応用)	2
スポーツ統計情報処理	2
スポーツ倫理学	2
スポーツ・トピックス 1	2
スポーツ・トピックス 2	2
スポーツ行政論	2
スポーツ組織文化論	2
身体運動制御論	2
スポーツ生体ダイナミクス	2
健康教育学	2
ヒトの病理と防御システム Ⅰ	2
リハビリテーション医学	2
スポーツ生化学	2
薬理学	2
精神保健論	2
スポーツマッサージ・テーピング論	2
高齢者スポーツ論	2
競技者育成システム論	2
スポーツ経済学	2
スポーツビジネス論	2
スポーツ人類学	2
スポーツ・メディア論	2
スポーツ・マネジメント論	2
障がい者スポーツ指導論	2
スポーツ健康外国書講読 Ⅰ	2
スポーツ健康外国書講読 Ⅱ	2
環境生理学	2
スポーツ分子生物学	2
インターンシップ演習	2
スポーツ健康科学グローバル演習	2

スポーツ健康科学特殊講義 A 2
スポーツ健康科学特殊講義 B 2

B群より 22 単位以上履修すること。

C 群(応用科目)

C群Ⅰ類

スポーツ方法実習(フィットネス) 1
スポーツ方法実習(器械運動) 1
スポーツ方法実習(水泳) 1
スポーツ方法実習(バスケットボール) 1
スポーツ方法実習(バレーボール) 1
スポーツ方法実習(サッカー) 1
スポーツ方法実習(卓球) 1
スポーツ方法実習(テニス) 1
スポーツ方法実習(柔道) 1
スポーツ方法実習(剣道) 1
スポーツ方法実習(ダンス) 1
スポーツ方法実習(スノースポーツ) 1
スポーツ方法実習(ゴルフ) 1
スポーツ方法実習(野外活動) 1
スポーツ方法実習(バドミントン) 1
スポーツ方法実習(フェンシング) 1
スポーツ方法実習(陸上競技) 1
スポーツ方法実習(ウォータースポーツ) 1
スポーツ方法実習(ソフトテニス) 1
スポーツ方法実習(ニュースポーツ) 1
スポーツ方法実習(レスリング) 1
スポーツ方法実習(フィジカルトレーニング) 1
スポーツ指導法実習(フィットネス) 1
スポーツ指導法実習(器械運動) 1
スポーツ指導法実習(水泳) 1
スポーツ指導法実習(バスケットボール) 1
スポーツ指導法実習(バレーボール) 1
スポーツ指導法実習(サッカー) 1
スポーツ指導法実習(卓球) 1
スポーツ指導法実習(テニス) 1
スポーツ指導法実習(柔道) 1
スポーツ指導法実習(剣道) 1
スポーツ指導法実習(ダンス) 1
スポーツ指導法実習(スノースポーツ) 1
スポーツ指導法実習(ゴルフ) 1
スポーツ指導法実習(野外活動) 1
スポーツ指導法実習(バドミントン) 1
スポーツ指導法実習(陸上競技) 1

C群Ⅱ類

スポーツ健康科学特殊講義 S 2
スポーツ健康科学応用演習 2

C群Ⅰ類より 4 単位以上を含めC群より 6 単位以上履修すること。

D 群(隣接科目)

スポーツ健康科学のための自然科学入門 A 2
スポーツ健康科学のための自然科学入門 B 2
現代社会論 2
児童・家庭福祉論 2
生物学 2
発達と学習の心理学 2
学習心理学(学習・言語心理学Ⅰ) 2
生理心理学(神経・生理心理学Ⅰ) 2
学校心理学(教育・学校心理学) 2
健康心理学(健康・医療心理学) 2
生化学 2
臨床医学概論 2 2
臨床医学概論 3 2
臨床解剖学概論 2

E 群(教育関連科目)

人権教育論	2
学校教育社会学	2
保健体育科教育法 A1	2
保健体育科教育法 A2	2
教育方法とＩＣＴ活用の理論と実践	2
保健体育科教育法 B	2
保健体育科教育法 C	2

選択科目Ａ群，Ｂ群，Ｃ群，Ｄ群，Ｅ群より合計 48 単位以上(Ａ群 6 単位以上，Ｂ群 22 単位以上，Ｃ群Ⅰ類より 4 単位以上を含めＣ群より 6 単位以上を含む)を履修すること。

Ｆ　群（全学共通教養教育科目）

全学共通教養教育科目（「スポーツ・健康の科学Ａ」，「スポーツ・健康の科学Ｂ」，「スポーツ・健康の科学Ｃ」を除く），他学部設置科目，同志社女子大学単位互換科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目及びテュービンゲン大学ＩＥＳ科目より 30 単位以上を履修すること。

ただし，全学共通教養教育科目の外国語教育科目のうち，英語 8 単位，ドイツ語，フランス語，中国語，ロシア語，スペイン語及びコリア語のうち一つの外国語 4 単位，並びに全学共通教養教育科目(外国語教育科目，「スポーツ・健康の科学Ａ」，「スポーツ・健康の科学Ｂ」，「スポーツ・健康の科学Ｃ」を除く)，他学部設置科目，同志社女子大学単位互換科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目及びテュービンゲン大学ＩＥＳ科目から 18 単位を含むこと。

なお，全学共通教養教育科目の「スポーツ・パフォーマンス 1」は，2 単位を上限として卒業単位に算入する。

TOEIC，TOEFL 等外部試験において，一定水準以上の成果を修めた者は，4 単位を限度として外国語教育科目の英語科目の単位として認定する。

○日本語・日本文化教育科目

日本語・日本文化教育科目の履修は，外国人留学生に限る。履修した単位は，Ｆ群の必要単位に算入する。なお，日本語 1(アカデミック・リーディングⅥ)～日本語 2(文法Ⅸ)，ビジネス日本語Ｃ及びビジネス日本語Ｄの単位を英語以外の外国語の単位に代えることができる。

○自由科目

教職概論	2
教育原理	2
特別ニーズ教育論	2
スクールインターンシップ	2
教育課程論	2
教育制度と学校経営	2
道徳教育の理論と実践	2
特別活動と総合的な学習の時間の指導法	2
生徒・進路指導の理論と方法	2
教育相談の理論と方法	2
教職実践演習(中・高)	2
教育実習指導	1
教育実習 A	2
教育実習 B	2
教育実習 C	4
健康運動指導実習	1

上記科目のほか，全学共通教養教育科目(保健体育科目)の「スポーツ・健康の科学Ａ」，「スポーツ・健康の科学Ｂ」，「スポーツ・健康の科学Ｃ」を履修することができる。

自由科目は卒業単位に算入しない。

履修方法

必修科目 26 単位(卒業研究Ａ・Ｂ各 3 単位を含む)，選択科目 98 単位以上(Ａ群，Ｂ群，Ｃ群，Ｄ群，Ｅ群，Ｆ群よりそれぞれの最低必要単位数以上を含む)，合計 124 単位以上を履修すること。

心　理　学　部

心　理　学　科

人材養成目的

心理学部心理学科は，こころと行動の仕組みとその機能を実証的に明らかにし，それを通じて実社会への貢献を目指す学問である心理学を，専門的な講義及び少人数クラスにおける演習・実習をとおして学び，実証的なものの捉え方，そして基礎・応用心理学に関する高度な知識と技能を身に付け，ひいてはキリスト教主義の精神に基づき，こころの問題を解決する心理学の専門家，広く社会において活躍する人材を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○必修科目	
心理学概論(1)	2
心理学概論(2)	2
臨床心理学概論	2
外国書講読(1)	2
外国書講読(2)	2
心理学統計法(1)	2
心理学統計法(2)	2
心理学研究法(1)	2
心理学研究法(2)	2
ファーストイヤーセミナー	2
心理学実験(1)	2
心理学実験(2)	2
心理学実験(3)	2
心理学データ解析実習	2
プレ演習	2
演習(1)	2
演習(2)	2
卒業論文	8
○選択科目Ⅰ	
A　群(神経・行動)	
生理心理学(神経・生理心理学Ⅰ)	2
学習心理学(学習・言語心理学Ⅰ)	2
認知心理学(知覚・認知心理学)	2
精神生理学(神経・生理心理学Ⅱ)	2
感情心理学(感情・人格心理学Ⅰ)	2
神経科学の基礎	2
行動分析学(学習・言語心理学Ⅱ)	2
比較認知心理学	2
食行動の心理学	2
スポーツ心理学	2
B　群(臨床・社会)	
パーソナリティ心理学(感情・人格心理学Ⅱ)	2
健康心理学(健康・医療心理学)	2
環境心理学	2
臨床社会心理学	2
心理学的支援法	2
精神疾患とその治療	2
実験社会心理学(1)(社会・集団・家族心理学Ⅰ)	2
実験社会心理学(2)(社会・集団・家族心理学Ⅱ)	2
産業・組織心理学	2
犯罪心理学(司法・犯罪心理学)	2
交通心理学	2
リスク心理学	2
C　群(発達・教育)	
発達心理学	2
乳幼児心理学	2
障害者・障害児心理学	2
生徒・進路指導の理論と方法	2
ヒューマン・モティベーション	2

家族心理学(社会・集団・家族心理学Ⅲ) 2
高齢者心理学 2
学校心理学(教育・学校心理学) 2
教育相談の理論と方法 2
福祉心理学 2

D　群(共通)

心理学史 2
心理学特論 2
多変量解析法の基礎 2
心理学実験演習(上級) 2
心理学実験プロジェクト演習 2
心理的アセスメント 2
発達と学習の心理学 2

E　群(公認心理師共通)

公認心理師の職責 2
人体の構造と機能及び疾病 2
関係行政論 2
心理演習 2
心理実習(1) 2
心理実習(2) 2

選択科目Ⅰは，A群，B群及びC群から各6単位以上を含め32単位以上履修すること。なお，32単位を超えて履修した単位は，選択科目Ⅱに算入する。

○選択科目Ⅱ

学校教育社会学 2
教育原理 2
道徳教育の理論と実践 2
教育方法とＩＣＴ活用の理論と実践 2
社会科・地理歴史科教育法 2
社会科・公民科教育法 2
社会科教育法 1 2
社会科教育法 2 2
公民科教育法 2
教育制度と学校経営 2
特別活動と総合的な学習の時間の指導法 2
教育実習 A 2
教育実習 B 2
教育実習 C 4
教職概論 2
教職実践演習(中・高) 2
教育実習指導 1
教育課程論 2
哲学概論(1) 2
哲学概論(2) 2
倫理学概論(1) 2
倫理学概論(2) 2
人文地理学(1) 2
人文地理学(2) 2
地理学総論(1) 2
地理学総論(2) 2
地誌学 2
日本文化史概説(1) 2
日本文化史概説(2) 2
東洋文化史概説(1) 2
東洋文化史概説(2) 2
西洋文化史概説(1) 2
西洋文化史概説(2) 2
社会学概論 4
経済原論 4
人権教育論 2
学校教育図書館論 2
読書と豊かな人間性 2
学校図書館メディアの構成 2
学習指導と学校図書館 2

情報メディアの活用	2
生涯学習概論	2
図書館情報学概論	2
図書館制度・経営論	2
図書館情報技術論	2
図書館情報サービス論 Ⅰ	2
図書館情報サービス論 Ⅱ	2
児童サービス論	2
情報サービス演習 Ⅰ	2
情報サービス演習 Ⅱ	2
図書館情報資源概論	2
情報資源組織論 Ⅰ	2
情報資源組織論 Ⅱ	2
情報資源組織演習 Ⅰ	2
情報資源組織演習 Ⅱ	2
図書館情報学特論	2
学術情報利用教育論	2
図書館情報資源特論	2
図書・図書館史	2
図書館演習	4
スクールインターンシップ	2
学校図書館サービス論	2
日本の憲法	2

選択科目Ⅱは上記の科目のほか，全学共通教養教育科目，他学部設置科目，同志社女子大学単位互換科目及び大学コンソーシアム京都単位互換科目のうち，学部が定める科目から履修する。

ヨーロピアン・スタディーズＥＵキャンパスプログラムにおいて，テュービンゲン大学ＩＥＳ科目を修得した場合は，その単位を認定することがある。

なお，全学共通教養教育科目の同志社科目及び宗教学(1)，宗教学(2)より 4 単位以上，保健体育科目から 2 単位以上を含め 46 単位以上履修すること。

○選択科目Ⅲ

選択科目Ⅲは，全学共通教養教育科目(外国語教育科目)のうち，学部が定める科目から履修する。英語 8 単位，英語以外の外国語 4 単位，計 12 単位以上を履修すること。

TOEIC，TOEFL 等，学部が定める外部試験において，一定水準以上の成果を修めた場合は，4 単位を上限として認定する。

ヨーロピアン・スタディーズＥＵキャンパスプログラムにおいて，テュービンゲン大学ＩＥＳ科目を修得した場合は，12 単位を上限として認定することがある。

なお，12 単位を超えて履修，または認定された単位は，選択科目Ⅱに算入する。

○自由科目

特別ニーズ教育論	2

○外国人留学生科目

外国人留学生科目の履修は，外国人留学生に限る。外国人留学生科目は，日本語・日本文化教育科目から選択履修する。履修した単位は選択科目Ⅱの必要単位に算入する。なお，日本語 1(アカデミック・リーディングⅥ)～日本語 1(文法Ⅸ)，日本語 2(アカデミック・リーディングⅥ)～日本語 2(文法Ⅸ)及びビジネス日本語Ｃ，ビジネス日本語Ｄの単位を選択科目Ⅲの単位に代えることができる。

以上，必修科目 42 単位（卒業論文 8 単位を含む)，選択科目Ⅰ32 単位以上，選択科目Ⅱ46 単位以上，選択科目Ⅲ12 単位以上，合計 132 単位以上を履修すること。

グローバル・コミュニケーション学部

グローバル・コミュニケーション学科

人材養成目的

グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科は，グローバル化した社会に対する幅広い教養と国際的センス，強い自立心と倫理観を養わせると同時に，高度で実践的・実用的外国語運用能力を習得させることをとおして，ビジネス関連の諸分野や教育機関，また国際政治や文化交流に係わる非営利事業の諸分野などの国際的舞台で，facilitator，negotiator，administrator として活躍できる人材を養成することを目的とする。

英語コース：現代における世界共通言語としての英語の重要性に鑑み，卓越した英語運用能力を獲得し，「国際主義」を体現する人物の育成，すなわち，現代社会のグローバル化の構造と動向に関する理解，及び英語圏文化に対する理解を基礎に，高度な外国語運用能力を駆使して，グローバル時代を牽引する人材を養成することを目的とする。

中国語コース：国境を越えて地球規模で展開する中国語の重要性に鑑み，卓越した中国語運用能力を獲得し，「国際主義」を体現する人物の育成，すなわち，現代社会のグローバル化の構造と動向に関する理解，及び中国語圏文化に対する理解を基礎に，高度な外国語運用能力を駆使して，中国語圏への架け橋となる人材を養成することを目的とする。

日本語コース：留学生を対象とする日本語コースでは，日本文化・社会への深い造詣を持つ人材育成の重要性に鑑み，卓越した日本語運用能力を獲得し，「国際主義」を体現する人物の育成，すなわち，現代社会のグローバル化の構造と動向に関する理解，及び日本文化に対する理解を基礎に，高度な外国語運用能力を駆使して，日本と世界を結ぶ架け橋となる人材を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○必修科目	
【各コース共通】	
Introduction to Global Communication	2
Seminar Project 1	2
Seminar Project 2	2
【英語コース】	
Introduction to English-Speaking Cultures	2
Introduction to Japanese Culture	2
Progress in Reading 1	2
Progress in Reading 2	2
Progress in Writing 1	2
Progress in Writing 2	2
Preparation for TOEFL	2
Preparation for Academic Study	2
Communicative Performance 1	4
Communicative Performance 2	4
Threshold Seminar 1	2
Threshold Seminar 2	2
Intermediate Seminar 1	2
Intermediate Seminar 2	2
Advanced Seminar 1	2
Advanced Seminar 2	2
【中国語コース】	
基幹中国語Ⅰ会話	4
基幹中国語Ⅱ会話	4
基幹中国語Ⅲ会話	4
基幹中国語Ⅰ講読	4
基幹中国語Ⅱ講読	4

基幹中国語Ⅲ講読	4
上級中国語精読	2
上級中国語ライティング	2
基礎演習 1	2
基礎演習 2	2
基礎演習 3	2
専門演習 1	2
専門演習 2	2
専門演習 3	2
中国総合研究	2

【日本語コース】

プレゼンテーション 1	2
プレゼンテーション 2	2
アカデミックライティング 1	2
アカデミックライティング 2	2
クリティカルリーディング 1	2
クリティカルリーディング 2	2
日本語コミュニケーションの基礎 1	2
日本語コミュニケーションの基礎 2	2
日本語コミュニケーションの基礎 3	2
日本語コミュニケーションの基礎 4	2
ファーストイヤーセミナー	2
グローバル化と日本社会 1	2
グローバル化と日本社会 2	2
応用演習 1	2
応用演習 2	2
専門演習 1	2
専門演習 2	2
ワークショップ現代日本社会 1	2
ワークショップ現代日本社会 2	2

○選択科目Ⅰ

【英語コース】

A　群(English Proficiency Skills)	
Business English 1	2
Business English 2	2
Critical Reading	2
Critical Writing	2
Interpretation 1	2
Interpretation 2	2
Advanced Interpretation	2
Translation 1	2
Translation 2	2
Preparation for TOEIC	2
Advanced Communicative Performance 1	2
Advanced Communicative Performance 2	2
B　群(Global Issues)	
Environmental Issues	2
Media and Globalization	2
Technology and Communication	2
World Economy and Business	2
International Political Issues	2
Special Topics in Global Issues 1	2
Special Topics in Global Issues 2	2
C　群(Cultural Issues)	
Cultural Interaction	2
Intercultural Communication	2
Japanese Culture and Society	2
Cultural Issues in Literature	2
Introduction to British Literature	2
Introduction to American Literature	2
Special Topics in Cultural Issues 1	2
Special Topics in Cultural Issues 2	2
D　群(Language Issues)	
Knowledge of English	2

Structure of English	2
History of English and World Englishes	2
Contrastive Study of English and Japanese	2
Special Topics in Language Issues 1	2
Special Topics in Language Issues 2	2

Ｅ　群(The German,French or Chinese Language)

Communicative Skills in German Ⅰ	3
Communicative Skills in German Ⅱ	3
Communicative Skills in French Ⅰ	3
Communicative Skills in French Ⅱ	3
Communicative Skills in Chinese Ⅰ	3
Communicative Skills in Chinese Ⅱ	3

Ｆ　群(English Education)

ＩＣＴ活用基礎	2
英語科教育法 A1	2
英語科教育法 A2	2
英語科教育法 B	2
英語科教育法 C	2
教育実習指導	1
教育実習 A	2
教育実習 B	2
教育実習 C	4
教職実践演習（中・高）	2

英語コースの者は選択科目ＩＡ群から 8 単位以上，Ｂ群から 6 単位以上，Ｃ群から 6 単位以上，Ｄ群から 6 単位以上，Ｅ群から 1 言語を選択して 6 単位（ただし，6 単位を超えて履修した単位は，卒業要件単位に算入する）にＡ群～Ｆ群 4 単位を加えた合計 36 単位以上を履修すること。なお，これに加えて中国語コースのＢ・Ｃ・Ｄ群，日本語コースのＢ・Ｃ・Ｄ群からも履修することができる。中国語コースのＢ・Ｃ・Ｄ群，日本語コースのＢ・Ｃ・Ｄ群の単位は 6 単位を上限として卒業要件単位に含めることができる。

【中国語コース】

Ａ　群１類(基礎中国語)

基幹中国語Ⅰリスニング	1
基幹中国語Ⅱリスニング	1
基幹中国語Ⅲリスニング	1
基幹中国語Ⅰライティング	1
基幹中国語Ⅱライティング	1
基幹中国語Ⅲライティング	1
基幹中国語応用 1	2
基幹中国語応用 2	2
基幹中国語応用 3	2

Ａ　群２類(実践的中国語)

ビジネス中国語会話	2
時事中国語	2
中国語コミュニケーション	2
中国語速読技法	2
ビジネス中国語ライティング	2
日中翻訳技法	2
中日翻訳技法	2
中国語検定試験特別講座	2
通訳の理論と実践	2

Ｂ　群(グローバル論)

中国語圏の経済と貿易	2
中国語圏の資源と環境	2
現代中国の社会と文化	2
中国語圏の政治事情	2

Ｃ　群(異文化間交渉論)

異文化間交渉概論	2
日中組織運営論	2

国際交流支援論	2
発信型日本学	2
D　群(中国語論)	
中国語文法論	2
中国語の方言と諸言語	2
中国語と日本語	2
コンテンポラリー・チャイニーズ論	2
E　群(英語)	
英語リーディング 1	1
英語リーディング 2	1
英語リーディング 3	1
英語リーディング 4	1
英語コミュニケーション 1	1
英語コミュニケーション 2	1
英語コミュニケーション 3	1
英語コミュニケーション 4	1
英語リーディング（上級）	2
英語コミュニケーション（上級）	2
英語能力試験特殊講座	2

中国語コースの者は選択科目ＩA群1類から6単位以上，A群2類から8単位以上，B群から4単位以上，C群から4単位以上，D群から4単位以上，E群から8単位以上にA群～E群2単位を加えた合計36単位以上を履修すること。E群については，英語を母語とする者，又はそれに準ずる者は英語コースの選択科目ＩE群のドイツ語，フランス語いずれかの言語を選択履修するものとし，また中国語コースの選択科目ＩE群の英語能力試験特殊講座の単位認定を受けることとする。なお，これに加えて英語コースのB・C・D群，日本語コースのB・C・D群からも履修することができる。英語コースのB・C・D群，日本語コースのB・C・D群の単位は6単位を上限として卒業要件単位に含めることができる。

【日本語コース】

A　群(実践日本語)	
ビジネス日本語 1	2
ビジネス日本語 2	2
通訳翻訳の基礎 1	2
通訳翻訳の基礎 2	2
通訳翻訳の実践 1	2
通訳翻訳の実践 2	2
時事日本語	2
日本語検定試験講座	2
B　群(グローバル論)	
グローバル化と日本企業	2
多文化間コミュニケーション	2
多文化共生社会と日本	2
多言語社会と言語政策	2
C　群(日本文化論)	
日本の現代文学	2
日本のマンガとアニメ	2
京都学	2
日本のツーリズム	2
D　群(日本語論)	
社会の中の日本語	2
外国語から見た日本語	2
日本語教育	2
日本語コミュニケーションの諸相	2
E　群(日本語および第二外国語)	
日本語インテンシヴ 1	3
日本語インテンシヴ 2	3
英語リーディング 1	1
英語リーディング 2	1
英語リーディング 3	1

英語リーディング 4	1
英語コミュニケーション 1	1
英語コミュニケーション 2	1
英語コミュニケーション 3	1
英語コミュニケーション 4	1
英語リーディング(上級)	2
英語コミュニケーション(上級)	2
英語初級インテンシヴ 1	3
英語初級インテンシヴ 2	3

日本語コースの者は選択科目ＩＡ群から 6 単位以上，Ｂ群から 6 単位以上，Ｃ群から 6 単位以上，Ｄ群から 6 単位以上，Ｅ群から 6 単位以上，合わせて 30 単位以上履修すること。なお，英語コースのＢ・Ｃ・Ｄ群，中国語コースのＢ・Ｃ・Ｄ群からも履修することができる。英語コースＢ・Ｃ・Ｄ群，中国語コースＢ・Ｃ・Ｄ群の単位は，6 単位ずつ(合計 12 単位)を上限として卒業要件単位に含めることができる。

○選択科目Ⅱ

【英語コース】

Communicative Skills in English A1	4
Communicative Skills in English A2	4
Communicative Skills in English B	2
Improving German, French or Chinese 1	2
Improving German, French or Chinese 2	2
Current Trends in World Business 1	2
Current Trends in World Business 2	2
Current Trends in the World Economy 1	2
Current Trends in the World Economy 2	2
Current Trends in World Politics 1	2
Current Trends in World Politics 2	2
Current Trends in World Environmental Policy 1	2
Current Trends in World Environmental Policy 2	2
Topics in Globalization and Local Issues 1	2
Topics in Globalization and Local Issues 2	2
Topics in Globalization and Local Issues 3	2
Topics in Globalization and Local Issues 4	2
Topics in Communication and Interaction 1	2
Topics in Communication and Interaction 2	2
Topics in Communication and Interaction 3	2
Topics in Communication and Interaction 4	2
Cultural Survey in Oceania 1	2
Cultural Survey in Oceania 2	2
Depth in American History 1	2
Depth in American History 2	2
Depth in Oceanian History 1	2
Depth in Oceanian History 2	2
Cultural Survey of Japan 1	2
Cultural Survey of Japan 2	2
Japan viewed from English-Speaking Countries 1	2
Japan viewed from English-Speaking Countries 2	2
Science of Language 1	2
Science of Language 2	2
Cultural Survey in Americas 1	2
Cultural Survey in Americas 2	2

Cultural Survey in Europe 1	2
Cultural Survey in Europe 2	2
Depth in European History 1	2
Depth in European History 2	2
Studies on Asian Countries 1	2
Studies on Asian Countries 2	2
Basics in Social Science 1	2
Basics in Social Science 2	2
Basics in Communication 1	2
Basics in Communication 2	2
Art and Communication 1	2
Art and Communication 2	2
Human and Science 1	2
Human and Science 2	2
Human and Science 3	2
Human and Science 4	2

英語コースの者はStudy Abroadを通じて，各研修先で単位を修得し，選択科目Ⅱの科目から2単位以上の単位認定を受けること。ただし研修先大学の本科で修得した科目の中で上記科目に該当しない科目については選択科目Ⅲとして認定可能な場合がある。なお，災害，事故，感染症等により，Study Abroadが実施できなかった場合は，選択科目Ⅱの科目を本学で開講し，代替とする場合がある。

【中国語コース】

展開中国語会話 1	2
展開中国語会話 2	2
展開中国語会話 3	2
展開中国語会話 4	2
展開中国語講読 1	2
展開中国語講読 2	2
展開中国語講読 3	2
展開中国語講読 4	2
展開中国語作文 1	2
展開中国語作文 2	2
展開中国語作文 3	2
展開中国語作文 4	2
中国の社会と文化 1	2
中国の社会と文化 2	2
中国の社会と文化 3	2
中国の社会と文化 4	2

中国語コースの者はStudy Abroadを通じて，各研修先で単位を修得し，選択科目Ⅱの科目から2～30単位の単位認定を受けること。なお，災害，事故，感染症等により，Study Abroadが実施できなかった場合は，選択科目Ⅱの科目を本学で開講し，代替とする場合がある。

【日本語コース】

日本の伝統文化演習 A	2
日本の伝統文化演習 B	2
日本の社会実習 A	1
日本の社会実習 B	1

日本語コースの者は選択科目Ⅱから3単位以上履修すること。

○選択科目Ⅲ

教育原理	2
教職概論	2
教育制度と学校経営	2
学校教育社会学	2
人権教育論	2
発達と学習の心理学	2
特別ニーズ教育論	2
教育課程論	2
道徳教育の理論と実践	2
特別活動と総合的な学習の時間の指導法	2

教育方法とＩＣＴ活用の理論と実践	2
生徒・進路指導の理論と方法	2
教育相談の理論と方法	2
スクールインターンシップ	2

【英語コース】

選択科目Ⅲとして上記科目のほか，全学共通教養教育科目，他学部設置科目，同志社女子大学単位互換科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目及びテュービンゲン大学ＩＥＳ科目の中から 14 単位以上を履修すること。

ただし，全学共通教養教育科目の外国語教育科目のうち，英語に関しては，「English for Academic Purposes 1・2・3」「English for Professional Purposes 1・2」「サマープログラム・英語Ａ・Ｂ・Ｃ」「スプリングプログラム・英語Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ」「セメスタープログラム・英語Ⅰ・Ⅱ」「Study Abroad Preparation(TOEFL TEST) 1・2」及び「Study Abroad Preparation(IELTS) 1・2」のみ履修することができる。英語以外の外国語に関しては，選択科目ＩＥ群で選択した外国語（ドイツ語，フランス語，中国語）科目のうち，入門Ⅰ・Ⅱ，インテンシヴⅠ・Ⅱは履修することができない。

【中国語コース】

選択科目Ⅲとして上記科目のほか，全学共通教養教育科目，他学部設置科目，同志社女子大学単位互換科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目及びテュービンゲン大学ＩＥＳ科目の中から 14 単位以上を履修すること。

ただし，全学共通教養教育科目の外国語教育科目のうち，英語に関しては，「English for Academic Purposes 1・2・3」「English for Professional Purposes 1・2」「サマープログラム・英語Ａ・Ｂ・Ｃ」「スプリングプログラム・英語Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ」「セメスタープログラム・英語Ⅰ・Ⅱ」「Study Abroad Preparation(TOEFL TEST) 1・2」及び「Study Abroad Preparation(IELTS) 1・2」のみ履修することができる。英語以外の外国語に関しては，中国語科目を履修することはできない。

【日本語コース】

選択科目Ⅲとして上記科目のほか，全学共通教養教育科目，他学部設置科目，日本語・日本文化教育科目(ただし，日本事情科目に限る)，同志社女子大学単位互換科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目及びテュービンゲン大学ＩＥＳ科目の中から 1 単位以上を履修すること。

履修方法

【英語コース】

以上，必修科目 42 単位，選択科目Ⅰから 36 単位以上，選択科目Ⅱから 2 単位以上，選択科目Ⅲから 14 単位以上，合計 124 単位以上を履修すること。

【中国語コース】

以上，必修科目 48 単位，選択科目Ⅰから 36 単位以上，選択科目Ⅱから 2～30 単位，選択科目Ⅲから 14 単位以上，合計 124 単位以上を履修すること。

【日本語コース】

以上，必修科目 44 単位，選択科目Ⅰから 30 単位以上，選択科目Ⅱから 3 単位以上，選択科目Ⅲから 1 単位以上，合計 124 単位以上を履修すること。

グローバル地域文化学部

グローバル地域文化学科

人材養成目的

グローバル地域文化学部グローバル地域文化学科は，ヨーロッパ，アジア・太平洋，南北アメリカ３つの諸地域における文化の歴史的背景や現状を正確に理解しつつ，グローバル社会に対応できる幅広い教養をもって国内外のあらゆる場面で活躍し，本学の教育理念のひとつ

である国際主義を更に推進できる，良心と自由な精神を備えた人物の育成を目的としている。従って，本学部では，世界の中で自身の地歩をしっかりと持つ自立心と独創性，自身とは異なる価値観を受け入れることのできる，広い識見に支えられた寛容さと柔軟さ，および隣人との関係性の内に地球規模の課題を発見し，希望ある共生社会を構想する高い志を身に付けさせる。

科　　目	履修単位
○必修科目	
【共通科目】	
グローバル地域文化論 Ⅰ	2
グローバル地域文化論 Ⅱ	2
グローバル地域文化導入セミナー	2
グローバル地域文化入門セミナー	2
グローバル地域文化発展セミナー Ⅰ	2
グローバル地域文化発展セミナー Ⅱ	2
グローバル地域文化専門セミナー Ⅰ	2
グローバル地域文化専門セミナー Ⅱ	2
卒業論文	8
【ヨーロッパ】	
ヨーロッパ研究入門 Ⅰ	2
ヨーロッパ研究入門 Ⅱ	2
【アジア・太平洋】	
アジア・オセアニア研究入門 Ⅰ	2
アジア・オセアニア研究入門 Ⅱ	2
【アメリカ】	
南北アメリカ研究入門 Ⅰ	2
南北アメリカ研究入門 Ⅱ	2
○選択必修科目Ａ群	
（グローバル・イシュー科目）	
グローバル・イシュー 1	2
グローバル・イシュー 2	2
グローバル・イシュー 3	2
グローバル・イシュー 4	2
グローバル・イシュー 5	2
グローバル・イシュー 6	2
グローバル・イシュー 7	2
グローバル・イシュー 8	2
グローバル・イシュー 9	2
グローバル・イシュー 10	2
グローバル・イシュー 11	2
（グローバル地域文化教養セミナー科目）	
グローバル地域文化教養セミナー 1	2
グローバル地域文化教養セミナー 2	2
グローバル地域文化教養セミナー 3	2
グローバル地域文化教養セミナー 4	2
グローバル地域文化教養セミナー 5	2
グローバル地域文化教養セミナー 6	2
グローバル地域文化教養セミナー 7	2
グローバル地域文化教養セミナー 8	2
グローバル地域文化教養セミナー 9	2
グローバル地域文化教養セミナー 10	2
グローバル地域文化教養セミナー 11	2
グローバル地域文化教養セミナー 12	2
グローバル地域文化教養セミナー 13	2
グローバル地域文化教養セミナー 14	2
グローバル地域文化教養セミナー 15	2
グローバル地域文化教養セミナー 16	2
グローバル地域文化教養セミナー 17	2
グローバル地域文化教養セミナー 18	2
グローバル地域文化教養セミナー 19	2
グローバル地域文化教養セミナー 20	2
○選択必修科目Ｂ群（スタディ・アブロード科目群）	
サマープログラム・英語 Ａ	4

サマープログラム・英語 B	3
サマープログラム・英語 C	2
サマープログラム・ドイツ語 A	4
サマープログラム・ドイツ語 B	3
サマープログラム・フランス語	4
サマープログラム・中国語 B	3
サマープログラム・スペイン語	4
サマープログラム・ロシア語	4
サマープログラム・コリア語	3
スプリングプログラム・英語 A	4
スプリングプログラム・英語 B	3
スプリングプログラム・英語 C	2
スプリングプログラム・英語 D	1
スプリングプログラム・ドイツ語	3
スプリングプログラム・フランス語	3
スプリングプログラム・中国語	1
スプリングプログラム・スペイン語 B	3
スプリングプログラム・コリア語	3
セメスタープログラム・英語 Ⅰ	4
セメスタープログラム・英語 Ⅱ	4
セメスタープログラム・ドイツ語 Ⅰ	4
セメスタープログラム・ドイツ語 Ⅱ	4
スタディ・ツアー	2
海外インターンシップ	2
海外語学プログラム(英語) Ⅰ	4
海外語学プログラム(英語) Ⅱ	4
海外語学プログラム(英語) Ⅲ	1
留学とキャリア形成	1
グローバル地域文化学の発信	1
派遣留学プログラム 1	1
派遣留学プログラム 2	2

選択必修科目Ｂ群から１単位履修すること。１単位以上履修した場合は，超過分の単位を選択必修科目Ｃ群（外国語関連科目群）の卒業要件単位に算入する。

○選択必修科目Ｃ群（外国語関連科目群）

（英語）

Intensive Advanced English 1	3
Intensive Advanced English 2	3
Core English (LS) - Intermediate 1	2
Core English (LS) - Intermediate 2	2
Core English (RW) - Intermediate 1	1
Core English (RW) - Intermediate 2	1
Core English (LS) - Pre-Intermediate 1	2
Core English (LS) - Pre-Intermediate 2	2
Core English (RW) - Pre-Intermediate 1	1
Core English (RW) - Pre-Intermediate 2	1
Basic English (LS) 1	2
Basic English (LS) 2	2
Basic English (RW) 1	1
Basic English (RW) 2	1
General Academic English (LS) - Intermediate	1
General Academic English (RW) - Intermediate	1
General Academic English (LS) - Pre-Intermediate	1
General Academic English (RW) - Pre-Intermediate	1
English for Professional Purposes 1	1
English for Professional Purposes 2	1
English for Academic Purposes 1	2
English for Academic Purposes 2	2
English for Academic Purposes 3	2
Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	2

Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	2
Study Abroad Preparation (IELTS) 1	2
Study Abroad Preparation (IELTS) 2	2
English Immersion 1	2
English Immersion 2	2
English Immersion 3	2
English Immersion 4	2
ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュ A1	2
ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュ A2	2
ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュ A3	2
ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュ A4	2
ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュ B1	2
ポスト・アドヴァンスト・イングリッシュ B2	2
(ドイツ語)	
ドイツ語入門 Ⅰ	2
ドイツ語入門 Ⅱ	2
ドイツ語応用 1	1
ドイツ語応用 2	1
ドイツ語応用 3	1
ドイツ語応用 4	1
ドイツ語インテンシヴ Ⅰ	3
ドイツ語インテンシヴ Ⅱ	3
ドイツ語インテンシヴ Ⅲ	3
ドイツ語インテンシヴ Ⅳ	3
ドイツ語インテンシヴ Ⅴ	2
ドイツ語インテンシヴ Ⅵ	2
ドイツ語文化事情 1	2
ドイツ語文化事情 2	2
ドイツ語表現法 1	2
ドイツ語表現法 2	2
言語文化原典演習(ドイツ語) 1	2
言語文化原典演習(ドイツ語) 2	2
現代地域事情・上級講読(ドイツ語圏) 1	2
現代地域事情・上級講読(ドイツ語圏) 2	2
ドイツ語会話初級 1	1
ドイツ語会話初級 2	1
ドイツ語会話中級 1	1
ドイツ語会話中級 2	1
ドイツ語会話上級 1	1
ドイツ語会話上級 2	1
(フランス語)	
フランス語入門 Ⅰ	2
フランス語入門 Ⅱ	2
フランス語応用 1	1
フランス語応用 2	1
フランス語応用 3	1
フランス語応用 4	1
フランス語インテンシヴ Ⅰ	3
フランス語インテンシヴ Ⅱ	3
フランス語インテンシヴ Ⅲ	3
フランス語インテンシヴ Ⅳ	3
フランス語インテンシヴ Ⅴ	2
フランス語インテンシヴ Ⅵ	2
フランス語インテンシヴ Ⅶ	2
フランス語インテンシヴ Ⅷ	2
フランス語文化事情 1	2
フランス語文化事情 2	2
フランス語表現法 1	2
フランス語表現法 2	2
言語文化原典演習(フランス語) 1	2
言語文化原典演習(フランス語) 2	2
現代地域事情・上級講読(フランス語圏) 1	2
現代地域事情・上級講読(フランス語圏) 2	2

フランス語会話初級 1	1
フランス語会話初級 2	1
フランス語会話中級 1	1
フランス語会話中級 2	1
フランス語会話上級 1	1
フランス語会話上級 2	1
（中国語）	
中国語入門 Ⅰ	2
中国語入門 Ⅱ	2
中国語応用 1	1
中国語応用 2	1
中国語応用 3	1
中国語応用 4	1
中国語インテンシヴ Ⅰ	3
中国語インテンシヴ Ⅱ	3
中国語インテンシヴ Ⅲ	3
中国語インテンシヴ Ⅳ	3
中国語インテンシヴ Ⅴ	2
中国語インテンシヴ Ⅵ	2
中国語インテンシヴ Ⅶ	2
中国語インテンシヴ Ⅷ	2
中国語文化事情 1	2
中国語文化事情 2	2
中国語表現法 1	2
中国語表現法 2	2
言語文化原典演習（中国語）1	2
言語文化原典演習（中国語）2	2
現代地域事情・上級講読（中国語圏）1	2
現代地域事情・上級講読（中国語圏）2	2
中国語会話初級 1	1
中国語会話初級 2	1
中国語会話中級 1	1
中国語会話中級 2	1
中国語会話上級 1	1
中国語会話上級 2	1
（スペイン語）	
スペイン語入門 Ⅰ	2
スペイン語入門 Ⅱ	2
スペイン語応用 1	1
スペイン語応用 2	1
スペイン語応用 3	1
スペイン語応用 4	1
スペイン語インテンシヴ Ⅰ	3
スペイン語インテンシヴ Ⅱ	3
スペイン語インテンシヴ Ⅲ	3
スペイン語インテンシヴ Ⅳ	3
スペイン語インテンシヴ Ⅴ	2
スペイン語インテンシヴ Ⅵ	2
スペイン語文化事情 1	2
スペイン語文化事情 2	2
スペイン語表現法 1	2
スペイン語表現法 2	2
言語文化原典演習（スペイン語）1	2
言語文化原典演習（スペイン語）2	2
現代地域事情・上級講読（スペイン語圏）1	2
現代地域事情・上級講読（スペイン語圏）2	2
スペイン語会話初級 1	1
スペイン語会話初級 2	1
スペイン語会話中級 1	1
スペイン語会話中級 2	1
スペイン語会話上級 1	1
スペイン語会話上級 2	1
（ロシア語）	
ロシア語入門 Ⅰ	2

ロシア語入門 Ⅱ	2
ロシア語応用 1	1
ロシア語応用 2	1
ロシア語応用 3	1
ロシア語応用 4	1
ロシア語インテンシヴ Ⅰ	3
ロシア語インテンシヴ Ⅱ	3
ロシア語インテンシヴ Ⅲ	3
ロシア語インテンシヴ Ⅳ	3
ロシア語文化事情 1	2
ロシア語文化事情 2	2
ロシア語表現法 1	2
ロシア語表現法 2	2
言語文化原典演習(ロシア語) 1	2
言語文化原典演習(ロシア語) 2	2
現代地域事情・上級講読(ロシア語圏) 1	2
現代地域事情・上級講読(ロシア語圏) 2	2
ロシア語会話初級 1	1
ロシア語会話初級 2	1
ロシア語会話中級 1	1
ロシア語会話中級 2	1
ロシア語会話上級 1	1
ロシア語会話上級 2	1
(コリア語)	
コリア語入門 Ⅰ	2
コリア語入門 Ⅱ	2
コリア語応用 1	1
コリア語応用 2	1
コリア語応用 3	1
コリア語応用 4	1
コリア語インテンシヴ Ⅰ	3
コリア語インテンシヴ Ⅱ	3
コリア語インテンシヴ Ⅲ	3
コリア語インテンシヴ Ⅳ	3
コリア語インテンシヴ Ⅴ	2
コリア語インテンシヴ Ⅵ	2
コリア語文化事情 1	2
コリア語文化事情 2	2
コリア語表現法 1	2
コリア語表現法 2	2
言語文化原典演習(コリア語) 1	2
言語文化原典演習(コリア語) 2	2
現代地域事情・上級講読(コリア語圏) 1	2
現代地域事情・上級講読(コリア語圏) 2	2
コリア語会話初級 1	1
コリア語会話初級 2	1
コリア語会話中級 1	1
コリア語会話中級 2	1
コリア語会話上級 1	1
コリア語会話上級 2	1
(インドネシア語)	
地域文化理解のためのインドネシア語 1 (文法)	2
地域文化理解のためのインドネシア語 2 (文法)	2
地域文化理解のためのインドネシア語 3 (コミュニケーション)	2
地域文化理解のためのインドネシア語 4 (講読)	2
地域文化理解のためのインドネシア語 5 (講読)	2
(トルコ語)	
地域文化理解のためのトルコ語 1(文法)	2
地域文化理解のためのトルコ語 2(文法)	2

地域文化理解のためのトルコ語 3（コミュニケーション）	2
地域文化理解のためのトルコ語 4(講読)	2
地域文化理解のためのトルコ語 5(講読)	2
(ポルトガル語)	
地域文化理解のためのポルトガル語 1（文法）	2
地域文化理解のためのポルトガル語 2（文法）	2
地域文化理解のためのポルトガル語 3（コミュニケーション）	2
地域文化理解のためのポルトガル語 4（講読）	2
地域文化理解のためのポルトガル語 5（講読）	2
(アラビア語)	
地域文化理解のためのアラビア語 1	2
地域文化理解のためのアラビア語 2	2
地域文化理解のためのアラビア語 3	2
地域文化理解のためのアラビア語 4	2
地域文化理解のためのアラビア語 5	2
地域文化理解のためのアラビア語 6	2
(イタリア語)	
イタリア語初級 Ⅰ	1
イタリア語初級 Ⅱ	1
地域文化理解のためのイタリア語 1（コミュニケーション）	2
イタリア語中級 Ⅰ	1
イタリア語中級 Ⅱ	1
地域文化理解のためのイタリア語 2(講読)	2
地域文化理解のためのイタリア語 3(講読)	2
地域文化理解のためのイタリア語 4（コミュニケーション）	2
(フランス語・カナダ)	
地域文化理解のためのフランス語（カナダ）1(総合)	2
地域文化理解のためのフランス語（カナダ）2(総合)	2

選択必修科目Ｃ群（外国語関連科目群）のうち，英語及び英語以外の外国語から１言語，計２言語を選択し，第一言語 14 単位以上，第二言語 10 単位以上履修すること。

外国人留学生が日本語・日本文化教育科目のうち，日本語 1(アカデミック・リーディングⅥ)～日本語 2(文法Ⅸ)，ビジネス日本語Ｃ，ビジネス日本語Ｄの単位を履修した場合は，選択必修科目Ｃ群（外国語関連科目群）の英語以外の外国語の単位として卒業要件単位に算入する。

TOEIC 等英語能力に関する判定試験で一定水準以上の成果を修めた者は，8 単位を限度として，選択必修科目Ｃ群（外国語関連科目群）の英語の単位として認定する。

【ヨーロッパコース】

第一言語は英語，ドイツ語，フランス語，スペイン語，ロシア語の中から選択すること。第一言語としてドイツ語，フランス語，スペイン語，ロシア語を選択した場合は，第二言語として英語を履修すること。

【アジア・太平洋コース】

第一言語は英語，中国語，コリア語の中から選択すること。第一言語として中国語，コリア語を選択した場合は，第二言語として英語を履修すること。

【アメリカコース】

第一言語は英語，スペイン語の中から選択すること。第一言語としてスペイン語を選択した場合は，第二言語として英語を履修すること。

○選択科目Ａ群（地域文化研究科目群）

【ヨーロッパ】

（地域の歴史）

ヨーロッパ地域の歴史 1	2
ヨーロッパ地域の歴史 2	2
ヨーロッパ地域の歴史 3	2

（地域の文化）

ヨーロッパ地域の文化 1	2
ヨーロッパ地域の文化 2	2
ヨーロッパ地域の文化 3	2
ヨーロッパ地域の文化 4	2
ヨーロッパ地域の文化 5	2
ヨーロッパ地域の文化 6	2

（地域と地球規模の課題）

ヨーロッパ地域の課題 1	2
ヨーロッパ地域の課題 2	2
ヨーロッパ地域の課題 3	2
ヨーロッパ地域の課題 4	2
ヨーロッパ地域の課題 5	2
ヨーロッパ地域の課題 6	2
ヨーロッパ地域の課題 7	2
ヨーロッパ地域の課題 8	2

【アジア・太平洋】

（地域の歴史）

アジア・オセアニア地域の歴史 1	2
アジア・オセアニア地域の歴史 2	2
アジア・オセアニア地域の歴史 11	2
アジア・オセアニア地域の歴史 12	2
アジア・オセアニア地域の歴史 13	2

（地域の文化）

アジア・オセアニア地域の文化 1	2
アジア・オセアニア地域の文化 2	2
アジア・オセアニア地域の文化 3	2
アジア・オセアニア地域の文化 4	2
アジア・オセアニア地域の文化 11	2
アジア・オセアニア地域の文化 12	2
アジア・オセアニア地域の文化 13	2
アジア・オセアニア地域の文化 14	2
アジア・オセアニア地域の文化 15	2
アジア・オセアニア地域の文化 16	2

（地域と地球規模の課題）

アジア・オセアニア地域の課題 1	2
アジア・オセアニア地域の課題 2	2
アジア・オセアニア地域の課題 3	2
アジア・オセアニア地域の課題 4	2
アジア・オセアニア地域の課題 5	2
アジア・オセアニア地域の課題 6	2

【アメリカ】

（地域の歴史）

南北アメリカ地域の歴史 1	2
南北アメリカ地域の歴史 2	2
南北アメリカ地域の歴史 3	2
南北アメリカ地域の歴史 4	2
南北アメリカ地域の歴史 5	2
南北アメリカ地域の歴史 6	2
南北アメリカ地域の歴史 7	2

（地域の文化）

南北アメリカ地域の文化 1	2
南北アメリカ地域の文化 2	2
南北アメリカ地域の文化 3	2
南北アメリカ地域の文化 4	2
南北アメリカ地域の文化 5	2
南北アメリカ地域の文化 6	2
南北アメリカ地域の文化 7	2

（地域と地球規模の課題）

南北アメリカ地域の課題 1	2
南北アメリカ地域の課題 2	2
南北アメリカ地域の課題 3	2
南北アメリカ地域の課題 4	2
南北アメリカ地域の課題 5	2
南北アメリカ地域の課題 6	2
南北アメリカ地域の課題 7	2
南北アメリカ地域の課題 8	2

○選択科目Ａ群（実践科目群）

発信スキル実践	1
質的調査の方法	2
計量分析の方法	2
グローバル地域文化学の実践 1	2
グローバル地域文化学の実践 2	2
グローバル地域文化学の実践 3	2
グローバル地域文化学の実践 4	2
グローバル地域文化学の実践 5	2

選択科目Ａ群（地域文化研究科目群），選択科目Ａ群（実践科目群）より計 20 単位以上履修すること。

【ヨーロッパコース】

上記 20 単位のうち，選択科目Ａ群（地域文化研究科目群）のヨーロッパ科目から 14 単位以上履修すること。

【アジア・太平洋コース】

上記 20 単位のうち，選択科目Ａ群（地域文化研究科目群）のアジア・太平洋科目から 14 単位以上履修すること。

【アメリカコース】

上記 20 単位のうち，選択科目Ａ群（地域文化研究科目群）のアメリカ科目から 14 単位以上履修すること。

○選択科目Ｂ群（地域文化研究隣接科目群）

【共通科目】

世界の言語 1	1
世界の言語 2	1
世界の言語 3	1
世界の言語 4	1
世界の言語 5	1
世界の言語 6	1
世界の言語 7	1
世界の言語 8	1
世界の言語 9	1
世界の言語 10	1
グローバル地域文化特殊講義 1	2
グローバル地域文化特殊講義 2	2
グローバル地域文化特殊講義 3	2
グローバル地域文化特殊講義 4	2
グローバル地域文化特殊講義 5	2
グローバル地域文化特殊講義 6	2
グローバル地域文化特殊講義 7	2
グローバル地域文化特殊講義 8	2
グローバル地域文化特殊講義 9	2
グローバル地域文化特殊講義 10	2
グローバル地域文化研究の実践 1	1
グローバル地域文化研究の実践 2	1

【ヨーロッパ】

ヨーロッパの思想史	2
ヨーロッパ社会史 1	2
ヨーロッパ社会史 2	2
ヨーロッパの政治史	2
ヨーロッパの経済	2
ヨーロッパの経済史	2
ロシア・東ヨーロッパの政治	2
ＥＵの政治	2

【アジア・太平洋】

アジアの教育と社会 1	2
アジアの教育と社会 2	2
中国の政治	2
南アジアの政治と社会	2
東アジアの国際関係	2
アジアの経済	2
中国の経済	2
アセアンの経済	2
韓国の経済	2

【アメリカ】

アメリカ文化の歴史 1	2
アメリカ文化の歴史 2	2
アメリカの経済	2
アメリカの経済史	2
アメリカの政治と外交	2
ラテンアメリカの政治と社会	2

○選択科目Ｃ群

テュービンゲン大学ＩＥＳ単位互換科目 1	2
テュービンゲン大学ＩＥＳ単位互換科目 2	2
テュービンゲン大学ＩＥＳ単位互換科目 3	2
テュービンゲン大学ＩＥＳ単位互換科目 4	2
テュービンゲン大学ＩＥＳ単位互換科目 5	2
テュービンゲン大学ＩＥＳ単位互換科目 6	2

（免許・資格関連科目）

日本史概論	4
西洋文化史概説(1)	2
西洋文化史概説(2)	2
地理学 1	2
地理学 2	2
地誌学	2
社会学概論	4
経済原論	4
哲学概論(1)	2
哲学概論(2)	2
倫理学概論(1)	2
倫理学概論(2)	2
教育原理	2
教職概論	2
教育制度と学校経営	2
学校教育社会学	2
人権教育論	2
発達と学習の心理学	2
特別ニーズ教育論	2
教育課程論	2
道徳教育の理論と実践	2
特別活動と総合的な学習の時間の指導法	2
教育方法とＩＣＴ活用の理論と実践	2
生徒・進路指導の理論と方法	2
教育相談の理論と方法	2
スクールインターンシップ	2
学校教育図書館論	2
学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2
読書と豊かな人間性	2
情報メディアの活用	2
社会科・地理歴史科教育法	2
社会科・公民科教育法	2
社会科教育法 1	2
社会科教育法 2	2
地理歴史科教育法	2
生涯学習概論	2
図書館情報学概論	2
図書館制度・経営論	2

図書館情報技術論	2
図書館情報サービス論 Ⅰ	2
図書館情報サービス論 Ⅱ	2
児童サービス論	2
情報サービス演習 Ⅰ	2
情報サービス演習 Ⅱ	2
図書館情報資源概論	2
情報資源組織論 Ⅰ	2
情報資源組織論 Ⅱ	2
情報資源組織演習 Ⅰ	2
情報資源組織演習 Ⅱ	2
図書館情報学特論	2
学術情報利用教育論	2
図書館情報資源特論	2
図書・図書館史	2
図書館演習	4
学校図書館サービス論	2

選択科目Ｃ群は上記科目に加え，全学共通教養教育科目（外国語教育科目を除く），他学部設置科目，同志社女子大学単位互換科目及び大学コンソーシアム京都単位互換科目の中から 16 単位以上履修すること。

外国人留学生が，日本語・日本文化教育科目（日本語 1(アカデミック・リーディングⅥ)～日本語 2(文法Ⅸ)，ビジネス日本語Ｃ及びビジネス日本語Ｄを除く）を履修した場合は，選択科目Ｃ群の卒業要件単位に算入する。

○選択科目Ｄ群（原語で学ぶ地域文化研究科目群）

英語で読む地域文化研究 1	2
英語で読む地域文化研究 2	2
英語で読む地域文化研究 3	2
英語で読む地域文化研究 4	2
英語で読む地域文化研究 5	2
Global and Regional Cultural Studies Seminar 1	2
Global and Regional Cultural Studies Seminar 2	2
Global and Regional Cultural Studies Seminar 3	2
Global and Regional Cultural Studies Seminar 4	2
ドイツ語で読む地域文化研究 1	2
ドイツ語で読む地域文化研究 2	2
フランス語で読む地域文化研究 1	2
フランス語で読む地域文化研究 2	2
中国語で読む地域文化研究 1	2
中国語で読む地域文化研究 2	2
スペイン語で読む地域文化研究 1	2
スペイン語で読む地域文化研究 2	2
ロシア語で読む地域文化研究 1	2
ロシア語で読む地域文化研究 2	2
コリア語で読む地域文化研究 1	2
コリア語で読む地域文化研究 2	2
アジア諸言語で読む地域文化研究 1	2
アジア諸言語で読む地域文化研究 2	2

○自由科目

情報機器の操作	2
教育実習指導	1
教育実習 A	2
教育実習 B	2
教育実習 C	4
教職実践演習(中・高)	2

履修方法

【全コース共通】

以上，必修科目の共通科目から 24 単位，各コースの必

修科目からそれぞれ 4 単位，選択必修科目Ａ群のグローバル・イシュー科目から 4 単位以上，グローバル地域文化教養セミナー科目から 2 単位以上，選択必修科目Ｂ群（スタディ・アブロード科目群）から 1 単位，選択必修科目Ｃ群（外国語関連科目群）から 24 単位以上，選択科目Ａ群（地域文化研究科目群），選択科目Ａ群（実践科目群）から計 20 単位以上，選択科目Ｃ群から 16 単位以上，合計 124 単位以上履修すること。

国際教育インスティテュート

人材養成目的

国際教育インスティテュートは，キリスト教主義，国際主義，自由主義の同志社建学の理念に基づき，社会・文化・経済・ビジネス・法律・政治・政策・国際協力等の分野において，国際的に活躍するために必要な幅広い学際的教養及び国際的コミュニケーションの技能を身に付け，日本と各国の架け橋となる人材を養成することを目的とする。

科　　目	履修単位
○演習・卒業論文	
入門ゼミ	
Introductory Seminar A	2
Introductory Seminar B	2
Introductory Seminar C	2
Introductory Seminar D	2
Introductory Seminar E	2
展開ゼミ	
Intermediate Seminar A	2
Intermediate Seminar B	2
Intermediate Seminar C	2
Intermediate Seminar D	2
Intermediate Seminar E	2
発展ゼミ・卒業論文	
Advanced Seminar 1	2
Advanced Seminar 2	2
Honors Thesis	2

入門ゼミから 8 単位以上，展開ゼミから 4 単位以上，発展ゼミから Advanced Seminar 1，Advanced Seminar 2 を含み 4 単位以上，計 16 単位以上を履修すること。

○基幹科目	
アカデミック・リサーチスキル科目	
Library Research Skills	2
Introduction to Information Systems	2
Academic Presentations and Debate	2
Academic Writing	2
Mathematical Methods for the Social Sciences	2
Probability for the Social Sciences	2
Introduction to Asian Philosophy and Thought	2
Introduction to Social,Political,and Economic Thought	2
Introduction to Philosophy and Ethics	2
Introduction to Qualitative Research Methods	2
Introduction to Quantitative Research Methods	2
Advanced Mathematical Methods for the Social Sciences	2
日本・京都理解基礎科目	
Basic Japanese	2
Communities of Practice in Japan	2
Japanese Issues and Topics	2

Introduction to Kyoto	2
Doshisha and Christianity	2
Geography of Japan	2
Nature and the Environment in Japan	2
Religion in Japan	2
Understanding and Experiencing Work in Japan	2

アカデミック・リサーチスキル科目から 12 単位以上，日本・京都理解基礎科目から 4 単位以上，計 16 単位以上を履修すること。

○専門領域科目

Japanese Society and Global Culture Concentration

＜入門＞

What Makes Humans Human?	2
Introduction to Japanese History	2
Manga and Anime Studies	2
Japanese Society and Culture	2
Introduction to the Arts	2
Introduction to Media and Communications	2
Introduction to Globalization	2
World Civilizations	2

＜展開＞

Media in Japan	2
Japanese and World Literature	2
World,Youth,and Pop Culture	2
Ethnicity in Japan	2
Japan in the World:Cultural Flows and Diasporas	2
Social Foundations of Language	2
Asian Civilizations	2
Modern Japanese History	2

＜発展＞

Social Foundations of Education	2
Nations and Nationalism	2
Advanced Themes in Anthropology	2
Disaster Studies	2
Social Inequalities in Japan	2
Colonialism and Imperialism	2
Advanced Media Studies	2
Migration and Transnationalism	2

Japanese Business and the Global Economy Concentration

＜入門＞

Introduction to Contemporary Economics and Business	2
Introduction to the Japanese Economy	2
Macroeconomics	2
Microeconomics	2
Introduction to Finance	2
Introduction to Business Administration	2
Introduction to Accounting	2
Society and Economy in Kyoto	2

＜展開＞

Consumers and the Market in Japan	2
Ecology and Economy in Japan	2
Industry and Labor in Japan	2
The Creative Industries in Contemporary Japan	2
The Financial System in Japan	2
Financial Accounting in Japan	2
Introduction to Marketing	2
Japanese Corporations	2

＜発展＞

Economic Growth	2
International Economics	2
Corporate Strategy and Organization	2
Management Accounting in Japan	2
International Marketing	2
International Business Communication	2
Industry and Corporation in Kyoto	2
Contemporary Issues in Business and Economics	2

Japanese Politics and Global Studies Concentration

＜入門＞

The Politics of Growth in Developing Countries	2
Winners and Losers:Introduction to Political Theory	2
Introduction to Japanese Law	2
Power and Politics in Japan	2
Introduction to Comparative Policymaking	2
Introduction to International Relations	2
Comparative Politics	2
Peace and Conflict	2

＜展開＞

Citizen Politics in Japan and Beyond	2
International Relations in East Asia	2
Postwar Japan - U.S. Relations	2
What Makes Countries Poor?	2
International Human Rights Law	2
Political Behavior,Campaigns and Elections	2
Civic Engagement	2
Public Opinion and Political Psychology	2

＜発展＞

Topics in Public Policy	2
Mass Media in the Policymaking Process	2
International Law and Organizations	2
International Political Economy	2
Development and Law	2
Topics in Japan’s Contemporary International Relations	2
Social Movements and Contentious Politics	2
Politics through Film	2

選択したコンセントレーションの入門・展開・発展から各 4 単位以上を含む 30 単位以上を履修すること。

〇選択科目

Special Lecture Series　(1 科目 1～8 単位)

Recognized Transfer Credits (1 科目 1～8 単位)

上記のほか，日本語・日本文化教育科目，全学共通教養教育科目，学部及び大学院設置科目，大学コンソーシアム京都単位互換科目及び同志社女子大学単位互換科目のうち国際教育インスティテュートが定める科目から選択履修すること。学則第 9 条の 2 及び第 9 条の 4 により修得した単位を Recognized Transfer Credits として認定することがある。全学共通教養教育科目の外国語教育科目の英語及び母語の履修は認めない。

以上，演習・卒業論文，基幹科目，専門領域科目及び選択科目から 124 単位以上を履修すること。

国際教養教育院科目

科　　目	履修単位
日本語・日本文化教育科目	
○日本語科目	
日本語 1(アカデミック・リーディングＡⅥ)	1
日本語 1(アカデミック・リーディングＡⅦ)	1
日本語 1(アカデミック・リーディングＡⅧ)	1
日本語 1(アカデミック・リーディングＡⅨ)	1
日本語 1(アカデミック・リーディングＢⅥ)	1
日本語 1(アカデミック・リーディングＢⅦ)	1
日本語 1(アカデミック・リーディングＢⅧ)	1
日本語 1(アカデミック・リーディングＢⅨ)	1
日本語 1(語彙Ⅵ)	1
日本語 1(語彙Ⅶ)	1
日本語 1(語彙Ⅷ)	1
日本語 1(語彙Ⅸ)	1
日本語 1(アカデミック・ライティングⅢ)	1
日本語 1(アカデミック・ライティングⅣ)	1
日本語 1(アカデミック・ライティングＶ)	1
日本語 1(アカデミック・ライティングⅥ)	1
日本語 1(アカデミック・ライティングⅦ)	1
日本語 1(アカデミック・ライティングⅧ)	1
日本語 1(アカデミック・ライティングⅨ)	1
日本語 1(オーラル・コミュニケーションＡⅠ)	1
日本語 1(オーラル・コミュニケーションＡⅡ)	1
日本語 1(オーラル・コミュニケーションＡⅥ)	1
日本語 1(オーラル・コミュニケーションＡⅦ)	1
日本語 1(オーラル・コミュニケーションＡⅧ)	1
日本語 1(オーラル・コミュニケーションＡⅨ)	1
日本語 1(オーラル・コミュニケーションＢⅠ)	1
日本語 1(オーラル・コミュニケーションＢⅡ)	1
日本語 1(オーラル・コミュニケーションＢⅢ)	1
日本語 1(オーラル・コミュニケーションＢⅣ)	1
日本語 1(オーラル・コミュニケーションＢＶ)	1
日本語 1(オーラル・コミュニケーションＢⅥ)	1
日本語 1(オーラル・コミュニケーションＢⅦ)	1
日本語 1(オーラル・コミュニケーションＢⅧ)	1
日本語 1(オーラル・コミュニケーションＢⅨ)	1
日本語 1(文法Ⅰ)	1
日本語 1(文法Ⅱ)	1
日本語 1(文法Ⅲ)	1
日本語 1(文法Ⅳ)	1
日本語 1(文法Ⅴ)	1
日本語 1(文法Ⅵ)	1
日本語 1(文法Ⅶ)	1
日本語 1(文法Ⅷ)	1
日本語 1(文法Ⅸ)	1
日本語 2(アカデミック・リーディングＡⅥ)	1
日本語 2(アカデミック・リーディングＡⅦ)	1
日本語 2(アカデミック・リーディングＡⅧ)	1
日本語 2(アカデミック・リーディングＡⅨ)	1
日本語 2(アカデミック・リーディングＢⅥ)	1
日本語 2(アカデミック・リーディングＢⅦ)	1
日本語 2(アカデミック・リーディングＢⅧ)	1
日本語 2(アカデミック・リーディングＢⅨ)	1
日本語 2(語彙Ⅵ)	1
日本語 2(語彙Ⅶ)	1
日本語 2(語彙Ⅷ)	1
日本語 2(語彙Ⅸ)	1
日本語 2(アカデミック・ライティングⅢ)	1
日本語 2(アカデミック・ライティングⅣ)	1
日本語 2(アカデミック・ライティングＶ)	1
日本語 2(アカデミック・ライティングⅥ)	1
日本語 2(アカデミック・ライティングⅦ)	1

日本語 2(アカデミック・ライティングⅧ)	1
日本語 2(アカデミック・ライティングⅨ)	1
日本語 2(オーラル・コミュニケーションＡⅠ)	1
日本語 2(オーラル・コミュニケーションＡⅡ)	1
日本語 2(オーラル・コミュニケーションＡⅥ)	1
日本語 2(オーラル・コミュニケーションＡⅦ)	1
日本語 2(オーラル・コミュニケーションＡⅧ)	1
日本語 2(オーラル・コミュニケーションＡⅨ)	1
日本語 2(オーラル・コミュニケーションＢⅠ)	1
日本語 2(オーラル・コミュニケーションＢⅡ)	1
日本語 2(オーラル・コミュニケーションＢⅢ)	1
日本語 2(オーラル・コミュニケーションＢⅣ)	1
日本語 2(オーラル・コミュニケーションＢⅤ)	1
日本語 2(オーラル・コミュニケーションＢⅥ)	1
日本語 2(オーラル・コミュニケーションＢⅦ)	1
日本語 2(オーラル・コミュニケーションＢⅧ)	1
日本語 2(オーラル・コミュニケーションＢⅨ)	1
日本語 2(文法Ⅰ)	1
日本語 2(文法Ⅱ)	1
日本語 2(文法Ⅲ)	1
日本語 2(文法Ⅳ)	1
日本語 2(文法Ⅴ)	1
日本語 2(文法Ⅵ)	1
日本語 2(文法Ⅶ)	1
日本語 2(文法Ⅷ)	1
日本語 2(文法Ⅸ)	1
ビジネス日本語 A	1
ビジネス日本語 B	1
ビジネス日本語 C	1
ビジネス日本語 D	1
○日本事情科目	
日本の文学 A	2
日本の思想・宗教 1	2
日本の思想・宗教 2	2
日本の法と政治	2
日本の歴史 1	2
日本の歴史 2	2
日本の社会 1	2
日本の社会 2	2
日本の文化 1	2
日本の文化 2	2
日本の教育	2
日本の伝統と人間形成	2
日本の伝統と美	2
日本の伝統と文化	2
日本の伝統と芸能	2
日本の伝統と能楽	2
日本の伝統と芸術	2
日本の芸術 1	2
日本の芸術 2	2
日本の生活と社会 A	2
日本の生活と社会 B	2
○国際事情科目	
世界の歴史 1	2
世界の歴史 2	2
グローバル教育プログラム科目	
Introduction to Japanese Culture in the Global Context	2
Introduction to Japanese Society in the Global Context	2
Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context	2
Humanities and Global Issues	2
Social Sciences and Global Issues	2

Natural Sciences and Global Issues	2
Japan in Modern World History	2
International Relations in the Postwar Era	2
Issues in Japanese Culture	2
Japanese Thought and Religion 1	2
Japanese Thought and Religion 2	2
Tradition and Art in Japan 1	2
Tradition and Art in Japan 2	2
Japan Today 1	2
Japan Today 2	2
Democracy and Politics : A Comparative Perspective	2
Education in the Age of Globalization	2
Issues in Intercultural Communication	2
Economy and Business in the Global Context 1	2
Economy and Business in the Global Context 2	2
Critical Social Issues in Contemporary Japan 1	2
Critical Social Issues in Contemporary Japan 2	2
The Divisions of Identity in Society	2
Statistics for the Social Sciences and Humanities	2
Introduction to Computer Science and Information Technology	2
Human Science in the Global Age	2
Introduction to Quantitative Data Analysis	2
Conservation of Japanese Nature and Environment	2
Mathematics and its History	2
Science of Natural Disasters	2
Freshman “Go Global” Program	2
Mid-college “Be Strong” Program	4
Principles of Economics	2
Environmental Economics and Sustainability	2
Advanced Seminar 1	2
Advanced Seminar 2	2
Advanced Seminar 3	2

日本語・日本文化教育プログラム科目

○日本語科目

日本語 1(総合１Ⅰ)	1
日本語 1(総合２Ⅰ)	1
日本語 1(総合３Ⅰ)	1
日本語 1(総合４Ⅰ)	1
日本語 1(総合５Ⅰ)	1
日本語 1(総合６Ⅰ)	1
日本語 1(総合７Ⅰ)	1
日本語 1(総合８Ⅰ)	1
日本語 1(口頭表現ＡⅠ)	1
日本語 1(口頭表現ＢⅠ)	1
日本語 1(文法Ⅰ)	1
日本語 1(総合１Ⅱ)	1
日本語 1(総合２Ⅱ)	1
日本語 1(総合３Ⅱ)	1
日本語 1(総合４Ⅱ)	1
日本語 1(総合５Ⅱ)	1
日本語 1(総合６Ⅱ)	1
日本語 1(総合７Ⅱ)	1
日本語 1(総合８Ⅱ)	1
日本語 1(口頭表現ＡⅡ)	1

日本語 1(口頭表現ＢⅡ)	1	日本語 1(文法Ⅴ)	1
日本語 1(文法Ⅱ)	1	日本語 1(総合 1Ⅵ)	1
日本語 1(総合 1Ⅲ)	1	日本語 1(総合 2Ⅵ)	1
日本語 1(総合 2Ⅲ)	1	日本語 1(総合 3Ⅵ)	1
日本語 1(総合 3Ⅲ)	1	日本語 1(総合 4Ⅵ)	1
日本語 1(総合 4Ⅲ)	1	日本語 1(読解ＡⅥ)	1
日本語 1(総合 5Ⅲ)	1	日本語 1(読解ＢⅥ)	1
日本語 1(総合 6Ⅲ)	1	日本語 1(語彙Ⅵ)	1
日本語 1(総合 7Ⅲ)	1	日本語 1(文章表現Ⅵ)	1
日本語 1(総合 8Ⅲ)	1	日本語 1(口頭表現ＡⅥ)	1
日本語 1(文章表現Ⅲ)	1	日本語 1(口頭表現ＢⅥ)	1
日本語 1(口頭表現ＢⅢ)	1	日本語 1(文法Ⅵ)	1
日本語 1(文法Ⅲ)	1	日本語 1(総合 1Ⅶ)	1
日本語 1(総合 1Ⅳ)	1	日本語 1(総合 2Ⅶ)	1
日本語 1(総合 2Ⅳ)	1	日本語 1(総合 3Ⅶ)	1
日本語 1(総合 3Ⅳ)	1	日本語 1(総合 4Ⅶ)	1
日本語 1(総合 4Ⅳ)	1	日本語 1(読解ＡⅦ)	1
日本語 1(読解ＡⅣ)	1	日本語 1(読解ＢⅦ)	1
日本語 1(読解ＢⅣ)	1	日本語 1(語彙Ⅶ)	1
日本語 1(文章表現Ⅳ)	1	日本語 1(文章表現Ⅶ)	1
日本語 1(口頭表現ＡⅣ)	1	日本語 1(口頭表現ＡⅦ)	1
日本語 1(口頭表現ＢⅣ)	1	日本語 1(口頭表現ＢⅦ)	1
日本語 1(文法Ⅳ)	1	日本語 1(文法Ⅶ)	1
日本語 1(総合 1Ⅴ)	1	日本語 1(総合 1Ⅷ)	1
日本語 1(総合 2Ⅴ)	1	日本語 1(総合 2Ⅷ)	1
日本語 1(総合 3Ⅴ)	1	日本語 1(総合 3Ⅷ)	1
日本語 1(総合 4Ⅴ)	1	日本語 1(総合 4Ⅷ)	1
日本語 1(読解ＡⅤ)	1	日本語 1(読解ＡⅧ)	1
日本語 1(読解ＢⅤ)	1	日本語 1(読解ＢⅧ)	1
日本語 1(文章表現Ⅴ)	1	日本語 1(語彙Ⅷ)	1
日本語 1(口頭表現ＡⅤ)	1	日本語 1(文章表現Ⅷ)	1
日本語 1(口頭表現ＢⅤ)	1	日本語 1(口頭表現ＡⅧ)	1

日本語 1(口頭表現ＢⅧ)	1	日本語 2(口頭表現ＢⅡ)	1
日本語 1(文法Ⅷ)	1	日本語 2(文法Ⅱ)	1
日本語 1(総合 1Ⅸ)	1	日本語 2(総合 1Ⅲ)	1
日本語 1(総合 2Ⅸ)	1	日本語 2(総合 2Ⅲ)	1
日本語 1(総合 3Ⅸ)	1	日本語 2(総合 3Ⅲ)	1
日本語 1(読解ＡⅨ)	1	日本語 2(総合 4Ⅲ)	1
日本語 1(読解ＢⅨ)	1	日本語 2(総合 5Ⅲ)	1
日本語 1(語彙Ⅸ)	1	日本語 2(総合 6Ⅲ)	1
日本語 1(文章表現Ⅸ)	1	日本語 2(総合 7Ⅲ)	1
日本語 1(口頭表現ＡⅨ)	1	日本語 2(総合 8Ⅲ)	1
日本語 1(口頭表現ＢⅨ)	1	日本語 2(文章表現Ⅲ)	1
日本語 1(文法Ⅸ)	1	日本語 2(口頭表現ＢⅢ)	1
日本語 2(総合１Ｉ)	1	日本語 2(文法Ⅲ)	1
日本語 2(総合２Ｉ)	1	日本語 2(総合 1Ⅳ)	1
日本語 2(総合３Ｉ)	1	日本語 2(総合 2Ⅳ)	1
日本語 2(総合４Ｉ)	1	日本語 2(総合 3Ⅳ)	1
日本語 2(総合５Ｉ)	1	日本語 2(総合 4Ⅳ)	1
日本語 2(総合６Ｉ)	1	日本語 2(読解ＡⅣ)	1
日本語 2(総合７Ｉ)	1	日本語 2(読解ＢⅣ)	1
日本語 2(総合８Ｉ)	1	日本語 2(文章表現Ⅳ)	1
日本語 2(口頭表現ＡＩ)	1	日本語 2(口頭表現ＡⅣ)	1
日本語 2(口頭表現ＢＩ)	1	日本語 2(口頭表現ＢⅣ)	1
日本語 2(文法Ｉ)	1	日本語 2(文法Ⅳ)	1
日本語 2(総合 1Ⅱ)	1	日本語 2(総合 1Ⅴ)	1
日本語 2(総合 2Ⅱ)	1	日本語 2(総合 2Ⅴ)	1
日本語 2(総合 3Ⅱ)	1	日本語 2(総合 3Ⅴ)	1
日本語 2(総合 4Ⅱ)	1	日本語 2(総合 4Ⅴ)	1
日本語 2(総合 5Ⅱ)	1	日本語 2(読解ＡⅤ)	1
日本語 2(総合 6Ⅱ)	1	日本語 2(読解ＢⅤ)	1
日本語 2(総合 7Ⅱ)	1	日本語 2(文章表現Ⅴ)	1
日本語 2(総合 8Ⅱ)	1	日本語 2(口頭表現ＡⅤ)	1
日本語 2(口頭表現ＡⅡ)	1	日本語 2(口頭表現ＢⅤ)	1

日本語 2(文法Ⅴ)	1
日本語 2(総合 1Ⅵ)	1
日本語 2(総合 2Ⅵ)	1
日本語 2(総合 3Ⅵ)	1
日本語 2(総合 4Ⅵ)	1
日本語 2(読解ＡⅥ)	1
日本語 2(読解ＢⅥ)	1
日本語 2(語彙Ⅵ)	1
日本語 2(文章表現Ⅵ)	1
日本語 2(口頭表現ＡⅥ)	1
日本語 2(口頭表現ＢⅥ)	1
日本語 2(文法Ⅵ)	1
日本語 2(総合 1Ⅶ)	1
日本語 2(総合 2Ⅶ)	1
日本語 2(総合 3Ⅶ)	1
日本語 2(総合 4Ⅶ)	1
日本語 2(読解ＡⅦ)	1
日本語 2(読解ＢⅦ)	1
日本語 2(語彙Ⅶ)	1
日本語 2(文章表現Ⅶ)	1
日本語 2(口頭表現ＡⅦ)	1
日本語 2(口頭表現ＢⅦ)	1
日本語 2(文法Ⅶ)	1
日本語 2(総合 1Ⅷ)	1
日本語 2(総合 2Ⅷ)	1
日本語 2(総合 3Ⅷ)	1
日本語 2(総合 4Ⅷ)	1
日本語 2(読解ＡⅧ)	1
日本語 2(読解ＢⅧ)	1
日本語 2(語彙Ⅷ)	1
日本語 2(文章表現Ⅷ)	1
日本語 2(口頭表現ＡⅧ)	1
日本語 2(口頭表現ＢⅧ)	1
日本語 2(文法Ⅷ)	1
日本語 2(総合 1Ⅸ)	1
日本語 2(総合 2Ⅸ)	1
日本語 2(総合 3Ⅸ)	1
日本語 2(読解ＡⅨ)	1
日本語 2(読解ＢⅨ)	1
日本語 2(語彙Ⅸ)	1
日本語 2(文章表現Ⅸ)	1
日本語 2(口頭表現ＡⅨ)	1
日本語 2(口頭表現ＢⅨ)	1
日本語 2(文法Ⅸ)	1
日本語 1(基礎ＡＳ)	3
日本語 1(基礎ＡＦ)	3
日本語 1(基礎ＢＳ)	3
日本語 1(基礎ＢＦ)	3
日本語 2(基礎ＡＳ)	3
日本語 2(基礎ＡＦ)	3
日本語 2(基礎ＢＳ)	3
日本語 2(基礎ＢＦ)	3
○日本語演習科目	
日本語総合演習 Ａ	1
日本語総合演習 Ｂ	1
日本語総合演習 Ｃ	1
日本語総合演習 Ｄ	1
日本語総合演習 Ｅ	1
中級日本語文法概説 Ａ	1
中級日本語文法概説 Ｂ	1
上級日本語文法概説 Ａ	1
上級日本語文法概説 Ｂ	1
日本語特講演習	1
ビジネス日本語 Ａ	1

ビジネス日本語 B	1
ビジネス日本語 C	1
ビジネス日本語 D	1
○日本事情科目	
日本の文学 A	2
日本の文学 B	2
日本の思想・宗教 1	2
日本の思想・宗教 2	2
日本の思想・宗教 A	2
日本の法と政治	2
日本の経済	2
日本の企業と経営 A	2
日本の企業と経営 B	2
日本の歴史 1	2
日本の歴史 2	2
日本の社会 1	2
日本の社会 2	2
日本の文化 1	2
日本の文化 2	2
日本の文化特講 A	2
日本の文化特講 B	2
日本の文化特講 C	2
日本の教育	2
日本の伝統と人間形成	2
日本の伝統と美	2
日本の伝統と文化	2
日本の伝統と芸能	2
日本の伝統と能楽	2
日本の伝統と芸術	2
日本の現代芸術	2
日本の芸術 1	2
日本の芸術 2	2
比較文化論 A	2
比較文化論 B	2
地域文化論 A	2
地域文化論 B	2
異文化間コミュニケーション A	2
異文化間コミュニケーション B	2
異文化間コミュニケーション C	2
異文化間コミュニケーション D	2
日本とアジア 1	2
日本とアジア 2	2
日本の生活と社会 A	2
日本の生活と社会 B	2
○国際事情科目	
世界の歴史 1	2
世界の歴史 2	2
歴史の歴史	2
国際比較文化論	2
国際比較メディア論	2
国際ビジネス A	2
国際ビジネス B	2
国際ビジネス C	2

なお，日本政府国費による日本語予備教育生及び日本語・日本文化研修留学生については，以下の各号に定める所定の単位を修得した者に修了の認定を行い，修了証書を授与する。

(1) 日本語予備教育生

所定の予備教育期間在学し，日本語・日本文化教育プログラム科目のうち，日本語科目から 8 単位以上並びに日本語演習科目，日本事情科目及び国際事情科目から 5 単位以上，合計 13 単位以上を修得すること。

(2) 日本語・日本文化研修留学生

所定の研修期間在学し，合計 20 単位以上を修得するこ

と。

教育職員免許状を得るための課程

高等学校教諭一種免許状及び中学校教諭一種免許状を得ようとする者は，学士の学位を有し，教科及び教科の指導法に関する科目，教育の基礎的理解に関する科目，道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談等に関する科目，教育実践に関する科目，大学が独自に設定する科目について下記の所定の単位及び日本国憲法 2 単位，体育 2 単位，外国語コミュニケーション 2 単位，数理，データ活用及び人工知能に関する科目 2 単位又は情報機器の操作 2 単位を修得しなければならない。

ただし，「学士の学位を有し」には，学校教育法第 102 条第 2 項の規定により本学大学院への入学が認められた場合を含むものとする。

なお，学部・学科において取得できる免許状の種類(教科)は次のとおりとする。

神学部神学科	中一種免(宗教)，高一種免(宗教)
文学部	
英文学科	中一種免(英語)，高一種免(英語)
哲学科	中一種免(社会)， 高一種免(地理歴史)， 高一種免(公民)
美学芸術学科	中一種免(社会)， 高一種免(地理歴史)， 高一種免(公民)
文化史学科	中一種免(社会)， 高一種免(地理歴史)， 高一種免(公民)
国文学科	中一種免(国語)，高一種免(国語)
社会学部	
社会学科	中一種免(社会)，高一種免(公民)
社会福祉学科	中一種免(社会)， 高一種免(公民)， 高一種免(福祉)
メディア学科	中一種免(社会)，高一種免(公民)
産業関係学科	中一種免(社会)，高一種免(公民)
教育文化学科	中一種免(社会)， 高一種免(地理歴史)， 高一種免(公民)
法学部	
法律学科	中一種免(社会)， 高一種免(地理歴史)， 高一種免(公民)
政治学科	中一種免(社会)， 高一種免(地理歴史)， 高一種免(公民)
経済学部	
経済学科	中一種免(社会)， 高一種免(地理歴史)， 高一種免(公民)
商学部	
商学科	中一種免(社会)， 高一種免(地理歴史)， 高一種免(公民)，高一種免(商業)
政策学部	
政策学科	中一種免(社会)，高一種免(公民)
文化情報学部	
文化情報学科	高一種免(情報)
理工学部	
インテリジェント情報工学科	中一種免(数学)，高一種免(数学)， 高一種免(情報)

情報システムデザイン学科
中一種免(数学)，高一種免(数学)，
高一種免(情報)
電気工学科　中一種免(数学)，高一種免(数学)
電子工学科　中一種免(数学)，高一種免(数学)
機械システム工学科
中一種免(数学)，高一種免(数学)，
中一種免(理科)，高一種免(理科)
機械理工学科
中一種免(数学)，高一種免(数学)，
中一種免(理科)，高一種免(理科)
機能分子・生命化学科
中一種免(理科)，高一種免(理科)
化学システム創成工学科
中一種免(数学)，高一種免(数学)，
中一種免(理科)，高一種免(理科)
環境システム学科
中一種免(理科)，高一種免(理科)
数理システム学科
中一種免(数学)，高一種免(数学)，
高一種免(情報)

生命医科学部
医工学科　中一種免(数学)，高一種免(数学)，
中一種免(理科)，高一種免(理科)
医情報学科　中一種免(数学)，高一種免(数学)，
中一種免(理科)，高一種免(理科)
医生命システム学科
中一種免(理科)，高一種免(理科)

スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科
中一種免(保健体育)，
高一種免(保健体育)

心理学部
心理学科　中一種免(社会)，高一種免(公民)

グローバル・コミュニケーション学部
グローバル・コミュニケーション学科
英語コース　中一種免(英語)，高一種免(英語)

グローバル地域文化学部
グローバル地域文化学科
中一種免(社会)，
高一種免(地理歴史)

教科及び教科の指導法に関する科目

大学が独自に設定する科目

免許教科名	単位修得の方法
宗教(高等学校及び中学校)	下記の「教科及び教科の指導法に関する科目」について高等学校 24 単位，中学校 28 単位を修得しなければならない。 教科の指導法　4 単位以上又は 8 単位以上 宗教学　1 単位以上 宗教史　1 単位以上 『教理学，哲学』　1 単位以上 計　24 単位又は 28 単位 本学の指示する「大学が独自に設定する科目」について，高等学校 12 単位，中学校 4 単位を修得しなければならない。

英語
（高等学校及び中学校）

下記の「教科及び教科の指導法に関する科目」について高等学校 24 単位，中学校 28 単位を修得しなければならない。

教科の指導法	4 単位以上又は 8 単位以上
英語学	1 単位以上
英語文学	1 単位以上
英語コミュニケーション	1 単位以上
異文化理解	1 単位以上
計	24 単位又は 28 単位

本学の指示する「大学が独自に設定する科目」について，高等学校 12 単位，中学校 4 単位を修得しなければならない。

地理歴史
（高等学校）

下記の「教科及び教科の指導法に関する科目」について 24 単位を修得しなければならない。

教科の指導法	4 単位以上
日本史	1 単位以上
外国史	1 単位以上
人文地理学・自然地理学	1 単位以上
地誌	1 単位以上
計	24 単位

本学の指示する「大学が独自に設定する科目」について，高等学校 12 単位を修得しなければならない。

国語
（高等学校及び中学校）

下記の「教科及び教科の指導法に関する科目」について高等学校 24 単位，中学校 28 単位を修得しなければならない。

教科の指導法	4 単位以上又は 8 単位以上
国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	1 単位以上
国文学（国文学史を含む。）	1 単位以上
漢文学	1 単位以上
計	24 単位又は 28 単位

高等学校の場合は上のとおりであるが，中学校の場合は書道(書写を中心とする。)1 単位以上を履修すること。

本学の指示する「大学が独自に設定する科目」について，高等学校 12 単位，中学校 4 単位を修得しなければならない。

公民
（高等学校）

下記の「教科及び教科の指導法に関する科目」について 24 単位を修得しなければならない。

教科の指導法	4 単位以上
『法律学(国際法を含む。)，政治学（国際政治を含む。)』	1 単位以上
『社会学，経済学(国際経済を含む。)』	1 単位以上
『哲学，倫理学，宗教学，心理学』	1 単位以上
計	24 単位

本学の指示する「大学が独自に設定する科目」について，高等学校 12 単位を修得しなければならない。

福祉
（高等学校）

下記の「教科及び教科の指導法に関する科目」について 24 単位を修得しなければならない。

教科の指導法	4 単位以上
社会福祉学（職業指導を含む。）	1 単位以上
高齢者福祉・児童福祉・障害者福祉	1 単位以上
社会福祉援助技術	1 単位以上
介護理論・介護技術	1 単位以上
社会福祉総合実習（社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。）	1 単位以上
人体構造に関する理解・日常生活行動に関する理解	1 単位以上
加齢に関する理解・障害に関する理解	1 単位以上
計	24 単位

本学の指示する「大学が独自に設定する科目」について，高等学校 12 単位を修得しなければならない。

社会
（中学校）

下記の「教科及び教科の指導法に関する科目」について 28 単位を修得しなければならない。

教科の指導法	8 単位以上
日本史・外国史	1 単位以上
地理学（地誌を含む。）	1 単位以上
『法律学，政治学』	1 単位以上
『社会学，経済学』	1 単位以上
『哲学，倫理学，宗教学』	1 単位以上
計	28 単位

本学の指示する「大学が独自に設定する科目」について，中学校 4 単位を修得しなければならない。

商業
（高等学校）

下記の「教科及び教科の指導法に関する科目」について 24 単位を修得しなければならない。

教科の指導法	4 単位以上
商業の関連科目	1 単位以上
職業指導	1 単位以上
計	24 単位

本学の指示する「大学が独自に設定する科目」について，高等学校 12 単位を修得しなければならない。

理科
（高等学校）

下記の「教科及び教科の指導法に関する科目」について 24 単位を修得しなければならない。

教科の指導法	4 単位以上
物理学	1 単位以上
化学	1 単位以上
生物学	1 単位以上
地学	1 単位以上
『物理学実験，化学実験，生物学実験，地学実験』	1 単位以上
計	24 単位

本学の指示する「大学が独自に設定する科目」について，高等学校 12 単位を修得しなければならない。

数学
（高等学校及び中学校）

下記の「教科及び教科の指導法に関する科目」について高等学校 24 単位，中学校 28 単位を修得しなければならない。

教科の指導法	4 単位以上又は 8 単位以上
代数学	1 単位以上
幾何学	1 単位以上
解析学	1 単位以上
『確率論，統計学』	1 単位以上
コンピュータ	1 単位以上
計	24 単位又は 28 単位

本学の指示する「大学が独自に設定する科目」について，高等学校 12 単位，中学校 4 単位を修得しなければならない。

理科
（中学校）

下記の「教科及び教科の指導法に関する科目」について 28 単位を修得しなければならない。

教科の指導法	8 単位以上
物理学	1 単位以上
化学	1 単位以上
生物学	1 単位以上
地学	1 単位以上
物理学実験・化学実験・生物学実験・地学実験	1 単位以上
計	28 単位

本学の指示する「大学が独自に設定する科目」について，中学校 4 単位を修得しなければならない。

情報
（高等学校）

下記の「教科及び教科の指導法に関する科目」について 24 単位を修得しなければならない。

教科の指導法	4 単位以上
情報社会（職業に関する内容を含む。）・情報倫理	1 単位以上
コンピュータ・情報処理	1 単位以上
情報システム	1 単位以上
情報通信ネットワーク	1 単位以上
マルチメディア表現・マルチメディア技術	1 単位以上
計	24 単位

本学の指示する「大学が独自に設定する科目」について，高等学校 12 単位を修得しなければならない。

保健体育
（高等学校及び中学校）

下記の「教科及び教科の指導法に関する科目」について高等学校 24 単位，中学校 28 単位を修得しなければならない。

教科の指導法	4 単位以上又は 8 単位以上
体育実技	1 単位以上
『体育原理，体育心理学，体育経営管理学，体育社会学，体育史』・運動学（運動方法学を含む。）	1 単位以上
生理学（運動生理学を含む。）	1 単位以上
衛生学・公衆衛生学	1 単位以上
学校保健（小児保健，精神保健，学校安全及び救急処置を含む。）	1 単位以上
計	24 単位又は 28 単位

本学の指示する「大学が独自に設定する科目」について，高等学校 12 単位，中学校 4 単位を修得しなければならない。

教育の基礎的理解に関する科目

○必修科目

科　目		履修単位
教育原理		2
教職概論		2
教育制度と学校経営	2	2
学校教育社会学	2	
人権教育論		2

発達と学習の心理学	2
特別ニーズ教育論	2
教育課程論	2

道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談等に関する科目

○必修科目

科　　目	履修単位
道徳教育の理論と実践	2
特別活動と総合的な学習の時間の指導法	2
教育方法とＩＣＴ活用の理論と実践	2
生徒・進路指導の理論と方法	2
教育相談の理論と方法	2

教育実践に関する科目

○必修科目

科　　目		履修単位
教育実習指導		1
教育実習 A	2	2 又は 4
教育実習 B	2	
教育実習 C	4	
教職実践演習(中・高)		2

1　教育の基礎的理解に関する科目は，14 単位以上を履修しなければならない。

2　道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談等に関する科目は，高等学校の場合 8 単位以上，中学校の場合 10 単位以上を履修しなければならない。

3　教育実践に関する科目は，高等学校の場合 5 単位以上，中学校の場合 7 単位以上を履修しなければならない。

4　教科の指導法は，申請する免許状の教科ごとに修得しなければならない。本学では宗教・国語・理科・数学・保健体育科(高一種免 4 単位，中一種免 8 単位)，商業・情報科(各 4 単位)，英語・社会科(8 単位)，地理歴史・公民・福祉科(各 4 単位)の教科教育法を設けている。

「商業」，「数学」又は「理科」の教科について高等学校教諭免許状の授与を受ける場合の各教科の指導法に関する科目，教諭の教育の基礎的理解に関する科目等の単位数のうちその半数までの単位は，当該免許状に係る教科に関する専門的事項に関する科目について修得することができる。

附　　記

中学校教諭二種免許状を得ようとする者は，基礎資格として大学に 2 年以上在学し，62 単位以上〔内，日本国憲法 2 単位，体育 2 単位，外国語コミュニケーション 2 単位，数理，データ活用及び人工知能に関する科目 2 単位又は情報機器の操作 2 単位を含む〕を修得すること。また，大学において修得することを必要とする科目は，教科及び教科の指導法に関する科目 12 単位，教育の基礎的理解に関する科目 6 単位，道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談等に関する科目 6 単位，教育実践に関する科目 7 単位，大学が独自に設定する科目 4 単位を修得しなければならない。